

The 70th National Convention of IPSJ
平成20年



第70回全国大会 大会案内/プログラム

—ワクワクするIT—

2008.3.13(木) ▶ 15(土)

会場：筑波大学 筑波キャンパス
茨城県つくば市天王台1-1-1

《大会会期中》

Tel/Fax (029)856-1678

《聴講参加費》(税込)

正会員3,000円 正会員(CD付)8,000円 非会員6,000円 学生無料

《講演論文集》(税込)

5冊セット(CD-ROM1枚付) 43,000円

分冊 9,000円

CD-ROM 7,000円

《懇親会参加費》(税込)

一般5,000円 学生3,000円

第70回全国大会スポンサー

とめ

株式会社とめ研究所



社団法人 情報処理学会
Information Processing Society of Japan

<http://www.ipsj.or.jp/>

プログラム目次

インフォメーション	1
サテライトイベント「ワクワクIT@あきば2008」のご案内	2
会場案内図	3
筑波大学周辺案内図	4
筑波大学循環バス時刻表/つくばセンターバス乗り場案内図	5
筑波大学 筑波キャンパス図	6
館内案内図	7
タイムテーブル	13
講演論文集分類と内容	18
全国大会イベント企画 / 会場別プログラム	19
全国大会イベント企画概要	22
一般/学生/デモ セッションプログラム詳細	38

(第1分冊 アーキテクチャ)

1A アーキテクチャとデザイン (一般セッション)	38
2A HPC と仮想化技術 (一般セッション)	38
3A システムソフトウェアとストレージ (一般セッション)	38
4A 仮想化技術 (2) (一般セッション)	38
1N 組込みとセキュリティ (学生セッション)	38
2N 相互結合網 (学生セッション)	38
3N ハイパフォーマンスコンピューティング (学生セッション)	38
4N マルチスレッドと分岐予測 (学生セッション)	38
5N 組み込みシステム (学生セッション)	39
6N 数値計算とコンパイラ技術 (学生セッション)	39
1P 仮想化技術 (1) (学生セッション)	39
2P 設計自動化 (学生セッション)	39
3P 分散・並列システム (学生セッション)	39

(第1分冊 ソフトウェア科学・工学)

5A 数理モデル化と問題解決 (一般セッション)	39
6A グラフとネットワーク (一般セッション)	40
1B 要求, 開発手法, 開発環境 (一般セッション)	40
2B 組込み, 品質 (一般セッション)	40
4P アルゴリズムとその応用 (学生セッション)	40
5P 進化的計算とバイオインフォマティクス (学生セッション)	40
6P 数理モデルの応用 (学生セッション)	40
1Q プログラミング言語・実装・支援 (学生セッション)	40
2Q 検査, 検証, 解析 (学生セッション)	40
3Q 開発支援環境 (学生セッション)	41
4Q 再利用, 保守 (学生セッション)	41
5Q プロジェクト管理, 共同作業支援 (学生セッション)	41
6Q 要求定義, MDA, プロダクトライン (学生セッション)	41

(第1分冊 データベースとメディア)

3B データベース一般 (一般セッション)	41
4B Web デザイン技術 (一般セッション)	41
5B コンテンツ推薦 (一般セッション)	41
6B データベースアーキテクチャ (一般セッション)	42
1C 社内文書検索システム (一般セッション)	42
2C Web サービスとアーキテクチャ (一般セッション)	42
1R 画像検索・画像情報処理 (学生セッション)	42
2R Web 検索 (学生セッション)	42
3R 情報検索 (学生セッション)	42
4R Web マイニング (学生セッション)	42
5R Web 応用 (学生セッション)	43
6R マルチメディア処理 (学生セッション)	43
1S P2P データ処理 (学生セッション)	43
2S 科学データベースとメディア (学生セッション)	43
3S XML と応用 (学生セッション)	43
4S SNS, ブログ, ソーシャルWeb (学生セッション)	43
5S 知識発見・検索 (学生セッション)	43
6S ユーザ指向・推薦 (学生セッション)	44
1T Web デザイン (学生セッション)	44
2T データマイニング (学生セッション)	44
3T センサデータベースとコンテンツ (学生セッション)	44
5T メディア情報可視化 (学生セッション)	44
デモセッション	44

(第2分冊 人工知能と認知科学)

3C 画像処理・認識 (一般セッション)	45
4C 画像処理システム (一般セッション)	45

5C 複雑系 (一般セッション)	45
6C ニューラルネット・マルチエージェント (一般セッション)	45
1D 音楽情報科学 (一般セッション)	45
2D 音声対話・翻訳 (一般セッション)	45
3D 自然言語処理 (一般セッション)	45
6T GA・エージェントモデル (学生セッション)	45
1U 画像処理システム (学生セッション)	46
2U ゲーム・知識ベース (学生セッション)	46
3U 音声言語情報処理 (学生セッション)	46
4U 文書の分類と検索 (学生セッション)	46
5U 情報抽出 (学生セッション)	46
6U 自然言語処理 (学生セッション)	46
1V 学習・推論 (学生セッション)	47
2V 3次元画像処理 (学生セッション)	47
3V マルチエージェント (1) (学生セッション)	47
4V マルチエージェント (2) (学生セッション)	47
5V ニューラルネット・学習 (学生セッション)	47
6V ニューラルネット (学生セッション)	47
1W 画像認識・合成 (学生セッション)	47
2W 画像処理基礎 (学生セッション)	48
3W 動画像・メディア理解 (学生セッション)	48
4W 動画像・追跡 (学生セッション)	48
5W 人物・行動の認識 (学生セッション)	48
6W 画像データベース (学生セッション)	48
1X ロボット (学生セッション)	48
2X 音楽情報科学 (1) 音楽音響 (学生セッション)	49
3X 音楽情報科学 (2) 自動作曲・楽曲分析 (学生セッション)	49
4X 音楽情報科学 (3) 検索・インタフェース (学生セッション)	49
5X 音楽情報科学 (4) 表情付け・認知 (学生セッション)	49
6X 音声・言語処理 (学生セッション)	49
5ZL 視線解析 (学生セッション)	49
デモセッション	49

(第3分冊 ネットワーク)

4D マルチメディア通信システム (一般セッション)	50
5D ユビキタス (一般セッション)	50
6D 通信方式 (2) (一般セッション)	50
1E ITS (一般セッション)	50
2E ネットワークハードウェア・ソフトウェア (一般セッション)	50
3E センサネットワーク (2) (一般セッション)	50
1Y ネットワーク構築・管理技術 (学生セッション)	50
2Y システム運用・管理 (学生セッション)	50
3Y 画像符号化とその応用システム (学生セッション)	51
4Y 携帯電話向けアプリケーション (学生セッション)	51
5Y 分散システム・アプリケーション (学生セッション)	51
6Y ネットワーク応用 (学生セッション)	51
1Z P2P (学生セッション)	51
2Z センサネットワーク (学生セッション)	51
3Z ネットワークセキュリティ (学生セッション)	52
4Z アドホックネットワーク (学生セッション)	52
5Z 通信方式 (1) (学生セッション)	52
6Z 無線とモビリティ技術 (学生セッション)	52
1ZA ナビゲーション (学生セッション)	52
2ZA 位置情報 (学生セッション)	52
3ZA ITS ネットワーク・地図情報 (学生セッション)	52
4ZA ITS 運転支援・画像処理 (学生セッション)	53
5ZA 実空間指向ネットワーク (学生セッション)	53
6ZA マルチメディア通信 (学生セッション)	53
デモセッション	53

(第3分冊 セキュリティ)

4E セキュリティ (1) (一般セッション)	53
5E セキュリティ (2) (一般セッション)	53
1ZB セキュリティ (1) (学生セッション)	53
2ZB セキュリティ (2) (学生セッション)	54
3ZB セキュリティ (3) (学生セッション)	54
4ZB セキュリティ (4) (学生セッション)	54
5ZB セキュリティ (5) (学生セッション)	54

(第4分冊 インタフェース)

6E ことばと文化 (一般セッション).....55
1F ジェスチャ・手描き (一般セッション).....55
2F CG:一般 (一般セッション).....55
3F ユーザビリティ・ユーザモデル (一般セッション).....55
4F ネットワークと Web (一般セッション).....55
5F 情報共有 (一般セッション).....55
6F オフィス・教育支援 (一般セッション).....55
6ZB 視線・顔検出・脳計測 (学生セッション).....55
1ZC VR空間と AR (学生セッション).....56
2ZC インタラクティブデザイン (学生セッション).....56
3ZC グループ意志決定支援 (学生セッション).....56
4ZC コンテンツ& Web (学生セッション).....56
5ZC モバイル (学生セッション).....56
6ZC コミュニケーション (学生セッション).....56
1ZD 触れる (学生セッション).....57
2ZD 動作認識・大画面 (学生セッション).....57
3ZD 日常と感性 (学生セッション).....57
4ZD 視覚化と UI設計 (学生セッション).....57
5ZD 障害者補助・福祉 (学生セッション).....57
6ZD アバタ・エージェント・ロボット (学生セッション).....57
1ZE CG:モデリング, 探索 (学生セッション).....57
2ZE CG:可視化 (学生セッション).....58
3ZE CG:変形, 流体 (学生セッション).....58
4ZE CG:(N) PR (学生セッション).....58
5ZE 会議支援 (学生セッション).....58
6ZE コミュニケーション技術と SNS (学生セッション).....58
1ZF CG:面 (学生セッション).....58
2ZM 協調作業支援 (学生セッション).....58
4ZM 教育サービス支援 (学生セッション).....59
デモセッション.....59

(第4分冊 コンピュータと人間社会)

1G 組織・社会と情報 (一般セッション).....59
2G 地域情報システム (一般セッション).....59
3G 情報教育 (一般セッション).....59
4G eラーニング (2) (一般セッション).....59
5G 学習活動 (一般セッション).....59
6G 教育支援 (3) (一般セッション).....59
1H 画像・制御の情報システムへの応用 (一般セッション).....60
2H ライブラリモデル, 資料読解支援 (一般セッション).....60
3H 情報システムとアーキテクチャ (一般セッション).....60
4H 情報・データの管理 (一般セッション).....60
5H 危機管理情報システム (一般セッション).....60
2ZF 健康・ケア情報システム (学生セッション).....60
3ZF 情報システムとアーキテクチャ (学生セッション).....60
4ZF 情報システムとインタラクション (学生セッション).....60
5ZF 産業システムと IT スキル (学生セッション).....61
6ZF テキストマイニングの応用 (学生セッション).....61
1ZG 教育支援 (1) (学生セッション).....61
2ZG 教育支援 (2) (学生セッション).....61
3ZG eラーニング (1) (学生セッション).....61
4ZG 教科学習 (学生セッション).....61
5ZG 幼児教育 (学生セッション).....62
6ZG 学習支援システム (学生セッション).....62
1ZH スキルサイエンスとエデュテイメント (学生セッション).....62
2ZH プログラム教育 (学生セッション).....62
3ZH 医療分野への応用 (学生セッション).....62
4ZH ゲーム AI (学生セッション).....62
5ZH 物語の分析と生成 (学生セッション).....63
6ZH エンタテインメントコンピューティング一般 (学生セッション).....63
1ZJ 行動・資料の分析, 提案 (学生セッション).....63
2ZJ 人間行動, 障害等支援 (学生セッション).....63
3ZJ 災害情報システム (学生セッション).....63
5ZJ バイオ情報学 (学生セッション).....63
6ZL 情報システムの事例 (学生セッション).....63
5ZM 企業と情報システム (学生セッション).....64
デモセッション.....64

(第5分冊 「情報爆発」時代に向けた新しい IT 基盤技術)

1J 情報爆発時代における情報提示・センサネット・P2P (一般セッション).....65
2J 情報爆発時代におけるマルチメディアデータと交通情報システム (一般セッション).....65
3J 情報爆発時代における構造化文書とストレージ技術 (一般セッション).....65
4J 情報爆発時代におけるデータマイニング (一般セッション).....65
5J 情報爆発時代における Web および blog マイニング (一般セッション).....65
6J 情報爆発時代における情報検索・推薦技術および Web コミュニティ分析 (一般セッション).....65
1K 情報爆発時代における情報ガバナンス (一般セッション).....65
2K 情報爆発時代における実世界情報解析とロボット (一般セッション).....66
3K 情報爆発時代における相互コミュニケーション技術 (一般セッション).....66
4K 情報爆発時代における分散処理とセキュリティ (一般セッション).....66
5K 情報爆発時代における分散システム技術 (一般セッション).....66
6K 情報爆発時代におけるスーパーコンピューティング (一般セッション).....66
6ZJ 情報爆発時代における並列分散処理技術 (学生セッション).....66
2ZK 情報爆発時代におけるコンテンツ格納手段 (学生セッション).....66
3ZK 情報爆発時代における Web 技術および Web 情報抽出 (学生セッション).....66
4ZK 情報爆発時代におけるテキストデータ処理 (学生セッション).....67
5ZK 情報爆発時代におけるマルチメディアデータと位置依存情報処理 (学生セッション).....67
6ZK 情報爆発時代におけるストリームデータと実世界情報処理 (学生セッション).....67
1ZL 情報爆発時代における視覚情報処理 (学生セッション).....67
2ZL 情報爆発時代におけるコミュニケーション手法 (学生セッション).....67
3ZL 情報爆発時代における安全, 安心ネットワーク技術 (学生セッション).....67
4ZL 情報爆発時代におけるセンサネットワーク技術 (学生セッション).....68

(第5分冊 リーディングプロジェクト e-society)

1L リーディングプロジェクト e-society:高信頼性組み込みソフトウェア (1) (一般セッション).....68
2L リーディングプロジェクト e-society:高信頼性組み込みソフトウェア (2) (一般セッション).....68
3L リーディングプロジェクト e-society:自然な音声対話処理技術 (1) (一般セッション).....68
4L リーディングプロジェクト e-society:自然な音声対話処理技術 (2) (一般セッション).....68
5L リーディングプロジェクト e-society:Web アーカイブと Web データ解析技術 (一般セッション).....68
6L リーディングプロジェクト e-society:Storage Fusion (一般セッション).....69
3M リーディングプロジェクト e-society:高信頼プログラミング言語と構造化文書変換技術 (一般セッション).....69
4M リーディングプロジェクト e-society:高信頼ソフトウェア・WebWare 開発支援システム (一般セッション).....69
1ZK リーディングプロジェクト e-society:コードクローン検出によるソフトウェア開発技術 (学生セッション).....69

- インフォメーション -

■総受付（インフォメーションコーナー）総合研究棟 B 棟 1F ロビー

受付時間：13日（木）11:00-18:00 14日（金）8:30-17:00 15日（土）8:30-15:00
各種受付、講演論文集・CD-ROM販売、各種問合せ窓口

■大会本部・手荷物預かり 総合研究棟 B 棟 1F O110

臨時電話（FAX 兼用）029-856-1678（会期中のみ）

■聴講参加費【プログラム・参加章付き】（税込）

正会員：3,000円 正会員（CD-ROM付）：8,000円 一般非会員：6,000円
学生：無料（会員非会員問わず）

■講演論文集・CD-ROM（税込）

講演論文集セット（全論文集・CD-ROM・カバー付き）：43,000円
講演論文集各分冊：9,000円
講演論文集 CD-ROM：7,000円 *CD-ROMには一般講演全論文とプログラム収録

■懇親会

日時：3月14日（金）18:00-20:00
会場：3A棟 1F 第三食堂
参加費（税込）：社会人5,000円 学生3,000円

■その他お知らせ事項

【連絡掲示板】

大会会場での周知および伝言等は、総受付前に設置する「連絡掲示板」に掲示しますのでご注意ください。
各会場への個別の連絡や館内アナウンス等は致しません。

【無線 LAN コーナー】

利用可能エリア：2H棟 1F 第1イベント会場・2F 第2イベント会場、2B棟 1F 第二食堂、3A棟 1F 第三食堂
ご希望の方は、大会総受付（総合研究棟 B 棟 1F）に利用申込書がございますので必要事項をご記入のうえ
総受付に提出してください。利用申込書と引き換えにアカウントとパスワードを記載した用紙をお渡し致します。
なお、電源は提供しておりません。

【食堂】

2B棟 1F 第二食堂 営業時間 9:00～18:00
3A棟 1F 第三食堂 営業時間 11:00～14:00

【喫煙について】

以下の場所以外は全て禁煙です。

3B棟 1階 105前、3C棟 4階 405前、3D棟 4階 408前、理科系修士棟 B 棟 3階湯沸室前

■第70回全国大会サテライトイベント『ワクワク IT@あきば 2008』

大会開催の前日3月12日から、情報処理に関する「ワクワクする大型プロジェクト」が一堂に会し、展示・
実演等を行う「プロジェクトショーケース」と各プロジェクトに関する講演やセミナーを行う「プロジェクト
セッション」により、その成果や動向を紹介いたします。

開催日：平成20年3月12日（水）～13日（木）

会場：秋葉原コンベンションホール（ダイビル）[東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル]

参加費：無料

■第70回全国大会セカンドライフ会場

本大会では、セカンドライフ会場を開設しております。

セカンドライフ会場 <http://slurl.com/secondlife/Tokyo6/11/11/23>

■今後の全国大会・FIT 情報

FIT2008 第7回情報科学技術フォーラム

会期：2008年9月2日（火）～4日（木） 会場：慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス

第71回全国大会

会期：2009年3月10日（火）～12日（木） 会場：立命館大学 びわこ・くさつキャンパス

情報処理学会 第70回全国大会サテライトイベント
ワクワクIT@あきば2008
 情報社会の未来を予感する2日間

セッション：3月12日(水)

10:00-12:20 セッション1

『情報社会のディベンダブルリティ』

(独)科学技術振興機構 研究開発戦略センター

13:00-15:00 セッション2

『21世紀のディベンダブルシステムに向けて』

(独)科学技術振興機構 戦略的創造事業本部 (CREST)

15:15-16:45 セッション3

『これからの研究環境を変える Cyber Science Infrastructure』

国立情報学研究所

17:00-17:45 セッション4

『学と産の連携による安心・安全・高信頼な基盤ソフトウェアの先進的開発』

文部科学省リーディングプロジェクト

『e-society 基盤ソフトウェアの総合開発』

18:00-19:00 特別セッション1

最新アキバ情報 (予定)

セッション：3月13日(木)

9:30-10:15 セッション5

『ワクワクIT技術の創出@情報爆発時代』

文部科学省科学研究補助金特定領域研究

『情報爆発に向けた新しいIT基盤技術の研究』

10:30-12:30 セッション6

『文化を伝える・利用する

～知的資産のための技術基盤～』

文部科学省『知的資産の電子的な保存・活用を支援するソフトウェア技術基盤の構築』

13:00-15:00 セッション7

『ユニバーサルコミュニケーションの実現を目指して』

(独)情報通信研究機構

知識創成コミュニケーション研究センター

15:15-16:15 特別セッション2

『情報は我らを豊かにする

～セカンドライフサテライト中継～』

長尾真氏(国立国会図書館 館長)サテライト講演

16:30-18:00 セッション8

『暮らしを守る!法令工学って何だろう?』

北陸先端科学技術大学院大学 21世紀COEプロジェクト『検証進化可能電子社会』

18:15-19:15 セッション9

『生活者支援のための知的コンテンツ基盤 ～意味に基づいて映像コンテンツを制作し利用する～』

文部科学省科学技術振興調整費

『生活者支援のための知的コンテンツ基盤』

2008年3月—秋葉原に、日本を代表するITのナショナルプロジェクトが集います。

『ワクワクIT2008@あきば』では、情報処理に関するナショナルプロジェクトの最前線を披露いたします。いずれも、現在進行中の先端プロジェクトです。皆様を未来社会へといざなうのは、日本を代表する研究者、技術者達。プロジェクトの現場では何が起きているのか。そして近未来の情報社会はどのように変わろうとしているのか。研究・開発中のプロトタイプを持ち込んだデモンストレーションや、当事者が語る開発秘話を通じて、情報社会の未来を予感する2日間です。

『ワクワクIT@あきば2008』では、2種類のメニューをご用意して、みなさまに未来を予感していただきます。

プロジェクトセッション：研究・開発の最前線を知るトークセッション

プロジェクトショーケース：研究成果・プロトタイプを体感する実演・展示ショーケース

ショーケース

- 国立情報学研究所
『Cyber Science Infrastructure: CSI で大きく変わるこれからの研究環境』
- 北陸先端科学技術大学院大学 21世紀COEプロジェクト『検証進化可能電子社会』
『法令工学で読み解く法律の健全性』
- 文部科学省リーディングプロジェクト
『e-society 基盤ソフトウェアの総合開発』
『生産効率の向上・高信頼化・安全・便利をもたらす基盤ソフトウェア』
- JST-CREST『実用化を目指した組込みシステム用ディベンダブル・オペレーティングシステム』研究領域
JST-CREST『ディベンダブル VLSI システムの基盤技術』研究領域
『ディベンダブル VLSI&ディベンダブル組込み OS』
- 文部科学省『知的資産の電子的な保存・活用を支援するソフトウェア技術基盤の構築』
『文化を伝える・利用する
-知的資産のための技術基盤-』
- 情報通信研究機構
知識創成コミュニケーション研究センター
『ユニバーサルコミュニケーションの実現を目指して』
- 文部科学省科学技術振興調整費『生活者支援のための知的コンテンツ基盤』
『生活者支援のための知的コンテンツ基盤 — 意味に基づいて映像コンテンツを制作し利用する —』
- 産業技術総合研究所 グリッド研究センター
『必要なときに必要なだけ -グリッド技術を用いた仮想データセンターと柔らかなSOA』
『地球を知るために世界をつなぐ - 地球観測グリッド GEO Grid』
- 文部科学省科学研究補助金特定領域研究『情報爆発時代に向けた新しいIT基盤技術の研究』
『ワクワクする研究支援共通基盤プラットフォーム：オンリーワンを目指して』
- 情報大航海プロジェクト
『情報大航海プロジェクトの紹介』
- (独)科学技術振興機構 CREST『情報社会』研究事務所
『新たな高速大容量コンピューティング技術の創製を目指して』

交通のご案内



- JR 秋葉原駅 ————— 徒歩 1分
- 東京メトロ銀座線 末広町駅 — 徒歩 3分
- 東京メトロ日比谷線 秋葉原駅 — 徒歩 4分
- つくばエクスプレス 秋葉原駅 — 徒歩 3分

会 期：2008年3月12日(水) 10:00~19:00
 3月13日(木) 9:30~19:15

会 場：秋葉原コンベンションホール
 (秋葉原ダイビル2階)
 東京都千代田区外神田1-18-13

入場料：無料

事前参加申込締切：3月3日(月)

主 催：社団法人 情報処理学会

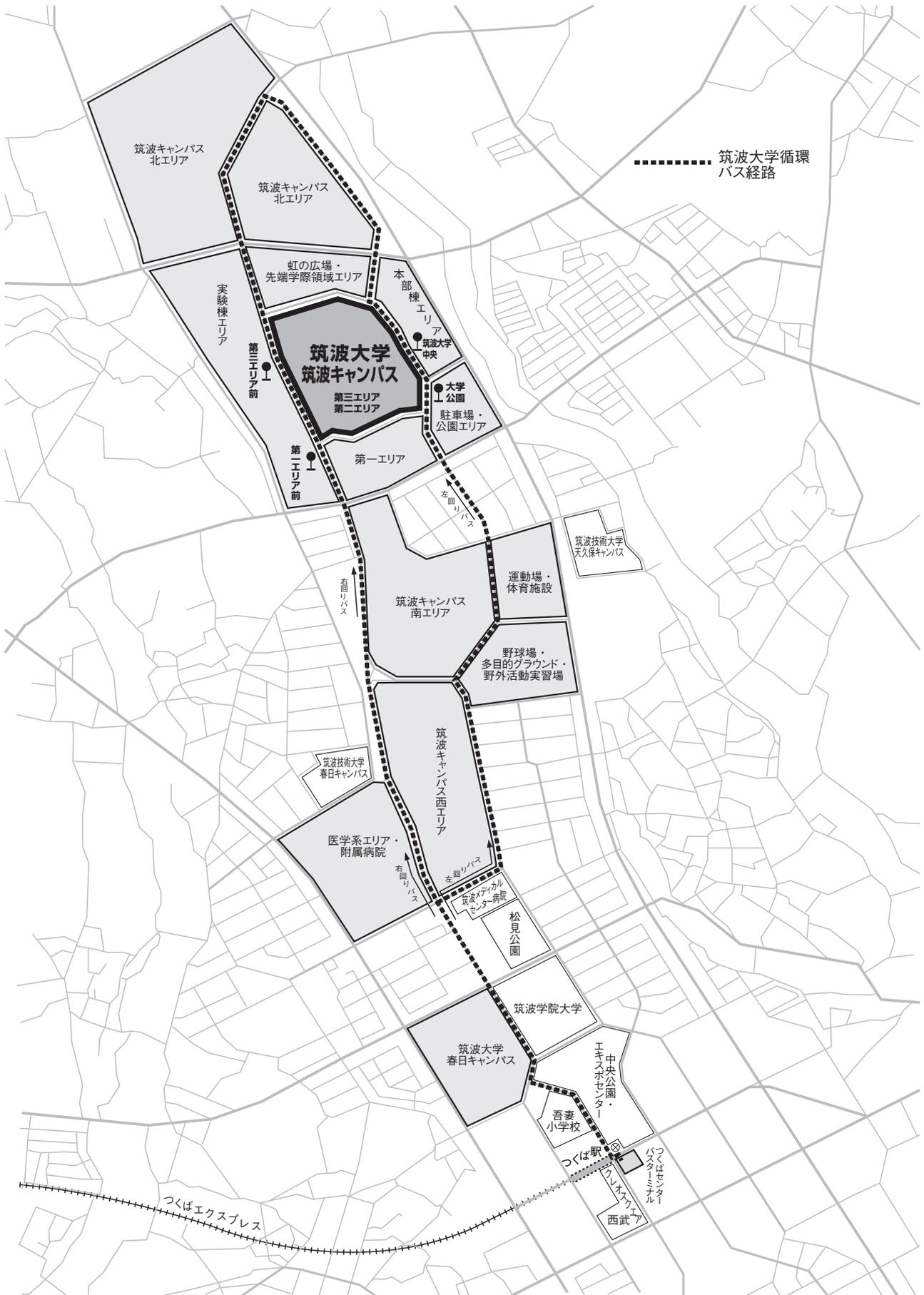
問合せ：『ワクワクIT@あきば2008』事務局

70wakuwakulT@ipsj.or.jp

URL：http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/

taikai/70kai/wakuwakulT/

筑波大学周辺案内図



筑波大学循環バス時刻表

筑波大学循環バス(右回り) 3/13(木), 14(金)

つくばセンター	第一エリア前	第三エリア前	筑波大学中央
6:00	→ 6:08	→ 6:09	→ 6:15
6:40	→ 6:48	→ 6:49	→ 6:55
7:20	→ 7:28	→ 7:29	→ 7:35
7:50	→ 7:58	→ 7:59	→ 8:05
8:00	→ 8:08	→ 8:09	→ 8:15
8:20	→ 8:28	→ 8:29	→ 8:35
8:40	→ 8:48	→ 8:49	→ 8:55
9:00	→ 9:08	→ 9:09	→ 9:15
9:20	→ 9:28	→ 9:29	→ 9:35
9:40	→ 9:48	→ 9:49	→ 9:55
10:00	→ 10:08	→ 10:09	→ 10:15
10:20	→ 10:28	→ 10:29	→ 10:35
10:40	→ 10:48	→ 10:49	→ 10:55
11:00	→ 11:08	→ 11:09	→ 11:15
11:20	→ 11:28	→ 11:29	→ 11:35
11:40	→ 11:48	→ 11:49	→ 11:55
12:00	→ 12:08	→ 12:09	→ 12:15
12:20	→ 12:28	→ 12:29	→ 12:35
12:40	→ 12:48	→ 12:49	→ 12:55
13:00	→ 13:08	→ 13:09	→ 13:15
13:20	→ 13:28	→ 13:29	→ 13:35
13:40	→ 13:48	→ 13:49	→ 13:55
14:00	→ 14:08	→ 14:09	→ 14:15
14:20	→ 14:28	→ 14:29	→ 14:35
14:40	→ 14:48	→ 14:49	→ 14:55
15:00	→ 15:08	→ 15:09	→ 15:15
15:20	→ 15:28	→ 15:29	→ 15:35
15:40	→ 15:48	→ 15:49	→ 15:55
16:00	→ 16:08	→ 16:09	→ 16:15
16:20	→ 16:28	→ 16:29	→ 16:35
16:40	→ 16:48	→ 16:49	→ 16:55
17:00	→ 17:08	→ 17:09	→ 17:15
17:20	→ 17:28	→ 17:29	→ 17:35
17:40	→ 17:48	→ 17:49	→ 17:55
18:00	→ 18:08	→ 18:09	→ 18:15
18:20	→ 18:28	→ 18:29	→ 18:35
18:40	→ 18:48	→ 18:49	→ 18:55
19:00	→ 19:08	→ 19:09	→ 19:15
19:20	→ 19:28	→ 19:29	→ 19:35
19:40	→ 19:48	→ 19:49	→ 19:55
20:00	→ 20:08	→ 20:09	→ 20:15
20:20	→ 20:28	→ 20:29	→ 20:35
20:40	→ 20:48	→ 20:49	→ 20:55
21:00	→ 21:08	→ 21:09	→ 21:15
21:40	→ 21:48	→ 21:49	→ 21:55
22:20	→ 22:28	→ 22:29	→ 22:35

筑波大学循環バス(左回り) 3/13(木), 14(金)

つくばセンター	筑波大学中央	第三エリア前	第一エリア前
6:20	→ 6:30	→ 6:36	→ 6:37
7:00	→ 7:10	→ 7:16	→ 7:17
7:40	→ 7:50	→ 7:56	→ 7:57
8:10	→ 8:20	→ 8:26	→ 8:27
8:30	→ 8:40	→ 8:46	→ 8:47
8:50	→ 9:00	→ 9:06	→ 9:07
9:10	→ 9:20	→ 9:26	→ 9:27
9:30	→ 9:40	→ 9:46	→ 9:47
9:50	→ 10:00	→ 10:06	→ 10:07
10:10	→ 10:20	→ 10:26	→ 10:27
10:30	→ 10:40	→ 10:46	→ 10:47
10:50	→ 11:00	→ 11:06	→ 11:07
11:10	→ 11:20	→ 11:26	→ 11:27
11:30	→ 11:40	→ 11:46	→ 11:47
11:50	→ 12:00	→ 12:06	→ 12:07
12:10	→ 12:20	→ 12:26	→ 12:27
12:30	→ 12:40	→ 12:46	→ 12:47
12:50	→ 13:00	→ 13:06	→ 13:07
13:10	→ 13:20	→ 13:26	→ 13:27
13:30	→ 13:40	→ 13:46	→ 13:47
13:50	→ 14:00	→ 14:06	→ 14:07
14:10	→ 14:20	→ 14:26	→ 14:27
14:30	→ 14:40	→ 14:46	→ 14:47
14:50	→ 15:00	→ 15:06	→ 15:07
15:10	→ 15:20	→ 15:26	→ 15:27
15:30	→ 15:40	→ 15:46	→ 15:47
15:50	→ 16:00	→ 16:06	→ 16:07
16:10	→ 16:20	→ 16:26	→ 16:27
16:30	→ 16:40	→ 16:46	→ 16:47
16:50	→ 17:00	→ 17:06	→ 17:07
17:10	→ 17:20	→ 17:26	→ 17:27
17:30	→ 17:40	→ 17:46	→ 17:47
17:50	→ 18:00	→ 18:06	→ 18:07
18:10	→ 18:20	→ 18:26	→ 18:27
18:30	→ 18:40	→ 18:46	→ 18:47
18:50	→ 19:00	→ 19:06	→ 19:07
19:10	→ 19:20	→ 19:26	→ 19:27
19:30	→ 19:40	→ 19:46	→ 19:47
19:50	→ 20:00	→ 20:06	→ 20:07
20:10	→ 20:20	→ 20:26	→ 20:27
20:30	→ 20:40	→ 20:46	→ 20:47
20:50	→ 21:00	→ 21:06	→ 21:07
21:20	→ 21:30	→ 21:36	→ 21:37
22:00	→ 22:10	→ 22:16	→ 22:17
22:40	→ 22:50	→ 22:56	→ 22:57

循環バスは、右回りと左回りで運行しております。
(右回りの方が大会会場まで早く到着します)
右回りをご乗車いただき、「第一エリア前」で降りて下さい。(左回りに乗車された場合は、「大学公園」または「筑波大学中央」で降りて下さい)

※大会期間中は、左記時刻表の時間以外にも臨時バスの増便を予定しております。

乗車賃：260円

乗車賃：260円

つくばセンター
→ 右回り

筑波大学中央
第三エリア前
第一エリア前

つくばセンター
→ 左回り

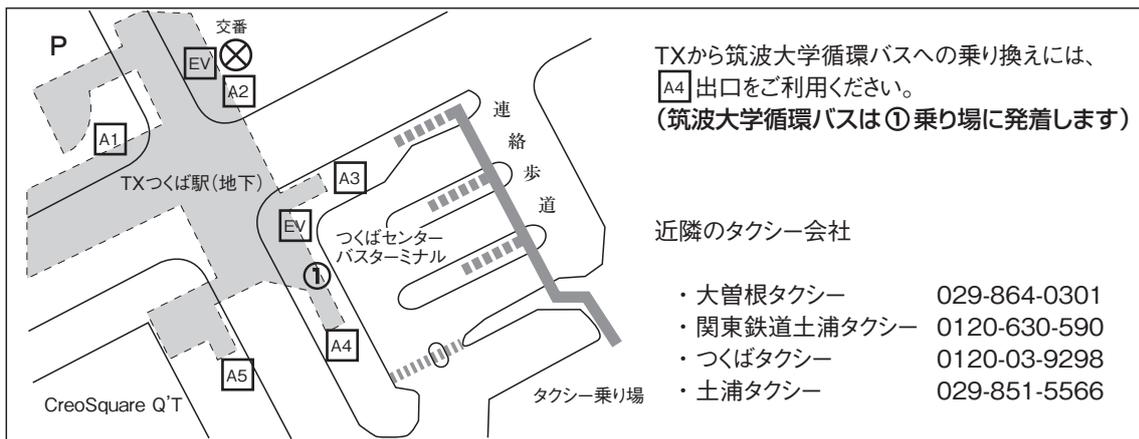
第一エリア前
第三エリア前
筑波大学中央

筑波大学循環バス(右回り) 3/15(土)

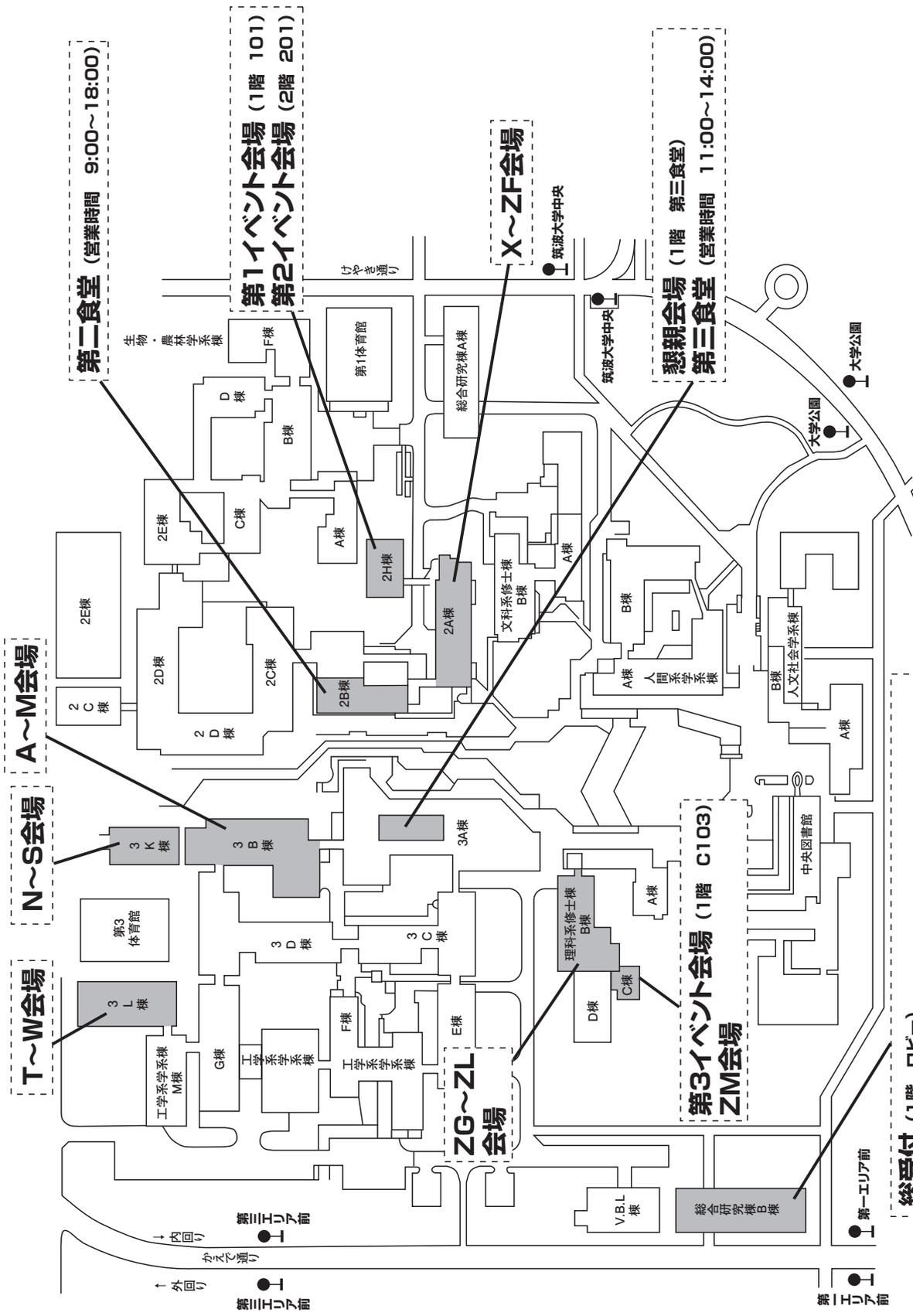
つくばセンター	第一エリア前	第三エリア前	筑波大学中央
6:20	→ 6:30	→ 6:36	→ 6:37
7:00	→ 7:10	→ 7:16	→ 7:17
7:40	→ 7:50	→ 7:56	→ 7:57
8:20	→ 8:30	→ 8:36	→ 8:37
9:00	→ 9:10	→ 9:16	→ 9:17
9:40	→ 9:50	→ 9:56	→ 9:57
10:20	→ 10:30	→ 10:36	→ 10:37
11:00	→ 11:10	→ 11:16	→ 11:17
11:40	→ 11:50	→ 11:56	→ 11:57
12:20	→ 12:30	→ 12:36	→ 12:37
13:00	→ 13:10	→ 13:16	→ 13:17
13:40	→ 13:50	→ 13:56	→ 13:57
14:20	→ 14:30	→ 14:36	→ 14:37
15:00	→ 15:10	→ 15:16	→ 15:17
15:40	→ 15:50	→ 15:56	→ 15:57
16:20	→ 16:30	→ 16:36	→ 16:37
17:00	→ 17:10	→ 17:16	→ 17:17
17:40	→ 17:50	→ 17:56	→ 17:57
18:20	→ 18:30	→ 18:36	→ 18:37
19:00	→ 19:10	→ 19:16	→ 19:17
19:40	→ 19:50	→ 19:56	→ 19:57
20:20	→ 20:30	→ 20:36	→ 20:37
21:00	→ 21:10	→ 21:16	→ 21:17
21:40	→ 21:50	→ 21:56	→ 21:57
22:20	→ 22:30	→ 22:36	→ 22:37

筑波大学循環バス(左回り) 3/15(土)

つくばセンター	筑波大学中央	第三エリア前	第一エリア前
6:00	→ 6:08	→ 6:09	→ 6:15
6:40	→ 6:48	→ 6:49	→ 6:55
7:20	→ 7:28	→ 7:29	→ 7:35
8:00	→ 8:08	→ 8:09	→ 8:15
8:40	→ 8:48	→ 8:49	→ 8:55
9:20	→ 9:28	→ 9:29	→ 9:35
10:00	→ 10:08	→ 10:09	→ 10:15
10:40	→ 10:48	→ 10:49	→ 10:55
11:20	→ 11:28	→ 11:29	→ 11:35
12:00	→ 12:08	→ 12:09	→ 12:15
12:40	→ 12:48	→ 12:49	→ 12:55
13:20	→ 13:28	→ 13:29	→ 13:35
14:00	→ 14:08	→ 14:09	→ 14:15
14:40	→ 14:48	→ 14:49	→ 14:55
15:20	→ 15:28	→ 15:29	→ 15:35
16:00	→ 16:08	→ 16:09	→ 16:15
16:40	→ 16:48	→ 16:49	→ 16:55
17:20	→ 17:28	→ 17:29	→ 17:35
18:00	→ 18:08	→ 18:09	→ 18:15
18:40	→ 18:48	→ 18:49	→ 18:55
19:20	→ 19:28	→ 19:29	→ 19:35
20:00	→ 20:08	→ 20:09	→ 20:15
20:40	→ 20:48	→ 20:49	→ 20:55
21:20	→ 21:28	→ 21:29	→ 21:35
22:00	→ 22:08	→ 22:09	→ 22:15
22:40	→ 22:48	→ 22:49	→ 22:55

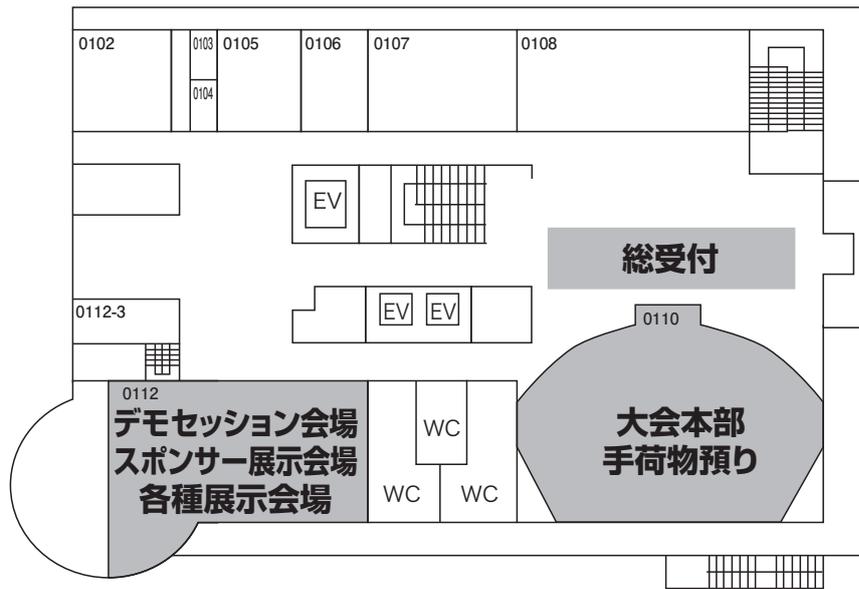


筑波大学 筑波キャンパス図



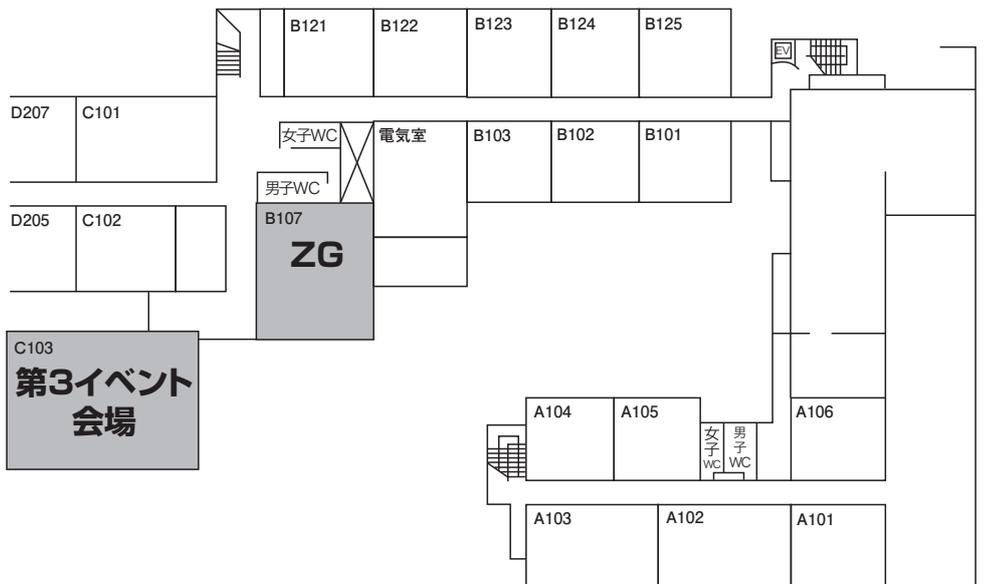
総合研究棟 B棟

1F

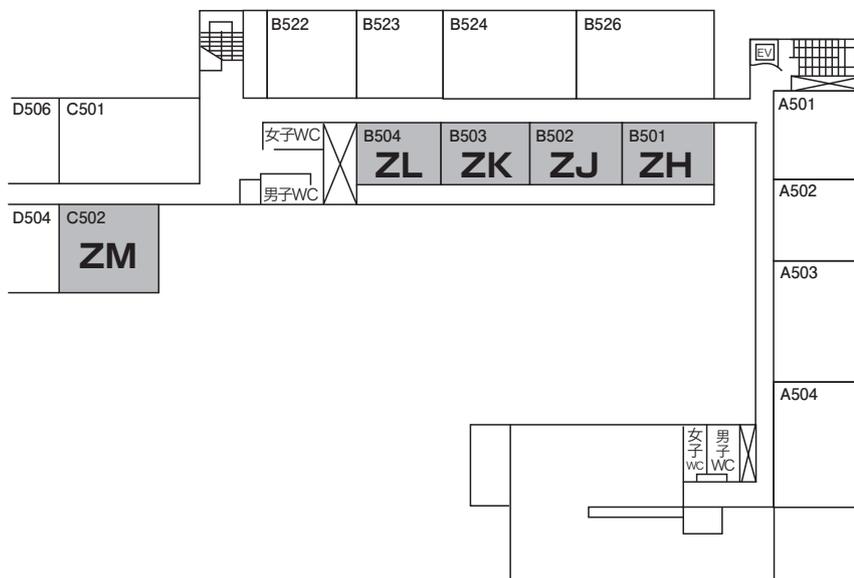


理科系修士棟

1F

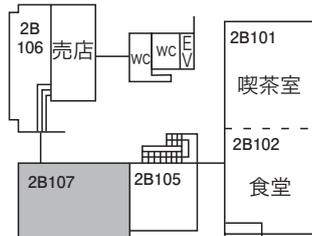


5F

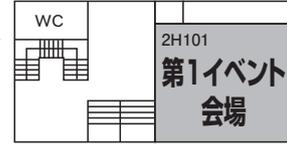


1F

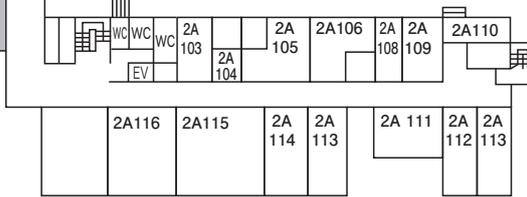
2B棟



2H棟

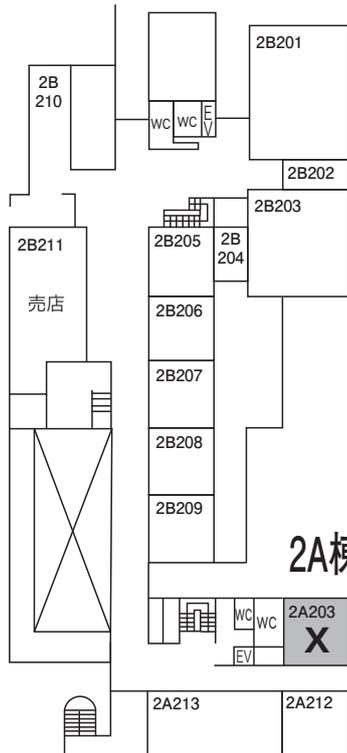


2A棟



2F

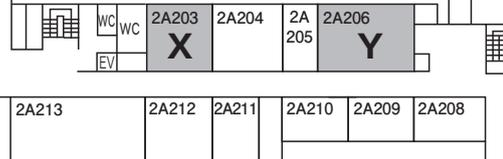
2B棟



2H棟

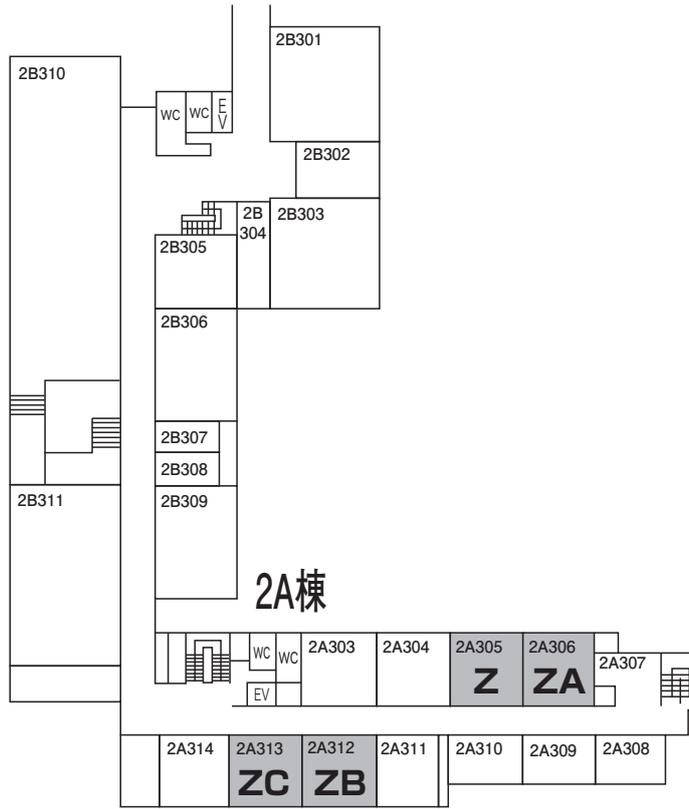


2A棟



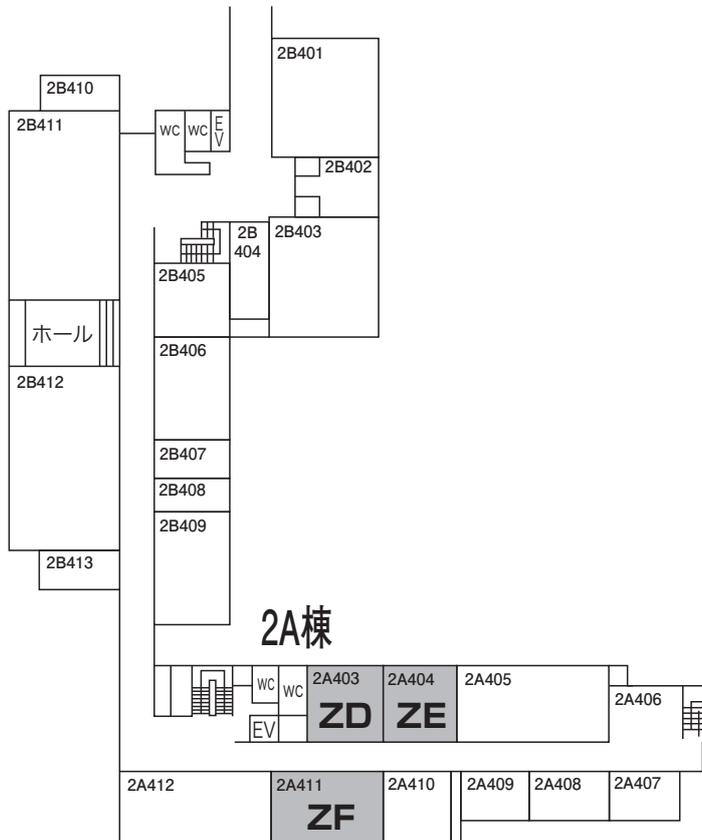
3F

2B棟

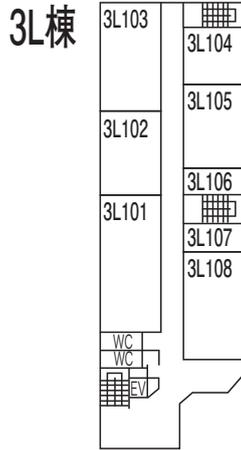


4F

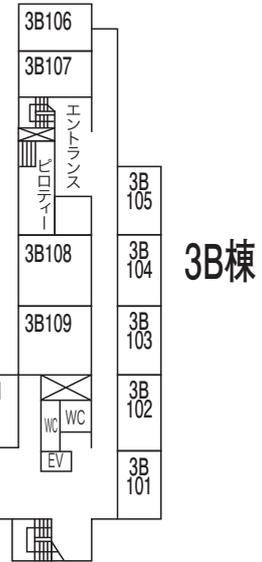
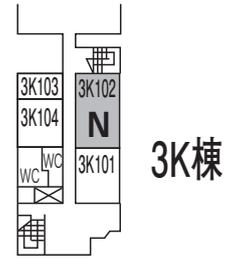
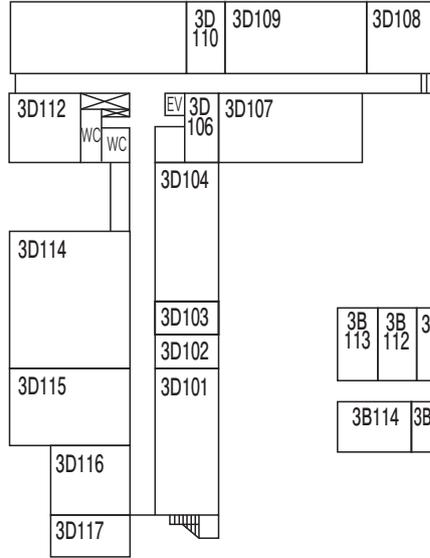
2B棟



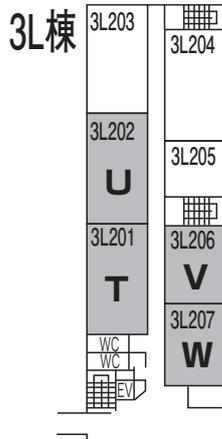
1F



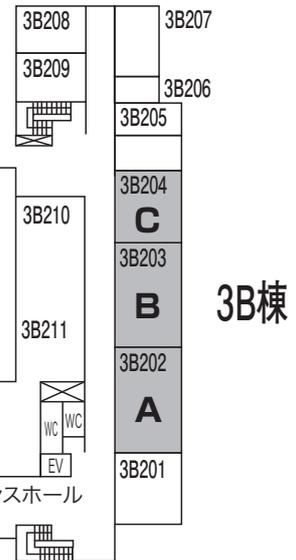
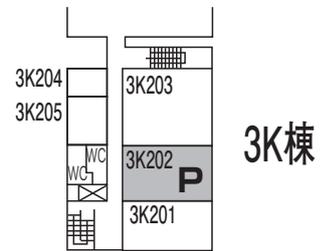
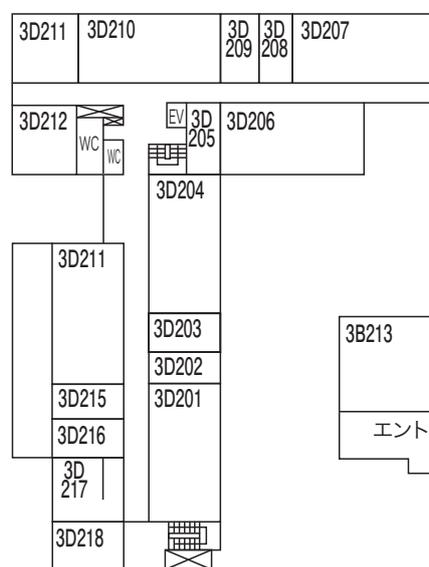
3D棟



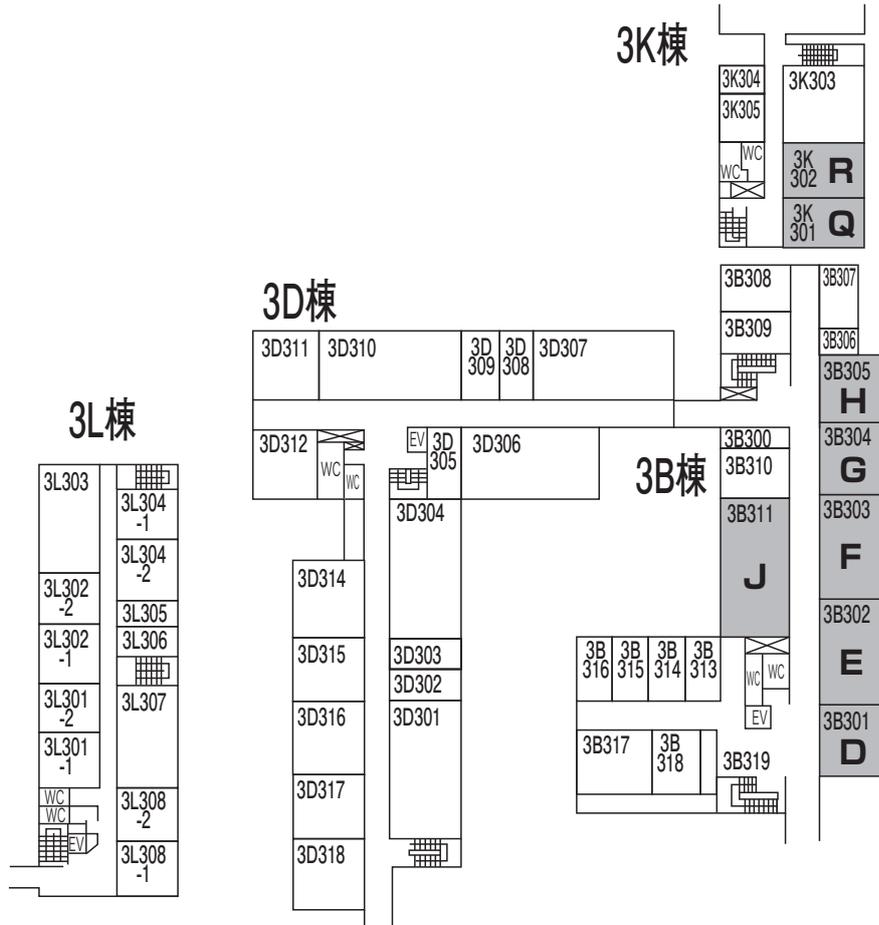
2F



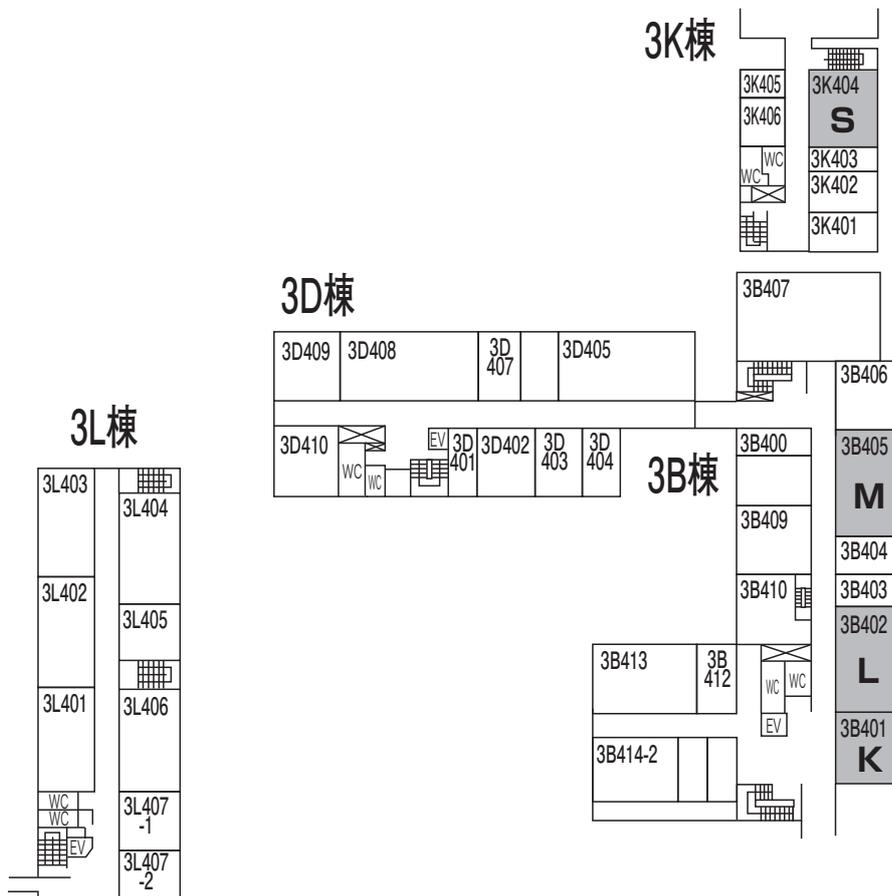
3D棟



3F

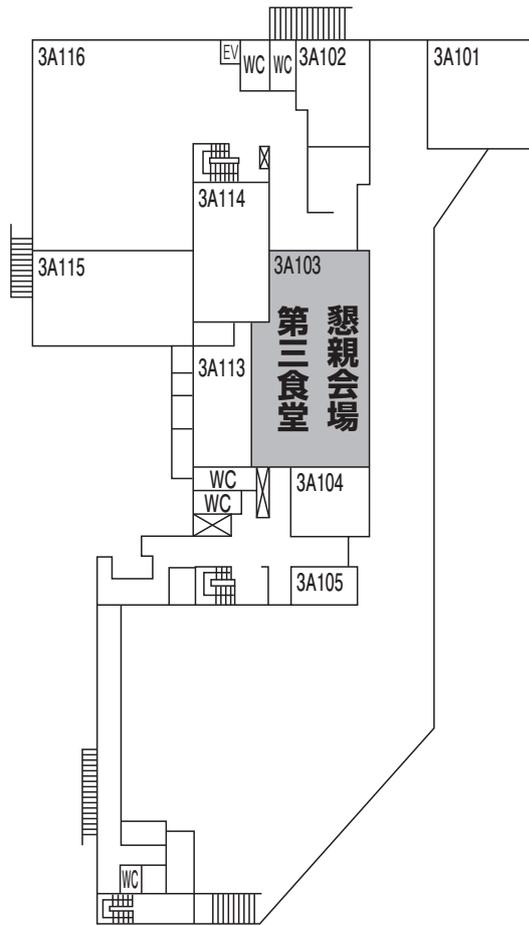


4F



3A棟

1F



情報処理学会 第70回全国大会 タイムテーブル

日	会場 時間	第1イベント会場	第2イベント会場	第3イベント会場	一般セッション A	一般セッション B	一般セッション C
		2H棟 1階 101教室	2H棟 2階 201教室	理科系修士棟C棟 1階 C103教室	3B棟 2階 3B202教室	3B棟 2階 3B203教室	3B棟 2階 3B204教室
3月13日 (木)	13:00	特別セッション(1) ビタッとわかる ICカードが生み出す未来社会	シンポジウム(1) 超臨場感コミュニケーションの 動向と将来展望 【第一部】	シンポジウム(4) 情報専門学科における カリキュラム標準[J07] 最終報告 【第一部】	アーキテクチャと デザイン 鳥居 淳 (NEC) ①	要求、開発手法、 開発環境 中谷多哉子 (筑波大) ①	社内文書検索システム 天笠 俊之 (筑波大) ①
	15:00	23	31	35	38	40	42
	15:15	招待講演(1) 情報は我らを豊かにする 長尾 真 (国立国会図書館 館長)					
	16:15	22					
3月14日 (金)	16:30	2	シンポジウム(1) 超臨場感コミュニケーションの 動向と将来展望 【第二部】	シンポジウム(4) 情報専門学科における カリキュラム標準[J07] 最終報告 【第二部】	HPCと仮想化技術 長谷川秀彦 (筑波大) ①	組み込み、品質 中島 震 (国立情報学研) ①	Webサービスと アーキテクチャ 山田 隆亮 (日立) ①
	18:30		32	36	38	40	42
	9:30	特別セッション(2) ソフトウェア公開...その前に	特別セッション(6) 仮想化技術が変えるITの未来		システムソフトウェアと ストレージ 早川 栄一 (拓殖大) ①	データベース一般 遠山 元道 (慶大) ①	画像処理・認識 酒井 智弥 (千葉大) ②
	12:00	24	29		38	41	45
3月14日 (金)	13:00	大会挨拶 表彰式 認証式					
	13:50	招待講演(2) Exciting Technologies: Pattern Recognition to Enhance the Health, Security, and Quality of Life Rangachar Kasturi (IEEE-CS会長)					
	15:15	22					
	15:30	特別セッション(3) 超ハイエンドコンピューティングへの 挑戦	シンポジウム(2) 私の詩と真実		仮想化技術(2) 追川 修一 (筑波大) ①	Webデザイン技術 高橋 慈子 (ハーティネス) ①	画像処理システム 大隈 隆史 (産総研) ②
17:30	26	33		38	41	45	
3月15日 (土)	9:30	特別セッション(4) 地球にやさしい情報システム -持続可能なIT社会を目指して-	シンポジウム(3) 優秀情報処理教育紹介		数理モデル化と 問題解決 古瀬 慶博 (三菱スペース ソフトウェア) ①	コンテンツ推薦 出羽 達也 (東芝) ①	複雑系 片上 大輔 (東工大) ②
	12:00	27	34		39	41	45
	13:00	招待講演(3) Second Life: Real Technical Challenges and Solutions from the Virtual World Ian Wilkes (Linden Lab, VP of Systems Engineering)					
	14:15	22					
3月15日 (土)	14:30	特別セッション(5) 2015年へのセンサネットワーク			グラフとネットワーク 山本 雅人 (北大) ①	データベース アーキテクチャ 井上 潮 (電機大) ①	ニューラルネット・ マルチエージェント Pitoyo Hartono (はこだて未来大) ②
	17:00	28			40	42	45

※表中の○囲み数字は講演論文集の掲載分冊番号です。また、右下の数字は当プログラム冊子の詳細掲載ページ番号です。

情報処理学会 第70回全国大会

日	会場 時間	一般セッション D 3B棟 3階 3B301教室	一般セッション E 3B棟 3階 3B302教室	一般セッション F 3B棟 3階 3B303教室	一般セッション G 3B棟 3階 3B304教室	一般セッション H 3B棟 3階 3B305教室	一般セッション J 3B棟 3階 3B311教室	一般セッション K 3B棟 4階 3B401教室	一般セッション L 3B棟 4階 3B402教室
		3月13日(木)	13:00	音楽情報科学 平賀 瑠美 (筑波技術大) ② 45	ITS 屋代 智之 (千葉工大) ③ 50	ジェスチャ・手描き 寺田 実 (電通大) ④ 55	組織・社会と情報 木野 泰伸 (筑波大) ④ 59	画像・制御の 情報システムへの 応用 金田 重郎 (同志社大) ④ 60	情報爆発時代における 情報提示・ センサネット・P2P 川島 英之 (筑波大) ⑤ 65
	15:00								
	15:15								
	16:15								
	16:30	音声対話・翻訳 松原 茂樹 (名大) ② 45	ネットワーク ハードウェア・ ソフトウェア 西木 健哉 (日立) ③ 50	CG：一般 佐藤 高 (神奈川工科大) ④ 55	地域情報システム 阿部 昭博 (岩手県大) ④ 59	ライブラリモデル、 資料読解支援 相田 満 (国文学研究資料館) ④ 60	情報爆発時代における マルチメディアデータと 交通情報システム 小林 隆志 (名大) ⑤ 65	情報爆発時代における 実世界情報解析と ロボット 久野 義徳 (埼玉大) ⑤ 66	リーディングプロジェクト e-society：高信頼性 組み込みソフトウェア(2) 青木 利晃 (北陸先端大) ⑤ 68
	18:30								
3月14日(金)	9:30	自然言語処理 藤井 敦 (筑波大) ② 45	センサネットワーク(2) 戸辺 義人 (電機大) ③ 50	ユーザビリティ・ ユーザモデル 来住 伸子 (津田塾大) ④ 55	情報教育 兼宗 進 (一橋大) ④ 59	情報システムと アーキテクチャ 富澤 眞樹 (前橋工科大) ④ 60	情報爆発時代における 構造化文書と ストレージ技術 石川 佳治 (名大) ⑤ 65	情報爆発時代における 相互コミュニケーション 技術 角 康之 (京大) ⑤ 66	リーディングプロジェクト e-society：自然な 音声対話処理技術(1) 猿渡 洋 (奈良先端大) ⑤ 68
	12:00								
	13:00								
	13:50								
	14:00								
	15:15								
	15:30	マルチメディア 通信システム 甲藤 二郎 (早大) ③ 50	セキュリティ(1) 栃塚 孝也 (日大) ③ 53	ネットワークとWeb 綾塚 祐二 (ソニーCSL) ④ 55	eラーニング(2) 中村 純 (広島大) ④ 59	情報・データの管理 神沼 靖子 (IPSFフェロー) ④ 60	情報爆発時代における データマイニング 小口 正人 (お茶の水女子大) ⑤ 65	情報爆発時代における 分散処理と セキュリティ 遠藤 敏夫 (東工大) ⑤ 66	リーディングプロジェクト e-society：自然な 音声対話処理技術(2) 河原 達也 (京大) ⑤ 68
	17:30								
3月15日(土)	9:30	ユビキタス 安東 孝二 (東大) ③ 50	セキュリティ(2) 満保 雅浩 (筑波大) ③ 53	情報共有 葛岡 英明 (筑波大) ④ 55	学習活動 福原 美三 (慶大) ④ 59	危機管理情報 システム 畑山 満則 (京大) ④ 60	情報爆発時代における Webおよび blogマイニング 中島 伸介 (奈良先端大) ⑤ 65	情報爆発時代における 分散システム技術 田浦健次朗 (東大) ⑤ 66	リーディングプロジェクト e-society：Webアーカイブと Webデータ解析技術 豊田 正史 (東大) ⑤ 68
	12:00								
	13:00								
	14:15								
	14:30	通信方式(2) 佐藤 聡 (筑波大) ③ 50	ことばと文化 楠 房子 (多摩美大) ④ 55	オフィス・教育支援 高橋 伸 (筑波大) ④ 55	教育支援(3) 角田 博保 (電通大) ④ 59		情報爆発時代における 情報検索・推薦技術および Webコミュニティ分析 山名 早人 (早大) ⑤ 65	情報爆発時代における スーパーコンピューティング 佐藤 三久 (筑波大) ⑤ 66	リーディングプロジェクト e-society：Storage Fusion 中野美由紀 (東大) ⑤ 69
	17:00								

タイムテーブル

一般セッション M 3B棟 4階 3B405教室	学生セッション N 3K棟 1階 3K102教室	学生セッション P 3K棟 2階 3K202教室	学生セッション Q 3K棟 3階 3K301教室	学生セッション R 3K棟 3階 3K302教室	学生セッション S 3K棟 4階 3K404教室	学生セッション T 3L棟 2階 3L201教室	学生セッション U 3L棟 2階 3L202教室	学生セッション V 3L棟 2階 3L206教室
/	組込みとセキュリティ 橋本 幹生 (東芝) ① 38	仮想化技術 (1) 新井 利明 (日立) ① 39	プログラミング言語・ 実装・支援 前田 敦司 (筑波大) ① 40	画像検索・ 画像情報処理 木村 昭悟 (NTT) ① 42	P2Pデータ処理 河野 健二 (慶大) ① 43	Webデザイン 志築文太郎 (筑波大) ① 44	画像処理システム 清水 郁子 (農工大) ② 46	学習・推論 中扶知延子 (東洋大) ② 47
/	/	/	/	/	/	/	/	/
/	相互結合網 坂根 広史 (産総研) ① 38	設計自動化 田中 克典 (NEC) ① 39	検査, 検証, 解析 鷲崎 弘宜 (国立情報学研) ① 40	Web検索 岩山 真 (日立) ① 42	科学データベースと メディア 高山 毅 (岩手県大) ① 43	データマイニング 高須 淳宏 (国立情報学研) ① 44	ゲーム・知識ベース 八瀬 博史 (名大) ② 46	3次元画像処理 黒川 雅人 (日本IBM) ② 47
リーディングプロジェクト e-society : 高信頼 プログラミング言語と 構造化文書変換技術 鯨坂 恒夫 (和歌山大) ⑤ 69	ハイパフォーマンス コンピューティング 加納 健 (NEC) ① 38	分散・並列システム 藤田 智成 (NTT) ① 39	開発支援環境 山城 明宏 (東芝ソリューション) ① 41	情報検索 鈴木 優 (東芝) ① 42	XMLと応用 鬼塚 真 (NTT) ① 43	センサデータベースと コンテンツ 大村 廉 (慶大) ① 44	音声言語情報処理 緒方 淳 (産総研) ② 46	マルチエージェント (1) 加藤 義清 (NICT) ② 47
/	/	/	/	/	/	/	/	/
リーディングプロジェクト e-society : 高信頼 ソフトウェア・WebWare 開発支援システム 松下 誠 (阪大) ⑤ 69	マルチスレッドと 分岐予測 森 敦司 (富士通) ① 38	アルゴリズムと その応用 浅野 孝夫 (中大) ① 40	再利用, 保守 鈴木 茂 (オージス総研) ① 41	Webマイニング 寺口 正義 (日本IBM) ① 42	SNS, ブログ, ソーシャルWeb 大塚 真吾 (東大) ① 43	/	文書の分類と検索 丹羽 芳樹 (日立) ② 46	マルチエージェント (2) 山下 倫央 (産総研) ② 47
/	組み込みシステム 戸田 賢二 (産総研) ① 39	進化的計算と バイオインフォマティクス 高階 知巳 (ニコンシステム) ① 40	プロジェクト管理, 共同作業支援 鎌田真由美 (日本IBM) ① 41	Web応用 森 正弥 (楽天) ① 43	知識発見・検索 関 洋平 (豊橋技科大) ① 43	メディア情報可視化 竹島由里子 (東北大) ① 44	情報抽出 那須川哲哉 (日本IBM) ② 46	ニューラルネット・学習 市瀬龍太郎 (国立情報学研) ② 47
/	/	/	/	/	/	/	/	/
/	数値計算と コンパイラ技術 蓬小祐一郎 (産総研) ① 39	数理モデルの応用 富永 大介 (産総研) ① 40	要求定義, MDA, プロダクトライン 羽生田栄一 (豆蔵) ① 41	マルチメディア処理 橋本 隆子 (リコー) ① 43	ユーザ指向・推薦 神島 敏弘 (産総研) ① 44	GA・ エージェントモデル 小野 哲雄 (はこだて未来大) ② 45	自然言語処理 宇津呂武仁 (筑波大) ② 46	ニューラルネット 森川 幸治 (松下電器) ② 47

情報処理学会 第70回全国大会

日	会場 時間	学生セッション W 3L棟 2階 3L207教室	学生セッション X 2A棟 2階 2A203教室	学生セッション Y 2A棟 2階 2A206教室	学生セッション Z 2A棟 3階 2A305教室	学生セッション ZA 2A棟 3階 2A306教室	学生セッション ZB 2A棟 3階 2A312教室	学生セッション ZC 2A棟 3階 2A313教室	学生セッション ZD 2A棟 4階 2A403教室	
3月13日(木)	13:00	画像認識・合成 中井 宏章 (東芝) ②	ロボット 村川 賀彦 (富士通研) ②	ネットワーク構築・管理技術 土井 裕介 (東芝) ③	P2P 西山 智 (KDDI研) ③	ナビゲーション 梅津 高朗 (阪大) ③	セキュリティ (1) 鳥居 悟 (富士通研) ③	VR空間とAR 米山 暁夫 (KDDI研) ④	触れる 長谷川晶一 (電通大) ④	
	15:00	47	48	50	51	52	53	56	57	
	15:15	/								
	16:15	/								
3月14日(金)	16:30	画像処理基礎 亀田 能成 (筑波大) ②	音楽情報科学 (1) 音楽音響 小坂 直敏 (電機大) ②	システム運用・管理 武宮 博 (日立東日本ソリューションズ) ③	センサネットワーク 横田 裕介 (立命館大) ③	位置情報 桐村 昌行 (三菱) ③	セキュリティ (2) 朴 美娘 (三菱) ③	インタラクティブデザイン 大内 一成 (東芝) ④	動作認識・大画面 櫻田 武嗣 (農工大) ④	
	18:30	48	49	50	51	52	54	56	57	
	9:30	動画像・メディア理解 滝沢 穂高 (筑波大) ②	音楽情報科学 (2) 自動作曲・楽曲分析 平賀 譲 (筑波大) ②	画像符号化とその応用システム 橋本 真幸 (KDDI研) ③	ネットワークセキュリティ 竹森 敬祐 (KDDI研) ③	ITSネットワーク・地図情報 谷越浩一郎 (日立) ③	セキュリティ (3) 山田 朝彦 (東芝ソリューション) ③	グループ意志決定支援 葛岡 英明 (筑波大) ④	日常と感性 栗原 一貴 (産総研) ④	
	12:00	48	49	51	52	52	54	56	57	
13:00	/									
13:50	/									
14:00	/									
15:15	/									
3月15日(土)	15:30	動画像・追跡 大塚 和弘 (NTT) ②	音楽情報科学 (3) 検索・インタフェース 帆足啓一郎 (KDDI研) ②	携帯電話向けアプリケーション 中川 智尋 (NTTドコモ) ③	アドホックネットワーク 柳生 智彦 (NEC) ③	ITS運転支援・画像処理 久保田浩司 (NTT-AT) ③	セキュリティ (4) 宮崎 邦彦 (日立) ③	コンテンツ&Web 中村 聡史 (京大) ④	視覚化とUI設計 細部 博史 (国立情報学研) ④	
	17:30	48	49	51	52	53	54	56	57	
	9:30	人物・行動の認識 蔵田 武志 (産総研) ②	音楽情報科学 (4) 表情付け・認知 浜中 雅俊 (筑波大) ②	分散システム・アプリケーション 串田 高幸 (日本IBM) ③	通信方式 (1) 豊野 剛 (NTT) ③	実空間指向ネットワーク 新津 善弘 (芝浦工大) ③	セキュリティ (5) 鈴木幸太郎 (NTT) ③	モバイル 三浦 元喜 (北陸先端大) ④	障害者補助・福祉 森 大毅 (宇都宮大) ④	
	12:00	48	49	51	52	53	54	56	57	
13:00	/									
14:15	/									
14:30	画像データベース 牛尼 剛聡 (九大) ②	音声・言語処理 奥村 明俊 (NEC) ②	ネットワーク応用 藤波 香織 (農工大) ③	無線とモビリティ技術 桧垣 博章 (電機大) ③	マルチメディア通信 村井 信哉 (東芝) ③	視線・顔検出・脳計測 湯浅 将英 (電機大) ④	コミュニケーション 小松 孝徳 (信州大) ④	アバタ・エージェント・ロボット 青木 恒 (東芝) ④		
17:00	48	49	51	52	53	55	56	57		

タイムテーブル

学生セッション ZE 2A棟 4階 2A404教室	学生セッション ZF 2A棟 4階 2A411教室	学生セッション ZG 理科系修士棟B棟 1階 B107教室	学生セッション ZH 理科系修士棟B棟 5階 B501教室	学生セッション ZJ 理科系修士棟B棟 5階 B502教室	学生セッション ZK 理科系修士棟B棟 5階 B503教室	学生セッション ZL 理科系修士棟B棟 5階 B504教室	学生セッション ZM 理科系修士棟C棟 5階 C502教室	デモセッション デモ会場 総合研究棟B棟 1階 0112教室
CG：モデリング、探索 川原田 寛 (理研) ④ 57	CG：面 爰島 快行 (東芝) ④ 58	教育支援 (1) 渡辺 健次 (佐賀大) ④ 61	スキルサイエンスと エデュテイメント 倉本 到 (京都工繊大) ④ 62	行動・資料の 分析、提案 立田 ルミ (獨協大) ④ 63	リーディングプロジェクト e-society：コード クローン検出による ソフトウェア開発技術 吉田 敦 (和歌山大) ⑤ 69	情報爆発時代における 視覚情報処理 山根 克 (東大) ⑤ 67		デモセッション デモ会場
CG：可視化 竹島由里子 (東北大) ④ 58	健康・ケア情報 システム 山口 高平 (慶大) ④ 60	教育支援 (2) 小尻 智子 (名大) ④ 61	プログラム教育 石田 厚子 (日立コンサルティング) ④ 62	人間行動、 障害等支援 村上 晴美 (大阪市大) ④ 63	情報爆発時代における コンテンツ格納手段 原 隆浩 (阪大) ⑤ 66	情報爆発時代における コミュニケーション手法 水口 充 (NICT) ⑤ 67	協調作業支援 酒井三四郎 (静岡大) ④ 58	
CG：変形、流体 金井 崇 (東大) ④ 58	情報システムと アーキテクチャ 大場みち子 (日立) ④ 60	eラーニング (1) 高岡 詠子 (千歳科技大) ④ 61	医療分野への応用 三宅 仁 (長岡技科大) ④ 62	災害情報システム 野田五十樹 (産総研) ④ 63	情報爆発時代における Web技術および Web情報抽出 灘本 明代 (NICT) ⑤ 66	情報爆発時代における 安全、安心 ネットワーク技術 千葉 滋 (東工大) ⑤ 67		デモセッション デモ会場
CG：(N) PR 高橋時市郎 (電機大) ④ 58	情報システムと インタラクション 刀川 真 (室蘭工大) ④ 60	教科学習 大坐島 智 (農工大) ④ 61	ゲームAI 片寄 晴弘 (関西学院大) ④ 62		情報爆発時代における テキストデータ処理 渡辺知恵美 (お茶の水女子大) ⑤ 67	情報爆発時代における センサネットワーク技術 合田 憲人 (国立情報学研) ⑤ 68	教育サービス支援 村山 隆彦 (NTT) ④ 59	
会議支援 井上 智雄 (筑波大) ④ 58	産業システムと ITスキル 駒谷 昇一 (筑波大) ④ 61	幼児教育 大即 洋子 (清和大) ④ 62	物語の分析と生成 星野 准一 (筑波大) ④ 63	バイオ情報学 渋谷 哲朗 (東大) ④ 63	情報爆発時代における マルチメディアデータと 位置依存情報処理 相良 毅 (東大) ⑤ 67	視線解析 藤木 淳 (産総研) ② 49	企業と情報システム 宮川 裕之 (文教大) ④ 64	デモセッション デモ会場
コミュニケーション 技術とSNS 市村 哲 (東京工科大) ④ 58	テキストマイニングの 応用 辻 秀一 (東海大) ④ 61	学習支援システム 小山 博史 (ガリレオ) ④ 62	エンタテインメント コンピューティング 一般 常盤 拓司 (東大) ④ 63	情報爆発時代における 並列分散処理技術 追川 修一 (筑波大) ⑤ 66	情報爆発時代における ストリームデータと 実世界情報処理 片山 紀生 (国立情報学研) ⑤ 67	情報システムの事例 市川 照久 (静岡大) ④ 63		

第70回全国大会講演論文集の分類と内容 (括弧内はセッション会場名)

●第1分冊

- ・アーキテクチャ
計算機アーキテクチャ, システムソフトウェアとオペレーティングシステム, ハイパフォーマンスコンピューティング, エレクトロニクス用設計自動化・CAD
(1A～4A, 1N～6N, 1P～3P)
- ・ソフトウェア科学・工学
アルゴリズム, 数理モデル化と問題解決, ソフトウェア工学, プログラミング
(5A, 6A, 1B, 2B, 4P～6P, 1Q～6Q)
- ・データベースとメディア
データベース, 情報検索, メディアと情報開発・共有・流通
(3B～6B, 1C, 2C, 1R～6R, 1S～6S, 1T～3T, 5T)
(デモセッション: デ-04, デ-05)

●第2分冊

- ・人工知能と認知科学
人工知能, 自然言語処理, 音声言語情報処理, 視覚情報処理, 音楽情報科学
(3C～6C, 1D～3D, 6T, 1U～6U, 1V～6V, 1W～6W, 1X～6X, 5ZL)
(デモセッション: デ-02)

●第3分冊

- ・ネットワーク
マルチメディア通信と分散処理, 分散システム運用, マルチメディア符号化, モバイルコンピューティング, ITS
(4D～6D, 1E～3E, 1Y～6Y, 1Z～6Z, 1ZA～6ZA)
(デモセッション: デ-01)
- ・セキュリティ
セキュリティ基盤技術, システムセキュリティ, セキュリティマネジメント
(4E, 5E, 1ZB～5ZB)

●第4分冊

- ・インタフェース
ヒューマンインタフェース, グループウェア, グラフィクスとCAD, 仮想現実感
(6E, 1F～6F, 6ZB, 1ZC～6ZC, 1ZD～6ZD, 1ZE～6ZE, 1ZF, 2ZM, 4ZM)
(デモセッション: デ-03)
- ・コンピュータと人間社会
情報システム, コンピュータ教育・学習, コンピュータと社会, 医療分野への応用, 企業活動への応用, バイオ情報学, エンタテインメントコンピューティング, 標準化, その他
(1G～6G, 1H～5H, 2ZF～6ZF, 1ZG～6ZG, 1ZH～6ZH, 1ZJ～3ZJ, 5ZJ, 6ZL, 5ZM)
(デモセッション: デ-06, 07)

●第5分冊

- ・「情報爆発」時代に向けた新IT基盤技術
情報管理・融合・活用基盤, 安全・安心ITシステム基盤, ヒューマンコミュニケーション基盤, 知識社会形成ガバナンス
(1J～6J, 1K～6K, 6ZJ, 2ZK～6ZK, 1ZL～4ZL)
- ・リーディングプロジェクト e-society - 基盤ソフトウェアの総合開発 -
高い生産性を持つ高信頼ソフトウェア作成技術, 情報の高信頼蓄積・検索技術 e-society
(1L～6L, 3M, 4M, 1ZK)

ー全国大会イベント企画ー

- ・招待講演 (1) : 「情報は我らを豊かにする」
長尾 真 (国立国会図書館 館長)
- ・招待講演 (2) : 「Exciting Technologies : Pattern Recognition to Enhance the Health, Security, and Quality of Life」
Rangachar Kasturi (IEEE-CS 会長)
- ・招待講演 (3) : 「Second Life: Real Technical Challenges and Solutions from the Virtual World」
Ian Wilkes (Linden Lab, VP of Systems Engineering)
- ・特別セッション (1) : ピタッとわかる IC カードが生み出す未来社会
- ・特別セッション (2) : ソフトウェア公開... その前に
- ・特別セッション (3) : 超ハイエンドコンピューティングへの挑戦
- ・特別セッション (4) : 地球にやさしい情報システム ー持続可能な IT 社会を目指してー
- ・特別セッション (5) : 2015 年へのセンサネットワーク
- ・特別セッション (6) : 仮想化技術が変える IT の未来
- ・シンポジウム (1) : 超臨場感コミュニケーションの動向と将来展望
- ・シンポジウム (2) : 私の詩と真実
- ・シンポジウム (3) : 優秀情報処理教育紹介
- ・シンポジウム (4) : 情報専門学科におけるカリキュラム標準「J07」最終報告

ー全国大会 会場別プログラムー

【第 1 イベント会場 (2H 棟 1 階 2H101 教室)】		
日	時間	内容
日 (木)	特別セッション (1) : ピタッとわかる IC カードが生み出す未来社会	
	13:00-13:30	講演 (1) : おサイフケータイはこうして生まれた - モバイル FeliCa とその作り方 栗田 太郎 (フェリカネットワークス)
	13:30-14:00	講演 (2) : 切符を越える IC 乗車券 - 交通分野における IC カードサービス 松原 広 (鉄道総研)
	14:00-14:30	講演 (3) : おサイフケータイがもたらす快適生活 - 生活インフラになるために 中村 典生 (NTT ドコモ)
	14:30-15:00	講演 (4) : コンビニやテーマパークにおける非接触 IC サービスの先進事例とは! 奥山 祐一 (NEC)
	15:15-16:15	招待講演 (1) : 情報は我らを豊かにする 長尾 真 (国立国会図書館 館長)
日 (金)	特別セッション (2) : ソフトウェア公開... その前に	
	9:30-10:00	講演 (1) : ソフトウェア公開にあたって... 法的な観点から (1) 岡村 久道 (英知法律事務所)
	10:00-10:30	講演 (2) : ソフトウェア公開にあたって... 法的な観点から (2) 大橋 充直 (ハッカー検事)
	10:30-11:00	講演 (3) : ソフトウェア公開にあたって... 配布している立場から g 新部 裕 (産総研)
	11:00-11:30	講演 (4) : ソフトウェア公開にあたって... 配布した立場から 登 大遊 (ソフトイーサ)
	11:30-12:00	パネル討論 : 楽しく配布するためには 司 会 : 田代 秀一 (IPA) パネリスト : 大橋 充直 (ハッカー検事), 岡村 久道 (英知法律事務所), g 新部 裕 (産総研), 登 大遊 (ソフトイーサ)
	大会挨拶・表彰式・認証式	
	13:00-13:50	[13:00-13:10] 第 70 回全国大会 大会挨拶 会長挨拶 : 佐々木 元 (本学会会長) プログラム委員長挨拶 : 喜連川 優 (東大) [13:10-13:20] 第 69 回全国大会優秀賞・奨励賞 表彰式 [13:20-13:35] 平成 19 年度山下記念研究賞 表彰式 [13:35-13:45] フェロー認証式 [13:45-13:50] 学会活動貢献賞 表彰式 / 感謝状 贈呈式
	14:00-15:15	招待講演 (2) : Exciting Technologies: Pattern Recognition to Enhance the Health, Security, and Quality of Life Rangachar Kasturi (IEEE-CS 会長)
	特別セッション (3) : 超ハイエンドコンピューティングへの挑戦	
	15:30-17:30	パネル討論 : 超ハイエンドコンピューティングへの挑戦 司 会 : 佐藤 三久 (筑波大) パネリスト : 加納 健 (NEC), 助川 直伸 (日立), 田中 良夫 (産総研), 平木 敬 (東大), 村上 和彰 (九大)

【第1 イベント会場 (2H棟 1階 2H101 教室)】		
日	時間	内 容
15 日	特別セッション (4) : 地球にやさしい情報システム - 持続可能な IT 社会を目指して -	
	9:30-10:05	講演 (1) : Green High-Performance Computing: MegaProto の挑戦 中島 浩 (京大)
	10:05-10:40	講演 (2) : グリーン IT; エネルギー効率の高いデータセンター構築の提案 佐志田伸夫 (APC ジャパン)
	10:40-11:15	講演 (3) : 高性能低消費電力プロセッサの実現技術 - 回路技術とアーキテクチャの協調 - 中村 宏 (東大)
	11:15-11:50	講演 (4) : ルータ・スイッチ低消費電力化に向けた技術開発 矢崎 武己 (日立)
	11:50-12:00	全体質疑
	13:00-14:15	招待講演 (3) : Second Life: Real Technical Challenges and Solutions from the Virtual World Ian Wilkes (Linden Lab, VP of Systems Engineering)
(土)	特別セッション (5) : 2015 年へのセンサネットワーク	
	14:30-15:00	講演 (1) : スマートセンサーネットワークのインパクト - ユビキタスサービスの創出 - 徳田 英幸 (慶大)
	15:00-15:30	講演 (2) : 「人×センサ」センサ情報を変える人・組織・社会 矢野 和男 (日立)
	15:30-16:00	講演 (3) : 情報大航海時代のケータイ 佐藤 一夫 (NTT ドコモ)
	16:00-17:00	パネル討論 : 2015 年に向けてすべきこと 司 会 : 森川 博之 (東大) パネリスト : 川原 圭博 (東大), 佐藤 一夫 (NTT ドコモ), 田村 大 (博報堂), 徳田 英幸 (慶大), 矢野 和男 (日立)

【第2 イベント会場 (2H棟 2階 2H201 教室)】		
日	時間	内 容
13 日	シンポジウム (1) : 超臨場感コミュニケーションの動向と将来展望	
	【第一部】	
	13:00-13:45	基調講演 : 超臨場感コミュニケーション実現に向けて 榎並 和雅 (NICT)
	13:45-14:10	講演 (1) : 立体映像技術の研究動向 高木 康博 (農工大)
	14:10-14:35	講演 (2) : 五感・認知と超臨場感コミュニケーション 河合 隆史 (早大)
	14:35-15:00	講演 (3) : 臨場感に関する認知メカニズム 安藤 広志 (NICT)
	【第二部】	
(木)	16:30-17:45	パネル討論 司 会 : 岡野 文男 (NHK 放送技研) パネリスト : 河合 隆史 (早大), 酒澤 茂之 (KDDI 研), 高木 康博 (農工大), 森田 茂 (日本 SGI)
14 日	特別セッション (6) : 仮想化技術が変える IT の未来	
	9:30-10:00	講演 (1) : 仮想マシンの歴史と現在の応用 梅野 英典 (熊本大)
	10:00-10:30	講演 (2) : 仮想マシンの舞台裏 名倉 丈雄 (VMWare)
	10:30-11:00	講演 (3) : サーバ仮想化技術の最新動向 上野 仁 (日立)
	11:10-12:00	パネル討論 : 仮想化技術の展望 司 会 : 大山 恵弘 (電通大) パネリスト : 上野 仁 (日立), 梅野 英典 (熊本大), 名倉 丈雄 (VMWare)
(金)	シンポジウム (2) : 私の詩と真実	
	15:30-15:35	開会挨拶と企画趣旨 和田 英一 (IIJ 技研)
	15:35-16:30	講演 (1) : 通信から知的コミュニケーションに向けて 野口 正一 (仙台応用情報学研究振興財団)
	16:30-17:25	講演 (2) : 人間的情報処理を目指して 長尾 真 (国立国会図書館)
	17:25-17:30	総括と閉会挨拶 和田 英一 (IIJ 技研)
15 日 (土)	シンポジウム (3) : 優秀情報処理教育紹介	
	9:30 - 9:40	教育賞の紹介 寛 捷彦 (早大)
	9:40-10:50	講演 (1) : 細粒度マイコン設計教育における正統的周辺参加 高橋 隆一 (広島市大)
	10:50-12:00	講演 (2) : プログラムチェック機能を組み込んだ初等プログラミング教育環境 伊東 幸宏 (静岡大)

全国大会イベント企画 招待講演・特別セッション・シンポジウムの概要

招待講演 (1) : 情報は我らを豊かにする

3月13日(木) 15:15-16:15 [第1イベント会場 (2H棟 1階101)]

長尾 真 (国立国会図書館 館長)

[講演概要]

インターネットの世界は情報の宝庫である。ほとんどあらゆる情報を取り、また楽しむことができる。またこの膨大な情報をうまく検索し処理することによって、情報を知識に変えることもできる。インターネットの世界は常にダイナミックに変化しており、どこにいても利用できるが、これは原則的に現在の情報である。これに対して図書館は何百年という長期間にわたる知識の集積の場である。しかし少数の固定された場所ではしか利用できない。今日大切なことは、この両者を統合的に扱うシステムを構築することである。すなわち図書館の知識を広くどこにいても利用できるようにするとともに、インターネット世界の情報を集積し、長期保存し、知識に変換し、広く利用に供する新時代の情報図書館を構築することである。こういったことを実現するために、著作権問題を含め克服すべき課題について考察する。



[略歴]

1936年生。1959年京都大学工学部卒。1966年京都大学工学博士。1973年京都大学工学部教授。1997年京都大学総長(2003年まで)。2004年独立行政法人情報通信研究機構理事長(2007年まで)。2007年国立国会図書館長。2001年世界機械翻訳連盟(初代)会長(2003年まで)。1994年言語処理学会会長(1996年まで)。1998年電子情報通信学会会長(1999年まで)。1999年情報処理学会会長(2000年まで)。1997年紫綬褒章受章。2005年日本国際賞受賞。フランス共和国レジオンドヌール勲章シュバリエ章受章。

招待講演 (2) : Exciting Technologies: Pattern Recognition to Enhance the Health, Security, and Quality of Life

3月14日(金) 14:00-15:15 [第1イベント会場 (2H棟 1階101)]

Rangachar Kasturi (IEEE-CS 会長)

[講演概要]

Humans have outstanding abilities to interpret patterns in data captured by our senses. Current machines are notoriously inept in pattern recognition abilities leading to frustrations we all experience. The field of Pattern Recognition strives to enhance the abilities of machines to extract meaningful information from data through automated analysis. We have/ pattern recognition technologies in action/ when a checkout clerk scans the barcode on a product; a retinal scan authentication permits access to a secure facility; a fingerprint database identifies a criminal suspect; a convicted criminal is released after DNA evidence clears him/her of the crime; a fragile historic document becomes a searchable file in a digital library; a brain tumor's precise location is computed to aid the physician's decision; and the potential paths of hurricanes are estimated. Such innovations have had a profound impact for over fifty years on the quality of life of citizens of the world and have resulted in products and services in the information technology, security, and health care industries. Yet we have barely scratched the surface of the potential innovative applications and economic opportunities that pattern recognition systems are poised to deliver in the next few decades. For example, there are no systems today to automatically search and retrieve that special picture or that video clip based on your description of what you are looking for; face recognition systems perform poorly when presented with images taken with different lighting conditions; human operators are still tasked with monitoring for that rare suspicious activity by staring at a wall of monitors fed by many surveillance cameras, and specific sets of genes which contribute to increased risk for cancer remain unknown. We present an overview of the state of the art of pattern recognition technologies and briefly describe the research challenges and opportunities presented by this exciting discipline.



[略歴]

Dr. Kasturi is the Douglas W. Hood Professor of the Computer Science and Engineering Department at the University of South Florida, Tampa, USA. He received his Ph.D. degree from Texas Tech University in 1982 and a B.E. (Electrical) degree from Bangalore University in 1968. He was a Professor of Computer Science and Engineering and Electrical Engineering at the Pennsylvania State University during 1982-2003. He is an author of the text book, /Machine Vision,/ McGraw-Hill, 1995. Dr. Kasturi served as the President of the International Association for Pattern Recognition (IAPR) during 2002-04. He is a Fellow of the IEEE and a Fellow of IAPR. He was a Fulbright scholar during 1999. He is the 2008 President of the IEEE Computer Society.

招待講演 (3) : Second Life: Real Technical Challenges and Solutions from the Virtual World

3月15日(土) 13:00-14:15 [第1イベント会場 (2H棟 1階101)]

Ian Wilkes (Linden Lab, VP of Systems Engineering)

[講演概要]

Second Life is the largest user-created 3D online virtual world. Created by Linden Lab, a company founded in 1999 by Philip Rosedale, Second Life provides a revolutionary new form of shared 3D experience. Second Life offers users a content-rich, vast virtual world where they can look how they want, build what they want, and even write their own software, all in a single space shared with thousands of other people. These days that means Second Life maintains 100 million objects, 30 million scripts, and 50,000 people in-world at a time; user empowerment on this scale has never been attempted before.

Second Life uses technology from diverse fields, and presents a number of unique challenges. To simulate the world, Linden Lab must employ thousands of computers running a shared physical simulation. To handle user-created dynamic content, we must manage thousands of user scripts per CPU. To deliver the world to users, we must stream all of the geometry and textures, in real-time, over limited home broadband connections. To display the world, we must provide an efficient rendering engine that cannot rely on pre-processed optimizations used in video games. To store all of the things made by SL users, we must manage well over a billion files (and growing) and many terabytes of database data.

The challenges here are immense; this talk will cover the architecture of Second Life and Linden Lab's answer to these challenges. Some of the solutions work very well, and some do not. Mr. Wilkes will cover the history of the design, where it went right, where it went wrong, and where he expects it to go in the future, including plans for Japan. The future is key: Second Life hopes to be better than the real world, and so the work will never be complete.



[略歴]

As Vice President of Systems Engineering, Ian Wilkes is responsible for all aspects of IT infrastructure at Linden Lab. An early member of the company, for the past six years Wilkes has led the development of the server technology behind the award-winning, 3-D virtual world of Second Life. Wilkes and his IT staff are dedicated to providing a stable foundation for the continued growth of Second Life, and developing strategies to address key Second Life Grid scalability issues. Prior to joining Linden Lab, Wilkes served as Technical Lead at Zengine, Inc, where he managed the core application, database, and network architecture. Previous experience includes development positions at the US Department of Energy's experimental super-computing division, and at game developer Hot-B USA. Wilkes holds a Bachelor of Science in Electrical Engineering and Computer Science from the University of California, Berkeley.

特別セッション (1) : ピタッとわかる IC カードが生み出す未来社会

[全体概要]

国内で急速に一般消費者向けのICカードを利用したサービス市場が立ち上がっている。ICカードの特徴は、公共・交通・金融・流通などの幅広い分野のサービスで利用されていることである。ICカードを携帯電話に搭載することで、ネットワークサービスとの融合が可能となり、ますます利便性が高まっている。しかし、ICカードの利用が短期間で拡大したため、混乱を招いているという側面もある。今後、ICカードが社会インフラとして利用されていく状況を考え、広く一般の利用者がICカードの技術やセキュリティ、サービスに関する知識を正しく持つことも重要である。本セッションでは、ICカードの商業サービスの分野の専門家に講演をお願いする。



司 会：吉野 孝 (和歌山大)

[略歴]

1992年鹿児島大学工学部電子工学科卒業。1994年同大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程修了。1995年鹿児島大学工学部電気電子工学科助手。1998年同大学工学部生体工学科助手。2001年より和歌山大学システム工学部デザイン情報学科助手。2004年より同大学助教授(2007年より准教授に職名変更)。博士(情報科学)東北大学。2001年本会DICOMO2001シンポジウムにおいてベストプレゼンテーション賞、2003年本会大会奨励賞をそれぞれ受賞。2005年よりNICT言語グリッドプロジェクトに参加。異文化コラボレーション支援、モバイルグループウェア、遠隔授業支援システム、衛星放送システムに関する研究に従事。

●講演 (1) 3月13日 (木) 13:00-13:30 [第1 イベント会場 (2H棟 1階101)]

「おサイフケータイはこうして生まれた - モバイル FeliCa とその作り方」

栗田 太郎 (フェリカネットワークス)

[講演概要]

携帯電話にFeliCa機能が搭載されただけではライフスタイルは変わりません。モバイルFeliCaは、ユーザに安心して安全にご利用頂ける社会基盤となり得ることを志向して開発しています。このために、要件の獲得、仕様の開発、設計、実装、テストといった各開発工程において、品質の確保、セキュリティの強化を確実に行う必要があります。今回、製品やシステムの開発者としての責任を果たすために、どのような工学や枠組みを活用して開発を行っているのかを、ソフトウェアの開発現場の視点でお話し致します。具体的には、形式仕様記述手法、品質確保のための各種手法、ISO15408に基づいたITセキュリティ評価および認証制度等に関する紹介をします。また、責任を果たすための開発手法と並行して、重い責任に押しつぶされないプロジェクトやチームの、マネジメントや運営について考えていく必要があります。ソフトウェア開発の現場の楽しさや「やりがい」とともに、「ストレスフリー指向開発」についてお話し致します。



[略歴]

フェリカネットワークス株式会社開発部2課統括課長。

1971年生まれ。

1996年から印刷会社勤務、1999年からソニー株式会社、2004年から現職。

現在、次世代FeliCaの開発に従事。

●講演 (2) 3月13日 (木) 13:30-14:00 [第1 イベント会場 (2H棟 1階101)]

「切符を越える IC 乗車券 - 交通分野における IC カードサービス」

松原 広 (鉄道総研)

[講演概要]

従来、鉄道事業者は鉄道利用者に対して個々の旅行単位の契約によって輸送というサービスを提供してきた。これは定期券においても同様であり、定期券には利用者の名前や年齢などは記載されているものの、一定の期間と区間の利用に対して契約しているだけで、記載された個々の利用者に対して個別にサービスを提供しているものではない。このようなマスを対象とした輸送サービスから個人を対象としたサービスを提供するために、IC乗車券システムの研究を20年ほど前から始めた。導入までには様々な検討が必要だったが、5年ほど前に導入したICカード乗車券は瞬く間に普及し、単なる「切符」のICカード化ではなく、新たなサービスを提供するためのツールとして利用されるようになってきている。本セッションでは、交通分野におけるICカード乗車券の導入の経緯と現状、および将来動向について述べる。



[略歴]

1993年東京理科大学工学部経営工学科卒業。

日本国有鉄道鉄道技術研究所を経て、現在(財)鉄道総合技術研究所輸送情報技術研究部旅客システム主任研究員。

コンピュータネットワークシステム、ICカードシステム、鉄道旅客システムなどを研究。

2003年電気科学技術奨励賞、2007年FIT論文賞等受賞。

ICカードシステム、旅客サービスシステムなどの研究開発に従事。

●講演 (3) 3月13日 (木) 14:00-14:30 [第1 イベント会場 (2H棟 1階101)]

「おサイフケータイがもたらす快適生活 - 生活インフラになるために」

中村 典生 (NTTドコモ)

【講演概要】

日本のおサイフケータイは世界が注目する最先端のサービスです。近年では非接触 IC カードによる様々なサービスが世界中に広まっていますが、携帯電話と融合することによって更にその可能性を広げようという機運が海外の携帯電話事業者の間で高まってきています。

国内では携帯電話事業者3社が「おサイフケータイ」の名称を冠し、リアルワールドとサイバースペースを連携させる有力なインタフェースと位置付けて、新しいビジネス・楽しいサービスの可能性を広げました。身の回りの生活のあらゆるシーンで、誰もが手軽に安心して簡単に使えるようにするためには、実は様々な課題があります。これらを解決するためのネットワークや端末が実現する機能、セキュリティ対策などを技術とサービス設計の観点から解説します。また、「おサイフ」の枠にとらわれない新しい用途の開発状況について国内外の事例を交えて紹介します。



【略歴】

1985年 NTT 入社。横須賀電気通信研究所において、GIS、CG、画像処理に関する研究開発に従事。

1998年より NTTドコモにおいて、携帯電話による電子認証サービス、モバイル CRM サービス、オプトイン型メールなどのモバイル EC や企業内システムに関するサービスの企画開発と市場開拓に従事。

現在は、おサイフケータイの企画開発と普及促進を行っている。

マルチメディアサービス部 EC 戦略担当に所属。

●講演 (4) 3月13日 (木) 14:30-15:00 [第1 イベント会場 (2H棟 1階101)]

「コンビニやテーマパークにおける非接触 IC サービスの先進事例とは！」

奥山 祐一 (NEC)

【講演概要】

非接触 IC 技術と携帯電話の融合により生み出される、新たなサービスや生活文化形成への期待は高まるばかりであるが、利用者や事業者側双方にとって、本当に価値あるサービスとして提供されているケースは、まだ多くはないのではないだろうか。新たな技術革新を様々なサービスに展開したいメーカー側とそれをサービスに転換する事業者側、さらにはそれを利用する顧客側という一連のバリューチェーンの中で、新たなユビキタスサービスマーケット成立のポイントを探りたい。特に、携帯電話によるコンビニやテーマパークで活用されている「電子会員証」や「電子チケット」を例に、流通サービス事業者へのソリューションを提供している立場から、具体的な事例を通して、今後マーケット拡大の可能性と展望について紹介する。



【略歴】

1990年 東海大学理学部情報数理学科卒業。

同年日本電気株式会社入社。

一貫して流通サービス業界の新規ソリューションの企画開発業務に従事。

現在はユビキタスソリューション推進本部 FeliCa ビジネスソリューションセンターにて、モバイル FeliCa アプリケーションサービス「トクトクポケット」の企画開発業務およびプロモーション戦略全般を推進。

特別セッション (2) : ソフトウェア公開 ... その前に

【全体概要】

インターネットの普及、オープンソースの普及により、実用規模のソフトウェアを世に出すことが容易となった。高性能のソフトウェアを世界規模に容易に配布できる現状において、そのソフトウェアがもたらす社会的影響の大きさについても良く理解しておくことは不可欠である。このセッションでは、ソフトウェアを安心して配布できる基礎知識を身に着けるため、ソフトウェアの配布に関して想定される問題点、リスク等について、法的な観点と、ライセンスの観点の2つの面から考察する。



司 会：田代 秀一 (IPA)

【略歴】

独立行政法人情報処理推進機構 オープンソフトウェア・センター センター長。

1987年 筑波大学大学院工学研究科情報工学専攻博士課程終了後、同年4月 通商産業省工業技術院電子技術総合研究所 (現 産業技術総合研究所) 入所。

2002年4月～2005年3月 経済産業省商務情報政策局情報処理振興課課長補佐を兼務。2006年1月より現職。

●講演 (1) 3月14日 (金) 9:30-10:00 [第1 イベント会場 (2H棟 1階101)]

「ソフトウェア公開にあたって ... 法的な観点から (1)」

岡村 久道 (英知法律事務所)

【講演概要】

オープンソースソフトウェアを公開する際、適用すべきライセンスを、決定する必要がある。基本的には自由であるが、ライセンスのひな型が複数公開されているので、その中から自分に適したものを選択する方法が便利である。数あるひな型の中でも比較的人気が高いのが BSD ライセンスと GPL である。前者はユーザーに対する縛りが緩い半面、貢献者による改良を反映させにくいという難点がある。後者は改良を反映させやすいが、内容が難解であり、近時リリースされた Ver.3 はさらに難解さを増している。いずれにせよ、その内容を十分に把握した上で選択する必要がある。他にもソフトウェア特許の問題や商標についてもクリアしておく必要がある。さらに、Winny 開発者が刑事責任を問われた事件が象徴するように、リリースしたソフトウェアが悪用された場合における開発者の責任についても議論されている。本講演では、以上の諸点を、できる限りわかりやすく解説したい。



【略歴】

京都大学法学部卒業。

弁護士。国立情報学研究所客員教授。奈良先端科学技術大学院大学兼任講師。神戸大学法科大学院講師。

専門分野は情報ネットワーク法、知的財産権法など。

主著は「これだけは知っておきたい個人情報保護」、「個人情報保護法」、「迷宮のインターネット事件」など多数。

毎日新聞月曜日 (朝刊) の、「メディアを考える」の欄にネット担当として、月に1回コラムを連載中。

●講演 (2) 3月14日 (金) 10:00-10:30 [第1 イベント会場 (2H 棟 1階101)]

「ソフトウェア公開にあたって ... 法的な観点から (2)」

大橋 充直 (ハッカー検事)

【講演概要】

日頃は皆さんが遭遇しない刑法や刑事手続きそしてハイテク犯罪の現状を理解いただき、刑事手続や刑事証拠法から見た情報セキュリティの留意点、特にソフトウェア製造・販売関係者やネットワークユーザの方が、製品や組織を防護するために留意しておくべき点を重点的に解説する。法学の基礎的素養のない方であっても、明日から直接現場で役立つ実務的実戦的内容の講演とするので、あくまでハイテク犯罪法 (サイバー犯罪法) 入門と位置付けることを望む。

講義の要点は、法適合性 (コンプライアンス) とリスクマネジメントの観点からも有意義な内容とする予定であり、時間的な制約の中で容易な理解を図るため、なるべく平易で楽しい講演にしたい。



【略歴】

小学校でミニコンとフォートラン、中学でマイコンとマシン語、高校でコボルに遭遇し、某私大法学部ではバイト先販売店等でMS-DOSとアマチュア無線に耽溺する日々を過ごす。

1989年4月に検事に任官しながら、ハッキング・テクニックの習得とウイルスプログラムの作成に執念を燃やし、警察大学を皮切りにハイテク犯罪の外部講師を務め、米国出張では司法省とペンタゴンへ合法的に侵入する。

法務総合研究所研究官を経て、2005年4月から札幌高検検事、2007年4月から東京地検検事。

●講演 (3) 3月14日 (金) 10:30-11:00 [第1 イベント会場 (2H 棟 1階101)]

「ソフトウェア公開にあたって ... 配布している立場から」

g 新部 裕 (産総研)

【講演概要】

ソフトウェアは自由であるべし。配布されるソフトウェアは誰もが自由に利用でき、ソースコードが配布され、誰もが自由に研究、変更することができ、そして変更の配布も自由であるべきだ。これが「自由ソフトウェア運動」の立場である。

ソフトウェアの自由により、ソフトウェアを取り巻く共同体が作られ、社会は健全に発展するかもしれない。実際のところ、通りすがりのハッカー、趣味人、大学、研究機関、産業界、政府自治体などを含む集まりが世界中のいろいろなところでできて、自由ソフトウェアの活動は活発に進んでいる。

自由ソフトウェア運動を概観し、ソフトウェアを公開するにあたり注意する点、これまでにあった問題、今後の脅威、ベストとは言えないまでもプラクティスとして確立しつつある方法、ライセンスの選択、著作権の管理などについて気の向くまま、話してみたい。



【略歴】

特定非営利活動法人フリーソフトウェアイニシアティブ理事長。独立行政法人産業技術総合研究所情報技術研究部門自由ソフトウェア部門グループ長。1991年電気通信大学大学院電気通信学研究所修士課程修了。同年株式会社三菱総合研究所入社。2000年通商産業省工業技術院電子技術総合研究所入所。2001年組織改編に伴い、独立行政法人産業技術総合研究所。2002年特定非営利活動法人フリーソフトウェアイニシアティブを立ち上げ、2003年より理事長。1989年よりGNUプロジェクトに関わる。「GNU」を表す漢字「g新」を提唱、ログイン名、ペンネームに用いて16年。FSF賛助会員、IEEE会員。(情報処理学会正会員)。

●講演 (4) 3月14日 (金) 11:00-11:30 [第1 イベント会場 (2H 棟 1階101)]

「ソフトウェア公開にあたって ... 配布した立場から」

登 大遊 (ソフイーサ/筑波大)

【講演概要】

2003年12月、IPAの未踏ソフトウェア創造事業未踏ユース部門の採択プロジェクトとして、登が個人で開発したVPNソフト「SoftEther」をインターネット上で公開したところ、多数のユーザーがつき、とても話題になった反面、一部の企業や自治体から、高機能なVPNソフトウェアは同時にファイアウォール等に抜け穴を作ることができ危険であるから公開を停止して欲しいという旨のクレームを受けた。これにより、一時的にSoftEtherを公開停止にしたという経緯がある。しかし、その後多くの方々の支援により、SoftEtherの公開は再開し、「ソフイーサ社」という会社も起業し、新しいバージョンであるPacketIX VPN 2.0を製品として販売することも行い、現在は大きな利益を挙げるまでに至った。このような経験や、高性能な通信ソフトウェアをインターネットで配布する際に留意すべき事項について述べる。



【略歴】

1984年生まれ。ソフイーサ社代表取締役会長。

筑波大学大学院システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻所属。同大TARAセンター客員研究員、学術情報メディアセンター共同研究員、情報通信研究機構特別研究員、WIDEプロジェクトメンバー。

2003年に筑波大入学後、IPA未踏ソフトウェア創造事業でVPNソフトウェア「SoftEther」を開発。

2004年に「ソフイーサ株式会社」を設立。同社でVPNソフトを開発、2005年末に製品化。

●パネル討論 3月14日 (金) 11:30-12:00 [第1 イベント会場 (2H 棟 1階101)]

「楽しく配布するためには」

【討論概要】

4人の講演を振り返り、会場からの質問・意見等を織り交ぜながら、ソフトウェア配布に向けて注意すべき点を総括する。

司 会：田代 秀一 (IPA)

略歴・写真は「特別セッション (2)：ソフトウェア公開 ... その前に」司会紹介を参照。

パネリスト：大橋 充直 (ハッカー検事)

略歴・写真は「講演 (2) ソフトウェア公開にあたって ... 法的な観点から (2)」を参照。

パネリスト：岡村 久道 (英知法律事務所)

略歴・写真は「講演 (1) ソフトウェア公開にあたって ... 法的な観点から (1)」を参照。

パネリスト：g 新部 裕 (産総研)

略歴・写真は「講演 (3) ソフトウェア公開にあたって ... 配布している立場から」を参照。

パネリスト：登 大遊 (ソフイーサ/筑波大)

略歴・写真は「講演 (4) ソフトウェア公開にあたって ... 配布した立場から」を参照。

特別セッション (3) : 超ハイエンドコンピューティングへの挑戦

●パネル討論 3月14日(金) 15:30-17:30 [第1イベント会場(2H棟 1階101)]
「超ハイエンドコンピューティングへの挑戦」

【討論概要】

ベタフロップスコンピュータや高速広域ネットワーク、巨大ストレージ技術などの超ハイエンドコンピューティングはこれからの科学技術の発展、情報社会を支える基盤技術として期待されている。現在、計算科学分野においては、開発が進められている次世代スーパーコンピュータ(京速コンピュータ)によって計算規模が飛躍的に向上することが見込まれている。しかし、最先端の計算科学の推進のため、その次の世代の超ハイエンドコンピューティングへの挑戦が既に始まっている。この特別セッションでは、期待される次々世代の超ハイエンドコンピューティングの先端技術についてパネルディスカッションを行い、挑戦すべき要素技術の課題と研究の方向性、そこで起こるブレークスルーがどんな未来を開くのか等、様々な切り口での議論を行う。パネリストには文科省次世代スパコン要素技術プロジェクトメンバーや次世代グリッドの研究者を招き、会場との質疑応答を通じて次々世代の超ハイエンド技術の目指す方向性を探っていく。



司 会：佐藤 三久 (筑波大)

【略歴】

1959年生。1982年東京大学理学部情報科学科卒業。1986年同大学院理学系研究科博士課程中退。1991年、通産省電子技術総合研究所入所。1996年、新情報処理開発機構。2001年より、筑波大学システム情報工学研究科教授。2007年より、同大学計算科学研究センターセンター長。理学博士。並列処理アーキテクチャ、言語およびコンパイラ、計算機性能評価技術、グリッドコンピューティング等の研究に従事。情報処理学会、IEEE、日本応用数学会員。



パネリスト：加納 健 (NEC)

【略歴】

1989年3月京都大学大学院工学研究科修士課程修了。
同年NECに入社。入社以来、並列コンピュータの研究開発に従事。
現在、NECシステムプラットフォーム研究所研究マネージャ、情報学博士。



パネリスト：助川 直伸 (日立)

【略歴】

1992年3月 東京大学大学院工学系研究科電子工学専攻修士課程修了。
同年(株)日立製作所中央研究所入所、以来、スーパーコンピュータ、超並列計算機の研究開発に従事。
主にスーパーテクニカルサーバSRシリーズのアーキテクチャを担当。
2005年6月より、文部科学省委託研究「低電力高速デバイス・回路技術・論理方式の研究開発」に従事。



パネリスト：田中 良夫 (産総研)

【略歴】

1995年慶應義塾大学大学院理工学研究科後期博士課程単位取得退学。1996年技術研究組合新情報処理開発機構入所。2000年通産省電子技術総合研究所入所。2001年4月より独立行政法人産業技術総合研究所。現在同所グリッド研究センター主幹研究員。博士(工学)。グリッドにおけるプログラミングミドルウェアおよびグリッドセキュリティに関する研究に従事。
IC 1999、HPCS2005、SACIS 2006 最優秀論文賞、2006年度情報処理学会論文賞、ACM 会員。



パネリスト：平木 敬 (東大)

【略歴】

東京大学理学部物理学、東京大学理学系研究科物理学専門課程博士課程退学、理学博士。
工業技術院電子技術総合研究所、米国IBM社T. J. Watson 研究センターを経て現在東京大学大学院情報理工学系研究科勤務。数式処理計算機FLATS、データフロースーパーコンピュータSIGMA-1、大規模共有メモリ計算機JUMP-1など多くのコンピュータシステムの研究開発に従事。現在は超高速ネットワークを用いる遠隔データ共有システムData Reservoirシステムの研究、超高速計算システムGRAPE-DRの研究を行っている。



パネリスト：村上 和彰 (九大)

【略歴】

1982年3月京都大学工学部情報工学科卒業。1984年3月京都大学大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。1984年4月-1987年3月富士通株式会社勤務。1987年4月九州大学助手(工学部)。1992年4月九州大学講師(大学院総合理工学研究科)。1994年3月京都大学工学部博士号取得。1994年6月九州大学助教授(大学院総合理工学研究科)。2000年8月九州大学教授(大学院システム情報科学研究院)。2000年9月九州大学教授(情報基盤センター)併任。2001年4月九州大学教授(システムLSI研究センター)併任。2001年4月(財)九州システム情報技術研究所第1研究室長兼務。2002年4月東京大学教授(大学院工学系研究科)併任。2004年4月国立大学法人九州大学情報基盤センター長併任。2005年11月国立大学法人九州大学総長特別補佐(情報政策担当)併任。2007年4月国立大学法人九州大学情報統括本部長、情報基盤研究開発センター長。現在に至る。

特別セッション (4) : 地球にやさしい情報システムー持続可能な IT 社会を目指してー

【全体概要】

地球温暖化や自然破壊など環境問題が叫ばれて久しいが、最近特にグリーンコンピューティングやグリーンITをキーワードとして情報システムの環境に与える影響が改めて注目されている。廃棄物処理など現代社会共通の課題がある一方で、情報システムの高度化ならびに大規模化に伴いデータセンターなどで運用されるサーバやネットワーク機器のエネルギー消費も看過できない水準に達しており、システムの低消費電力化や効率的な電力利用が望まれている。情報システムは、社会システムの合理化等により省エネ・省資源を促進する役割も担っているが、それと同時に、情報システム自体の省エネ・省資源も急務となっているのである。そこで本特別セッションでは、低消費電力化技術を始めとする情報システムの環境負荷を軽減する技術に焦点を当て、持続可能な IT 社会を実現するための情報処理技術の役割と課題について展望する。



司 会：片山 紀生 (国立情報学研)

【略歴】

国立情報学研究所・コンテンツ科学研究系・准教授。

1990年東京大学工学部電気工学科卒業。1995年同大学院博士課程了。同年学術情報センター・研究開発部・助手。

2000年国立情報学研究所助教授、現在に至る。データベースシステムに関する研究に従事。

博士 (工学)。情報処理学会、電子情報通信学会、ACM、IEEE 各会員。

●講演 (1) 3月15日 (土) 9:30-10:05 [第1イベント会場 (2H棟 1階101)]

【Green High-Performance Computing: MegaProto の挑戦】

中島 浩 (京大)

【講演概要】

PFlops以上の計算性能を持つ100万コアクラスのスーパーコンピュータが近い将来に実現されようとしているが、このような巨大な性能・規模を実現するにはシステムの低電力化が必須である。我々は、2001年～2006年に実施した戦略的創造研究推進事業「低電力化とモデリング技術によるメガスケールコンピューティング」において、高性能計算分野における低電力技術の重要性を強く主張し、様々な観点からの研究を行った。その代表的な成果が低電力クラスタ MegaProto であり、1Uのサイズに16個の低電力プロセッサと2系統の Gbit Ethernet を搭載した高密度実装は、今日の技術水準から見ても依然としてトップクラスにある。また32GFlopsのピーク性能を320Wの電力で実現するだけでなく、アプリケーション性能でもコモディティサーバとしてはやはりトップクラスにある。本講演では、MegaProto の設計思想、アーキテクチャ、性能について述べるとともに、高性能・低電力システムにおける位置づけについても概観する。



【略歴】

1981年京都大学大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。同年三菱電機(株)入社。推論マシンの研究開発に従事。

1992年京都大学工学部助教授。1997年豊橋技術科学大学教授。2006年京都大学教授。

並列計算機のアーキテクチャ等並列処理に関する研究に従事。工学博士。

1988年元岡賞、1993年坂井記念特別賞受賞。情報処理学会計算機アーキテクチャ研究会主査、同論文誌：コンピューティングシステム編集委員長、同理事等を歴任。IEEE-CS、ACM、ALP、TUG各会員。

●講演 (2) 3月15日 (土) 10:05-10:40 [第1イベント会場 (2H棟 1階101)]

【グリーンIT：エネルギー効率の高いデータセンター構築の提案】

佐志田 伸夫 (APC ジャパン)

【講演概要】

ITにかかわる消費エネルギー削減(グリーンIT)への関心が高まっているが、現実にはIT機器で消費される電力エネルギーは増加を続けている。このため、電力供給と消費されたエネルギーがもたらす発熱の冷却に対応するためのインフラ設備に関する初期投資と、エネルギー費用を含む運用コストの削減がITユーザー企業にとっての課題である。この講演では大規模なデータセンターから個別企業のサーバールームに至るまで、データセンターを取り巻く状況を概説した上で、データセンター効率を定義し、その効率の具体的な改善手法について述べる。



【略歴】

1978年東京大学電気工学科卒業。パワーエレクトロニクスを応用した電源装置の研究、開発、設計に従事。

現在、(株)エーピーシー・ジャパンにて、UPS、空調設備、ラックなど、IT機器の安定な運用を支えるインフラ構築に関する製品開発、システム設計を統括。最近では、データセンターのエネルギー効率向上に関心が高く、エネルギー消費とCO₂排出の削減に関する各種提案を行っている。

技術士(総合技術監理部門 電気電子部門)、電気学会、IEEE 会員。

●講演 (3) 3月15日 (土) 10:40-11:15 [第1イベント会場 (2H棟 1階101)]

【高性能低消費電力プロセッサの実現技術ー回路技術とアーキテクチャの協調ー】

中村 宏 (東大)

【講演概要】

より高度で快適な情報化社会を実現するために、携帯端末機器においてもハイエンド情報機器においても、必要とされる処理を担うプロセッサのさらなる高性能・高機能化と低消費電力化が求められている。

性能を低下させずに低消費電力化を実現するためには、不要不急の動作をするスイッチング素子の動作を停止させる、あるいはゆっくりと動作させる必要がある。システムの設計は、デバイス、回路、アーキテクチャ、OSまでの多階層にまたがる最適化を必要とするが、低消費電力化の実現においては、デバイスと回路は、効果的に動作を停止あるいは遅くする役割を、アーキテクチャとOSは、不要不急の動作をする部分を抽出する役割を、それぞれ担う。本講演では、回路とアーキテクチャレベルに焦点を絞り、それぞれのこれまでの技術動向を述べると共に、回路とアーキテクチャ技術の協調によりさらなるブレークスルーを狙う研究について著者の研究を交えながら、現在の動向を述べる。



【略歴】

1990年東京大学大学院工学系研究科電気工学専攻博士課程修了。工学博士。現在、東京大学先端科学技術研究センター准教授。

計算機アーキテクチャ、ハイパフォーマンスコンピューティング、ディベンダブルコンピューティング等の研究に従事。

最近では、回路、アーキテクチャ、OSの協調による高性能・低消費電力コンピュータシステムの実現に興味を持つ。

現在、情報処理学会計算機アーキテクチャ研究会主査、情報処理学会より論文賞、山下記念研究賞、坂井記念特別賞、各受賞。

●講演 (4) 3月15日 (土) 11:15-11:50 [第1 イベント会場 (2H 棟 1階 101)]

「ルータ・スイッチ低消費電力化に向けた技術開発」

矢崎 武己 (日立)

【講演概要】

ICT (information and communication technology) の急速な進展を背景にインターネットを流れるトラフィックが急増している。

そのため、インターネットを構成するルータ・スイッチの総消費電力も急激に増加し、2001年に7.5億kWh/年であった総消費電力が、2010年には40kWh/年になるといった予測もある。この様な背景から国内の通信事業者はルータ・スイッチなどの通信機器の省電力施策を打ち出し、経済産業省はルータの低消費電力化技術の開発の一つの柱とした「グリーンITプロジェクト」を推進している。本講演では、デバイスから装置アーキテクチャに至るルータ・スイッチの低消費電力化技術を幅広く紹介する。本技術の一例として、ルータ・スイッチの転送能力を必要帯域に応じて制御し無駄な消費電力を削減する低消費電力化機能を取り上げる。さらに、低消費電力化へ向けた今後の課題とそのアプローチについて述べる。



【略歴】

1995年 (株) 日立製作所中央研究所入社。

ルータ、LANスイッチ、ATMスイッチのハードウェアアーキテクチャおよびQoS制御技術の研究開発に従事。

2002～2003年スタンフォード大学客員研究員。

情報処理学会会員、電子情報通信学会会員。

●全体質疑 3月15日 (土) 11:50-12:00 [第1 イベント会場 (2H 棟 1階 101)]

特別セッション (5) : 2015年へのセンサネットワーク

【全体概要】

我が国は2015年には、東京圏の人口が減少に転じると予想され、少子高齢化に伴う社会構造の変化と、医療費の上昇と高齢者介護問題、気候変動に伴う災害対策といった数々の社会問題が顕在化しはじめる。ユビキタスネットワーク社会の神経系たるセンサネットワークは、我々の生活様式、社会構造、経済活動、そして自然科学の解明に対していかなるインパクトを与えるのか。本特別セッションでは、センシング、ネットワークング、コンピューティングから社会像に至るまで、最新の研究開発動向を振り返り、2015年の未来社会に向けて我々がこれからのすべきことを議論する。



司 会：森川 博之 (東大)

【略歴】

1987年東京大学工学部電子工学科卒業。1992年同大学院博士課程修了。1997年～1998年、コロンビア大学客員研究員。

2002年～2006年、NICT モバイルネットワークグループリーダー兼務。現在、東京大学先端科学技術研究センター教授。

専門はコンピュータネットワーク、モバイルコンピューティング、無線ネットワーク、フォトリソグラフィインターネット等。

電子情報通信学会論文賞、情報処理学会論文賞受賞ほか、総務省情報通信審議会、国土交通省交通審議会専門委員等。

●講演 (1) 3月15日 (土) 14:30-15:00 [第1 イベント会場 (2H 棟 1階 101)]

「スマートセンサネットワークのインパクト—ユビキタスサービスの創出—」

徳田 英幸 (慶大)

【講演概要】

スマートセンサネットワークは、2015年に向けてもっとも進化するICT技術の1つである。従来のネットワークがPCやケータイをネットワークに接続していたのに対し、スマートセンサネットワークは、あらゆるモノや空間をネットワークにシームレスに接続することを可能とし、モノのスマート化、環境の見える化、リアル空間とバーチャル空間の融合を加速する。本講演では、ユビキタスコンピューティングの視点から、スマートセンサの活用によるスマートオブジェクトサービスや環境モニタリングに関するユビキタスサービスの新しい事例を紹介し、スマートセンサネットワークが2015年の未来社会にむけてどのようなインパクトを与えるかについて述べる。



【略歴】

1975年慶應義塾大学工学部卒。同大学院工学研究科修士。ウォータールー大学計算機科学科博士 (Ph.D. in Computer Science)。1983年米国カーネギーメロン大学計算機科学科に勤務。研究准教授を経て、1990年より、慶應義塾大学環境情報学部勤務。慶應義塾常任理事 (1997-2001年)を経て、現職。主に、ユビキタスコンピューティングシステム、オペレーティングシステム、分散システムに関する研究に従事。現在、日本学術会議連携会員、情報処理学会技術応用委員会委員長、電子情報通信学会ネットワークロボット時限研究会委員長、ネットワークロボットフォーラム会長などを務める。研究教育業績に関してMotorola Foundation Award, IBM Faculty Award, 経済産業大臣賞、総務大臣賞などを受賞。

●講演 (2) 3月15日 (土) 15:00-15:30 [第1 イベント会場 (2H 棟 1階 101)]

「[人×センサ] センサ情報が変える人・組織・社会」

矢野 和男 (日立)

【講演概要】

20世紀の省力化モデルを超えて、21世紀の価値創生モデルとして、人の潜在力を最大に活用する「人間×センサ」を提唱する。人に常時装着し、生活や組織のあらゆる活動を跡 (のこ) す「ライブ顕微鏡」, 「ビジネス顕微鏡」(総称して「X-顕微鏡」と呼ぶ) により、新しい生き方・世界観が生まれる。特に、人・組織のあらゆる活動はその「リズム」に投影されることを提唱し、遺伝子や脳や言語を通しては追えない、人や社会の本質が「リズム」により見えてくることを示す。人が「この世に生を受け、生きていく意味は何だろうか」という問いを發した時、科学や工学は「答えない」という冷淡な態度を当然としてきた。「X-顕微鏡」による「リズム」の知覚はこれを超え、分析を超えた知覚、過去から未来を知る気づき、個が全体感を持つ高い志に誘い、21世紀の人・組織・社会の進化を牽引していくであろう。



【略歴】

1984年早稲田大学理工学部修士卒、日立製作所入社。93年早稲田大学より工学博士授与。84年中央研究所に配属以来、新半導体デバイス/回路の研究。特に世界初の単一電子メモリの室温動作、パストランジスタ論理などの低電力高速論理回路の研究及び事業化。SH モバイルプロセッサなどのシステムLSIおよびメモリ設計の研究部長、センサネットワーク戦略プロジェクトのプロジェクトリーダーを経て、2006年10月より中央研究所主管研究長と基礎研究所人間情報システムラボ長を兼任。IEEE Fellow, 電子情報通信学会, 応用物理学会会員。2007 VLSI Symposium on Circuits プログラム委員長, 他学会委員を多数歴任。1994 IEEE Paul Rappaport Award, 1996 IEEE Lewis Winner Award, 1998 IEEE Jack Raper Award, Most Promising Scientists Award of 2007 Ettore Majorana International School on Mind, Brain, and Education を受賞。

●講演 (3) 3月15日(土) 15:30-16:00 [第1イベント会場 (2H棟 1階101)]

「情報大航海時代のケータイ」

佐藤 一夫 (NTTドコモ)

【講演概要】

ケータイのネットワークトレンド、端末トレンドにあわせたケータイのビジネスモデルの変化を解説し、最近のソリューショントレンドを踏まえた情報大航海プロジェクトのサービスコンセプト、実証実験の概要及び今後のサービス展開モデルについて説明する。



【略歴】

1987年4月NTT入社、データ通信事業本部。1990年3月NTT北陸情報システム開発センター。

1992年3月NTT情報システム本部。1996年3月NTTマルチメディアビジネス開発部。

1999年7月NTT東日本マルチメディア推進部。

2001年4月～NTTドコモ法人営業本部 現在に至る。

eエアポート実証実験、六本木ヒルズでの実証実験、情報大航海プロジェクト等数多くの国家プロジェクトでの実証実験に関わる。

●パネル討論 3月15日(土) 16:00-17:00 [第1イベント会場 (2H棟 1階101)]

「2015年に向けてすべきこと」

司 会：司 会：森川 博之 (東大)

略歴・写真は「特別セッション (5)：2015年へのセンサネットワーク」司会紹介を参照。



パネリスト：川原 圭博 (東大)

【略歴】

2000年東京大学工学部電子情報工学科卒。2002年東京大学大学院工学系研究科電子情報学専攻修了。

2005年東京大学大学院情報理工学系研究科電子情報学専攻修了。同年東京大学大学院情報理工学系研究科助手。2007年同助教。

ピアツーピアネットワークに関する研究のほか、ユビキタスコンピューティング環境を構成するためのネットワーク技術やセンサデータからの行動理解、およびその応用に関する研究に従事。

パネリスト：佐藤 一夫 (NTTドコモ)

略歴・写真は「講演 (3) 情報大航海時代のケータイ」を参照。



パネリスト：田村 大 (博報堂)

【略歴】

1994年、東京大学文学部心理学科卒業。2005年同大学大学院学際情報学府博士課程単位取得退学。1994年博報堂入社、2000年より現職。

情報科学、認知科学を専門とし、ヒューマンファクターに基づく新たな情報技術の発案と開発を推進する。最近では人間の創造性を高める技術に関心を持ち、様々なシステムの開発と評価を通じて、あるべき技術の姿を模索する。著書に『センサネットワーク技術』（共著・東京電機大出版局）など。

パネリスト：徳田 英幸 (慶大)

略歴・写真は「講演 (1) スマートセンサーネットワークのインパクトーユビキタスサービスの創出ー」を参照。

パネリスト：矢野 和男 (日立)

略歴・写真は「講演 (2) 『人×センサ』センサ情報を変える人・組織・社会」を参照。

特別セッション (6)：仮想化技術が変える IT の未来

メインフレームの時代に考案された仮想マシンが、現在オープン系のシステムで再び注目され、利用が広がってきている。これは、シンクライアントなどに代表されるサーバ集約型のPC環境の利用拡大、ハイエンドブレードサーバによる物理サーバの統合、C10K問題など、超大規模Webトラフィックへの効率的な対応などの多くのPC環境の変化が要因となっている。このセッションでは、仮想マシンの生まれた歴史的背景から、最新の仮想マシンや仮想化技術全般の動向、および今後の方向性などを紹介する。



司 会：野村 佳秀 (富士通)

【略歴】

1998年青山学院大学大学院理工学研究科経営工学専攻博士前期課程修了。

同年(株)富士通研究所入社。

以降、Webサービスセキュリティ技術、企業間商取引基盤、業務プロセス可視化技術等の研究開発に従事。

修士(工学)。

●講演 (1) 3月14日 (金) 9:30-10:00 [第2 イベント会場 (2H棟 2階201)]

「仮想マシンの歴史と現在の応用」

梅野 英典 (熊本大)

【講演概要】

仮想マシン (仮想計算機 VM) の草創期, 発展期, 展開期, 円熟期, 過去及び現在の応用分野に分けて解説する。仮想計算機について, アーキテクチャ上の原理, 実現方法, 種類, 性能向上のためのソフトウェア方式とハードウェア方式, その可用性や信頼性の向上のための方法について解説する。過去40年余のメインフレームにおける仮想計算機技術を概観し, 現在のサーバやパソコンにおける仮想計算機技術との関係について述べ, 今後の, 仮想計算機の発展や応用形態について期待するところを述べる。



【略歴】

1970年3月九州大学理学部数学科卒業。

同年4月株式会社日立製作所中央研究所入所。1976年8月同システム開発研究所。1993年2月同汎用コンピュータ事業部。

1996年9月博士 (理学: 東京大学)。1998年10月熊本大学教授。

研究分野: 以下の性能・機能・信頼性向上方式の研究: オペレーティングシステム, 仮想計算機, データベースシステム。

情報処理学会, ACM, IEEE Computer Society 会員。

●講演 (2) 3月14日 (金) 10:00-10:30 [第2 イベント会場 (2H棟 2階201)]

「仮想マシンの舞台裏」

名倉 文雄 (VMWare)

【講演概要】

スタンフォード大学の仮想マシン研究プロジェクトをベースに製品展開を行っている VMware, Inc の技術を紹介する。VT や NPT, EPT 等現在巷を騒がせているハードウェアの仮想化支援機構がない時代に, どのようにインテルアーキテクチャ上で商用可能なレベルの仮想マシン・アーキテクチャが作られたか, 既存技術と新しい技術の融合, また, これからどのような新技術が実現されるのか, 仮想化技術の方向性の一端を説明したい。



【略歴】

BSD系 Unix OS の開発, PC用 RDB・第4世代言語処理システム, オブジェクト指向データベース等のシステムソフトウェア開発等の外資系ソフトウェア企業を経て, 2003年, ヴィエムウェア株式会社設立に参加。

仮想マシンの技術の有益性を実証するべく, 仮想化提案の推進, 仮想インフラストラクチャの啓蒙等を行っている。

●講演 (3) 3月14日 (金) 10:30-11:00 [第2 イベント会場 (2H棟 2階201)]

「サーバ仮想化技術の最新動向」

上野 仁 (日立)

【講演概要】

仮想計算機はメインフレーム時代に技術的な土台が形成されたが, 現在のプロセッサにおいてはアーキテクチャの違いから多様な実装方法が考えられている。サーバを仮想化するという考え方からは, 多数のアプリケーション実行環境を一つの OS 上に構築する, いわゆる箱庭方式も仮想化機能に挙げられることがあるが, 近年特に注目されている技術は複数の OS を独立に動作させるためにハードウェアを仮想化する仮想計算機方式である。さらに, 仮想計算機の I/O 実行方式に着目すると, 純粋にソフトウェアで実現するハイパーバイザエミュレーション方式とハードウェア支援により実現するパススルー方式などがあり, それぞれに異なる利点がある。本講演ではこれらの技術とその活用シーンについて解説する。



【略歴】

1984年4月 (株) 日立製作所入社。

メインフレーム用オペレーティングシステム VOS3 の研究開発に従事。メインフレームコンピュータのファームウェア開発, 運用管理ソフトウェア開発, データセンタ運用などの業務を経て現在サーバ仮想化機構「Virtage」の開発に従事。ユースケースを想定したシステム製品仕様の設計を担当している。

情報処理学会会員, IEEE-CS 会員, 技術士 (情報工学)。

●パネル討論 3月14日 (金) 11:00-12:00 [第2 イベント会場 (2H棟 2階201)]

「仮想化技術の展望」

【討論概要】

仮想化技術はメインフレームを中心に古くから利用されてきた技術であるが, 近年, PC にも適用され独自の発展を遂げている。過去10年における仮想化技術の大きな動きとして, PC 向け仮想化ソフトウェアの登場と市場拡大, オープンソースの良質な仮想化ソフトウェアの登場, PC 向けプロセッサへの仮想化支援機能の導入, 仮想化を意識した OS 構造の見直しなどがある。これまでに培われてきた仮想化技術を再考し, 現代の情報システムにおけるあるべき姿を追求する試みが盛んである。仮想化は極めて有用な基盤技術であり, 今後も広く利用され, 発展していくことが予想される。このパネルでは, 産業界と学術界における仮想化分野の専門家をパネリストに招き, 仮想化技術の過去における道のりおよび現状を概観し, 今後の展望について討論する。仮想化分野における技術課題は何か, 仮想化技術は今後どう発展していくのか, 我々はどうのように仮想化技術の発展に影響を与えていけるかなどについて議論を行う。



司 会: 大山 恵弘 (電通大)

【略歴】

1973年生。2001年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻修了。博士 (理学)。

科学技術振興事業団研究員, 東京大学大学院情報理工学系研究科助手を経て, 現在, 電気通信大学情報工学科准教授。

興味はシステムソフトウェア, セキュリティ, プログラミング言語, 並列分散処理。

パネリスト: 上野 仁 (日立)

略歴・写真は「講演 (3) サーバ仮想化技術の最新動向」を参照。

パネリスト: 梅野 英典 (熊本大)

略歴・写真は「講演 (1) 仮想マシンの歴史と現在の応用」を参照。

パネリスト: 名倉 文雄 (VMWare)

略歴・写真は「講演 (2) 仮想マシンの舞台裏」を参照。

シンポジウム (1) : 超臨場感コミュニケーションの動向と将来展望

【全体概要】

遠く離れた場所からでも同じ空間を共有でき、互いのその場にいるような自然でリアルなコミュニケーションを実現するため、見る、聞く、触る、香るといった五感を伝送する新しいメディアである超臨場感コミュニケーションに対する期待が高まっている。現在、超高精細・立体映像技術、自由視点映像技術などの映像技術に加え、高臨場感音場の再生技術や触覚や嗅覚、味覚のような人間の感覚を伝える技術など、さまざまな観点からの研究開発が進められている。平成19年3月、関係する研究者・事業者・利用者が広く参集し、相互の情報交換や異分野間交流を推進するとともに、産学官連携による研究開発・実証実験・標準化等の効率的な推進を図ることを目的として、超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム (URCF) が設立された。本特別セッションでは、URCFのこの1年間の活動の紹介を中心に、最新の技術動向に関する講演を行う。さらに、URCFの今後の活動、将来の技術展望についてパネルディスカッションにより議論する。



司 会：小池 淳 (KDDI 研)

【略歴】

1985年東北大学大学院工学研究科博士前期課程修了。

同年国際電信電話株式会社 (現在のKDDI) に入社、以来、同社研究所において、動画像符号化方式、知的画像符号化、医療画像符号化、通信放送連携サービスシステム、モバイルマルチメディアアプリケーション、自由視点映像技術の研究開発などに従事。

現在、株式会社KDDI研究所映像通信グループリーダー、博士 (情報学)、正会員。



司 会：甲藤 二郎 (早大)

【略歴】

1987年3月東京大学工学部電気工学科卒業。1992年3月同大学工学系研究科博士課程電子工学専攻修了。同年4月日本電気株式会社入社。

1996年～1997年米国プリンストン大学客員研究員。1999年4月早稲田大学理工学部電子・情報通信学科助教授。2004年4月早稲田大学理工学部コンピュータ・ネットワーク工学科教授ならびに新エネルギー・産業技術総合開発機構主任研究員。2007年4月早稲田大学基幹理工学部情報理工学科教授。主にマルチメディア通信、信号処理の研究に従事。

【第一部 13:00-15:00】

●基調講演 3月13日 (木) 13:00-13:45 [第2イベント会場 (2H棟 2階201)]

「超臨場感コミュニケーション実現に向けて」

榎並 和雅 (NICT)

【講演概要】

超臨場感コミュニケーションとは、視覚、聴覚、触覚、嗅覚といった五感情報の伝達によって、あたかもその場にいるような高い臨場感を提示することに加え、物理的に伝達される情報以上の、より大きな感動やより深い理解がえられるようなコミュニケーション手段であると考えている。このような超臨場感コミュニケーションを実現するために、(独)情報通信研究機構 (NICT) では、電子ホログラフィ技術を中心とした立体映像・音響技術の研究と、認知メカニズムの解析などによって人間にとって最適化された臨場感を生成する技術の研究を進めている。また、産学官で連携して関連科学技術の研究を効果的に進めるために、2007年3月「超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム (URCF)」を立ち上げた。このURCFでは、実証実験や標準化、アプリケーションの開発、関連技術者・研究者が目指すべき方向とロードマップ作成を行っている。



【略歴】

1971年東京工業大学電子物理工学科卒、同年NHK入局。放送技術研究所にてデジタル映像信号処理技術などの研究に従事。

NHK総合企画室デジタル放送推進担当局長などを経て、2004年～2006年NHK放送技術研究所所長。

現在、(独)情報通信研究機構ユニバーサルメディア研究センター長。

超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム (URCF) 企画推進委員長。

工学博士、IEEEフェロー、日本学術会議連携会員。

●講演 (1) 3月13日 (木) 13:45-14:10 [第2イベント会場 (2H棟 2階201)]

「次世代立体映像技術の研究動向」

高木 康博 (農工大)

【講演概要】

最近、次世代の映像技術として立体ディスプレイの研究開発が加速している。本講演では、最近の国内外の立体ディスプレイの研究開発動向について紹介する。特に、裸眼立体表示、多視点立体表示、ホログラフィー表示などの次世代の立体表示技術の表示原理と研究動向について紹介する。さらに、立体表示には眼精疲労などの人間に与える問題が存在するが、これを解決することを目指した自然な立体ディスプレイの研究動向について紹介する。これには、超多眼表示や高密度指向性表示などが知られているが、これらの表示原理、表示装置、および人間の応答の測定結果について説明する。また、最近の研究で、立体表示は、単に奥行きを再現だけでなく、物質のもつ質感再現にも非常に有効であることがわかってきたので、これについても紹介する。



【略歴】

1988年早稲田大学大学院理工学研究科修了。1991年から、早稲田大学助手。1992年早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程修了 (博士 (工学))。1994年より、日本大学文理学部専任講師。2000年東京農工大学大学院助教 (現在、准教授)。

現在の専門は、立体ディスプレイやホログラフィーなど立体映像関連技術。

応用物理学会会員、映像情報メディア学会会員、OSA会員、SPIE会員など。

3映像情報メディア学会丹羽高柳賞、次元画像コンファレンス優秀論文賞、日本光学会研究奨励賞など。

●講演 (2) 3月13日 (木) 14:10-14:35 [第2イベント会場 (2H棟 2階201)]

「五感・認知と超臨場感コミュニケーション」

河合 隆史 (早大)

【講演概要】

「超臨場感」とは、自然でリアルなコミュニケーションを実現する技術の総称である。利便性の向上や心の豊かさをもたらす、近未来のICT社会の形成に貢献すること、心の中の想像力、何かを感じる、アイデアを膨らませる能力といった、ヒトの感性に訴求する表現を確立していくことなどが、目標として掲げられている。したがって、技術開発の方向性としては、ヒトの本来性に由来していることが前提と考えている。

五感・認知分科会では、「超」というキーワードに対し「Super」と「Meta」のアプローチを想定している。「Super」とは、触覚や嗅覚など、単一の感覚刺激の高度化を志向するアプローチを意味する。一方で、「Meta」とは、クロスモーダルや共感覚など、複合的な感覚や体験を志向するアプローチである。当分科会では、それらの相互作用が期待できるよう作業班と課題を設定し、少しずつ活動を進めている。本講演では、当分科会のこれまでの活動に加え、関連する筆者らの研究事例も紹介したい。



【略歴】

早稲田大学大学院国際情報通信研究科・准教授、博士 (人間科学)。

1993年早稲田大学人間科学部・卒業、同大学院人間科学研究科修士課程・博士後期課程を経て、1998年早稲田大学人間科学部・助手。

2000年早稲田大学国際情報通信研究センター・専任講師。2002年早稲田大学大学院国際情報通信研究科・助教。

2007年早稲田大学理工学術院 基幹理工学部 表現工学科・准教授を併任。

人間工学を専門とし、人に優しい次世代情報通信技術の発展・普及に取り組んでいる。

●講演 (3) 3月13日 (木) 14:35-15:00 [第2イベント会場 (2H棟 2階201)]

「臨場感に関する認知メカニズム」

安藤 広志 (NICT)

【講演概要】

臨場感とは「あたかも自分がそこにいる感覚」と定義できるが、その生起要因は複雑であり、立体感・質感・包囲感といった空間要素、動感・同期感といった時間要素、さらには自己存在感・インタラクティブ感・情感のような身体要素の複合として生起していると考えられる。人が感じる臨場感をより客観的・定量的に測定・評価するためには、印象評定による主観評価だけでなく、心理物理実験、脳活動計測、生体信号計測、身体行動計測等を用いて、臨場感に関する人の知覚認知メカニズムを多角的に探っていく必要がある。本講演では、立体映像が物体表面の質感 (光沢感) に与える効果や視覚情報と触覚情報の相互作用に関する心理物理実験、多感覚情報のイメージ生成に関わる脳内メカニズムや映像の自然らしさの脳内生起メカニズムを探るfMRI脳活動計測など、当研究チームが実施している研究内容について紹介する。



【略歴】

1983年京大物理学部 (物理学) 卒。

1987年京大文学部 (心理学) 修士課程修了。1992年MIT 脳・認知科学部博士課程修了 Ph.D. (計算神経科学)。

同年、ATR 人間情報通信研究所研究員。

ATR 人間情報科学研究所主任研究員を経て、2006年より ATR 認知情報科学研究所認知ダイナミクス研究室長、NICT ユニバーサルメディア研究センタープロジェクトマネージャー、多感覚情報処理、認知脳科学の研究に従事。

【第二部 16:30-17:45】

●パネル討論 3月13日 (木) 16:30-17:45 [第2イベント会場 (2H棟 2階201)]

【討論概要】

超臨場感コミュニケーション技術は、超高精細・立体映像や五感通信などの要素技術からなり、それらは、独立にあるいは統合されて機能する。これらを実現するためには工学分野とともにヒューマンインターフェース、心理、認知など多くの他分野との協調や共同作業が必要となる。

パネル討論では、パネラーの方々とともに超臨場感コミュニケーション産学官フォーラムでの役割を踏まえつつ、それぞれの専門分野の立場から、超臨場感コミュニケーションに関連し、特に境界領域的な事柄について議論を進める。



司 会：岡野 文男 (NHK 放送技研)

【略歴】

1978年NHK入局、名古屋放送局を経て1981年から放送技術研究所勤務。カメラ中心にハイビジョンシステムの研究開発を進める。その後、高臨場感映像システムの研究に転じ、超高精細映像や立体映像の研究に従事。2005年愛知万博スーパーハイビジョン展示では技術統括、テレビ方式部長などを経て、現在、研究主幹、博士 (工学)。

パネリスト：河合 隆史 (早大)

略歴・写真は「講演 (2) 五感・認知と超臨場感コミュニケーション」を参照。



パネリスト：酒澤 茂之 (KDDI 研)

【略歴】

1992年3月、神戸大学大学院工学研究科修士課程修了。

同年4月、国際電信電話 (株) (現 KDDI 株式会社) に入社。以来、画像符号化、画像通信システム、携帯電話マルチメディアシステム、DRM 技術の研究開発に従事。最近では超臨場感映像技術、特に、自由視点映像合成技術に関心を持つ。

現在、(株) KDDI 研究所映像通信グループ主任研究員、博士 (工学)。

パネリスト：高木 康博 (農工大)

略歴・写真は「講演 (1) 立体映像技術の研究動向」を参照。



パネリスト：森田 茂 (日本 SGI)

【略歴】

1996年日本 SGI (SiliconGraphics) 入社、グラフィックスシステム関係に従事。2001年グラフィックスソリューション推進部長を経て、2007年ビジュアルイゼーション事業本部長に就任。3Dシアター構築、裸眼立体視など立体視の普及活動に従事。

現在、超臨場感コミュニケーションフォーラム普及促進部会アプリケーション分科会主査、3Dコンソーシアム幹事。

日本 SGI 営業推進本部長。

シンポジウム (2) : 私の詩と真実

[全体概要]

情報処理学会歴史特別委員会ではオーラルヒストリーのインタビューを進めているが、大先輩のお話は毎回大変示唆に富み印象的なので、これを若い世代の会員の方々に直接お聞かせ出来ないものかと検討してきた。そこで、海外の事例なども参考にして、バイオニア（あるいはそれに相当する）方を講師とする特別セッションを企画した。本シンポジウムでは講師に情報処理学会会長経験者でもある野口先生と長尾先生を迎えて、研究生生活の夢と現実などご自身の体験を中心にお話いただき、その後質疑応答などを行う。



司 会：和田 英一 (IIJ 技研)

[略歴]

1955年東京大学理学部物理学卒業。1957年修士課程終了。1957年～1964年小野田セメント調査部統計課。
1964年～1992年東京大学工学部計数工学科。1992年～2002年富士通研究所。2002年～IIJ技術研究所。
IFIP WG2.1 メンバー、WIDE プロジェクトメンバー、情報処理学会プログラミング・シンポジウム委員会運営委員長、情報処理学会誌編集長などを歴任。

●開会挨拶と企画趣旨 3月14日(金) 15:30-15:35 [第2イベント会場 (2H棟 2階201)]

和田 英一 (IIJ 技研)

略歴・写真は「シンポジウム (2) 私の詩と真実」司会紹介を参照。

●講演 (1) 3月14日(金) 15:35-16:30 [第2イベント会場 (2H棟 2階201)]

「通信から知的コミュニケーションに向けて」

野口 正一 (仙台応用情報学研究振興財団)

[講演概要]

日本の情報科学・工学の黎明期 (1950年代) からの一研究者の軌跡 (情報知の流れ)

報告のまとめ：三つのフェーズの研究と情報処理の教育について

第一フェーズ

- ・有限時間通信理論の構築
 - シャノン限界に近づく組織的な符号体系は存在するのか
- ・ゼロから出発したコンピュータ設計 (理論体系の欠如、実装の困難さ)

第二フェーズ

- ・オートマトン理論の代数論的アプローチ (東北大学派の創出)
- ・人間と機械融合の情報処理システム：自己組織系、学習理論、NP-Hard問題
 - 生物から学んでニューロンネットワークシステムを本質的に超える処理体系を導出できるか
- ・コンピュータ、ネットワークシステムの理論解析
 - 理論はどこまで実システム設計に貢献できるか

第三フェーズ

- ・情報のセマンティックス処理のための方法論
 - サーカムクリプション、モーダルロジック、メタファの体系
 - セマンティックスのための論理体系の構築は？

情報処理教育の問題

- ・情報処理学会による日本における情報処理教育に対する提言とカリキュラムのデザイン (1991年)
 - 21世紀の社会に対応できる情報学の体系化、大学のあり方、教育カリキュラムの設計はできるか？



[略歴]

1954年東北大学卒業、1960年博士課程、1961年工学博士取得、1971年東北大学電気通信研究所教授、1984年東北大学大型電子計算機センターセンター長、1990年東北大学応用情報学研究センターセンター長、財団法人仙台応用情報学研究振興財団理事長。1993年日本大学工学部情報工学科教授、1995年情報処理学会会長、1997年津田学園学長。

現在、東北IT産業推進機構会長、NPO法人みちのく情報セキュリティ推進機構理事長、東北ITクラスタ・イニシアティブ理事長、次世代健康福祉・介護情報基盤技術開発コンソーシアム理事長等を兼任。

●講演 (2) 3月14日(金) 16:30-17:25 [第2イベント会場 (2H棟 2階201)]

「人間的情報処理を目指して」

長尾 真 (国立国会図書館)

[講演概要]

[詩] 修士課程に入ったころはコンピュータが使われ始めたときで、またオートマトン理論、チューリング機械についての研究も盛んであった。その中に、コンピュータは万能かという議論も含まれていた。私は、コンピュータは論理的なことは何でもできるが、論理的でない人間的なことがどこまでできるかに特に興味を持った。

[真実] 人は文字を読み取り、写真の中の人物を特定できるが、これをコンピュータでどこまでやれるかの研究をした。1965年に文字読み取り装置を開発、1973年に人の顔写真の解析に成功した。

人間固有の能力である言語をコンピュータで扱うことにも挑戦した。機械翻訳の研究をし、1986年に日英・英日機械翻訳システムを作った。また人のやっている翻訳方法を真似した用例主導翻訳という方式を提唱し、今日かなり広く用いられるようになっていく。

略歴・写真は22ページ「招待講演 (1) 情報は我らを豊かにする」を参照。

●総括と閉会挨拶 3月14日(金) 17:25-17:30 [第2イベント会場 (2H棟 2階201)]

和田 英一 (IIJ 技研)

略歴・写真は「シンポジウム (2) 私の詩と真実」司会紹介を参照。

シンポジウム (3) : 優秀情報処理教育紹介

【全体概要】

本会創立40周年を契機として、平成12年度より優秀教育賞・優秀教材賞が制定され、毎年、会員から候補の推薦を広く募集し、推薦のあった候補の中から情報処理教育委員会内に設けられた教育賞委員会で選定して全国大会において表彰が行われている。受賞者のすぐれた情報処理教育や情報処理教育用の教材については、学会のウェブページで紹介されているが、このセッションでは、受賞者の方に実際の様子実際にその教育の様子を実演も交えて紹介してもらい、情報処理教育の改善・発展のきっかけとすることを目的とする。



司 会：角田 博保（電通大）

【略歴】

1974年東京工業大学理学部情報科学科卒業。1976年同大学院修士課程修了。1981年同大学院博士課程単位取得退学。同年東京工業大学研究生。1982年電気通信大学計算機科学科助手。1990年同大学情報工学科講師。1992年助教授。2007年准教授。現在に至る。理学博士。計算機システムのヒューマンインタフェース、教育支援システム、文字列処理等に興味を持つ。ACM、電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会、日本認知科学会、ヒューマンインタフェース学会、人間中心設計推進機構各会員。

●教育賞の紹介 3月15日（土）9:30-9:40 [第2イベント会場（2H棟 2階201）]



寛 捷彦（早大）

【略歴】

1970年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。
東京大学助手、立教大学理学部講師・助教授を経て、1986年から早稲田大学理工学術院教授（基幹理工学部情報理工学科）。プログラミングおよびプログラム言語に関して研究教育を行う。
本会フェロー、情報処理教育委員会委員長、学術会議連携会員、日本ソフトウェア科学会、ACM等会員。

●講演 (1) 3月15日（土）9:40-10:50 [第2イベント会場（2H棟 2階201）]

「細粒度マイコン設計教育における正統的周辺参加」

高橋 隆一（広島市大）

【講演概要】

受賞の対象となったのは学部3年生を対象とするマイクロコンピュータ設計教育（City-1）である。一人一台、自由な命令セットのコンピュータを設計し、製作までを行わせる学生実験で、8割という達成率をもち、各自が設計製作をWEB上で紹介している点などをご評価いただいた。広島市立大学に最初の3年生が誕生した1996年度以来、情報工学科の3年生50人余りを対象に毎年実施してきた。

実施5年目までは1万ゲートのFPGAを用い、3段程度のバイブライン設計教育を行っていたが思うような工夫が見られなかった。実施6年目にスーパースカラプロセッサの命令発行機構に注目させる指導に切り替えたところ多くの工夫が見られるようになった。正統的周辺参加として知られている教育理論における有効な入り口（way-in）を形成したためだと考えられる。2004年度には20万ゲートのFPGAを投入した。2008年度には周辺回路を取り込むことで手間やコストの削減を計る。



【略歴】

1978年早稲田大学理工学部物理学科卒。1981年東京工業大学大学院修士課程修了。
同年NEC（日本電気株式会社）入社。超LSI開発本部システム部にてバイブライン化の技術調査に従事する他、高レベル自動設計システムの開発に従事。C&Cシステム研究所システム基礎研究部主任を経て、1991年東京工業大学工学部助手、1994年広島市立大学情報科学部情報工学科助教授。学部3年生を対象にマイクロコンピュータ設計教育（City-1）を実施。2004年3月に平成15年度優秀教育賞受賞。2007年情報工学専攻准教授。情報工学科兼務。

●講演 (2) 3月15日（土）10:50-12:00 [第2イベント会場（2H棟 2階201）]

「プログラムチェック機能を組み込んだ初等プログラミング教育環境」

伊東 幸宏（静岡大）

【講演概要】

静岡大学情報学部において、プログラミング系の科目で運用している教育学習環境を紹介する。これは、教材の配布、レポート提出、学生自身によるプログラム自己チェックの支援、レポート評価支援を行うものである。学生はWebから教材を閲覧・入手し、授業に臨む。授業で講義を聞き、例題のチェックと課題の説明を受けて課題に取り組む。作成したプログラムは、メールに添付して送付する。システムはメールを受け取ると、ソースコードを自動的にコンパイラとコード検証ソフトに通してチェックを行い、それらの出力を学生向けにアレンジする。学生はWebページからシステムからのメッセージを閲覧できる。それを参考に学生はプログラムを自己チェックし、必要があれば修正して再提出を行う。教員は提出されたレポートをWebからチェックし、Webを介して、あるいは、メールでコメントを返す。現在、プログラムの半自動チェック機能を組み込むことを計画している。



【略歴】

1987年早稲田大学大学院博士後期課程修了。
同年同大学理工学部電子通信学科助手。1990年静岡大学工学部情報知識工学科助教授。2000年静岡大学情報学部教授。
現在、同大学創造科学技術大学院教授（情報学部兼務）。2007年より情報学部長。
工学博士。自然言語処理、知的教育システム等に興味を持つ。
情報処理学会、教育システム情報学会、人工知能学会、言語処理学会、日本認知科学会各会員。

シンポジウム (4) : 情報専門学科におけるカリキュラム標準「J07」最終報告

【全体概要】

2006年度・2007年度にわたって策定作業を進めた情報専門教育カリキュラム標準 J07の内容を報告する。第1セッションでは、コンピュータ科学、情報システム、ソフトウェアエンジニアリング、コンピュータエンジニアリング、インフォメーションテクノロジーの各領域について、それぞれの目標とする人材像と、知識体系(2006年度の成果)のコアを習得するためのカリキュラム例を紹介する。第2セッションでは、引き続き一般情報処理教育に対する知識体系・カリキュラム例、および非情報専門学科から情報を専門とする大学院修士課程に進む学生が最低限必要と考える知識内容について紹介する。その上で J07 全般についてのパネル討論を行う。



司 会：佐渡 一広 (群馬大)

【略歴】

1977年東京工業大学理学部情報科学科卒業。1979年同大学院修士課程修了。
1983年同大学院博士課程単位取得退学。1983年群馬大学工学部助手。
1987年同大学助教授。1993年同大学社会情報学部助教授。理学博士。
プログラミング言語、教育支援、電子民主主義等に興味を持つ。ACM, IEEE, 日本ソフトウェア学会他会員。

【第一部 13:00-15:00】

●講演 (1) 3月13日 (木) 13:00-13:10 [第3 イベント会場 (理科系修士棟 C棟 1階 C103)]

「J07プロジェクト総括報告」

算 捷彦 (早大)

【講演概要】

情報処理学会が情報専門学科カリキュラム標準 J97を公表してからすでに10年近くが経過した。この間に、情報に関する科学技術は大いに発展し変貌した。米国では、IEEE CSとACMが共同してカリキュラム標準策定を進め、2001年～2005年にかけて、CS, IS, SE, CE, ITの各領域に対するものを公表してきた。日本国内でも、高度情報技術者を求める声が高まり、各種の高度IT技術者養成施策が省庁連携して実施されるに至っている。こうした動きに呼応して、情報処理教育委員会の下に情報専門学科カリキュラム標準策定プロジェクト J07が2006年7月に発足した。このプロジェクトは、2007年度中にカリキュラム標準を公表することを目標として、CS, IS, SE, CE, ITの領域ごとに委員会を設けて作業が進められた。2006年度は、それぞれの領域での知識項目を洗い出し、その必須項目をコアとして定めた知識体系の案を定め、2007年3月の全国大会で発表した。2007年度は、コアを教育するに足りるカリキュラム例を作成した。

略歴・写真は「シンポジウム (3) 優秀情報処理教育紹介『教育賞の紹介』」を参照。

●講演 (2) 3月13日 (木) 13:10-13:30 [第3 イベント会場 (理科系修士棟 C棟 1階 C103)]

「コンピュータ科学領域」

疋田 輝雄 (明大)

【講演概要】

コンピュータ科学 (CS) は、情報処理とコンピュータに関する、基本的であるとされる諸領域 (area) を、(理論と実際とに分ければ) 理論的 (系統的) に扱う、教育・研究分野である。CSのカリキュラムモデルは、米国およびわが国において、1968年のACMカリキュラム68以来、提示されてきた。わが国の大学理系情報学科は、CS分野である学科が多いが、米国CSと比較して教育上で強いエリアとやや手薄なエリアとがある。今回のCSカリキュラム標準の作成目標は、J97の後継として、既存の理工系情報学科を想定することに加えて、国際的な整合性、日本の特徴を活かすこと、および最新技術への考慮である。カリキュラム標準の提示形式の上で、これまでのJ97との大きな違いは、米国版に倣って、科目ではなく学問的な知識体系 (Body of Knowledge) を与えること (知識体系は、エリア、ユニット、トピックの3レベル、個々の授業科目はこれらの組合せ) と、コアユニットとして必修の項目を新たに導入したことである。さらに昨夏に発行された中間報告への追加として最終報告案に加えたものは、各ユニットにおける学習成果の設定 (成果主義教育) と、具体的な科目サンプルの提示である。



【略歴】

1989年から明治大学理工学部情報科学科教授。
計算理論、ネットワークコンピューティング等に興味をもっている。
2003年から情報処理学会コンピュータ科学教育委員会委員長。
著書は「コンパイラの理論と実現」(共立出版) など。
「情報科学こんせぶつ」(朝倉書店) 編集。

●講演 (3) 3月13日 (木) 13:30-13:50 [第3 イベント会場 (理科系修士棟 C棟 1階 C103)]

「情報システム領域」

神沼 靖子 (IPSJフェロー)

【講演概要】

情報システム (IS) の専門家に求められている知識 (ISBOK) の範囲は、「情報技術」、「組織と管理の概念」、「システムの理論と開発」と多面的で広範囲にわたっている。BOKは4階層まで詳細に展開しているが、教え方のシナリオや学習者の達成能力を示すために、ラーニングユニット (LU) を作成して提供する。同時にISスキルの視点も提供する。LUの粒度は小さくさまざまであるため、教育目的と学習目標に合うLUを選び組合せることで科目の編成が容易になる。また、LUを効果的に活用することで、複数の科目間での内容の重複や欠落を排除できる。J07-ISでは標準的なモデルカリキュラムのほか、コース固有な教育目標に配慮して、異なる対象のカリキュラムを複数提供する。それぞれのカリキュラムはLUと対応づけている。これらのJ07-ISカリキュラムはIS2002をベースとし、さらに日本独自の特徴を反映して開発したものである。



【略歴】

2003年前橋工科大教授を定年退職。博士 (学術)。情報処理学会フェロー。情報処理学会IS教育委員会委員長など。
IS教育カリキュラムISJ2001、社会人キャリアアッププログラムの開発に参加。
情報システム学会、電子情報通信学会、日本応用数学会、経営情報学会、AIS、ACM他の会員。
著書に情報システム演習II (共立2006)、情報システム基礎 (オーム2006)、教育デザイン入門 (オーム2007) など。

●講演 (4) 3月13日(木) 14:00-14:20 [第3 イベント会場 (理系系修士棟 C棟 1階 C103)]

「ソフトウェアエンジニアリング領域」

阿草 清滋 (名大)

【講演概要】

ソフトウェアエンジニアリング分野では、ソフトウェアライフサイクルを意識したソフトウェア開発を推進できる人材育成のためのカリキュラムを検討している。さらに、品質やコストを制御でき、チーム開発で活躍できる人材の育成を狙いとしている。そのための能力として、問題を抽象化、モデル化する能力、顧客と、あるいは共同開発者とのコミュニケーション能力、調整能力を獲得させる。

ソフトウェア開発能力は実践的教育を通じて身に付くといわれるが、その実践を通じてソフトウェア開発は工学的に行えることを再確認できるよう、基本知識を整理して教授する。これまでソフトウェアエンジニアリング分野では Jpn1 として、CCSE を基本としたカリキュラムモデルを提示してきた。今回、日本の実情に合うよう授業科目と知識項目の対応を明らかにした J07-SE を検討している。



【略歴】

1974年京都大学工学部情報工学科助手。

同講師、助教授を経て、1989年より名古屋大学教授。

現在、同大学院情報科学研究科情報システム学専攻ソフトウェア論講座教授。

ソフトウェア再利用、リファクタリング、ソフトウェア開発環境などの研究に従事。

人材育成に関して、組込みシステム人材育成、先導的 IT スペシャリスト育成などのプロジェクトを推進している。

●講演 (5) 3月13日(木) 14:20-14:40 [第3 イベント会場 (理系系修士棟 C棟 1階 C103)]

「コンピュータエンジニアリング領域」

大原 茂之 (東海大)

【講演概要】

本領域は CE2004 をベースに策定したものであり、先ず CE2004 の基本構成について述べる。その中で注目すべきことは、コンピュータシステムのみならずコンピュータ制御機器のソフトウェアとハードウェアにまで及んでいる点である。また、自動車の燃料噴射システムなどをあげており、明らかに組込み技術の観点が強主張されている。次に、こうした CE2004 の方向性と経済産業省による産業実態調査の結果などから、産業競争力強化、輸出強化などわが国の CE 領域における人材として組込み技術者がコアとなることについて述べる。最後に、こうした議論から策定した J07 の CE 領域のカリキュラムについて説明する。J07 の CE 領域のカリキュラムがカバーする知識領域は、アルゴリズム、アーキテクチャ、データベース、回路、デジタル信号処理、ソフトウェア、VLSI、基本的な数学など 16 領域に及びコア時間は 305 時間となった。



【略歴】

1971年3月東海大学大学院工学研究科修士課程電気工学専攻修了、同年4月東海大学工学部助手、現在、東海大学専門職大学院組込み技術研究科研究科長、工学博士。

独立行政法人情報処理推進機構 SEC 組込みスキル標準 (ETSS) 領域幹事、社団法人組込みシステム技術協会理事、情報処理技術者試験委員。

専門は、ハブティックデバイスの同期化技術、デバイスドライバの開発支援技術、スキルマネジメントなど。

●講演 (6) 3月13日(木) 14:40-15:00 [第3 イベント会場 (理系系修士棟 C棟 1階 C103)]

「インフォメーションテクノロジー領域」

駒谷 昇一 (筑波大)

【講演概要】

J07の専門領域のひとつであるIT領域のカリキュラムについて概説する。IT領域はACM、IEEEによるCC2005で初めて策定された最も新しい領域であり、初めての日本語版カリキュラムを策定した。

昨年3月に公開した知識体系 (ITBOK) をもとに、16科目の講義と5科目の総合演習、合計40単位のカリキュラムを策定した。

IT領域は、ネットワーク、データベース、セキュリティ、運用管理などを対象としており、産業界からのニーズが高いため、大学教育での普及が期待されている。

IT領域のカリキュラムの構造や内容の紹介、IT領域がどのような人材を育成しようとしているのかをスキル標準との関係も交えて概説する。



【略歴】

2007年3月から筑波大学教授。

筑波大での先導的ITスペシャリスト育成推進プログラムを経団連の支援を受けながら実行するため、(株)NTTデータから出向。

ITベンダでSE、PM、人事教育、ITSSコンサルタントを経験。情報処理学会IT教育委員会委員長、一般情報処理教育委員会幹事。

著書鶴保、駒谷「ずっと受けたかったソフトウェアエンジニアリングの授業1、2」、情報処理学会IT Textシリーズ「情報と社会」、

「情報と職業」など。

【第二部 16:30-18:30】

●講演 (7) 3月13日(木) 16:30-16:45 [第3 イベント会場 (理系系修士棟 C棟 1階 C103)]

「一般情報処理教育」

河村 一樹 (東京国際大)

【講演概要】

一般情報処理教育委員会では、文部科学省委嘱調査研究に基づき「大学等における一般情報処理教育の在り方に関する調査研究」という報告書をまとめた。ここでは、一般情報処理教育の実態調査を全国規模で実施するとともに、一般情報処理教育のカリキュラム策定を行った。その後、そのカリキュラムに準拠した教科書として「情報とコンピューティング」「情報と社会」も発刊した。また、2003年度からの高等学校教科「情報」の実施にともなう大学での2006年問題に着目した教育シンポジウムを全国大会で開催した。そして現在、これらの活動を踏まえた上で、一般情報処理教育の知識体系であるGEBOK (General Education Body of Knowledge) の策定を行っている。本シンポジウムでは、一般情報処理教育の変遷、および、一般情報処理教育の知識体系の概要について取り上げる。



【略歴】

立教大学理学部化学科卒業、日本大学大学院理工学研究科博士前期課程電子工学専攻修了、博士 (工学)。

現在、東京国際大学商学部情報システム学科教授。情報教育工学の研究および情報処理教育に従事。

情報処理学会において、2003-2005年度代表会員、情報処理教育委員会委員、一般情報処理教育委員会委員長、初等・中等情報教育委員会委員、コンピュータと教育研究会幹事および運営委員を歴任。

情報処理推進機構 (IPA) の情報処理技術者試験委員を歴任。

●講演 (8) 3月13日 (木) 16:45-16:55 [第3 イベント会場 (理科系修士棟 C 棟 1 階 C103)]

「非情報学科での情報専門教育」

寛 捷彦 (早大)

【講演概要】

大学できちんと教育を受けた IT 人材を求める声が産業界から出始めている。一方で、毎年の大学卒業生 60 万人の中で、情報系専門学科卒は多めにみても 2 万人に達しない。日本の産業が IT に大きく依存していく現状を考えると、非専門学科でもしかるべく情報教育が施される必要がある。

1995 年、1996 年に「工学系学部における専門基礎としての情報処理教育の実態に関する調査研究」を行いその標準カリキュラム案も提示した実績も踏まえて、2008 年度には、理工系学部を中心対象に非専門学科での情報教育カリキュラムの標準策定を行う予定である。

略歴・写真は 34 ページ「シンポジウム (3) 優秀情報処理教育紹介『教育賞の紹介』」を参照。

●パネル討論 3月13日 (木) 17:05-18:30 [第3 イベント会場 (理科系修士棟 C 棟 1 階 C103)]

司 会：佐渡 一広 (群馬大)

略歴・写真は「情報専門学科におけるカリキュラム標準「J07」最終報告」司会紹介を参照。

パネリスト：阿草 清滋 (名大)

略歴・写真は「講演 (4) ソフトウェアエンジニアリング領域」を参照。

パネリスト：大原 茂之 (東海大)

略歴・写真は「講演 (5) コンピュータエンジニアリング領域」を参照。

パネリスト：寛 捷彦 (早大)

略歴・写真は 34 ページ「シンポジウム (3) 優秀情報処理教育紹介『教育賞の紹介』」を参照。

パネリスト：神沼 靖子 (IPSJ フェロー)

略歴・写真は「講演 (3) 情報システム領域」を参照。

パネリスト：河村 一樹 (東京国際大)

略歴・写真は「講演 (7) 一般情報処理教育」を参照。

パネリスト：駒谷 昇一 (筑波大)

略歴・写真は「講演 (6) インフォメーションテクノロジー領域」を参照。

パネリスト：疋田 輝雄 (明大)

略歴・写真は「講演 (2) コンピュータ科学領域」を参照。

第1分冊

(アーキテクチャ)

一般セッション [1A会場] (3月13日(木) 13:00~15:00)

アーキテクチャとデザイン 座長 鳥居 淳 (NEC)

- 動的バイナリ変換処理のためのユーザーレベルホットスポット検出システム
○大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- A Compiler Framework for Feedback-Directed Parallelizing Programs on CMP
○張 元鳴, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- ネットワーク向きイベント駆動型チップマルチプロセッサ CUE-v3 の開発
○内田裕之, 岡本政信, 富安洋史, 西川博昭 (筑波大)
- 部分再構成を利用した耐故障性向上アーキテクチャの提案
○金丸敦礼, 川合浩之, 山口佳樹, 安永守利 (筑波大)
- セグメント分割伝送線を用いたシグナルインテグリティ向上の実験検証
○中山廣士, 安永守利, 山口佳樹 (筑波大), 吉原郁夫, 小泉尚己 (宮崎大), 林 和哉 (筑波大)
- 各種リーク電流を考慮した2電源型システム LSI の高速低消費電力設計法
○渡辺重佳, 花見 智 (湘南工科大)

一般セッション [2A会場] (3月13日(木) 16:30~18:30)

HPCと仮想化技術 座長 長谷川秀彦 (筑波大)

- 漸化式によるベッセル関数の積分の誤差解析における一般化された超幾何級数の和の定理の応用
○吹田篤治 (日大), 吉田年雄 (中部大)
- 有理関数補間を用いた近似 GCD 計算
○甲斐 博 (愛媛大)
- GPGPU を活用した音響尤度計算の高速化に関する一検討
○八木良一, 柳原広昌 (KDDI 研)
- Cell B.E. クラスタを用いた格子ガスオートマトンの実装
○新井佑介, 澤井 涼, 山口佳樹, 丸山 勉, 安永守利 (筑波大)
- 仮想アプライアンスのための VM マイグレーション方式
○川北 将, 寺崎 浩, 小川隆一 (NEC)
- ExpEther による単一ホスト仮想化対応 I/O のマルチホスト同時共有
○鈴木 順, 飛鷹洋一, 吉川隆士, 岩田 淳 (NEC)
- Xen 仮想マシン環境におけるディスクアクセス性能評価モデルの提案と評価
○馬場輝幸, 田中淳裕 (NEC)

一般セッション [3A会場] (3月14日(金) 9:30~12:00)

システムソフトウェアとストレージ 座長 早川 栄一 (拓殖大)

- シミュレータを用いたフォールトインジェクション環境
○追川修一 (筑波大)
- プロセッサ使用量の制御によるプログラム実行速度調整法のライブラリ実装
○境 講一, 田端利宏 (岡山大), 箱守 聡 (岡山大/NTT データ), 谷口秀夫 (岡山大)
- BOINC クラスタを利用した KNOPPIX 構築環境の開発
○阿部大将, 北川健司, 渡辺義人, 濱野裕樹, 千葉大作 (アルファシステムズ), 須崎有康 (産総研)
- ファイルアクセスを契機としたファイルシステム管理情報変換方式
○亀井仁志, 中村隆喜, 揚妻匡邦, 浦野明裕 (日立)
- ファイルの使用頻度に基づくバッファキャッシュ制御法の提案
○片上達也, 田端利宏, 谷口秀夫 (岡山大)
- テープ接続・制御機能を備えるディスクアレイシステムの開発
○水野陽一, 天野 隆, 渡辺恭男, 村山智則, 西本 哲 (日立), 宇佐美和弘 (日立コンピュータ機器)
- (講演取消)

一般セッション [4A会場] (3月14日(金) 15:30~17:30)

仮想化技術 (2) 座長 追川 修一 (筑波大)

- 基幹系システム向け仮想化技術「Virtage」の開発 (その1) 開発方針と特長
○上野 仁, 新井利明, 對馬雄次, 井形博之 (日立)
- 基幹系システム向け仮想化技術「Virtage」の開発 (その2) 機器透過性
○井上裕功, 上野 仁, 戸塚崇夫 (日立)
- 基幹系システム向け仮想化技術「Virtage」の開発 (その3)
○對馬雄次, 森木俊臣, 服部直也, 荻本貴宏 (日立)
- 基幹系システム向け仮想化技術「Virtage」の開発 (その4) IPF アーキテクチャにおける TLB 仮想化方式
○高重聡一, 篠原真木子, 早川典充, 長谷川智英 (日立)
- 基幹系システム向け仮想化技術「Virtage」の開発 (その5)
○森木俊臣, 對馬雄次, 服部直也, 大岩栄一郎 (日立)

6 基幹系システム向け仮想化技術「Virtage」の開発 (その6)

運用管理 ○崎崎恵介, 井形博之, 寺村 健 (日立)

学生セッション [1N会場] (3月13日(木) 13:00~15:00)

組込みとセキュリティ 座長 橋本 幹生 (東芝)

- 組込みシステムのハードウェア・ソフトウェア再構成における機能変換機構の検討
○宮本健太, 篠原大輔 (電機大), 清尾克彦 (ゼネテック), 三井浩康, 小泉寿男 (電機大), 神戸英利 (三菱)
- 組込みタイルプロセッサ-TEMP-の設計とマルチメディア演算の実装
○田路真也, 森 秀樹, 上原 稔 (東洋大)
- 接触型 IC カード用セキュアプロセッサ SEP-7 の開発
○伊藤真梨子, 猪股俊光, 新井義和, 曾我正和 (岩手県大)
- ネットワーク侵入検知のための文字列照合のハードウェア設計
○筒井一雅, 小柳 滋 (立命館大)
- SVM を用いた IDS 異常検知のハードウェア設計
○田所儀大, 小柳 滋 (立命館大)
- Four Stages Pipelining for Two Messages in MD5 Implementation with Data Forwarding
○Anh Tuan Hoang, 山崎勝弘, 小柳 滋 (立命館大)

学生セッション [2N会場] (3月13日(木) 16:30~18:30)

相互結合網 座長 坂根 広史 (産総研)

- 実通信パターンを用いた相互結合網の過渡応答の評価
○杉森帝政, 小川雅昭, 横田隆史, 大津金光, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 広域情報を用いたルーティングアルゴリズムの汎用シミュレータへの実装
○森 裕貴, 横田隆史, 大津金光, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 細粒度並列処理向け相互結合網 HTN の適応ルーティング
○的山和也, 三浦康之 (湘南工科大)
- 細粒度並列計算向け階層型相互結合網のハードウェア実装法に関する検討
○金子昌弘, 三浦康之 (湘南工科大)
- 並列計算機 Ships1 のノード間結合装置の構築
○加藤 渉, 三浦康之, 高野誠一 (湘南工科大)
- 並列計算機 Ships1 における運用管理機構の開発
○千葉千久, 越田孝喜, 大谷 真 (湘南工科大)

学生セッション [3N会場] (3月14日(金) 9:30~12:00)

ハイパフォーマンスコンピューティング 座長 加納 健 (NEC)

- HMMER の OpenMP による並列化
○池田 晃, 松井藤五郎, 大和田勇人 (東理大)
- Pthread を用いた MRI 画像再構成アプリケーションの高速化
○南波孝輔, 伊藤聡志, 山田芳文, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- OR 木探索向けの粒度自動調整型動的負荷分散方式の試作と評価
○川村正祥, 中島克人 (電機大)
- (講演取消)
- Cell のための並列誤差逆伝搬アルゴリズム
○佐々木健吾, 藤本敬介, 中山泰一 (電通大)
- GPU による線形計算
○小曾根泰, 久保田光一 (中大)
- GPU の実用数値アプリケーションの適用性 -境界要素法の実装 -
○和木康祐, 矢吹太郎, 佐久田博司 (青学大)
- 交通シミュレータのリアルタイム性能に関する評価と考察
○植田健夫, 中村俊一郎 (日本工大), 宮西洋太郎 (宮城大)
- マルチプロセッサ型交通シミュレータの操作改善
○仁藤博文, 中村俊一郎 (日本工大), 半澤孝文, 宮西洋太郎 (宮城大)

学生セッション [4N会場] (3月14日(金) 15:30~17:30)

マルチスレッドと分岐予測 座長 森 敦司 (富士通)

- ループ細分を適用したパスベーススレッド分割手法の初期評価
○小川大仁, 伊里拓也, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- ループ分割により関数境界を越えたパスベーススレッド分割手法の検討
○伊里拓也, 小川大仁, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- グラフ理論に基づくスレッド分割手法の適用検討
○阿部武志, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- Cell Broadband Engine における SPEC CFP2000 の並列化
○山口武美, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- ループに限定したハードウェアホットパス検出機構
○中島伸吾, 横田隆史, 大津金光, 馬場敬信 (宇都宮大)

- 6 予測率を向上させた分岐予測器の開発
○西岡拓生, 小柳 滋 (立命館大)
- 7 洗練されたソフトウェア分岐予測の実現をめざす分岐命令プロファイリング手法
○藤枝直輝, 吉瀬謙二 (東工大)
- 8 マルチコア・プロセッサにおける単純で合理的なコア・フュージョン機構の実装
○若杉祐太, 吉瀬謙二 (東工大)

学生セッション [5N会場] (3月15日(土) 9:30~12:00)

組み込みシステム 座長 戸田 賢二 (産総研)

- 1 時分割スケジューリング機能を有する時間駆動アーキテクチャ向けリアルタイム OS
○伊丹悠一, 横山孝典, 兪 明連, 志田晃一郎 (武蔵工大)
- 2 応答時間を短縮した時間駆動分散処理ミドルウェア
○富田有紀, 横山孝典, 兪 明連, 志田晃一郎 (武蔵工大)
- 3 時間駆動ネットワークを導入した組み込み制御システム向け分散オブジェクト環境
○唐澤陽平, 石郷岡祐, 横山孝典, 兪 明連, 志田晃一郎 (武蔵工大)
- 4 リアルタイムスケジューラ実験基盤を用いた OS の実時間性の向上
○黒井崇史, 早川栄一 (拓大)
- 5 組み込みシステム向け性能監視システムの開発
○郡司雅彦, 早川栄一 (拓大)
- 6 組み込みシステム学習環境を対象とした仮想マシンマネージャの開発
○青山誠一, 早川栄一 (拓大)
- 7 航空宇宙用 GPS ソフトウェアの RTOS・ハードウェア及び開発環境の検討
○松原裕人, 大谷 真 (湘南工科大)
- 8 DAVfs を用いた組み込み Linux によるシンクライアントシステムの試作
○竹川知孝, 並木美太郎 (農工大)
- 9 マイクロカーネルを対象とした省電力スケジューラの開発
○林 和宏, 金井 遵 (農工大), 丸山勝巳 (国立情報学研), 並木美太郎 (農工大)

学生セッション [6N会場] (3月15日(土) 14:30~17:00)

数値計算とコンパイラ技術 座長 蓬来祐一郎 (産総研)

- 1 Krylov 部分空間における augmented GMRES 法について
○黒岩奈保, 野寺 隆 (慶大)
- 2 デュアルピボットを行うマルチレベル ILU 分解
○渡邊慶太郎, 野寺 隆 (慶大)
- 3 ウェーブレット変換による行列の前処理
○山中英樹, 野寺 隆 (慶大)
- 4 レジスタ干渉グラフの分割による高速化手法に関する研究
○山崎敬史, 中林淳一郎, 片岡正樹 (早大), 古関 聡, 小松秀昭 (日本 IBM), 深澤良彰 (早大)
- 5 パスに含まれる命令数を考慮したハードウェアホットループパス検出機構
○矢野目秀人, 須貝佳彦, 大津金光, 横田隆史, 馬場敬信 (宇都宮大)
- 6 差分処理指向の言語処理系における効率的で便宜な部分実行
○井上 武 (法大)
- 7 JVM をターゲットとするコード生成のためのコンパイラ生成系用モジュール
○落合啓二, 舞田純一, 中井 央, 佐藤 聡 (筑波大)
- 8 自動微分システムのためのテストプログラム生成
○平野勇次, 久保田光一 (中大)
- 9 プログラムの構文解析木を対象とするデータマイニングを利用したデバッグ支援システムの開発
○金本貴志, 太田 剛 (静岡大)
- 10 MPI プログラムのためのランダム遅延による Unit Testing Framework
○阿部真也, 西谷泰昭 (岩手大)

学生セッション [1P会場] (3月13日(木) 13:00~15:00)

仮想化技術 (1) 座長 新井 利明 (日立)

- 1 仮想計算機におけるデバイスエミュレーションの部分評価を用いた高速化
○山本悠輔, 新城 靖, 榮楽英樹, 板野肯三, 佐藤 聡, 中井 央, 加藤和彦 (筑波大)
- 2 モード遷移削減による仮想計算の高速化
○高橋由直, 新城 靖, 榮楽英樹, 板野肯三, 中井 央, 佐藤 聡, 加藤和彦 (筑波大)
- 3 仮想計算機上でのリアルタイム OS の動作に対する評価と考察
○永島 力, 金城 聖, 荒木裕靖, 毛利公一 (立命館大)
- 4 VMM による耐故障性環境の構築
○青柳信吾, 追川修一 (筑波大)
- 5 仮想環境におけるネットワークインターフェースの高速化
○岡村知晋, 追川修一 (筑波大)

- 6 協調型仮想計算機におけるホスト呼び出し機構
○五明将幸, 新城 靖, 白石光隆, 佐藤 聡, 中井 央, 板野肯三 (筑波大)
- 7 協調型仮想計算機のための二重 OS シェル
○白石光隆, 新城 靖, 五明将幸, 板野肯三, 佐藤 聡, 中井 央 (筑波大)
- 8 仮想計算機のゲスト OS におけるファイルアクセスに対する高水準リンクの実現
○豊岡 拓, 新城 靖, 佐藤 聡, 中井 央, 板野肯三 (筑波大)

学生セッション [2P会場] (3月13日(木) 16:30~18:30)

設計自動化 座長 田中 克典 (NEC)

- 1 3次元型トランジスタ FinFET を用いた DTMOS (FinFET 型 DTMOS) によるシステム LSI の高密度設計法
ーパターン面積の縮小効果の見積もりー
○廣島 佑, 渡辺重佳 (湘南工科大)
- 2 しきい値電圧以下で動作する低消費電力 LSI の研究
○鶴窪 淳, 渡辺重佳 (湘南工科大)
- 3 リアルタイム制御によるシステム LSI 電源電圧スケジューリングの低電力化
○佐藤賢和, 渡辺重佳 (湘南工科大)
- 4 システム LSI における各種電源方式による消費電力の比較
○花見 智, 渡辺重佳 (湘南工科大)
- 5 3次元型トランジスタ FinFET による LSI の高密度設計法
ーCMOS セルライブラリを用いたパターン面積の縮小効果の検討ー
○岡本恵介, 小泉圭輔, 廣島 佑, 渡辺重佳 (湘南工科大)
- 6 無線で遠隔再構成が可能なワンチップ FPGA の設計
○後藤誠彦, 安守守利, 庄野和宏, 山口佳樹 (筑波大)
- 7 STG からの非同同期制御回路設計における CSC conflict の一解決手法
○木村威暁, 桑子雅史, 持木幸一 (武蔵工大)
- 8 非同同期制御回路における等時分岐の制約の緩和
○中神賢士, 桑子雅史, 持木幸一 (武蔵工大)

学生セッション [3P会場] (3月14日(金) 9:30~12:00)

分散・並列システム 座長 藤田 智成 (NTT)

- 1 仮想マシンを用いた分散システムの耐故障性評価環境の検討
○神林 亮, 佐藤三久 (筑波大)
- 2 コンテンツとサービスを対象としたマッシュアップシステムの開発
○西村紅美 (東京工科大)
- 3 GSCIP の Windows への実装に関する検討
○細尾幸宏, 鈴木秀和, 渡邊 晃 (名城大)
- 4 広域ネットワークにおける大規模データ転送手法の検討
○吉野純平 (筑波大), 阿部洋文 (豊橋技科大), 加藤和彦 (筑波大)
- 5 仮想化ネットワークにおけるトラフィック分布の推定
○廣瀬博昭, 廣津登志夫 (豊橋技科大), 福田健介 (国立情報学研), 明石 修 (NTT), 栗原 聡 (阪大), 菅原俊治 (早大)
- 6 シンクライアントにおける P2P を用いたネットワークブートの高速化
○小河賢太郎, 早川栄一, 青山誠一 (拓大)
- 7 Cell Broadband Engine における SPU のコンテキストスイッチの高速化
○三浦康幸 (岩手県大)
- 8 Cell B.E. の SPE 向け OS の設計とスレッド管理の開発
○太田篤志, 並木美太郎 (農工大)
- 9 マルチコアプロセッサにおけるスレッドライブラリと OS の連携方式の設計
○磯部泰徳, 佐藤未来子, 並木美太郎 (農工大)

(ソフトウェア科学・工学)

一般セッション [5A会場] (3月15日(土) 9:30~12:00)

数理モデル化と問題解決

座長 古瀬 慶博 (三菱スペースソフトウェア)

- 1 Generating High Level Descriptions from Document Cluster Transitions
○Khy Sophoin (筑波大), 石川佳治 (名大), 北川博之 (筑波大)
- 2 最適化問題における確率的状態選択法 - 焼きなまし法との比較 -
○山崎絨揮, 宗久知男, 宗久保子 (山梨大)
- 3 多数の低信頼性文字列からの文章の復元
○瀬戸就一, 川辺弘之, 下村有子 (金城大)

- 4 大規模フロアプランデータベースからの頻出部分パターンマイニング
○川本 哲 (九大), 鈴木祐介 (広島市大), 正代隆義 (九大)
- 5 周辺道路の情報を利用した最近隣法による広域交通量予測手法
○高野大輔, 狩野 均, 村木雄二 (筑波大)
- 6 時間シフトの性質を利用した FFT アルゴリズム
○山本広樹, 辻本裕希 (近畿大高専)

一般セッション [6A 会場] (3月15日(土) 14:30 ~ 17:00)

- グラフとネットワーク 座長 山本 雅人 (北大)
- 1 Balanced (C_4, C_9) -2t-Foil Decomposition Algorithm of Complete Graphs
○潮 和彦 (近畿大)
- 2 平面直線グラフに対する交差なしモーフィング
○横須賀佑介, 櫻井満将 (三菱)
- 3 自己組織化を利用したネットワークの三次元可視化
○岩田泰士, 鈴木育男, 山本雅人, 古川正志 (北大)
- 4 評判伝播ネットワークの成長モデルに関する基礎研究
○千葉隆雄, 鈴木育男, 山本雅人, 古川正志 (北大)

一般セッション [1B 会場] (3月13日(木) 13:00 ~ 15:00)

- 要求, 開発手法, 開発環境 座長 中谷多哉子 (筑波大)
- 1 システム開発におけるソフトウェア要求についての事例調査
○水戸知子, 大西依里子 (日本 IBM)
- 2 業務分析における業務改善効果予測の事例とその評価
○武曾 徹, 細川武彦 (三菱)
- 3 ソースコードの可視化によるプログラミング学習支援
○下原康貴, 松浦佐江子 (芝浦工大)
- 4 エンドユーザによるソフトウェア合成のためのモデル化支援インタフェース
○古川慈之, 徳永仁史, 手嶋吉法, 澤田浩之, 松木則夫 (産総研)
- 5 大規模 RIA アプリケーション開発を支援するシステム
○福田浩章, 山本喜一 (慶大)
- 6 オープンソースソフトウェアの開発法に関する一考察
○釣谷真也, 金子正人, 武内 惇, 藤本 洋 (日大)

一般セッション [2B 会場] (3月13日(木) 16:30 ~ 18:30)

- 組込み, 品質 座長 中島 震 (国立情報学研)
- 1 モデル駆動開発によるシステム性能検証手法の提案
○市原利浩, 田村直樹, 磯田 誠 (三菱)
- 2 組込みソフトウェアの動態分析に基づく性能改善手法
○外山正勝, 黒澤寿好, 松本利夫 (三菱)
- 3 パワーエレクトロニクス機器向け組込みソフトウェアにおける機能数とメトリクスとの関係調査
○佐藤芳信 (富士電機 AT)
- 4 反例を利用したモデル修正支援ツールの開発
○佐藤直人, 來間啓伸 (日立)
- 5 品質レベルの最適化を実現する品質要件管理手法の提案
○水野高宏, 前田繁章, 三輪 功, 和田義毅, 内藤孝一, 齋藤 毅, 高橋成文 (NTT データ)
- 6 モジュール結合度に基づくプログラム疲労度の測定法の一考察
○坂本裕司, 金子正人, 武内 惇, 藤本 洋 (日大)

学生セッション [4P 会場] (3月14日(金) 15:30 ~ 17:30)

- アルゴリズムとその応用 座長 浅野 孝夫 (中大)
- 1 最小遅延パス問題に対する近似アルゴリズムの実験的評価
○中野慎太郎, 浅野孝夫 (中大)
- 2 非一様並列機械型スケジューリング問題に対する近似アルゴリズムの実験的評価
○山口 基, 浅野孝夫 (中大)
- 3 Shortest Superstring Problem に対する近似アルゴリズムの実験的評価
○喜多栄寿 (中大)
- 4 (講演取消)
- 5 複数パターンマッチングマシンにおける遷移先決定関数の最適化
○蔵満琢麻, 松浦寛生, 望月久稔 (大阪教育大)
- 6 ClamAV の AC 法をダブル配列により拡張したアンチウイルスエンジンの提案
○松浦寛生, 蔵満琢麻, 望月久稔 (大阪教育大)
- 7 分布推定法とマルコフモンテカルロ
○近山祐美, 宗久知男, 宗久保子 (山梨大)
- 8 ロバストモデル予測制御のための解法アルゴリズムの検討
○栗本祐輔, 河辺 徹 (筑波大)
- 9 PLC を用いた電力監視システムの構築
○平岡智武, 藤井雅弘, 渡辺 裕 (宇都宮大)

学生セッション [5P 会場] (3月15日(土) 9:30 ~ 12:00)

- 進化的計算とバイオインフォマティクス 座長 高階 知巳 (ニコンシステム)
- 1 広帯域特性をもつ正領域内不規則変動波のピーク値分布評価法
○中村大輔, 南原英生 (岡山理大)
- 2 エルミート多項式に基づく任意の確率分布をもつ不規則信号の発生
○岸 篤史, 南原英生 (岡山理大)
- 3 大規模最適化問題に対する適応的 Free&Freeze 法
○金 會元 (神戸大), 田川聖治 (近畿大), 塚本昌彦 (神戸大)
- 4 知的照明システムの実用化における問題点の抽出と制御アルゴリズムの改良
○田中慎吾, 三木光範, 廣安知之 (同志社大)
- 5 シミュレーテッドアニーリングプログラミングの温度並列化
○小畑拓也, 三木光範, 廣安知之 (同志社大)
- 6 ペイジアンネットワークのモデル構築手法の検討
○鈴木康之, 中村誠弘, 木村昌臣 (芝浦工大)
- 7 GA によるモチーフを考慮したネットワーク生成
○鶴崎和宏, 近藤 久 (茨城大)
- 8 配列アラインメントにおける GA の検討
○水野陽介, 河本敬子, 一野天利, 谷澤一雄, 堀部和雄 (近畿大)
- 9 表現型を利用した遺伝子ネットワーク推定
○阿部奈津美, 瀬々 潤 (お茶の水女子大)

学生セッション [6P 会場] (3月15日(土) 14:30 ~ 17:00)

- 数理モデルの応用 座長 富永 大介 (産総研)
- 1 適時開示情報による日中マーケットインパクト予測 ○浅野千尋 (早大)
- 2 データマイニングによる株価予測システムの開発
○矢部大輔, 木村昌臣 (芝浦工大)
- 3 ランダムウォーク証券を利用したシステムトレードのアルゴリズム評価
○大矢倫靖 (早大)
- 4 人の通行量を考慮したテナントのレイアウト手法
○林加奈子, 本田真望, 大島邦夫 (東理大)
- 5 予防接種支援システムにおける接種計画作成法に関する研究
○佐々木晃, 猪股俊光, 新井義和, 曾我正和 (岩手県大)
- 6 大型寿司店における業務効率化手法の提案
○三浦 惇, 佐々木淳, 山田敬三, 田中 充, 船生 豊 (岩手県大)
- 7 対話型遺伝的アルゴリズムを用いた旅行プラン作成支援システムの提案
○島山由貴, 三木光範, 廣安知之 (同志社大)
- 8 ナーススケジューリングにおけるスケジュール改善手法の提案
○川上貴史, 原田 拓 (東理大)

学生セッション [1Q 会場] (3月13日(木) 13:00 ~ 15:00)

- プログラミング言語・実装・支援 座長 前田 敦司 (筑波大)
- 1 Ruby における外部に依存しない文字コード変換方法の提案と実装
○富永晃司, 伊藤一成, Martin J. Duerst (青学大)
- 2 日本語プログラミング言語によるプログラムの記述
○馬場祐人 (早大)
- 3 ウェブサイトを構築するための関数型ビジュアルプログラミング言語「ゆば」
○佐藤幸弘, 伊藤瑞貴 (早大)
- 4 Web アプリケーションにおける JavaScript 計算の移送機構
○石橋 崇 (豊橋技科大), 小宮常康 (電通大), 廣津登志夫 (豊橋技科大)
- 5 マルチステージプログラミングのための計算体系の実装
○杉浦啓介, 亀山幸義 (筑波大)
- 6 リファクタリングをガイドするツール ○船生友強, 紫合 治 (電機大)
- 7 内部データの視覚化によるプログラミング支援ツール
○黒河優介, 萩野達也, 服部隆志, 三浦悠太 (慶大)
- 8 アプリケーション構造を視覚化する nesC 用開発環境の提案
○村上貴彦, 鈴木和久, 松尾英治, 横田裕介, 大久保英嗣 (立命館大)

学生セッション [2Q 会場] (3月13日(木) 16:30 ~ 18:30)

- 検査, 検証, 解析 座長 鷺崎 弘宜 (国立情報学研)
- 1 状態遷移表の設計支援ツール
○和田 悟, 飯塚之通, 紫合 治 (電機大)
- 2 XMI を利用した UML モデル整合性検証支援システム
○浜田祐丞 (静岡大)
- 3 メッセージ制御による分散システムのテスト・デバッグ支援
○上野知樹, 太田 剛 (静岡大)

- 4 SPARQLによるJavaパッケージの依存性解析
○姫路明宏(東京工科大)
- 5 Java PathFinderによるモデル検査におけるGUIの提案
○横山翔一, 栗原正仁(北大)
- 6 ソフトウェアの不具合箇所のパターン群を用いた検出法
○多田啓太, 福原和哉, 猪股俊光, 新井義和, 曾我正和(岩手県大)
- 7 バグモジュール率を従属変数としたFault-Proneモジュール判別モデルの提案
○水野勇貴, 内田真司(奈良高専), 門田暁人(奈良先端大)

学生セッション [3Q会場] (3月14日(金) 9:30~12:00)

開発支援環境 座長 山城 明宏(東芝ソリューション)

- 1 ユーザ指向システム開発支援環境の提案
○水本重幸, 高橋克弥, 山田敬三, 田中 充, 佐々木淳, 船生 豊(岩手県大)
- 2 単語定義によるWebアプリケーション自動生成システムの提案
○高橋克弥, 水本重幸, 山田敬三, 田中 充, 佐々木淳, 船生 豊(岩手県大)
- 3 クラス構成演算によるクラス構造自動構成ツール「Class Builder」
○橋本 亮, 小林悠介, 大木幹雄(日本工大)
- 4 UMLを用いたRELAX NGスキーマの設計
○鈴木翔太(静岡大)
- 5 設計のアニメーション支援ツール
○横山裕介, 佐藤潤也, 紫合 治(電機大)
- 6 GUIプログラムの理解支援のための可視化システムのマルチスレッド対応
○佐藤竜也, 志築文太郎, 田中二郎(筑波大)
- 7 協調ソフトウェア開発のための成果物管理とコミュニケーション支援の連携
○小林祐介, 樋山淳雄(東京学芸大)
- 8 リモートユーザを想定したWebアプリケーション開発環境の改良と評価
○山下 徹, 田中 充, 山田敬三, 佐々木淳, 船生 豊(岩手県大)
- 9 分散開発におけるソフトウェア開発支援システムの開発
—開発経過データの分析と提供—
○松岡 陽, 深海 悟(阪工大)

学生セッション [4Q会場] (3月14日(金) 15:30~17:30)

再利用, 保守 座長 鈴木 茂(オーガス総研)

- 1 モジュール間依存性のビジュアル表示を活用した組込みシステムのソフトウェア・ハードウェア再利用開発方式
○永松博子(電機大), 神戸英利(三菱), 三井浩康, 小泉寿男(電機大)
- 2 EJB3.0を対象としたビジネスロジックジェネレータの試作
○吉田優樹(東京工科大)
- 3 概念表現を用いたソフトウェア部品の記述と検索
○中村丈洋, 織田 健(電通大)
- 4 形式的なソフトウェア部品検索のための仕様からの特徴抽出
○足立智隆, 織田 健(電通大)
- 5 ソースコードの編集内容を入力としたソフトウェア部品の自動検索
○島田隆次, 市井 誠, 早瀬康裕, 松下 誠, 井上克郎(阪大)
- 6 クラス名の類似性を利用したコードクローンのリファクタリング
○柴崎 希, 松浦佐江子(芝浦工大)
- 7 情報伝播によるオブジェクト指向プログラム理解支援の提案
○田中昌弘, 石尾 隆, 井上克郎(阪大)
- 8 ソフトウェア保守作業におけるプログラムの理解支援に関する研究
○高橋亨輔, 中村健二, 田中成典, 古田 均(関西大)

学生セッション [5Q会場] (3月15日(土) 9:30~12:00)

プロジェクト管理, 共同作業支援 座長 鎌田真由美(日本IBM)

- 1 ソフトウェア開発初学者における作業計画の見積り支援
○清水 誠, 伊藤邦彦, 澤島義人, 宮原佑也, 小形真平, 栗原紘樹, 松浦佐江子(芝浦工大)
- 2 学生のソフトウェア開発実習における制約条件を利用した作業スケジュール作成
○宮原佑也, 伊藤邦彦, 澤島義人, 清水 誠, 小形真平, 栗原紘樹, 松浦佐江子(芝浦工大)
- 3 WBSの誘導抽出支援ツール「WBSEditor」の試作と検証
○根本安曇, 増瀬和也, 兪 丹萍, 大木幹雄(日本工大)
- 4 (講演取消)
- 5 ペアとソロを組み合わせたプログラミング手法の提案と評価
○小田雅貴, 佐々木淳, 田中 充, 山田敬三, 船生 豊(岩手県大)
- 6 学生のソフトウェア開発実習における問題共有方法の考察
○栗原紘樹, 松浦佐江子(芝浦工大)

- 7 自己組織化マップ(SOM)を用いたOSS開発支援コミュニティの提案と評価
○河村進吾, 田路真也, 森 秀樹, 上原 稔(東洋大)
- 8 パフォーマンス評価によるグループ活動の改善支援
○澤島義人, 伊藤邦彦, 清水 誠, 宮原佑也, 小形真平, 栗原紘樹, 松浦佐江子(芝浦工大)

学生セッション [6Q会場] (3月15日(土) 14:30~17:00)

要求定義, MDA, プロダクトライン 座長 羽生田栄一(豆蔵)

- 1 ユースケース記述における単語の統一に関する一考察
○山梨敦志, 松浦佐江子(芝浦工大)
- 2 制限された日本語ユースケース記述からシーケンス図への変換
○奥村和恵, 塚本享治(東京工科大)
- 3 UMLの要求分析モデルからのWebアプリケーションプロトタイプ自動生成
○小形真平, 松浦佐江子(芝浦工大)
- 4 実行可能モデルを用いたモデル駆動開発実験
○伊藤邦彦, 松浦佐江子(芝浦工大)
- 5 分析要素の存在寿命を用いた自動ERモデリングツール「ER Assist」
○志村北斗, 森田正樹, 大木幹雄(日本工大)
- 6 MDAを用いたサービス非依存インタラクションモデルの構築
○天川美那, 松浦佐江子(芝浦工大)
- 7 要求仕様の共通性・可変性分析によるソフトウェアプロダクトライン分析
○松本卓郎, 久保淳人(早大), 驚崎弘宜(国立情報学研), 深澤良彰(早大)

(データベースとメディア)

一般セッション [3B会場] (3月14日(金) 9:30~12:00)

データベース一般 座長 遠山 元道(慶大)

- 1 画像のグループ化処理を適用した類似画像検索の性能改善
○村林 昇, 倉橋節也, 吉田健一(筑波大)
- 2 多次元比率規則の抽出手法
○濱本雅史, 北川博之(筑波大)
- 3 XML Data Partitioning for Parallel Holistic Twig Join Processing
○IMAM MACHDI, 天笠俊之, 北川博之(筑波大)
- 4 文書群からの時間的変化する話題の抽出
○森 幹彦(京大)
- 5 大規模ログデータ検索I/Fの実装
○秩父かおり, 佐藤重雄, 菅野幹人(三菱)
- 6 履歴追跡に適応するデータモデルの検討
○平井規郎, 郡 光則, 森山令子(三菱)
- 7 履歴追跡結果の表示方式の検討
○森山令子, 郡 光則, 平井規郎(三菱)

一般セッション [4B会場] (3月14日(金) 15:30~17:30)

Webデザイン技術 座長 高橋 慈子(ハーティネス)

- 1 ブログによるコミュニケーションを支援する視覚化機能の検討
○瀬川 修(中部電力), 坂内和幸, 高橋 誠(TIS)
- 2 XMLを用いた個人Webサイトの自動生成
○山本昌弘(法大)
- 3 Drawings of compound graph using free-form curves
○高 杰, 三末和男, 田中二郎(筑波大)
- 4 文章入力アニメ映像自動生成システムDMDにおけるキャラクター位置自動推定手法の一検討
○青木輝勝, 沼澤潤二(東北大), 安田 浩(電機大)
- 5 類似音素行列を用いた音声認識結果とキャプション文字列との自動対応付けに関する検討
○高橋伸弥, 森元 暉(福岡大), 西本由之(ジェイ・フィット)
- 6 直感的な曲線操作を実現するベクタ変換の検討
○河村 圭, 石井大祐, 渡辺 裕(早大)

一般セッション [5B会場] (3月15日(土) 9:30~12:00)

コンテンツ推薦 座長 出羽 達也(東芝)

- 1 大規模テキストから位置情報および特徴語を抽出するルールの検討
○松川淑子(NEC), 小林正博(日本システムアプリケーション), 亀井真一郎, 山田洋志, 木内直人, 今野清隆, 永井洋一(NEC)
- 2 味の嗜好に応じたレシピの検索
○千葉祐輔, 本田真望, 大島邦夫(東理大)

- 3 ユニバーサルな知識表現による歴史観光情報コンテンツの提案
○堀井 洋, 林 正治, 沢田史子, 吉田武稔 (北陸先端大)
- 4 暗黙的評価を用いた嗜好推移に基づくホテル推薦手法
○佐賀亮介, 林 義浩, 辻 洋 (阪府大)
- 5 行動履歴を利用したコンテンツ推薦方式の提案
○木内直人, 亀井真一郎, 山田洋志 (NEC)
- 6 行動情報を利用した携帯端末への情報配信システムのアーキテクチャ
○河又恒久, 村上千央, 永井洋一, 今野清孝, 松川淑子, 木内直人, 山田洋志, 亀井真一郎 (NEC)
- 7 携帯端末への Push 配信サービスにおける配信スケジュール方式
○永井洋一, 木内直人, 山田洋志, 亀井真一郎 (NEC)
- 8 異なるカテゴリの嗜好情報に対する特徴解析及び評価
○山下 翔, 古川正志, 山本雅人, 鈴木育男 (北大)

一般セッション [6B 会場] (3月15日(土) 14:30 ~ 17:00)

データベースアーキテクチャ 座長 井上 潮 (電機大)

- 1 (講演取消)
- 2 大規模プロジェクトにおけるデータアクセス機能の効率的な開発方式
○堀野智久, 遠藤 浩, 畑山 研 (日立)
- 3 ランク機能付きサーチエンジンの開発および I/O ボトルネック対策
○竹口友大 (わいにじ), 幸谷智紀 (静岡理工科大)
- 4 ITS のための移動オブジェクト管理データ構造
- 移動特性に基づく移動オブジェクトの管理方式 -
○出木原裕順 (広島国際大), 中村泰明 (日本情報通信研究開発機構 / T.T.T.)
- 5 Managing Frequent Updates in R-trees by Semi-Bulkloading
○Moonbae Song, Hiroyuki Kitagawa (筑波大)
- 6 組み込み用データベースにおける検索方式に関する一考察
○氏家純也, 水口武尚, 大塚義浩, 田中功一 (三菱)
- 7 ベイジアンネットワークに対する効率的な更新・問合せ処理手法
○佐藤 亮, 川島英之, 北川博之 (筑波大)

一般セッション [1C 会場] (3月13日(木) 13:00 ~ 15:00)

社内文書検索システム 座長 天笠 俊之 (筑波大)

- 1 社内文書検索システム (1) - 検索プラットフォーム CRISP -
○白石展久 (NEC)
- 2 社内文書検索システム (2) - ステアブルオブジェクト分析による同等文書抽出 -
○松田勝志 (NEC)
- 3 社内文書検索システム (3) - 視覚印象検索のための領域レイアウト抽出 -
○岡城純孝, 松田勝志 (NEC)
- 4 社内文書検索システム (4) - セグメントオーバーレイによるプレゼンテーション資料からの目次構造特定 -
○山本康高, 松田勝志 (NEC)
- 5 社内文書検索システム (5) - プレゼンテーション資料の目次構造を利用したアウトライン・ランキングの提案 -
○山本康高, 松田勝志 (NEC)
- 6 社内文書検索システム (6) - 未出優先ランキング -
○原 雅樹 (NEC)

一般セッション [2C 会場] (3月13日(木) 16:30 ~ 18:30)

Web サービスとアーキテクチャ 座長 山田 隆亮 (日立)

- 1 モデル動的協調による自律対等型 Web サービスのアーキテクチャ
○大谷 真, 松原裕人, 伊東正起, 澤口宗和 (湘南理工科大)
- 2 企業におけるコンテンツセキュリティ
○足尾 勉, 坂本 久, 小林香織, 稲垣嘉信, 北村晃一, 笹鹿祐司, 島津秀雄 (NEC システムテクノロジー)
- 3 コンテンツセキュリティにおける網羅性の実現
○坂本 久, 足尾 勉, 小林香織, 稲垣嘉信, 北村晃一, 笹鹿祐司, 島津秀雄 (NEC システムテクノロジー)
- 4 権限移譲型のコンテンツセキュリティ
○西村知也, 島津秀雄, 足尾 勉, Anurag Gupta (NEC システムテクノロジー)
- 5 PadSpace: A Software Architecture for the Cooperation of Visual Components.
○Lkhamsuren Damdinsuren, 田中 譲 (北大)
- 6 RDFView: Resource Description Framework (RDF) データ活用を目的とした情報システム
○林 正治, 堀井 洋, 権 仁洙, 吉田武稔 (北陸先端大)

学生セッション [1R 会場] (3月13日(木) 13:00 ~ 15:00)

画像検索・画像情報処理 座長 木村 昭悟 (NTT)

- 1 引用の構造化によるマルチメディアコンテンツの知的統合支援システム
○石戸谷顕太郎, 長尾 確 (名大)
- 2 超 2 次元数と首パラメータによる土器画像検索の評価
○茂呂優太 (芝浦工大), 安達文夫 (国立歴史民俗博物館), 徳永幸生, 杉山 精 (芝浦工大)
- 3 画像内容検索における利用者の関連性フィードバックを利用した適応的大分類手法
○小林正季, 亀山啓輔 (筑波大)
- 4 ファセット表を用いたキーワードの概念的扱いによる画像注釈付加支援環境の設計
○肥山高大, 岡部敬子, 佐藤慶三, 中島 誠, 伊藤哲郎 (大分大)
- 5 能動学習型サポートベクターマシンを用いた内容に基づく画像検索における分類器の再利用
○中島聖志, 服部元信 (山梨大)
- 6 ユーザビリティを考慮したデジタル写真管理システム
○石田 聡 (関西大)
- 7 content-free image retrieval を用いた個人の嗜好を満たすレシビ推薦システム
○妻鹿 悟, 上原邦昭 (神戸大)
- 8 脳機能画像の位置と形状を補正する方法の考察
○大村啓子, 瀬々 潤 (お茶の水女子大)

学生セッション [2R 会場] (3月13日(木) 16:30 ~ 18:30)

Web 検索 座長 岩山 真 (日立)

- 1 (講演取消)
- 2 ウェブ上の検索システムにおける検索結果の比較支援インタフェース
○島村祐介, 三木和男, 田中二郎 (筑波大)
- 3 検索結果のインタラクティブな評価に基づくリランキングインタフェース
○軽部孝典, 志築文太郎, 田中二郎 (筑波大)
- 4 Web 検索のための有用な関連キーワードを評価するシステムの構築
○寺島浩太, 安藤大幸, 藤本敬介, 中山泰一 (電通大)
- 5 Web 検索結果におけるランキング変動に着目したキーワード支援システム
○望月祐臣, 東 基衛 (早大)
- 6 可視化 Web 検索支援
○劉 健全, 陳 漢雄, 古瀬一隆, 大保信夫 (筑波大)
- 7 トピカモデルにおけるユーザアクセス経路を利用した関連文書の検索
○浅妻 理, 田中 譲 (北大)
- 8 検索の使用時間間隔の分布を用いて抽出される関連語の評価
○柳 阿礼, 徳永幸生, 杉山 精 (芝浦工大), 杉崎正之, 池田成宏 (NTT レゾナント)

学生セッション [3R 会場] (3月14日(金) 9:30 ~ 12:00)

情報検索 座長 鈴木 優 (東芝)

- 1 論文の引用情報を考慮した論文検索支援システムの研究
○松本 健, 東 基衛 (早大)
- 2 適合性フィードバックにおけるユーザ負担の軽減
○石本将洋 (芝浦工大)
- 3 ユーザのニーズに適合した検索語支援システム
○関根裕昭, 東 基衛 (早大)
- 4 検索エンジンを用いた関連語検索システムの設計と実現
○安藤大幸, 寺島浩太, 藤本敬介, 中山泰一 (電通大)
- 5 利用者の問合せ理解度を考慮した Web ページ検索手法
○水野広大, 鈴木 優, 川越恭二 (立命館大)
- 6 Web ページの有用性を求めるためのキーワード重み付け手法の提案
○植草大輔, 藤本敬介, 中山泰一, 安藤大幸 (電通大)
- 7 タグによる Web 検索の絞込みシステム
○鈴木健太, 野崎政人, 松田朋子, 濱川 礼 (中京大)
- 8 アスキーアート検索エンジンの実装
○福井 悠 (情報科学芸術大)
- 9 Keyword Search Including Metadata in Relational Databases
○顧 佳駿, 北川博之 (筑波大)

学生セッション [4R 会場] (3月14日(金) 15:30 ~ 17:30)

Web マイニング 座長 寺口 正義 (日本 IBM)

- 1 タグの共起関係を利用した類似コンテンツ抽出システムの開発
○池田善昭, 木村昌臣 (芝浦工大)
- 2 商品情報の統合利用のための Web からの商品属性抽出
○富部真芳, 前田 亮 (立命館大)

- 3 リンク構造を考慮したベクトル空間法による Web グラフ分割の実験的解析
○佐々木雄一, 栗原正仁 (北大)

4 (講演取消)

- 5 代替的言語判定手法を活用した言語特定クローラーの効率化
○新井裕樹, 中平勝子, 三上喜貴 (長岡技科大)

学生セッション [5R 会場] (3月15日 (土) 9:30 ~ 12:00)

Web 応用 座長 森 正弥 (楽天)

- 1 Web2.0 におけるマッシュアップ標準化手法の検討
○秋永 智, 木村昌臣 (芝浦工大)
- 2 ウェブクリッピングによる情報収集を支援するアプリケーションの開発
○越田弘樹, 小飼 敬, 滝沢陽三 (茨城高専)
- 3 音声・Web 連携コールセンターシステムの提案
~老人にやさしい電子自治体システム~
○佐藤佳久, 村田嘉利, 佐藤永欣, 高山 毅 (岩手県大)
- 4 閲覧時アノテーションを利用した Web ドキュメントの引用とその応用
○林 亮介, 土田貴裕, 大平茂輝, 長尾 確 (名大)
- 5 ウェブアノテーションを利用したウェブへの双方向性導入の提案
○今田智大, 矢吹太郎, 佐久田博司 (青学大)
- 6 オンライン Web ページに基づく付箋アノテーションシステムとその応用
○佐野博之, 近藤圭佑, 浅見昌平, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)

学生セッション [6R 会場] (3月15日 (土) 14:30 ~ 17:00)

マルチメディア処理 座長 橋本 隆子 (リコー)

- 1 興味に基づく音楽情報推薦システムの提案
○野澤大介, 河合由起子 (京産大), 熊本忠彦 (千葉工大)
- 2 (講演取消)
- 3 多種類特徴の統合による TRECVID 映像の認識
○劉 譔南, 柳井啓司 (電通大)
- 4 クラスタリングによる TRECVID ラッシュ映像の要約
○野口顕嗣, 柳井啓司 (電通大)
- 5 Earth Mover's Distance を用いた類似 Web 動画検索
○高田圭佑, 柳井啓司 (電通大)
- 6 動画サイトのコメントを用いた動画シーンの検索
○高田智弘, 関 洋平, 青野雅樹 (豊橋技科大)
- 7 複合型アルゴリズムを用いた映画推薦システムの実装と評価
○坂本竜太, スティエラ バンティラヌラク, 柿崎淑郎,
辻 秀一, 伊藤 壘, 後藤慎平, 山谷一貴, 吉見哲哉 (東海大)
- 8 嗜好にあったインターネット動画を提供するエージェントシステムに関する検討
○松田康佑, 加藤誠巳 (上智大)
- 9 ユーザ提示画像を基にしたクリッカブル動画自動生成システムの設計と実装
○三樹一貴, 多田好克, 佐藤 喬 (電通大)

学生セッション [1S 会場] (3月13日 (木) 13:00 ~ 15:00)

P2P データ処理 座長 河野 健二 (慶大)

- 1 P2P ファイル共有ネットワークにおけるコンテンツの定量的特性の測定と評価
○渡部友也, 大坐昌智, 川島幸之助 (農工大)
- 2 P2P データベースにおけるロックノードを用いた一貫性保証機構の開発
○山崎恭史, 木村昌臣 (芝浦工大)
- 3 実ネットワーク環境を考慮した P2P ビデオ配信システムの設計と実装
○横川芳隆, 橋本浩二, 柴田義孝 (岩手県大)
- 4 自立型 Web サービス向けの非同期 P2P ミドルウェア
- アプリケーション制御部の研究 -
○伊東正起, 澤口宗和, 松原裕人, 大谷 真 (湘南工科大)
- 5 自律型 Web サービス向けの非同期 P2P ミドルウェア
- 通信制御部の研究 -
○澤口宗和, 伊東正起, 大谷 真, 松原裕人 (湘南工科大)
- 6 PLC/無線 LAN 経由 P2P 通信におけるトラフィック特性の性能評価
○花家綾香, 小口正人 (お茶の水女子大)
- 7 P2P ストリーミング配信における生存時間の統計的性質を利用したネットワーク構成方式
○倉掛謙久, 大坐昌智, 川島幸之助 (農工大)
- 8 構造型 P2P ネットワークにおけるキーワードを用いた XML 文書検索
○李 曉晨, 天笠俊之, 北川博之 (筑波大)

学生セッション [2S 会場] (3月13日 (木) 16:30 ~ 18:30)

科学データベースとメディア 座長 高山 毅 (岩手県大)

- 1 FUSE を利用した異種気象データの統合利用システム
○宇井敬一郎, 天笠俊之, 北川博之 (筑波大)

- 2 データマイニングによる気圧配置の分類

○木村広希, 川島英之, 北川博之 (筑波大)

- 3 GIS による琵琶湖への河川流入負荷量推定シミュレーション
○渡邊昌春, Prima Oky Dicky A., 伊藤久祥, 伊藤憲三 (岩手県大)

- 4 Google Map による水稲危機情報の効果的な提示に関する研究
○吉田知亜紀, Prima Oky Dicky A., 伊藤久祥, 伊藤憲三 (岩手県大)

- 5 関係表の垂直表現を利用した河川情報データの統合
○王 毅, 天笠俊之, 北川博之 (筑波大)

- 6 道路台帳図用電子地図の更新支援方式と評価
○沖 暁嗣 (岩手県大), 深田秀実 (盛岡市役所), 高山 毅,
村田嘉利, 佐藤永欣 (岩手県大), 池田哲夫 (静岡県大)

- 7 地方都市における犯罪密集度計算の提案とそれに基づく地区の類型化
○田沼絵美, Prima Oky Dicky A., 伊藤久祥, 伊藤憲三 (岩手県大)

- 8 携帯電話と位置情報を利用したダイレクトレスポンス型広告システムの提案
○徳野成之, 大塚昌太, 佐藤永欣, 村田嘉利, 高山 毅 (岩手県大)

- 学生セッション [3S 会場] (3月14日 (金) 9:30 ~ 12:00)

XML と応用 座長 鬼塚 真 (NTT)

- 1 Araucaria ツールの論証集合から拡張論理プログラムの自動生成
○望月 昇, 若木利子 (芝浦工大)
- 2 大学内情報オントロジーの構築と検索システムの実装
○柳田憲士郎, 塚本享治 (東京工科大)
- 3 DITA ドキュメントの RDF/OWL への変換
○都原安貴, 塚本享治 (東京工科大)
- 4 巨大 JSON データの分割と参照手法
○石川泰式, 鈴木徹也 (芝浦工大)
- 5 An Improved Similarity Join for XML Data based on Text Similarity
○Lianzi Wen, 天笠俊之, 北川博之 (筑波大)
- 6 帰納推論に基づく XML タグ構造分類による XML 検索
○驛 昌弥, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 7 大規模木構造データに対する正規パス式の効率的な処理方式の検討
○只石正輝, 森嶋厚行 (筑波大), 田島敬史 (京大)
- 8 赤外線瞬時通信展示案内システム向けコンテンツ作成支援ツールの開発
○松川裕右, 蔡 大維, 馬 安寧 (岩手県大)
- 9 タイムロックメッセージを対象とした Web サービス連携方式の実験と評価
○安田恭行, 中野武司 (明大)

学生セッション [4S 会場] (3月14日 (金) 15:30 ~ 17:30)

SNS, ブログ, ソーシャル Web 座長 大塚 真吾 (東大)

- 1 SNS における信頼値に基づいたアクセスコントロールの実装・評価
○山口修平, 小柳 滋, 川村義久 (立命館大)
- 2 ソーシャルブックマークの仕組みに基づく映像シーナノテーション
○増田智樹, 山本大介, 大平茂輝, 長尾 確 (名大)
- 3 社会ネットワークにおけるユーザの属性と振舞いを利用したコミュニケーション支援システムの設計と評価
○古川 潤 (電通大), 村山隆彦 (NTT), 多田好克, 佐藤 喬 (電通大)
- 4 blog における話題遷移点の抽出手法
○谷内幸憲, 徳永幸生, 杉山 精 (芝浦工大)
- 5 ブログスフィアからの最新の話題・流行の分析
○角田恵美, 矢吹太郎, 佐久田博司 (青学大)
- 6 標準クリック距離による web コミュニティの概視化
○谷口三郎, 三浦孝夫 (法大)
- 7 Web 情報を活用する蔵書管理システム ~パーソナライズの適用~
○塚本哲也, 西山裕之, 溝口文雄 (東理大)

学生セッション [5S 会場] (3月15日 (土) 9:30 ~ 12:00)

知識発見・検索 座長 関 洋平 (豊橋技科大)

- 1 単語の反復度と共起頻度に基づく関連記事の提示方法
○島田 論, 佐藤哲司 (筑波大)
- 2 ANN の効率的なフィルタリング
○王 銘新, 陳 漢雄, 古瀬一隆, 大保信夫 (筑波大)
- 3 情報科学関係情報の自動分類を行うポータルの試験運用と評価
○阿部淳也, 出石大志, 岸本義晴, 堀 幸雄, 今井慈郎 (香川大)
- 4 A Comparative Study of Text Categorization Methods on a Multilingual Corpus
○Giang Son Nguyen, 小柳 滋, 山崎勝弘 (立命館大)

- 5 イベント監視による活動履歴の自動作成
○奥村哲也, 大西浩太郎, 小山雅史 (奈良高専)
- 6 ニュース記事閲覧のための複数ウィンドウ方式を用いた特定トピック追跡システムの試作
○平田紀史, 児玉政幸, 伊藤正都, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 7 評判情報検索のための意見文収集に関する研究
○清水隆太, 東 基衛 (早大)
- 8 株価情報と新聞記事を用いた企業の評判情報の抽出に関する研究
○小谷 章, 中村健二, 田中成典, 吉村智史, 細島啓史, 北野光一 (関西大)
- 9 様々な流通形態に対応したファイルトレースシステムの開発
○矢嶋智裕, 加藤弘一, 勅使河原可海 (創価大)

学生セッション [6S 会場] (3月15日 (土) 14:30 ~ 17:00)

ユーザ指向・推薦 座長 神嶌 敏弘 (産総研)

- 1 (5B セッションへ移動)
- 2 Folksonomy におけるタグ情報を用いたコンテンツ推薦手法の提案
○数原良彦, 篠沢佳久, 櫻井彰人 (慶大)
- 3 ブログ検索エンジンにおける話題兆候の発見と推薦
○緒方宏紀, 小柳 滋 (立命館大)
- 4 ユーザ嗜好に基づいたニュース記事の推薦に関する研究
○杉之原亮, 榎山武浩, 田中成典 (関西大)
- 5 Web ページの閲覧履歴とブックマーク情報を用いたユーザの興味の獲得
○和田洋祐 (芝浦工大)
- 6 ユーザ特性を考慮したアクセスログに基づく情報推薦に関する研究
○田中裕一, 中村健二, 田中成典, 吉村智史, 細島啓史, 北野光一 (関西大)
- 7 ソーシャルブックマークを利用したユーザ嗜好に基づくページの抽出
○高橋 翼, 北川博之 (筑波大)
- 8 利用者の商品購入と Web ページ閲覧の履歴を用いた Web ページ推薦手法
○山下真理子, 鈴木 優, 川越恭二 (立命館大)
- 9 ユーザーのスケジュールを用いた Web ページ推薦
○和田潤也, 大石哲也, 峯 恒憲, 長谷川隆三, 藤田 博, 越村三幸, 蔣 偉 (九大)

学生セッション [1T 会場] (3月13日 (木) 13:00 ~ 15:00)

Web デザイン 座長 志築文太郎 (筑波大)

- 1 閲覧者の情報に基づく Web コンテンツのプッシュ型配信について
○中村正人, 児玉政幸, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 2 サーバ主導型プッシュ配信を利用した協調型 Web ブラウジングシステムの試作
○柿元宏晃, 児玉政幸, 浅見昌平, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 3 携帯電話における Web コンテンツ閲覧のためのコンテンツ抽出アルゴリズムについて
○伊藤大樹, 近藤主佑, 浅見昌平, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- 4 携帯電話での microformats の利用: カレンダー情報を例として
○田辺豊博, 伊藤一成, Martin J. Duerst (青学大)
- 5 WebScore を利用した Web サイト評価及び改善に関する研究
○竹内康夫 (東理大), 平石広典 (ウィズダムテック), 溝口文雄 (東理大)
- 6 An Automated Presentation System from Web Contents employing Lifelike Agents
○Manuel Mercado, Shaikh Mostafa Al Masum, 石塚 満 (東大)
- 7 Web インタラクションデザインにおけるプロトタイプングツールの提案
○矢部裕亮 (芝浦工大), 杉崎正之 (NTT レゾナント), 徳永幸生, 杉山 精 (芝浦工大)
- 8 HTML を用いた Web アプリケーション自動構築
○浅井暢仁, 紫合 治 (電機大)

学生セッション [2T 会場] (3月13日 (木) 16:30 ~ 18:30)

データマイニング 座長 高須 淳宏 (国立情報学研)

- 1 セマンティック Web を利用した加工工程決定の自動化
○牧 聡史, 越田高志 (松江高専)
- 2 オントロジー推論を応用した発想支援システムの研究
○澤井大地, 北川 修 (東京工科大)

- 3 ブランド牛の肥育農家のための種雄牛選択支援システム
○史 琳晶, 井上悦子, 吉廣卓哉 (和歌山大), 池上春香, 永井宏平 (わかやま産業振興財団), 松本和也 (近畿大), 小林直彦 (岐阜県畜産研究所), 中川 優 (和歌山大)
- 4 商取引ネットワークにおける不審ユーザ判定モデルの評価と実装
○小林真雄, 伊藤孝行 (名工大)
- 5 時系列データに対する効果的な外れ値検出
○石田 梢, 北川博之 (筑波大)
- 6 A Robust Method of Detecting DB-Outliers in High Dimensional Datasets
○Yuan Li, 北川博之 (筑波大)
- 7 商品購入の前後関係を考慮したレコメンド方式のデパートへの応用と評価実験
○恵津森真仁, 高山 毅, 村田嘉利, 佐藤永欣 (岩手県大)
- 8 電子掲示板から FAQ の自動生成
○松崎友洋, 富澤真樹 (前橋工科大)

学生セッション [3T 会場] (3月14日 (金) 9:30 ~ 12:00)

センサデータベースとコンテンツ 座長 大村 廉 (慶大)

- 1 斜面防災システムにおける耐障害性を考慮した P2P レプリケーション手法
○陶山優一, 鈴木和久, 藤崎友樹, 横田裕介, 大久保英嗣 (立命館大)
- 2 Continuous Query over Uncertain Data Streams
○沈 智穎, 川島英之, 北川博之 (筑波大)
- 3 地域防犯のためのネットワークカメラ群による分散協調型監視システム
○浅沼直人, 佐藤永欣, 村田嘉利, 高山 毅 (岩手県大)
- 4 センサデータベースにおける実時間分割応答の提案
○金井圭介, 石塚宏紀, 戸辺義人 (電機大)
- 5 ストリーム処理における情報源の動的選択機能
○大喜恒甫, 渡辺陽介, 秋山 亮, 北川博之, 天笠俊之, 川島英之 (筑波大)
- 6 組込み DBMS における全文検索用インデクス作成に関する研究
○福田 肇 (静岡大)
- 7 RAT 向けロボットにおけるビヘイビアコンテンツの共有と再利用
○成田一生, 長尾 確 (名大), 渡辺一郎 (富士通研)
- 8 栄養価付加機能を有したレシピ検索サービスの構築
○角 沙月 (東京工科大)
- 9 手持ちの材料だけを使って調理できる料理レシピを Web から検索するシステム
○山田 勇, 志田晃一郎, 横山孝典, 兪 明連 (武蔵工大)

学生セッション [5T 会場] (3月15日 (土) 9:30 ~ 12:00)

メディア情報可視化 座長 竹島由里子 (東北大)

- 1 階層型自己組織化マップを用いた検索結果の可視化システム
○小室達也, 関 洋平, 青野雅樹 (豊橋技科大)
- 2 2部グラフの可読性向上のためのクラスタ構造の動的描画手法
○佐藤修治, 三末和男, 田中二郎 (筑波大)
- 3 (講演取消)
- 4 放射状のマップを用いたアイデア記録を支援する手書きツール
○中園長新, 三末和男, 田中二郎 (筑波大)
- 5 動画共有に基づいた非同期コミュニケーションの連帯感を向上させるインタフェース
○川井康寛, 志築文太郎, 田中二郎 (筑波大)
- 6 ネットワーク上における Flash 作成の場の検討
○松永圭司, 平川 豊 (芝浦工大)
- 7 動画からの感情抽出および感情遷移によるストーリーの自動構築
○富士本達矢, 浅田裕也, 濱川 礼 (中京大)
- 8 料理番組制作システムにおける料理番組記述言語に関する研究
○伊藤紘貴 (岩手県大)
- 9 SVG 作成フレームワーク SVuGy の拡張
○前村 武, 伊藤一成, Martin J. Duerst, 藤森 誠 (青学大)

デモセッション [デモ会場]

デー04 (3月13日 (木), 3月14日 (金), 3月15日 (土))

位置情報を用いたブログサービス「ろぐの細道」
○星野 厚, 岡 瑞起, 加藤和彦 (筑波大)

デー05 (3月15日 (土))

ブログからの属性, 評価を含めたオンデマンド評判情報分析システム: eHyouban
○土田正明, 水口弘紀, 久寿居大 (NEC)

第2分冊**(人工知能と認知科学)****一般セッション [3C会場] (3月14日(金) 9:30～12:00)****画像処理・認識 座長 酒井 智弥 (千葉大)**

- 1 モンドリアン系マンダラパタンと、絵画的パタンの除「厄」システムの基礎系について ○横田 誠 (伝子工学 (生生システム) 研究会)
- 2 カラライゼーションにおける不良設定問題の解決 - 色相と輝度の対応およびその統計的検証 -
○小泉真也, Prima Oky Dicky Ardiansyah (岩手県大)
- 3 ディスプレイ上でのジャカード織物織り上がり表面色とテクスチャ感再現の試み ○尾崎敬二 (国際基督教大)
- 4 ステレオカメラを利用した1点キャリブレーションによる視線計測手法
○長松 隆, 鎌原淳三, 伊香拓真, 田中直樹 (神戸大)
- 5 hFCMとレジストレーションを用いたMR画像からの海馬領域抽出
○権 仁洙, 林 正治, 堀井 洋, 吉田武稔 (北陸先端大)
- 6 アルツハイマー型認知症診断支援のための側頭葉領域の抽出法
○伊藤桃代, 西田 真, 苗村育郎 (秋田大)
- 7 連続断面画像集合からの3次元領域抽出のためのシステム開発
○木下利家, 三谷 純, 福井幸男, 西原清一 (筑波大)

一般セッション [4C会場] (3月14日(金) 15:30～17:30)**画像処理システム 座長 大隈 隆史 (産総研)**

- 1 Cell Broadband Engineを用いた超解像度ソフトウェアのリアルタイム実行
○田中康之, 田中明良, 山下道生, 今田 敬, 高橋幸恵, 加藤宣弘 (東芝)
- 2 MultiVNCによる一斉授業における生徒状態の自動判別
○白澤洋一, 大瀧健太, 北川健司, 千葉大作 (アルファシステムズ)
- 3 音響シーンクラスタリングによる番組効率視聴支援
○広畑 誠, 井本和範, 青木 恒, 上原龍也 (東芝)
- 4 映像ストリームにおけるパース検出に基づくトピック発見
○白浜公章, 上原邦昭 (神戸大)
- 5 DWTによる画像圧縮-サーモグラフィ・JPEG・JPEG2000-
○今井幸雄 (東海大)
- 6 近赤外線光と可視光の分光的画像による男女識別の試行
○西野 聰, 田島圭佑, 松村勇希 (小山高専)

一般セッション [5C会場] (3月15日(土) 9:30～12:00)**複雑系 座長 片上 大輔 (東工大)**

- 1 ノード間関係の類似度を定量化するネットワーク閾小性
○森岡 淳, 古川正志, 山本雅人, 鈴木育男 (北大)
- 2 細胞分化メカニズムを利用した役割分化ロボットシステムの研究
○張 菁, 小泉智史, 松本吉央, 石黒 浩 (阪大)
- 3 1次元セルオートマトンにおける同期現象の解析
○蛭川 繁 (金沢工大)
- 4 セルオートマトンを用いた仮想都市空間内における土地利用変化シミュレーション
○今佐和子, 西原清一 (筑波大), 水野一徳 (拓大), 三谷 純, 福井幸男 (筑波大)
- 5 Bak-Sneppenモデルにおけるネットワーク構造の重要性
○岡本麻衣子, 梶田康博, 穴田 一 (武蔵工大)
- 6 ヒューマンファクターを包含する記号論理体系に基づく実時間的システムの分析
○水谷哲也, 五十嵐滋 (筑波大), 塩 雅之 (常磐大), 池田靖雄 (埼玉短大)
- 7 コンプライアンス知識の解釈多様性を実現する解釈知識の生成手法
○金井 貴 (熊本県大)

一般セッション [6C会場] (3月15日(土) 14:30～17:00)**ニューラルネット・マルチエージェント 座長 Pitoyo Hartono (はこだて未来大)**

- 1 直交学習を用いた複素連想メモリ
○中田正雄, 長名優子 (東京工科大)
- 2 SVMを用いたテクスチャ分類における局所高次モーメントカーネルと従来カーネルの比較
○亀山啓輔 (筑波大)
- 3 エルマンネットを拡張した文字認識ニューラルネットワークの作成と評価
○篠沢佳久 (慶大)
- 4 位相空間のアフィン変換による物理系の適応的モデリングと機械学習への応用
○中村真吾, 橋本周司 (早大)

- 5 RoboCup2Dサッカーシミュレーションにおける遺伝的アルゴリズムを用いたフォーメーションの強化
○河本敬子, 加治竜弥, 一野天利, 谷澤一雄, 堀部和雄 (近畿大)
- 6 群知能を用いたRoboCupサッカーエージェントにおける行動獲得手法の提案
○笹岡久行, 山田太郎 (旭川高専)
- 7 仮想都市における交通シミュレーションによる動的経路選択の有用性の検証
○大塚友樹 (筑波大), 水野一徳 (拓大), 宮永裕介, 三谷 純, 福井幸男, 西原清一 (筑波大)

一般セッション [1D会場] (3月13日(木) 13:00～15:00)**音楽情報科学 座長 平賀 瑠美 (筑波技術大)**

- 1 部分楽曲パタンのメンデレーフ表的分類法について
○横田 誠 (伝子工学 (生生システム) 研究会)
- 2 Ai Volume
○斎藤卓也, 村岡洋一 (早大)
- 3 フォルマントパラメータを用いた口笛の分析と合成
○伏木田勝信 (無所属)
- 4 対話型進化的計算手法による作曲システムにおけるHMMの作曲法
○蓮井洋志 (室蘭工大), 小倉久和 (福井大)

一般セッション [2D会場] (3月13日(木) 16:30～18:30)**音声対話・翻訳 座長 松原 茂樹 (名大)**

- 1 ウェブニュース提供のための自己組織化関係ネットワークと格重み付き単語頻度ベクトルを用いたユーザの興味構造表現
○東原智幸, 三吉達夫, 渥美雅保 (創価大)
- 2 ユーザの興味プロフィールに基づく音声ニュースシステムにおける複数関連ニュース提供の対話的制御
○三吉達夫, 東原智幸, 渥美雅保 (創価大)
- 3 ユーザの音声指示を覚えるインタフェース - 卓上インタフェースロボットへの適用 -
○山本大介, 古賀敏之, 杉山博史, 松日楽信人, 土井美和子 (東芝)
- 4 同時通訳者の知識を用いた講演文章のチャンキング
○清水 徹 (ATR)
- 5 多言語音声翻訳基盤の通信インタフェースの検討と構築
○木村法幸, 清水 徹, 葦苜 豊, 中村 哲 (NICT)

一般セッション [3D会場] (3月14日(金) 9:30～12:00)**自然言語処理 座長 藤井 敦 (筑波大)**

- 1 大規模言語資源メタデータベースの構築と利用
○遠山仁美, 小澤俊介 (名大), 内元清貴 (NICT), 松原茂樹 (名大), 井佐原均 (NICT)
- 2 情報量に基づくテキスト・セグメンテーション
○石塚隆男 (亜大)
- 3 係り受け構造に基づく日本語自然文のデータ構築手法
○高田明典 (フェリス女学院大)
- 4 n-gramを用いた自己中心性の推定手法
○鈴木信雄, 津田和彦 (筑波大)
- 5 フレーズテーブルと要素合成法を用いた対訳特許文書からの専門用語対訳辞書生成
○森下洋平, 宇津呂武仁, 山本幹雄 (筑波大)
- 6 レストランレビュー文章群からの評判とその対象の抽出
○今平純一, 柴田喜匡, 二本木伸佳, 細川雅由 (NTTPCコミュニケーションズ), 奥村 学 (東工大)
- 7 地理的距離と有名人度を用いた地名の曖昧性解消
○平野 徹, 松尾義博, 菊井玄一郎 (NTT)

学生セッション [6T会場] (3月15日(土) 14:30～17:00)**GA・エージェントモデル 座長 小野 哲雄 (はこだて未来大)**

- 1 並列分散GAにおける多層型トポロジに関する考察
○菊池雅彦, 石亀昌明, 伊藤慶明, 小嶋和徳 (岩手県大)
- 2 フロア全体を考慮したレイアウト案の生成が可能な対話型遺伝的アルゴリズムを用いたオフィスレイアウト支援システム
○立川量太, 長名優子 (東京工科大)
- 3 センサと扇風機群の配置に依存しない家庭向け室温制御システム
○三好晴樹, 多田好克, 佐藤 喬 (電通大)
- 4 地形と降水量に基づいた災害の質的シミュレーション手法
○波多野紀彦, 松尾徳朗 (山形大)
- 5 ビヘイビアベースの情報組織化に関する研究
○下田 修 (北大), 嘉数侑昇 (北海道情報大)
- 6 エージェントアプローチによる温室効果ガス取引制度の分析
○大堀正人, 倉橋節也 (筑波大)

- 7 ゲーミングの手法を用いた官製談話問題のモデル化の試み
- 制度設計分析の基礎付けを目指して - ○諸藤秀幸, 倉橋節也 (筑波大)

学生セッション [1U会場] (3月13日(木) 13:00 ~ 15:00)

画像処理システム 座長 清水 郁子 (農工大)

- 1 モーションキャプチャのための人体情報を用いたカメラキャリブレーション
○川澄裕一, 宮岡伸一郎 (東京工科大)
- 2 ステレオ映像の撮影におけるカラーチャートを用いた
カメラキャリブレーション手法の実装
○木村朋博, 横前拓磨, 井口信和, 越智洋司 (近畿大),
Rafael Sierra (中央農業総合研究センター), 内尾文隆 (和歌山大)
- 3 撮影対象物の輪郭とディスタンスマップを用いたステレオ視用映像
編集ツールの開発 ○横前拓磨, 木村朋博, 井口信和,
越智洋司 (近畿大), Rafael Sierra (中央農業総合研究センター),
内尾文隆 (和歌山大), 向井苑生 (近畿大)
- 4 ステレオカメラを用いた指文字の認識手法
○外山貴之, 宮崎信二, 深井 越, 田村 仁 (日本工大)
- 5 ジグソーパズルの解放-マッチングによる画像復元-
○齋城嘉孝, 杉本雅之, 長元久幸, 北村哲也, 嶋 好博 (明星大)
- 6 赤外線画像を用いたプレス鋼板における微小凹凸検出手法の開発
○遠藤賢明, 亀田昌志, 松田浩一 (岩手県大),
長谷川辰雄 (地方岩手県工業技術センター)
- 7 クローバとイネ科雑草の撮像画像による堆積量の推定
○上野洋介, 石塚拓哉, 深井 越, 田村 仁 (日本工大)
- 8 NOAA-AVHRR データにおける地上基準点の自動抽出を目的とした特徴解析
○東海林佳昭, 景山陽一, 西田 眞 (秋田大)

学生セッション [2U会場] (3月13日(木) 16:30 ~ 18:30)

ゲーム・知識ベース 座長 八槨 博史 (名大)

- 1 コンピュータ囲碁におけるデジタル解析とアナログ解析を結合した静的解析
○永田雄之, 中村克彦 (電機大)
- 2 Igolog: データベースと差分計算にもとづく囲碁プログラムの基本部
○葛原大輔, 中村克彦 (電機大)
- 3 UCTを用いた訓練初期局面の多様化による TD 学習法の改善
○三木理斗, 近山 隆, 田浦健次郎 (東大)
- 4 モンテカルロ法によるコンピュータ将棋の実現
○佐藤佳州, 高橋大介 (筑波大)
- 5 オントロジーマッピングによる LOM と CRM 間のメタデータ変換
○立川正和, 内田邦晃 (芝浦工大),
澤井 進 (学習ソフトウェア情報研究センター), 若木利子 (芝浦工大)
- 6 類似した物語における場面連鎖の構造
○藤井美緒, 中山伸一, 真栄城哲也 (筑波大)
- 7 e ラーニングのコース自動生成を目指した知識ベース構築に関する研究
○小形 淳 (千歳科大)
- 8 エキスパートシステムのための知識ベース編集システムの設計と実装
○重松伴典 (東理大), 平石広典 (ウィズダムテック), 溝口文雄 (東理大)
- 9 (講演取消)

学生セッション [3U会場] (3月14日(金) 9:30 ~ 12:00)

音声言語情報処理 座長 緒方 淳 (産総研)

- 1 ロボット音声対話のための MFT と ICA によるバージン許容機能の評価
○武田 龍 (京大), 中臺一博 (ホンダ RIJ),
駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 2 音響的特徴を利用した自動話者分類
○小林恵太, 西崎博光, 関口芳廣 (山梨大)
- 3 トピック推定と対話履歴の統合によるドメイン選択を行うマルチドメイン
音声対話システム
○池田智志, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 4 音声対話システムにおける発話意図推定
○松本宗也, 樽松 明, 白井克彦 (早大)
- 5 音声対話システムにおけるユーザの固有名詞の簡略化に対処する語彙拡張
○勝丸真樹, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 6 インタラクティブなプレゼンテーションでのユーザ発話の自然な制限の
ための複数エージェントの利用 ○齋津真一郎 (東大), 中野幹生,
船越孝太郎, 竹内誉羽, 長谷川雄二 (ホンダ RIJ),
土肥 浩, 石塚 満 (東大), 辻野広司 (ホンダ RIJ)

- 7 音声対話システムにおける WFST に基づく文法検証を利用した動的ヘルプ
生成 ○福林雄一郎, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 8 複数人と対話型ゲームができるシステム
○佐藤 篤, 西崎博光, 関口芳廣 (山梨大)
- 9 高齢者支援に向けた音声対話による日課管理システム
○生井雄一, 東原智幸, 渥美雅保 (創価大)

学生セッション [4U会場] (3月14日(金) 15:30 ~ 17:30)

文書の分類と検索 座長 丹羽 芳樹 (日立)

- 1 語の出現予測を用いたテキスト分類
○岡嶋 稔, 松尾 豊, 石塚 満 (東大)
- 2 HTML タグ情報を利用した Web 文書のタイプ別分類
○林 幸徳, 前田 亮 (立命館大)
- 3 意味を考慮した Blog 記事の分類に関する研究
○大谷和史, 中村健二, 田中成典,
細島啓史, 吉村智史, 北野光一 (関西大)
- 4 料理レシピを対象とした関連検索システム
○苺米志帆乃, 藤井 敦 (筑波大)
- 5 Web フォーラムの構文情報を用いたトラブルシューティング文書抽出
○栗田光晴, 近山 隆, 田浦健次郎 (東大)
- 6 ユーザに適した匿名掲示板スレッドの提示システム
○木幡 徹, 東 基衛 (早大)
- 7 係り受け構造と概念の近さをを用いた論文の被引用箇所抽出方法の提案
○芳賀康敏, 荒井正之 (帝京大)
- 8 検索用キーワードの解析及び抽出手法の提案
○長谷川新, 浜本隆之 (東理大), 相澤彰子 (国立情報学研 / 総研大)

学生セッション [5U会場] (3月15日(土) 9:30 ~ 12:00)

情報抽出 座長 那須川哲哉 (日本 IBM)

- 1 文書の自動分類用キーワードの抽出 -Folkonomy 支援のための分類-
○高橋 悠, 中平勝子, 三上喜貴 (長岡技科大)
- 2 タグクラウドを用いたメールマガジンの視覚化
○宮原良一, 村上晴美 (大阪市大)
- 3 TF-IDF 法に基づくタグの自動付与
○河上哲也, 千種康民 (東京工科大), 服部泰造 (東京国際大)
- 4 決定木学習を用いた人名情報抽出のための規則生成
○荻田泰宏, 長崎英紀, 古宮嘉那子,
柴原一友, 但馬康宏, 小谷善行 (農工大)
- 5 Web ニュース記事視覚化のための情報抽出 -地名とイベントとの関連付け-
○石田大和, 関 洋平, 青野雅樹 (豊橋技科大)
- 6 質疑応答関係に着目した議論の構造の抽出
○石坂浩章, 関 洋平, 青野雅樹 (豊橋技科大)
- 7 新聞記事からの政治家の意見抽出 ○酒井隆行, 村上晴美 (大阪市大)
- 8 新聞記事内容と株価変動の関連性の定量的分析
○張 ヘイ, 松原茂樹 (名大)
- 9 共起情報と品詞情報を利用した高再現率コーパスの構築手法の提案
○鈴木健之, 丸山 広, 中村太一 (東京工科大)

学生セッション [6U会場] (3月15日(土) 14:30 ~ 17:00)

自然言語処理 座長 宇津呂武仁 (筑波大)

- 1 単文化処理における連体修飾語の一部省略を適用した日英翻訳向上への
アプローチ ○馬場先智美, 岸 義樹 (茨城大)
- 2 特許文に対するクロスリガーモデルを用いた統計的機械翻訳システム
○松本琴美 (筑波大), 内山将夫 (NICT), 山本幹雄 (筑波大)
- 3 共通語と方言の変換システム ○石橋季之, 天野真家 (湘南工科大)
- 4 (講演取消)
- 5 類似名詞のクラスタリングに基づく照応解析手法の提案
○関口友樹, 木村昌臣 (芝浦工大)
- 6 段落の一貫性評価手法の提案
○板倉由知, 白井治彦, 黒岩丈介, 小高知宏, 小倉久和 (福井大)
- 7 特徴語句の参照関係を考慮した特許請求項の構造解析に関する基礎研究
○増満 光, 檜山武浩, 田中成典, 杉之原亮 (関西大)
- 8 意外性を持つキャッチフレーズの対話型作成システム
○中野俊亮, 鬼沢武久 (筑波大)
- 9 言葉の意味の多様性を構造にもつなごうの生成
○濱田真樹, 鬼沢武久 (筑波大)

学生セッション [1V 会場] (3月13日(木) 13:00 ~ 15:00)

学習・推論 座長 中狭知延子 (東洋大)

- 重み空間の逐次分割にもとづく多目的一括強化学習法
○坪田悠吾, 吉田 学, 平岡和幸, 三島健稔 (埼玉大)
- 学習段階に応じた閾値による多目的一括強化学習法の改良
○吉田 学, 平岡和幸, 三島健稔 (埼玉大)
- 間引きを用いたバス技術の自律学習 ○小林隼人 (東北大),
畑埜晃平 (九大), 石野 明, 篠原 歩 (東北大)
- 併売関係に基づく金銭的価値による商品ランキング
○横田祐介, 松井藤五郎, 大和田勇人 (東理大)
- 蟻の集団を用いた Binary CSP の解法
○西野齊久, 水野一徳 (拓殖大), 西原清一 (筑波大)
- 変数のアクティビティ情報を共有するマルチスレッド SAT ソルバ
○谷口清則 (九大), 大森晋作 (NEC),
長谷川隆三, 藤田 博, 越村三幸 (九大)
- 複数のターゲットを対象とする実時間探索における優先ターゲット
選択手法の提案 ○水戸優太, 伊藤孝行 (名工大)
- 事例ベース推論を用いた凍結防止剤散布支援システムの評価
○池田芳紀, 仲谷善雄 (立命館大)

学生セッション [2V 会場] (3月13日(木) 16:30 ~ 18:30)

3次元画像処理 座長 黒川 雅人 (日本 IBM)

- グラフィックスハードウェアを用いた3次元多値モルフォロジーの高速化
○司馬浩之, 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)
- 幾何形状と反射特性を同時に獲得する3次元モデリング
○佐藤慎吾, 清水郁子 (農工大)
- (講演取消)
- 3次元 SIFT アルゴリズムを用いた目的物体の位置検出に関する研究
○中村真由美, 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)
- 単眼カメラの動画像処理による3次元モデル生成法に関する検討
○高松良光, 加藤誠巳 (上智大)
- 回転鏡付きプロジェクタと全方位カメラを用いた壁情報の自動取得
○柳澤瑤二, 石井健太郎 (慶大)
- 距離画像とカラー画像のセンサフュージョンに基づくロボットの人間追従
○武用吉史, Guillermo Enriquez, 橋本周司 (早大)
- 3次元モデルと拘束条件を用いた人体の位置・姿勢推測
○早瀬光浩, 嶋田 晋 (中京大)

学生セッション [3V 会場] (3月14日(金) 9:30 ~ 12:00)

マルチエージェント (1) 座長 加藤 義清 (NICT)

- マルチエージェント型交通シミュレータと歩行者エージェントの導入
○藤島康佑, 水野一徳 (拓大), 西原清一 (筑波大)
- エージェント間での報酬の受け渡しを考慮した強化学習による役割の生成
○中原雅之, 長名優子 (東京工科大)
- エージェント・シミュレーションにおける最低解像度限界の同定
○服部恭史, 高丸尚教 (中部大)
- リソースに制限のある組み込みシステムのためのエージェントフレームワーク
○須田唯之, 大塚万里子, 中溝克明,
横山孝典, 志田晃一郎, 兪 明連 (武蔵工大)
- 複数論点交渉問題における説得交渉メカニズムの代表者選択手法の解析
○藤田桂英, 伊藤孝行 (名工大), Klein Mark (MIT)
- モバイルエージェント環境 MiLog に基づくオークションシミュレータに
おける参加者戦略の記述について
○池田真土里, 児玉政幸, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
- Locally Envy Free 均衡に基づくキーワードオークションの安定性に関する
考察 ○山本拓也, 伊藤孝行 (名工大)
- 意思決定バイアスへの進化的アプローチ
○木下寛大, 下川哲矢, 参沢匡将 (東理大), 岡野芳隆 (東大)
- 解集合プログラミングによる議論の意味論の計算
○伊藤浩太, 若木利子 (芝浦工大)

学生セッション [4V 会場] (3月14日(金) 15:30 ~ 17:30)

マルチエージェント (2) 座長 山下 倫央 (産総研)

- 選択科目における多段階交渉に基づいた講義割当手法
○齋藤義人, 松尾徳朗 (山形大), 藤本貴之 (園田学園女子大)

- 複数財を扱うハイブリッドトレーダーの意思決定について
○高橋里司, 松尾徳朗 (山形大)
- RoboCup 2D シミュレーションリーグにおける位置予測を用いた外界モデル
生成 ○鈴木達也, 中村克彦 (電機大)
- 協調エージェントによる動的情報共有に基づく学習支援に関する研究
○市川智也 (千歳科大)
- 不完全論証の完全論証の補強による協調的議論エージェントシステムの構築
○武田 豊, 若木利子 (芝浦工大)
- 動的プリファレンスを扱う議論エージェントシステムの構築
○関口知之, 若木利子 (芝浦工大)
- エージェントの移動を考慮した囚人のジレンマゲームにおける戦略の進化
○北村祐貴, 狩野 均 (筑波大)
- 社会ネットワークマイニングのためのネットワーク構造を用いた属性生成
○唐門 準, 松尾 豊, 石塚 満 (東大)
- 信念の論理とチャネルに基づいたエージェントコミュニケーションの表現
○小林幹門, 東条 敏 (北陸先端大)

学生セッション [5V 会場] (3月15日(土) 9:30 ~ 12:00)

ニューラルネット・学習 座長 市瀬龍太郎 (国立情報学研)

- 不応性を有する領域表現を用いた KFM 連想メモリにおける学習速度の向上
○今林朋久, 長名優子 (東京工科大)
- 分散表現層分割型逐次学習可能なカオス連想メモリ
○羽田貴央, 長名優子 (東京工科大)
- 複数勝者 KFM 連想メモリによる強化学習の実現
○池谷孝裕, 長名優子 (東京工科大)
- 分割階層型セルラニューラルネットワークによるデータ分類手法の提案
○西嶋悠貴, 大枝真一 (木更津高専), 章 忠 (豊橋技科大)
- 神経回路による時系列パターンの追加学習に関する研究
○佐藤正義, 山内康一郎 (北大)
- 知識統合による複合的知識獲得モデルの特性および実現環境への適用性の調査
○矢部達也, 服部元信 (山梨大)
- グラフを用いた半教師付き学習における逆伝播構造の有効性評価
○泉谷暁彦, 上原邦昭 (神戸大)
- ILP を用いたダイス製造プロセスネットワークの学習
○藤村祐輔, 松井藤五郎, 大和田勇人 (東理大),
中島和彦 (東宝ダイス製作所)
- 機械学習によるダイス製造プロセスの予測
○山崎 敦, 松井藤五郎, 大和田勇人 (東理大),
中島和彦 (東宝ダイス製作所)

学生セッション [6V 会場] (3月15日(土) 14:30 ~ 17:00)

ニューラルネット 座長 森川 幸治 (松下電器)

- 神経新生を考慮した海馬神経回路網モデルの構築
○内藤秀一, 服部元信 (山梨大)
- SWCNN における信頼度評価 TMR の提案
○松本勝慶, 上原 稔, 森 秀樹 (東洋大)
- 集団型リカレントニューラルネットワークを用いた NIRS 信号解析
○中台光洋, 大枝真一 (木更津高専)
- GA 及び IA による砂時計型ニューラルネットワークの最適化
○小山達矢, 大枝真一 (木更津高専)
- ニューラルネットワークを用いた Mac モデルに基づく感情生成システム
○廣澤一輝, 長名優子 (東京工科大)
- 領域表現を用いた KFM 連想メモリにおけるアナログ時系列パターンの学習
○白鳥友規, 長名優子 (東京工科大)
- 不応性を有する領域表現を用いた KFM 連想メモリによる強化学習の実現
○清水厚志, 長名優子 (東京工科大)
- 不応性を有する領域表現を用いた KFM 連想メモリによる知識処理システム
○宇田陽一, 長名優子 (東京工科大)
- 不応性を有する自己組織化特徴マップを用いた複数の画像をキーとした
類似画像検索 ○谷水裕之, 竹瀨志皇, 長名優子 (東京工科大)

学生セッション [1W 会場] (3月13日(木) 13:00 ~ 15:00)

画像認識・合成 座長 中井 宏章 (東芝)

- 複数画像からのテクスチャ生成を目的としたアフィン制約による特徴点
追跡に関する研究
○谷河 隆, 杉町敏之, 田中成典, 西田義人 (関西大)

- 2 領域を限定した SIFT 特徴量の抽出
○古畑俊一郎, 亀田能成, 大田友一, 北原 格 (筑波大)
- 3 画像識別特徴量のネットワーク転送とそれに基づく状況認識システムの試作
○石川貴士 (筑波大), 平藤雅之 (中央農業総合研究センター), 福井和広 (筑波大)
- 4 環境カメラ画像情報を用いたモバイルカメラの位置姿勢推定
○濱田修平, 大田友一, 亀田能成, 北原 格 (筑波大)
- 5 高解像 360 度パノラマ画像の生成に関する研究
○増井啓太, 北原紀之 (舞鶴高専)
- 6 空撮画像モザイクングのための動きベクトル推定法
○植西一馬, 岩切宗利, 山本紘太郎 (防衛大)
- 7 携帯電話カメラからの動画による高解像度画像の生成
○佐々木瞬, 須藤 智, 恩田憲一 (尚美学園大)
- 8 カラー二次元コードを高解像度化するための認識アルゴリズムの提案
○寺田遼平, 藤本敬介, 中山泰一 (電通大)
- 学生セッション [2W 会場] (3月13日 (木) 16:30 ~ 18:30)**
画像処理基礎 **座長 亀田 能成 (筑波大)**
- 1 LuPC モデルによるカラライゼーションとその有効性に関する検討
○小松友美, 小泉真也, Prima Oky Dicky A., 伊藤久祥, 伊藤憲三 (岩手県大)
- 2 輪郭を保持できる曲線近似を用いた画像拡大法
○鳥谷峯千恵子, 亀田昌志 (岩手県大)
- 3 誤差拡散文字写真混在画像の復元
○原 和規, 新保深雪, 三橋理恵, 江川昇平, 石渡洋考, 嶋 好博 (明星大)
- 4 パターンマッチングを用いたテキストチャ合成による画像の穴埋め
○岡部龍太郎, 服部泰造 (東京国際大), 千種康民 (東京工科大)
- 5 適応的探索法を用いたスケールスペース法による領域分割
- 探索アルゴリズムの併用 - ○千葉淳平 (近畿大)
- 6 風景画像中の人工物の有無の判定と領域の特定
○丹原敦志, 長名優子 (東京工科大)
- 7 自然写真から 3 次元空間の復元
○山本祐次, 須藤 智, 恩田憲一 (尚美学園大)
- 8 六角形格子における最小矛盾微分フィルタの実験的評価
○鳥 哲生, 齋藤 豪, 中嶋正之 (東工大)
- 9 違和感軽減に注目した背景差し替え法に関する検討
○戸塚康晴, 西田 眞 (秋田大), 大瀧健太, 白澤洋一 (アルファシステムズ)
- 学生セッション [3W 会場] (3月14日 (金) 9:30 ~ 12:00)**
動画・メディア理解 **座長 滝沢 穂高 (筑波大)**
- 1 オプティカルフローを用いた単眼による三次元視法
- 消失点を利用した障害物検出の一考察 - ○古川達朗 (近畿大)
- 2 動画画像圧縮符号内の動きベクトルの応用
○高寺達也, 久保田光一 (中大)
- 3 複数フレームを用いたブレ画像復元最適画像抽出
○梅地 航, 太原育夫 (東理大)
- 4 グローバル動き補償を用いた背景フレーム補間手法に関する検討
○東 正史, 渡辺 裕 (早大)
- 5 カメラ動きパラメータのクラスタリングによる動視点からの動物体検出
○原 聡 (早大), 三枝 亮 (The Italian Institute of Technology), 橋本周司 (早大)
- 6 フレームベースベクトル空間を利用したショット検出手法の一検討
○梅田直樹, 青木輝勝, 山田 洋, 沼澤潤二 (東北大)
- 7 複合現実感による監視カメラ視野の可視化
○ゴック タンダオ, 大田友一, 亀田能成, 北原 格 (筑波大)
- 8 映像中の情報を用いたニュース映像要約手法の研究
○永橋功丞, 宮岡伸一郎 (東京工科大)
- 9 ビデオオントロジーの構築による映像イベントの体系化
○杉原ちえり, 上原邦昭 (神戸大)
- 10 (講演取消)
- 学生セッション [4W 会場] (3月14日 (金) 15:30 ~ 17:30)**
動画・追跡 **座長 大塚 和弘 (NTT)**
- 1 パーティクルフィルタによる 3 次元人物部位の追跡
○古川裕次郎, 米元 聡 (九産大)
- 2 複数カメラの切り替えによるスポーツ選手の高解像度追跡撮影
○對馬 崇, 大田友一, 亀田能成, 北原 格 (筑波大)
- 3 サッカーシーンの選手視点映像提示に向けた 2 台のカメラによる選手軌跡獲得
○糟谷 望, 大田友一, 亀田能成, 北原 格 (筑波大)
- 4 (講演取消)
- 5 視覚 ID タグを利用したロボットのための環境認識
○渡部未央, 田中秀幸, 矢入健久, 町田和雄 (東大)
- 6 実空間における人流計測による注目度検出の提案
○三尋木織, 焼山康礼, 戸辺義人 (電機大)
- 7 車載カメラを用いた円形道路標識の認識に関する検討
○高野亜惟, 景山陽一, 西田 眞 (秋田大)
- 8 コンピュータビジョンによる走行パターン分析
○北村祐樹, 須藤 智, 恩田憲一 (尚美学園大)
- 9 搭載カメラを用いた自動追従ショッピングカートの設計と製作
○高梨陽一, 早川洋一, 深井 越, 田村 仁 (日本工大)
- 学生セッション [5W 会場] (3月15日 (土) 9:30 ~ 12:00)**
人物・行動の認識 **座長 蔵田 武志 (産総研)**
- 1 顔パーツに対する固有空間法の適用と統計量を用いた顔認識
○小島 亮, 三浦孝夫 (法大)
- 2 デフォルム顔絵作成システムの開発
○田村のぞみ (東京工科大), 服部泰造 (東京国際大), 千種康民 (東京工科大)
- 3 口唇の適正形状抽出を目的とした過剰・欠損判別に関する検討
○成田純一, 佐藤慶幸, 西田 眞 (秋田大)
- 4 単眼カメラによる移動体検出を用いた人物位置推定に関する検討
○本多洋之, 加藤誠己 (上智大)
- 5 形状特徴と動作方向のクラスタリングに基づく行動の種類獲得
○瀧田悠一, 太原育夫 (東理大)
- 6 制約充足問題に基づく, 顔の向きによらない登場人物の認識
○清水美穂, 上原邦昭 (神戸大)
- 7 肋骨と肋間からの濃度分布特徴抽出によるじん肺写真の定量評価と分類
○喜多亮輔, 向井苑生, 阿部孝司 (近畿大), 南 昌秀 (東大)
- 学生セッション [6W 会場] (3月15日 (土) 14:30 ~ 17:00)**
画像データベース **座長 牛尼 剛聡 (九大)**
- 1 アンサンブル学習に基づく重要特徴量の選択と映像分類
○韓 聖雄, 上原邦昭 (神戸大)
- 2 画像群中の物品発見における計算量削減手法の提案
○田中五大, 横山大作, 近山 隆, 田浦健次郎 (東大)
- 3 主成分分析による花検索システムの提案
○鳥居成年, 中屋敷かほる, 坂東忠秋 (関東学院大)
- 4 画像領域ごとにキーワードを付与した画像検索・分類
○野口雄太, 中屋敷かほる, 坂東忠秋 (関東学院大)
- 5 思い出の品に付随するメタデータを用いた思い出データベース構築方法の提案
○石橋 将, 仲谷善雄 (立命館大)
- 6 音楽および動画における特徴構造のマッチングによる自動構成
○飯塚太郎, Yonghao Yue (東大), 土橋宜典 (北大), 西田友是 (東大)
- 7 Web サイトの色彩に基づく印象評価の自動化
○小林達矢, 千種康民 (東京工科大), 服部泰造 (東京国際大)
- 学生セッション [1X 会場] (3月13日 (木) 13:00 ~ 15:00)**
ロボット **座長 村川 賢彦 (富士通研)**
- 1 複数の小型移動ロボットによる協調的箱押し行動の経路計画
○大谷隆浩, 越野 亮 (石川高専)
- 2 視聴力覚の協調に基づく人間型ロボットによる能動的な物理解の試み
○鈴木智也, 鈴木健嗣, 矢野 翔 (筑波大)
- 3 ロボットの順逆モデルの変換による他者行為予測と模倣
○横矢龍之介, 尾形哲也, 西出 俊 (京大), 谷 淳 (理研), 駒谷和範, 奥乃 博 (京大)
- 4 枝打ロボットのための切断機動作計画アルゴリズム - 実環境に向けた評価と改良 -
○佐々木淳一, 新井義和, 曾我正和 (岩手県大)
- 5 環境センサと移動ロボットの協調による多物体位置推定に関する研究
○武内靖幸, 矢入健久, 金崎弘文, 町田和雄 (東大)
- 6 人間型ロボットによる能動的な稼働範囲の獲得と動作計画
○原田 篤, 鈴木健嗣, 矢野 翔 (筑波大)
- 7 GA を用いた 2 足歩行ロボットの歩行制御
○甘野直道, 神林 靖, 古賀克也 (日本工大)
- 8 RoboCup4 足リーグにおける加速度センサにもとづく状況分析方式
○久保一弘, 中村克彦 (電機大)

学生セッション [2X 会場] (3月13日(木) 16:30 ~ 18:30)

音楽情報科学 (1) 音楽音響 座長 小坂 直敏 (電機大)

- 音の適応度地形上の同時聴覚を用いた歩行に基づく対話型進化的計算
○三輪真生, 有田隆也, 鈴木麗璽 (名大)
- リアルタイム時間圧縮再生システムの開発
○荒井幹哉, 幹 康 (拓大)
- くし形フィルタと自己相関関数による演奏楽器推定
○北見伸一郎, 東海林智也 (函館高専)
- 圧電素子を用いた目的音抽出法
○高橋直也, 橋本周司 (早大)
- ベース音高を考慮したポピュラー音楽に対する和音進行認識
○須見康平, 糸山克寿, 吉井和佳, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 複数楽器個体による事前分布を用いた調波・非調波統合モデルのパラメータ推定
○糸山克寿 (京大), 後藤真孝 (産総研), 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 楽器固有の音響的特徴を考慮した楽器音の音高操作手法
○安部武宏, 糸山克寿, 吉井和佳, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 音楽と自分の声を聞き分けながらビートに合わせて発声するロボットの開発
○水本武志, 武田 龍, 吉井和佳, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)

学生セッション [3X 会場] (3月14日(金) 9:30 ~ 12:00)

音楽情報科学 (2) 自動作曲・楽曲分析 座長 平賀 譲 (筑波大)

- 遺伝的アルゴリズムとNグラムモデルを用いた自動作曲
○泊 真生, 佐藤雅之, 長名優子 (東京工科大)
- 言語情報と和声進行に基づく旋律の自動生成システム
○白石 隆, 菅 秀俊, 内田 理, 菊池浩明, 中西祥八郎 (東海大)
- 確率文脈自由文法を用いた事例参照型自動作曲システム
○風谷真志 (関西学院大), 北原鉄朗, 片寄晴弘 (関西学院大/JST-CrestMuse)
- カオスニューラルネットワークを用いた自動音楽コード生成の有効性について
○原城太郎, 田頭勇也, 石亀昌明, 伊藤慶明, 小嶋利徳 (岩手県大)
- 曲の雰囲気のアレンジが試せる初心者向けギター練習ソフト
○小松平馬, 市村 哲 (東京工科大)
- コード進行モデルを用いた楽曲のコード認識の検討
○平賀弘平, 山田武志, 北脇信彦 (筑波大)
- Circle of Fifthを用いたキー推定
○井下貴仁, 甲藤二郎 (早大)
- 強化学習を応用したBGM生成の試み
○吉田 葵, 青柳龍也 (津田塾大)
- MusicXMLを利用した還元譜生成システムの開発
○有我英将, 伊藤謙一郎 (東京工科大)

学生セッション [4X 会場] (3月14日(金) 15:30 ~ 17:30)

音楽情報科学 (3) 検索・インタフェース 座長 帆足啓一郎 (KDDI 研)

- 不応性を有する自己組織化特徴マップによる音楽検索
○平田貴徳, 徳田拓也, 長名優子 (東京工科大)
- 自己組織化マップを用いた類似楽曲の検索
○伊藤文也 (芝浦工大)
- 楽曲の曖昧型内容検索における利用者の関連性フィードバックを用いた特徴量選択に関する研究
○坂井俊亮, 亀山啓輔 (筑波大)
- 音楽と映像の調和度計算モデルを用いたクロスメディア検索
○齋藤博己, 糸山克寿, 吉井和佳, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 楽曲情報から音楽の曲調を抽出する一手法
○武 金洋, 中井雄太, 有野真史, 野地 保 (東海大)
- 哀情報を改善する癒し音楽ジャンルの設定法
○渡部容子, 後藤遥香, 有野真史, 野地 保 (東海大)
- 装着型デバイスを用いた身体動作による楽曲操作
○早瀬功紀, 鈴木健嗣 (筑波大)
- HumStar-光の走査線と身体表現を用いた円形閉空間型作曲システムの開発 -
○駒込大輔, 小野哲雄 (はこだて未来大)
- 個人の認知や行動をリズムで支援するシステムの提案
○延谷直哉, 仲谷善雄 (立命館大)

学生セッション [5X 会場] (3月15日(土) 9:30 ~ 12:00)

音楽情報科学 (4) 表情付け・認知 座長 浜中 雅俊 (筑波大)

- (講演取消)
- (4X セッションへ移動)
- 音楽検索支援のための音楽と色の関連性に関する研究
○樽林 真, 杉山岳弘 (静岡大)
- HMMを用いた変奏の伴う楽曲の自動生成
○高村宏幸, 山上信一, 柴原一友, 但馬康宏, 小谷善行 (農工大)
- 事例に基づく演奏表情生成システムにおける事例検索結果の調査とその評価
○清水厚志 (芝浦工大), 鈴木泰山 (ピコラボ), 野池賢二 (トランス・ニュー・テクノロジー), 金子雄介 (日本総研), 徳永幸生, 杉山 精 (芝浦工大)
- 階層的構造機能を用いた演奏生成モデル
○七澤尚資, 水谷哲也, 鈴木龍生, 居福修寛, 安江 梓 (筑波大)
- 生成音楽理論分析システムのための和声解析
○居福修寛, 水谷哲也, 七澤尚資, 鈴木龍生, 安江 梓 (筑波大)
- リハーサルを用いる実時間協調演奏プログラム
○鈴木龍生, 水谷哲也, 七澤尚資, 居福修寛, 安江 梓 (筑波大)
- 実時間協調演奏プログラムのための動的リハーサルシステム
○安江 梓, 水谷哲也, 鈴木龍生, 七澤尚資, 居福修寛 (筑波大)

学生セッション [6X 会場] (3月15日(土) 14:30 ~ 17:00)

音声・言語処理 座長 奥村 明俊 (NEC)

- 神経回路モデルによる動作・言語変換を利用した人間ロボット音声協調
○張 陽, 尾形哲也 (京大), 谷 淳 (理研), 村瀬昌満, 駒谷和範, 奥乃 博 (京大)
- RNNPBによる音響模倣・分節化を用いた音素獲得モデルの提案
○神田 尚, 尾形哲也, 駒谷和範, 奥乃 博 (京大)
- 記事テンプレートを利用したニュース記事作成支援システムの試作
○伊藤正都, 児玉政幸, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大), 青崎保好 (共同通信社)
- SVMを用いた記憶想起時の脳波からの認知状態判別
○坂元佑弥, 高井英明, 中内茂樹, 関 洋平, 青野雅樹 (豊橋技科大)
- 日本語方言の系統樹からみるミームの系統進化
○田村光平, 鈴木麗璽, 有田隆也 (名大)
- 自然言語理解による知能ロボットの動作生成方法
○益田泰孝, 渡部広一, 河岡 司 (同志社大)
- オントロジーを用いた学術論文における引用情報の表現
○住田光平, 太原育夫 (東理大)
- 構文的翻訳図式(SDTS)を用いたプログラムからのプログラム言語の翻訳規則の学習
○大内 章, 中村克彦, 今田圭太 (電機大)
- 一般順序点を導入した漢文の木表現と訓読アルゴリズムの設計と実装
○鶴久森将隆 (大阪教育大), 島野達雄 (関西学院大), 望月久稔 (大阪教育大)

学生セッション [5ZL 会場] (3月15日(土) 9:30 ~ 12:00)

視線解析 座長 藤木 淳 (産総研)

- 眼球光学系のシミュレータに関する研究
○坂本良太, 中嶋正之, 齋藤 豪 (東工大)
- 画像処理を用いた瞳孔径・眼球運動・瞬目の計測による心理状態推測法に関する検討
○田中俊一, 加藤誠己 (上智大)
- 注視情報に基づく画像理解のための着目領域の抽出に関する研究
○宮下由香, Prima Oky Dicky A., 伊藤久祥, 伊藤憲三 (岩手県大)
- 近赤外線カメラ画像の処理に基づく視線検出とその応用に関する検討
○増田良平, 加藤誠己 (上智大)
- 画面サイズの違いに起因する印象の違いと視線との関係に関する考察
○佐藤秀人, 亀田昌志 (岩手県大)
- 大画面への注目情報の取得と利用
○南竹俊介, 高橋 伸, 田中二郎 (筑波大)
- 屋外広告の視聴率を測定する方法
○吉原美樹, 市村 哲, 謝乃 聡 (東京工科大)

デモセッション [デモ会場]

デー 02 (3月14日(金))

- 概念テンプレートを用いた衛星画像のパターン検索ツールの開発
○茂出木敏雄 (大日本印刷)

一般セッション [4D会場] (3月14日(金) 15:30～17:30)

マルチメディア通信システム 座長 甲藤 二郎 (早大)

- VoD サービスのための動的サービス制御方式
○磯村 学, 今井尚樹, 井戸上彰, 堀内浩規 (KDDI 研)
- テレビ放送の再生時間軸を考慮した付加コンテンツプリフェッチの検討
○小俣拓也, 鈴木理基, 橋本範之, 重野 寛 (慶大)
- センサ内蔵型操作デバイスを用いた直感的な遠隔カメラ操作に関する検討
○齊藤義仰, 村山優子 (岩手県大)
- エスカレーションを可能としたビデオコールセンターシステム
○町井義亮, 伊藤俊之, 高畑泰志 (三菱)
- SIP と Internet Fax を用いた公衆ファクシミリシステム
○清水亮博, 高橋健司 (NTT)
- 国際的な SIP/IMS 相互接続検査仕様の検討
○児玉憲造, 井上芳洋, 織毛直美 (NTT-AT)

一般セッション [5D会場] (3月15日(土) 9:30～12:00)

ユビキタス 座長 安東 孝二 (東大)

- 救急救命支援システムにおけるトリアージレベルを利用したデータ収集手法の検討
○友澤弘充, 小口 潔, 田中大吾 (慶大), 重野 寛 (慶大/JST-CREST)
- 無線 LAN を用いた歩行者の自己位置および地図同時推定法
○加治 充 (松下電器), 原 隆浩, 西尾章治郎 (阪大)
- デジタル家電ネットワークにおけるサービス継続方式
○田坂和之, 今井尚樹, 茂木信二, 磯村 学, 井戸上彰, 堀内浩規 (KDDI 研)
- ゲートウェイとの協調による認証機構付きネット家電制御システム
○寺島芳樹, 寺本圭一 (東芝), 山本高章 (東芝コンシューママーケティング)
- サーバとホームゲートウェイおよびエージェントの連携によるホームネットワーク遠隔運用管理手法の提案
○荒井大輔, 吉原貴仁, 井戸上彰 (KDDI 研)
- Web API を用いたセンサネットワークに関する研究 - センサデータを利用したナビゲーションシステムの開発 -
○圓戸辰郎, 田村陽介 (フィックスターズ)

一般セッション [6D会場] (3月15日(土) 14:30～17:00)

通信方式 (2) 座長 佐藤 聡 (筑波大)

- DHT における認証ノードに対する評価値を考慮した分散認証手法の提案
○真下 洋, 新崎裕隆, 上田真太郎, 重野 寛 (慶大)
- MANET ノード分布の可視化手法とその応用
○中野秀洋, 宇谷明秀, 宮内 新, 山本尚生 (武蔵工大)
- アドホックネットワークにおける緊急ルーティングの検討
○川島佑毅, 荒谷和徳, 寺島美昭 (三菱)
- MMD ネットワークにおける輻輳制御方式に関する一検討
○佐々木美沙都, 北辻佳憲, 長谷川輝之, 横田英俊 (KDDI 研)
- A Study of Resource Assignment in ZigBee Personal Area Networks
○Niwat Thepvilajanapong, 茂木信二, 井戸上彰, 堀内浩規 (KDDI 研)

一般セッション [1E会場] (3月13日(木) 13:00～15:00)

ITS 座長 屋代 智之 (千葉工大)

- 交差点における出会い頭事故防止を支援するプロトコルの検討
○羽鳥遼平, 春名恒臣, 岡田陽次郎, 重野 寛 (慶大)
- 大規模プローブカー情報を処理するための高速リンクマッチング手法
○今井照之, 藤山健一郎, 喜田弘司, 中村暢達 (NEC)
- 加加速度センサ等を用いた移動状態判定方式の検討
○山崎亜希子, 五味田啓 (三菱)
- ユビキタス ITS における利便性向上のための端末間連携方式
○今井尚樹, 井戸上彰 (KDDI 研)
- 全方位に移動可能な個人用知的移動体とその応用
○長尾 確, 成田一生, 尾崎宏樹, 安田知加 (名大)
- 障害診断のための異常パターンマイニング
○藤巻遼平, 中田貴之, 塚原英徳, 佐藤彰典, 山西健司 (NEC)

一般セッション [2E会場] (3月13日(木) 16:30～18:30)

ネットワークハードウェア・ソフトウェア 座長 西木 健哉 (日立)

- ソフトウェア無線による RFID タグリーダの設計と評価
○甲斐正義, 西村昌俊, 高橋三恵, 島津秀雄 (NEC システムテクノロジー)
- (講演取消)
- 連結型飛行船群の距離センサユニットの開発
○信原卓弥, 日浦一彰, 清水 優, 伊藤 誠 (中京大)
- 脆弱性情報 Web サービスを利用した Linux 脆弱性管理ツールの開発
○中村章人 (産総研), 野辺良一 (SRA), 松田勝己 (リソナル), 松下浩之 (創夢), 戸村 哲 (産総研)
- 仮想環境におけるオブジェクトの密集状態に対応した負荷分散手法
○遠藤 侑, 高木健士, 北 望, 重野 寛 (慶大)
- グループ通信による高信頼分散オブジェクトサービスの設計
○増田大樹, 村山和宏, 落合真一 (三菱)

一般セッション [3E会場] (3月14日(金) 9:30～12:00)

センサネットワーク (2) 座長 戸辺 義人 (電機大)

- 広域に分散したセンサネットワーク群に対する問い合わせ処理機構
○横田裕介, 大久保英嗣 (立命館大)
- 未知のデータアクセス頻度, データ発生頻度に対応する無線センサネットワークにおけるデータセントリックストレージに関する一検討
○石原 進 (静岡大)
- カオスのパルス結合ニューラルネットワークによる同期型センサ情報収集機構とその評価
○中野秀洋, 宇谷明秀, 宮内 新, 山本尚生 (武蔵工大)
- 無線センサネットワーク長期間運用のための制御メッセージの効率的周遊法
○織戸英佑, 熊本紋子, 宇谷明秀, 山本尚生 (武蔵工大)
- 複数シンク無線センサネットワークのための Pheromone-Oriented Routing プロトコル
○大島輝之, 織戸英佑, 宇谷明秀, 山本尚生 (武蔵工大)
- WSN の長期間運用を目的とした特殊ノードの設置ロケーション候補を探索する改良 PSO
○熊本紋子, 江 政道, 宇谷明秀, 山本尚生 (武蔵工大)

学生セッション [1Y会場] (3月13日(木) 13:00～15:00)

ネットワーク構築・管理技術 座長 土井 裕介 (東芝)

- 災害時における無線メッシュネットワークを用いた孤立無線ネットワーク復旧手法の提案
○永井順也, 伊藤将志, 渡邊 晃 (名城大)
- 携帯電話の Bluetooth 機能を用いたネットワーク構築の検討
○高木博宣, 渡辺 裕, 藤井雅弘 (宇都宮大)
- センサとネットワークカメラの連携環境の構築
○伊藤崇洋, 峰野博史 (静岡大), 小佐野智之, 石川憲洋 (NTT ドコモ), 水野忠則 (静岡大)
- 近距離無線通信を用いた実世界リンクシステムの提案
○中田龍太郎, 石塚宏紀, 戸辺義人 (電機大)
- NS-2 による無線 LAN インフラストラクチャモードのシミュレーション
○樋口豊章 (名城大)
- ネットワークトラフィックシミュレーションのためのグラフ描画ツール
○野本真吾 (東洋大), 福田健介 (国立情報学研), 上原 稔, 森 秀樹 (東洋大)
- ハイパーオブジェクトによるネットワークトラフィック可視化システムの実装と評価
○上田達巳, 高井昌彰 (北大)
- PC 上で動作するスケーラブルな IP ネットワーク実験システム
○登 大遊, 加藤和彦, 新城 靖, 板野肯三, 佐藤 聡, 中井 央 (筑波大)

学生セッション [2Y会場] (3月13日(木) 16:30～18:30)

システム運用・管理 座長 武宮 博 (日立東日本ソリューションズ)

- マルチディスプレイを用いた高解像度プレゼンテーション環境の構築
○千葉 豪, 柴田義孝 (岩手県大)
- モバイルカメラと環境カメラを補完的に利用する映像監視
○于 霞, 大田友一, 亀田能成, 北原 格 (筑波大)
- 仮想計算機環境を利用した独立性の高いサーバホスティングサービスの実装
○松井聡治, 佐藤隆士 (大阪教育大)
- ネットワークフローの応答特性に着目した WEB コンテンツ識別手法の提案
○近藤泰彦, 中村康弘 (防衛大)

- 5 メール転送タイミングを判断するための取り込み度取得方式の提案
○望月政博, 友岡英一, 勅使河原可海 (創価大)
- 6 PCの利用状況に応じたタスク制御手法の検討
○松田吉史, 平川 豊 (芝浦工大)
- 7 USB トークン認証を用いた OS の安全な起動制御
○高田真吾, 佐藤 聡, 新城 靖, 中井 央, 板野肯三 (筑波大)
- 8 OSGi Framework を用いた CANDLE デバイスサーバの設計と実装
○森田剛光, 高山洋史, 小坂隆浩, 佐藤健哉 (同志社大)
- 6 コンピュータの能力を考慮した共有空間の階層型構築方式
○富田昌平, 大谷 真, 坂下善彦 (湘南工科大)
- 7 オーバレイネットワークによる大規模マルチプレイヤーオンラインゲームの開発
○西川憲三, 久保田光一 (中大)
- 8 分散制御システムの情報構造に関する研究
○岩本尚樹, 高田昌之 (電通大)

学生セッション [3Y 会場] (3月14日 (金) 9:30 ~ 12:00)

- 画像符号化とその応用システム 座長 橋本 真幸 (KDDI 研)
- 1 ベクタ表現を用いた画像のエッジ再現手法に関する一検討
○石井大祐, 河村 圭, 渡辺 裕 (早大)
 - 2 複素ウェブレットの疎表現における係数選択手法の検討
○高橋良知, 渡辺 裕 (早大)
 - 3 Multiple Description 符号化を用いた Flash Video ストリーミングの
パケットロス補償に関する検討
○倉石卓也, 牧野正三, 伊藤彰則, 鈴木基之 (東北大)
 - 4 連続メディアデータの分割スケジューリング放送方式に関する一検討
○安里 諒, 青木輝勝, 山田 洋, 沼澤潤二 (東北大)
 - 5 MPEG-4 符号化の並列処理に関する検討
○柏木文徳, 三浦康之 (湘南工科大)
 - 6 ローカルエリアテレビ会議ネットワークにおけるエンコーダの高速化
○日下真士 (湘南工科大)
 - 7 TLS における電子メールに特化した圧縮方式の性能評価
○熊谷祐輔, 木村成伴, 海老原義彦 (筑波大)
 - 8 3次元 VR システムを用いた住民参加型景観シミュレーションツールの
研究開発
○許 会慶, 田中成典 (関西大),
物部寛太郎 (宮城大), 伊藤裕二, 武井千雅子 (Forum8)

学生セッション [4Y 会場] (3月14日 (金) 15:30 ~ 17:30)

- 携帯電話向けアプリケーション 座長 中川 智尋 (NTT ドコモ)
- 1 携帯電話を用いた屋内ナビゲーションに関する検討
○加藤悠一郎, 櫻木伸也, 峰野博史, 水野忠則 (静岡大)
 - 2 GPS 搭載携帯電話を用いた総合ゴルフ支援アプリケーションの開発
○及川敦史, 渡辺 裕, 藤井雅弘 (宇都宮大)
 - 3 携帯電話を利用した緊急情報の共有および配信システムの試作
○浅見昌平, 森重賢二, 近藤圭佑 (名工大)
 - 4 携帯電話のトルカ機能を利用したロコミ型バンドプロモーションシステム
○錦 昌考, 市村 哲 (東京工科大)
 - 5 Bluetooth 携帯電話を用いた UD 観光情報システムの開発 (1) - 基本機能 -
○前本虎太郎, 市川 尚, 佐藤 歩 (岩手県大),
宮岡真也, 塚原 進, 嶋崎佳史 (KDDI 研), 阿部昭博 (岩手県大)
 - 6 Bluetooth 携帯電話を用いた UD 観光情報システムの開発 (2) - UD への
配慮とその評価 - ○佐藤 歩, 市川 尚, 前本虎太郎 (岩手県大),
嶋崎佳史 (KDDI 研), 大信田康統 (もりおか障害者自立支援プラザ),
狩野 徹, 阿部昭博 (岩手県大)
 - 7 携帯電話の組み込み機能を利用可能な Web アプリケーションの実現と
その応用
○近藤圭佑, 森重賢二, 伊藤正都, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)
 - 8 携帯電話環境における Web コンテンツ同期システムとその応用
○森重賢二, 近藤圭佑, 伊藤正都, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)

学生セッション [5Y 会場] (3月15日 (土) 9:30 ~ 12:00)

- 分散システム・アプリケーション 座長 串田 高幸 (日本 IBM)
- 1 ひかりグリッドを利用したカオスの数値計算
○鈴木健宏, 舟田敏雄, 石本拓也, 小代田和己,
鈴木寛里, 川上 誠, 望月孔二 (沼津高専)
 - 2 Windows グリッドと VM における Linux Grid についての考察
○田中堅一, 上原 稔, 森 秀樹 (東洋大)
 - 3 集中制御可能な分散型トレーディングシステム
○リン フク, 萩野達也, 服部隆志 (慶大)
 - 4 An Internet File-system for Random-access to protected data
○SYAHIR AHMAD, 板野肯三,
新城 靖, 佐藤 聡, 中井 央 (筑波大)
 - 5 階層型 RAID を用いた大規模仮想ディスク修復に関する考察
○エリアント チャイ, 上原 稔, 森 秀樹 (東洋大)

学生セッション [6Y 会場] (3月15日 (土) 14:30 ~ 17:00)

- ネットワーク応用 座長 藤波 香織 (農工大)
- 1 産地直売所における在庫管理支援のための Web アプリケーションの開発
○菅野幸貴, 竹野健夫, 堀川三好, 菅原光政 (岩手県大)
 - 2 アドホックネットワークを利用した Web アプリケーション「TRIPS」の
提案と実装
○松岡健太郎, 西山裕之, 溝口文雄 (東理大)
 - 3 マッシュアップ技術のモデル化とその評価
○山田成仁, 松原裕人, 大谷 真 (湘南工科大)
 - 4 忙しさに応じた広告システムの提案
○根本 卓, 瓶子和幸, 井上智雄 (筑波大)
 - 5 Wireless Sensor Network-based Navigation for Human-Aware Guidance Robot
○Guillermo Enriquez, 武用吉史, 橋本周司 (早大)
 - 6 伝送遅延を考慮した移動ロボットの協調遠隔操作
○大垣史迅, 鈴木健嗣 (筑波大)
 - 7 センサネットワークと自律移動ロボットの協調
○石倉沙弓, 宇谷明秀, 山本尚生 (武蔵工大)
 - 8 自律型ロボット e-puck 用イベント駆動型ライブラリ
○落合 剛, 鈴木徳一郎, 松原裕人, 大谷 真 (湘南工科大)

学生セッション [1Z 会場] (3月13日 (木) 13:00 ~ 15:00)

- P2P 座長 西山 智 (KDDI 研)
- 1 制御ピアの参加による非構造化 P2P ネットワークにおけるファイル
流通制御
○上野真弘, 大坐智智, 川島幸之助 (農工大)
 - 2 P2P ファイル共有ネットワークにおけるポイズニング手法を用いたファイル
流通制御方式
○吉田雅裕, 大坐智智, 川島幸之助 (農工大)
 - 3 PrinterSurf: オーバレイネットワークを用いた実用的なプリンタシステム
の実装
○齊藤達郎, 中上恭介, 齊藤義興, 村山優子 (岩手県大)
 - 4 社会ネットワークを用いた P2P ネットワークにおけるデータ保存方式の
検討
○水田祥泰, 安藤公彦, 大島浩太, 寺田松昭 (農工大)
 - 5 SkypeA2A を利用した分散処理システムの提案
○手島 翼, 奥村 勝 (福岡大)
 - 6 階層的クラスタを用いた DHT におけるノード数の偏りによる影響の排除
○尾崎永径, 上田達也, 安倍広多, 石橋勇人, 松浦敏雄 (大阪市大)
 - 7 P2P ネットワーク上での Skip Graph を用いたキューの実現
○多田友則, 安倍広多, 石橋勇人, 松浦敏雄 (大阪市大)
 - 8 分散ハッシュテーブルにおける N-gram を用いた部分一致検索の効率化
○梶田博之, 荻原 隆 (拓大)

学生セッション [2Z 会場] (3月13日 (木) 16:30 ~ 18:30)

- センサネットワーク 座長 横田 裕介 (立命館大)
- 1 大規模センサネットワークにおけるオーバレイネットワークを用いた
イベント配送負荷分散アルゴリズムの設計
○小川和真, 中村陽一, 斉藤裕樹 (電機大)
 - 2 パイプラインングを用いた WSN におけるソフトウェア配送の効率化に
関する検討
○橋詰 葵, 宮丸卓也, 峰野博史 (静岡大),
寺島美昭, 徳永雄一 (三菱), 水野忠則 (静岡大)
 - 3 ローカライゼーションとルーティングプロトコルの融合手法の提案
○曾我和由, 竹中友哉, 峰野博史 (静岡大),
徳永雄一, 寺島美昭 (三菱), 水野忠則 (静岡大)
 - 4 センサネットワーク省電力化機構 HGAF の実装評価
○大沢昂史, 稲垣徳也, 石原 進 (静岡大)
 - 5 センサネットワークにおける通信モジュール再利用のためのクロスレイヤ
処理機構
○金丸達雄, 鈴木和久, 松尾英治,
横田裕介, 大久保英嗣 (立命館大)
 - 6 動的な処理追加を可能とするセンサプラットフォームの提案
○三浦明大, 金田重郎, 芳賀博英 (同志社大)
 - 7 センサネットワークにおけるデータ取得制御方式の検証環境の構築
○古川 宰, 細谷憲一, 久保田稔 (千葉工大)
 - 8 省電力化を意識したツリー状センサネットワークトポロジの構築手法
○小野寺克美, 川野亮平, 宮崎敏明 (会津大)

学生セッション [3Z 会場] (3月14日 (金) 9:30 ~ 12:00)

ネットワークセキュリティ 座長 竹森 敬祐 (KDDI 研)

- 1 OpenSSL における SSL_CTX オブジェクトのマイグレーションについて
○中澤昌史, 島崎聡史, 金田健太郎, 黒羽秀一, 齋藤孝道 (明大)
- 2 SSL フェイルオーバーの提案
○島崎聡史, 中澤昌史, 金田健太郎, 黒羽秀一, 齋藤孝道 (明大)
- 3 携帯電話用 Web ブラウザの安全性向上に関する提案
○村田 薫, 小柳和子 (情報セキュリティ大)
- 4 センサネットワークにおける個人情報流出防止のための提供情報決定方式の検討
○中川絃志, 一枚田隆史, 加藤弘一, 勅使河原可海 (創価大)
- 5 センサネットワークにおける個人情報流出防止のためのセンサ制御方式の検討
○一枚田隆史, 中川絃志, 加藤弘一, 勅使河原可海 (創価大)
- 6 アドホックネットワークにおける信頼性評価による経路選択法の評価と検討
○米谷和也, 井手口哲夫, 田 学軍, 奥田隆史 (愛知県大)
- 7 マルチホップネットワークにおける応答時間を考慮したセキュリティ実現方式の一検討
○宇野美穂子, 小口正人 (お茶の水女子大)
- 8 安全三角形と GPS によるアドホックネットワークのサブマリン攻撃の検出
Detecting Sub-Marine Attack with Safe-triangle and GPS in Ad hoc Network
○張 笑陽, 若原 恭 (東大)

学生セッション [4Z 会場] (3月14日 (金) 15:30 ~ 17:30)

アドホックネットワーク 座長 柳生 智彦 (NEC)

- 1 アドホックネットワークにおけるストリームデータ伝送方式の検討
○大原伸喜, 高木厚伸, 小坂隆浩, 佐藤健哉 (同志社大)
- 2 複数経路を利用し通信の品質を保つアドホックルーティングプロトコル
○伊藤嘉昭, 志田晃一郎, 横山孝典, 兪 明連 (武蔵工大)
- 3 無線アドホックネットワークにおけるチャンネル負荷情報を利用する適応経路選択方式
○吉岡俊博, 大坐昌智, 川島幸之助 (農工大)
- 4 位置情報とリンク品質を考慮したアドホックルーティングプロトコルに関する検討
○三木 遼, 高橋 修 (はこだて未来大)
- 5 (講演取消)
- 6 アドホックルーティングプロトコル A²P² における IP アドレス自動割当方式
○栗田崇徳, 井手口哲夫, 田 学軍, 奥田隆史 (愛知県大)
- 7 アドホックルーティングにおける DHT の適用に関する検討
○鳴海寛之, 高橋 修 (はこだて未来大)
- 8 MANET における最新情報の検索に関する一提案
○新堀智弘, 長島淳也, 八田拓也, 宇谷明秀, 山本尚生 (武蔵工大)

学生セッション [5Z 会場] (3月15日 (土) 9:30 ~ 12:00)

通信方式 (1) 座長 豊野 剛 (NTT)

- 1 ユニキャスト通信における IPv6 の通信性能に関する検討
○岡村 拓, 井手口哲夫, 田 学軍, 奥田隆史 (愛知県大)
- 2 (3A セッションへ移動)
- 3 光マルチリングネットワークにおける最適波長割当方式の検討
○曾我恭行 (愛知県大), 妹尾尚一郎 (三菱),
井手口哲夫, 奥田隆史, 田 学軍 (愛知県大)
- 4 予備経路を持つアプリケーションレベルマルチキャストにおけるノード再接続時間短縮手法の提案と評価
○渡辺雅人, 高橋 修, 高橋信行 (はこだて未来大)
- 5 分散制御システムの間欠接続リンク用プロトコルに関する研究
○有田 敬, 高田昌之 (電通大)
- 6 トラフィックデータを活用した通信速度予測システム
○出石大志, 阿部淳也, 堀 幸雄, 今井慈郎 (香川大)
- 7 彩色アルゴリズムを用いたマルチシンクセンサネットワークにおけるデータ収集法
○川野亮平, 小野寺克美, 宮崎敏明 (会津大)
- 8 知的照明システムにおける通信方式の検討
○西田 健, 三木光範, 廣安知之 (同志社大)

学生セッション [6Z 会場] (3月15日 (土) 14:30 ~ 17:00)

無線とモビリティ技術 座長 桧垣 博章 (電機大)

- 1 Mobile IPv6 を用いた通信回線共有方式における中心端末の外部リンク切断時の通信維持に関する一検討
○谷本 慧, 石原 進 (静岡大)
- 2 IPv4/IPv6 混在環境における Mobile PPC の検討
○寺澤圭史, 鈴木秀和, 渡邊 晃 (名城大)
- 3 プロキシ型 Mobile PPC の検討
○張 冰冰, 鈴木秀和, 渡邊 晃 (名城大)

- 4 Mobile IPv6 を利用したコミュニティセキュリティシステムの構成とネットワークシミュレータによる評価
○勝 将万, 井手口哲夫, 奥田隆史, 田 学軍 (愛知県大)
- 5 SCTP マルチホッピング環境における効率的な通信メディア選択手法
○信田寿広, 高橋 修 (はこだて未来大)
- 6 マルチホップセルラネットワークにおけるデッドスポット検知方式の検討
○志方純平, 大島浩太, 寺田松昭 (農工大)
- 7 無線ネットワークにおける MAC 層の情報を用いた帯域制御の実現
○中島 裕, 御子柴健吾, 大坐昌智, 川島幸之助 (農工大)
- 8 HPNet による異種無線ネットワーク相互通信方式
○福井雅人, 田 学軍, 井手口哲夫, 奥田隆史 (愛知県大)

学生セッション [1ZA 会場] (3月13日 (木) 13:00 ~ 15:00)

ナビゲーション 座長 梅津 高朗 (阪大)

- 1 運転者希望経路を反映した巡回経路探索手法
○根笹賢一, 宮岡伸一郎 (東京工大)
- 2 画像処理を用いた点字ブロック検出による視覚障害者用歩行支援システム
○平館俊樹, 加藤誠己 (上智大)
- 3 歩行履歴情報を基にした歩行者ナビゲーションシステムの構築
○生田日宏昭, 小泉寿男 (電機大)
- 4 個人の状態や環境を考慮した避難経路動的指示システム
○深谷 亮 (芝浦工大)
- 5 ユーザの提供情報に基づく地震災害時歩行者経路案内システムに関する検討
○吉川友啓, 加藤誠己 (上智大)
- 6 屋内環境の3次元データベースと単眼撮影画像による視覚障害者用歩行者経路案内支援システムに関する検討
○佐伯昌洋, 加藤誠己 (上智大)
- 7 観光支援ナビと「遊び」を考える
○市川加奈子, 仲谷善雄 (立命館大)
- 8 個人用知的移動体による屋内自動トランスポーターション
○安田知加, 成田一生, 尾崎宏樹, 長尾 確 (名大)

学生セッション [2ZA 会場] (3月13日 (木) 16:30 ~ 18:30)

位置情報 座長 桐村 昌行 (三菱)

- 1 自身のノードの位置情報を扱うアドホックネットワークアプリケーションのためのネットワークエミュレータの設計
○野村英之, 石原 進 (静岡大)
- 2 携帯電話の Bluetooth 機能を用いた位置認識システムの開発
○高階孝敏, 渡部 裕, 藤井雅弘 (宇都宮大)
- 3 動的適応システムを用いた歩行者の移動支援
○長嶺友彦, 田中大祐, 久保田稔 (千葉工大)
- 4 GPS 機能を利用した学生生活サポートシステム
○豊島 巧, 富沢和也, 内田 理, 中西祥二郎 (東海大)
- 5 携帯端末を用いたコミュニケーションの支援を目的とする位置情報共有システム
○本田敬士, 杉浦美歩, 中山一樹, 濱川 礼 (中京大)
- 6 ワイヤレスセンサネットワークにおける実環境を考慮したノード位置推定法
○遠藤雄士, 川野亮平, 小野寺克美, 宮崎敏明 (会津大)
- 7 センサネットワークを用いた屋内向け移動体の位置検出
○田中俊朗 (岩手県大)
- 8 生体情報コンテキストと地理情報の連携
○石田泰之 (電機大), 鈴木亮平 (東大),
石井那由他 (電機大), 戸辺義人 (電機大/JST-CREST)

学生セッション [3ZA 会場] (3月14日 (金) 9:30 ~ 12:00)

ITS ネットワーク・地図情報 座長 谷越浩一郎 (日立)

- 1 Proposals of Optical and RF Hybrid Wireless Communication without Packet Traffic Collision
○曹 峯峰, 周 齊, 蔡 大維 (岩手県大)
- 2 交差点上の交通流動的制御方式の提案とその評価
○柴田貴範, 井手口哲夫, 田 学軍, 奥田隆史 (愛知県大)
- 3 車車間通信による車両情報を用いたリアルタイム交通流計測システム
○大海健太 (電機大), 西村 豪, 神戸英利 (三菱),
小泉寿男 (電機大), 澤本 潤 (岩手県大)
- 4 VANET における孤立端末が生成した位置依存情報の信頼性評価に関する一検討
○深谷大樹, 石原 進 (静岡大)
- 5 路面凍結情報システム 2007 と実証実験
○志田 健, 高山 毅, 村田嘉利, 佐藤永欣, 太田光雄 (岩手県大)
- 6 地図上の候補地選択時の判断支援となるルート情報の視覚化手法
○大内宏之, 三浦元喜, 國藤 進 (北陸先端大)

- 7 デフォルメ地図の地上座標系へのマッピングを利用した現地情報提供システム
○矢野 誠, 入部百合絵, 桂田浩一, 新田恒雄 (豊橋技科大)
- 8 迷いやすい場所を航空写真で表す地図作成システム
○平田泰章, 市村 哲 (東京工大)
- 9 プローブカーデータによる時空間道路交通データベースの構築および自動更新手法
○薄井智貴, 南 宏樹, 三輪富生, 森川高行, 山本俊行 (名大)

学生セッション [4ZA 会場] (3月14日(金) 15:30 ~ 17:30)

ITS 運転支援・画像処理 座長 久保田浩司 (NTT-AT)

- 1 交差点エリアの自動走行制御による交通事故防止システム
○尾崎宏樹, 長尾 確 (名大)
- 2 視覚支援評価のための運転席シミュレーション環境の構築
○小林弘治, 大田友一, 亀田能成, 北原 格 (筑波大)
- 3 制動力保持機構を持つブレーキ制御システムのための自動起動手続の実車試験による評価
○石下 翔, 新井義和, 猪股俊光, 曾我正和 (岩手県大), 千葉和幸 (中央車体)
- 4 後続車両ドライバの運転タイプの推定
○紀平和俊, 白井 悠, 井上雄貴, 山田啓一 (名城大)
- 5 後続車両ドライバの意識低下の推定
○白井 悠, 紀平和俊, 福岡広晃, 小林直樹, 山田啓一 (名城大)
- 6 (6ZH セッションに移動)
- 7 デジタルビデオカメラを用いた車両台数計測システムに関する研究
○遠藤 篤, 西田義人, 田中成典, 古田 均, 杉町敏之 (関西大)
- 8 車載単眼カメラの動画像による衝突危険予測
○渡邊元氣, 矢崎俊志, 松永俊雄 (東京工大)

学生セッション [5ZA 会場] (3月15日(土) 9:30 ~ 12:00)

実空間指向ネットワーク 座長 新津 善弘 (芝浦工大)

- 1 RFID による書籍閲覧履歴から読者の潜在的ニーズを抽出する方法に関する研究
○長谷川賢, 大澤幸生 (東大), 宇井剛史, 田中啓文 (トッパン・フォームズ)
- 2 RF タグを用いた洗濯支援システム -U-WASHER-
○藤澤千尋, 江原正規, 井上亮文, 星 徹 (東京工大)
- 3 イベント空間における経路制御アルゴリズムを備えたナビゲーションシステムの開発
○片山拓也, 中宮正樹, 山下雅史 (阪大), 寺田 努 (神戸大), 西尾章治郎 (阪大)
- 4 加速度センサを用いたオフィスでの行動推定
○石山 慎, 高橋 修, 宮本衛市 (ほこだて未来大)
- 5 加速度センサを用いた日常行動識別における個人適応のための検討
○橋田尚幸, 大村 廉, 今井倫太 (慶大)
- 6 継続的なデバイスの所有状態判定に関する研究
○金 春善, 藤波香織 (農工大)
- 7 生活密着デジフォトフレーム
○西村優佳里 (東洋大)
- 8 流動的に変化するローカルコンテンツのリアルタイム配信方式の提案
○新井 宏, 大島浩太, 寺田松昭 (農工大)

学生セッション [6ZA 会場] (3月15日(土) 14:30 ~ 17:00)

マルチメディア通信 座長 村井 信哉 (東芝)

- 1 無線通信環境における QoS 保証 TCP の動作に関する一検討
○新井絵美 (お茶の水女子大), 村瀬 勉 (NEC), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 2 リアルタイムアプリケーションにおける DCCP パケットの転送制御に関する研究
○大石祐亮 (電通大), 小林克志 (産総研)
- 3 UPnP を利用したストリーミング転送方式の検討
○李 昂, 小川将弘, 小坂隆浩, 佐藤健哉 (同志社大)
- 4 異種カメラの組み合わせによる追跡監視映像システム
○佐藤洋介, 橋本浩二, 柴田義孝 (岩手県大)
- 5 投稿型動画視聴におけるユーザ間リアルタイムコミュニケーション支援システムの提案
○高野祐太郎, 大島浩太, 寺田松昭 (農工大)
- 6 マルチユーザによる非同期協調作業を考慮した CVE 支援システム
○小笠原弘樹, 柴田義孝 (岩手県大)
- 7 VPN 環境を用いたユビキタスデータ分散処理の実装と評価
○甲山絵梨奈, 小口正人 (お茶の水女子大)

- 8 音響 OFDM によるラジオとインターネットのメディア連携システムの提案
○佐藤大誠, 糸賀優樹, 村田嘉利, 佐藤永欣, 高山 毅 (岩手県大)

デモセッション [デモ会場]

デー 01 (3月14日(金))

組込み情報端末向けリモート管理基盤の試作

○土井宏治, 中野正樹, 岡山祐孝 (日立)

(セキュリティ)

一般セッション [4E 会場] (3月14日(金) 15:30 ~ 17:30)

セキュリティ (1) 座長 柄窪 孝也 (日大)

- 1 スピン注入磁化反転を用いた乱数発生器
○福島章雄, 久保田均, 薬師寺啓, 湯浅新治, 安藤功兒 (産総研)
- 2 印刷物対応電子透かし技術の開発 (1) ~埋め込み・検出
○菅井豊和, 新名 麗, 藤井亮介, 伊藤 浩, 鈴木光義 (三菱)
- 3 印刷物対応電子透かし技術の開発 (2) ~プリントスプーラ
○鈴木政樹, 釜坂 等, 北上真二 (三菱)
- 4 準同形の一方方向性関数を用いる無記名電子投票の検討
○小林哲二 (日本工大)
- 5 セキュリティ手順統制を行うセキュリティ運用管理システムの構築と評価
○鷲尾元太郎, 山田耕一, 近藤誠一 (三菱)
- 6 保護資産領域分割によるユーザ管理方法の提案
○岡原弘典, 伊東輝頭, 三浦昭浩 (三菱)

一般セッション [5E 会場] (3月15日(土) 9:30 ~ 12:00)

セキュリティ (2) 座長 満保 雅浩 (筑波大)

- 1 ビルネットワークにおけるセキュリティ連携システムの開発 (1)
- セキュリティシステム構築プラットフォームの開発 -
○三浦健次郎, 金子洋介, 北上真二, 奥村誠司, 林 鋭志, 桑原直樹 (三菱)
- 2 ビルネットワークにおけるセキュリティ連携システムの開発 (2)
- 物理・情報連携システムの構築 -
○原田篤史, 近藤誠一, 大沼聡久, 三浦健次郎, 金子洋介 (三菱)
- 3 ビルネットワークにおけるセキュリティ連携システムの開発 (3)
- 入退室管理・映像監視連携システムの構築 -
○若林正男, 三尾武史, 奥村誠司, 中島宏一 (三菱)
- 4 危険なシステムコールに着目した異常検知についての一検討
○伊波 靖 (沖繩高専), 高良富夫 (琉球大)
- 5 開発者により埋め込まれた不正コードの検出手法
○河内清人, 吉田 剛, 祇宜知孝, 藤井誠司 (三菱)
- 6 情報セキュリティのための IP ネットワーク利用制御
○佐藤 直, 岡田康義 (情報セキュリティ大)
- 7 集合知を用いたセキュリティシステムの提案
○祇宜知孝, 河内清人, 藤井誠司 (三菱)

学生セッション [1ZB 会場] (3月13日(木) 13:00 ~ 15:00)

セキュリティ (1) 座長 鳥居 悟 (富士通研)

- 1 辞書化回路と遅延 FF を利用した NFA パターンマッチング回路の最適化手法
○渡辺友浩, 山口喜教, 前田敦司 (筑波大)
- 2 Honeypot:Argos,Nepenths の性能評価
○奥野将嘉 (早大)
- 3 エンドユーザ向けリアルタイムトラフィック可視化システムの設計と実装
○王 亮, 黒岩丈介, 小高知宏, 小倉久和 (福井大)
- 4 IXP425 における暗号処理のオフローディングについて
○大釜正裕, 杉浦 寛, 黒羽秀一, 齋藤孝道 (明大)
- 5 IPv6 ワンタイムアドレスにおける関連付け対策時の MAC アドレス変換
○水谷圭祐, 蓑原 隆, 桜井敦史, 佐藤良太 (拓大)
- 6 IPv6 通信の関連付け防止のための受信者アドレスのワンタイム化
○佐藤良太, 蓑原 隆, 桜井敦史, 水谷圭祐 (拓大)
- 7 Pi 方式と Pushback 方式を組み合わせた DDoS 攻撃防御方式の評価
○金子陽一, 木村成伴, 海老原義彦 (筑波大)
- 8 ホームページ改ざん検知システムにおけるコンテンツ更新状況に基づく更新作業効率化
○富永浩之, 高屋敷光一, 猪股俊光, 曾我正和 (岩手県大)

学生セッション [2ZB 会場] (3月13日(木) 16:30 ~ 18:30)

セキュリティ (2) 座長 朴 美娘 (三菱)

- 個人情報保護を目的とした画像変換に関する基礎研究
○黒田智子, 西田義人, 田中成典, 杉町敏之, 馬石直登 (関西大)
- プライバシーを考慮した地理位置情報サービスの提案
○永廣悠介, 小柳和子 (情報セキュリティ大)
- 共通マニユージャ抽出アルゴリズムによる指紋認証システム "CME"
○小西 亨, 青木良樹, 永井 慧, 菊池浩明 (東海大)
- 画像選択型認証方式における改善策
○石原彰人, 小柳和子 (情報セキュリティ大)
- 覗き見・盗撮に耐性を持つパスワード認証の検討
○藤田和秀, 平川 豊 (芝浦工大)
- クロック遅れと進みを利用したホストフィンガープリンティングの実験
○富永祐樹, 田中 雄, 菊池浩明 (東海大)
- ウェブレット係数の相関を用いた電子透かし
○後藤佑太, 篠原 学, 内田 理, 中西祥八郎 (東海大)
- 領域ごとに異なる改ざん検出確率を有する電子透かし方式
○川島康彰, 満保雅浩, 岡本栄司 (筑波大)

学生セッション [3ZB 会場] (3月14日(金) 9:30 ~ 12:00)

セキュリティ (3) 座長 山田 朝彦 (東芝ソリューション)

- 電子メールに対するケーパビリティに基づくアクセス制御の実装
○杉本卓哉, 新城 靖, 松井慧悟, 佐藤 聡, 中井 央, 板野肯三 (筑波大)
- ケーパビリティに基づくアクセス制御のためのケーパビリティ管理機構
○松井慧悟, 新城 靖, 杉本卓哉, 佐藤 聡, 中井 央, 板野肯三 (筑波大)
- Kerberos を用いたシングルサインオンの実装
○笠原卓也, 関口聖美, 黒羽秀一, 齋藤孝道 (明大)
- Web アプリケーションにおけるユーザ間でのアクセス権限委譲に関する考察
○関口聖美, 笠原卓也, 黒羽秀一, 齋藤孝道 (明大)
- 条件に基づく認可を実現するシングルサインオンシステム
○田中美里, 廣安知之, 三木光範 (同志社大)
- プレゼンスサービス環境のための状況依存アクセス制御手法の提案
○笠井敬介, 鈴木 優, 川越恭二 (立命館大)
- ビュー P2P ファイル共有ネットワークにおける制御ピアを用いたファイル流通制御方式
○山崎亮之, 大坐島智, 川島幸之助 (農工大)
- 高速電力線搬送通信におけるセキュリティの調査・考察
○高内 碧 (電機大)

学生セッション [4ZB 会場] (3月14日(金) 15:30 ~ 17:30)

セキュリティ (4) 座長 宮崎 邦彦 (日立)

- 個人情報のアナグラム化による質問解答型個人認証手法の提案
○磯部智史, 川越恭二, 鈴木 優 (立命館大)
- 暗号を用いたファイルのアクセス制御についての研究
○谷内崇浩 (情報セキュリティ大)
- 特定データの保護を目的としたファイルアクセス監視システムの設計と実装
○打田悟志, 西山裕之, 溝口文雄 (東理大)
- USB メモリを用いて持ち出されたファイルの置き忘れ検出に関する検討
○安藤 優, 石沢千佳子, 西田 真 (秋田大)
- Thin Client システムにおけるリムーバブルメディアを介した情報漏洩の防止手法
○岩永真幸, 毛利公一 (立命館大)
- 可変秘匿 ID 方式を用いた RFID 電子カルテシステムの提案
○菅原康太, 高橋 修 (はこだて未来大)
- 組込み OS におけるアクセス制御機構の実現と評価
○福田亮平, 杉本晴秀, 楯岡孝道, 鈴木 真, 中山泰一 (電通大)
- A Generic Testbed for Publicly Available Tools of Buffer Overflow Prevention
○李 碧波, 森 秀樹, 上原 稔 (東洋大)

学生セッション [5ZB 会場] (3月15日(土) 9:30 ~ 12:00)

セキュリティ (5) 座長 鈴木幸太郎 (NTT)

- 可変遅延素子を付加した回路の耐タンパー性に関する考察
○大森裕介, 出崎善久 (茨城大)
- サイドチャネル攻撃に対するセキュアプロセッサ SEP-6 の耐タンパー性の評価
○田代恵也, 猪股俊光, 新井義和, 曾我正和 (岩手県大)
- サイドチャネル攻撃標準評価ボード (SASEBO) を使った AES 暗号の実装攻撃実験
○南崎大作, 岩井啓輔, 黒川恭一 (防衛大)

4 CBE を用いた AES の実装

○杉浦 寛, 大釜正裕, 黒羽秀一, 齋藤孝道 (明大)

5 ハードウェアによるネットワークフィルタリング処理の高速化

○長尾宗胤, 富澤真樹 (前橋工大)

6 マルウェア検出処理のハードウェア化の検討

○寶満 剛, 名古屋彰, 渡邊誠也 (岡山大)

7 組込み機器におけるメモリ監視機構の実現と評価

○杉本晴秀, 福田亮平, 楯岡孝道, 鈴木 真, 中山泰一 (電通大)

8 差分方式を用いた不完全暗号系のための演算子の決定法

○タイン タミン, 岩切宗利 (防衛大)

第4分冊**(インタフェース)****一般セッション [6E会場] (3月15日(土) 14:30～17:00)**

ことばと文化 座長 楠 房子 (多摩美大)

- 1 Myanmar Text Typing with Numeric Keypad (Applying the concept of Positional Mapping) ○Kyaw Thu Ye, 浦野義頼 (早大)
- 2 日本語発話時の特徴的口形に着目した読唇方法の提案
○宮崎 剛 (神奈川工科大), 中島豊四郎 (椋山女学園大)
- 3 感性を用いた色彩表現 ○岡 瑞起, 加藤和彦 (筑波大)
- 4 折り紙の展開画像からの幾何的な制約に基づく情報復元手法
○宮石千裕 (筑波大)
- 5 かな文の連綿・意連書き誘導支援稽古システム
○黒岩利昭 (シンボリックテクノロジー), 神山健太, 原 直人 (サレジオ高専), 山下静雨 (ペン習字研修センター), 吉野純一, 市村 洋 (サレジオ高専)

一般セッション [1F会場] (3月13日(木) 13:00～15:00)

ジェスチャ・手描き 座長 寺田 実 (電通大)

- 1 UIの透過的利用を可能にする制御プロトコル UICPの開発と運用
○久原政彦, 伊藤 誠 (中京大)
- 2 加速度センサを用いたモーション入力機能に関する検討
○米山昇吾, 宮原影泰, 川又武典 (三菱)
- 3 ハンドジェスチャとクロッシングによるインタラクション手法
○中村 卓, 高橋 伸, 田中二郎 (筑波大)
- 4 Evaluating interaction with Popie using coin size wireless sensor
○Ayman Atia, 佐藤大介, 高橋 伸, 田中二郎 (筑波大)
- 5 ショートカットアクション: 手の動きを用いたスタイラスインタラクション手法
○鈴木 優, 三末和男, 田中二郎 (筑波大)
- 6 油絵シミュレータ上での三次元筆モデル
○岡部雄太, 齋藤 豪, 中嶋正之 (東工大)

一般セッション [2F会場] (3月13日(木) 16:30～18:30)

CG:一般 座長 佐藤 尚 (神奈川工科大)

- 1 視覚言語を用いたラフスケッチからの図面作成支援システムの開発
○河野正之, 原田利宣 (和歌山大)
- 2 移動ロボットを用いた適応的センシング手法の提案
○藤本敬介 (電通大), 紅山史子, 守屋俊夫 (日立), 中山泰一 (電通大)
- 3 人体の特徴点・特徴ライン位置情報を用いた個人用台作成システムの開発
○小島 恵, 三谷 純, 西原清一, 福井幸男 (筑波大)
- 4 コンピュータマネキンを用いた高齢者の転倒動作の表現
○梅野 譲, 福井幸男, 西原清一, 三谷 純 (筑波大)
- 5 タイムライン表示による直感的な動作編集インタフェース
○安田浩志, 貝原亮太, 齋藤 豪, 中嶋正之 (東工大)
- 6 没入型ディスプレイのための映像コンテンツ疑似広視野化手法
○本多健二, 橋本直己, 佐藤 誠 (東工大)

一般セッション [3F会場] (3月14日(金) 9:30～12:00)

ユーザビリティ・ユーザモデル 座長 来住 伸子 (津田塾大)

- 1 観察距離がマウスデバイス操作に及ぼす影響についての基礎的検討
○菅沼 睦 (早大)
- 2 ユーザビリティ定量化手法の提案(1)～評価者による結果のぶれを排除するチェックリストの構築
○池上輝哉, 吉坂主句, 福住伸一 (NEC), 岡田英彦 (京産大)
- 3 ユーザビリティ定量化手法の提案(2)～チェックリストの有効性検証実験
○岡田英彦 (京産大), 池上輝哉, 吉坂主句, 福住伸一 (NEC)
- 4 メインタスク実行中におけるサブタスクのインタフェースの特性がタスク実行に与える影響
○道口将由, 倉本 到, 渋谷 雄, 辻野嘉宏 (京都工繊大)
- 5 ワークスペース切り替えに着目したユーザの割り込み許容度の推定
○田中貴紘, 藤田欣也 (農工大)
- 6 オフィス環境において周辺提示される情報の重要度
○入山裕之, 倉本 到, 渋谷 雄, 辻野嘉宏 (京都工繊大)
- 7 メニュー選択履歴を用いた目的推定精度のユーザ操作戦略に基づく分析
○井上 剛, 西崎 誠, 沖本純幸, 松浦 聡, 小澤 順 (松下電器)

一般セッション [4F会場] (3月14日(金) 15:30～17:30)

ネットワークとWeb 座長 綾塚 祐二 (ソニー CSL)

- 1 A Model to bring back the User in the center of context understanding in Ubiquitous Environment.
○Yann Jacquinet, 高橋 伸, 田中二郎 (筑波大)
- 2 Visualization Museum :
可視化機能共有の枠組みを備えたネットワーク可視化支援サイト
○小池 論, 三末和男, 田中二郎 (筑波大)
- 3 ブログ検索支援のためのユーザが興味を自己認識するきっかけとなるキーワード抽出法
○狩野憲和, 倉本 到, 渋谷 雄, 辻野嘉宏 (京都工繊大)
- 4 図表現を用いた局所的情報ナビゲーション
○酒井恵光 (大谷大), 杉山正治 (立命館大), 柴田みゆき (大谷大)
- 5 事例に基づくWebアクセシビリティ達成度評価手法
○岡田英彦, 近藤俊之 (京産大)
- 6 ウェブブラウザの現在と今後
○近藤秀和 (早大)

一般セッション [5F会場] (3月15日(土) 9:30～12:00)

情報共有 座長 葛岡 英明 (筑波大)

- 1 SNSにおける関連情報提示サービスの検討
○酒井理江, 山本具英, 村山隆彦, 新井克也 (NTT)
- 2 音声通話からリッチメディアコミュニケーションへの動的拡張を実現するアドホック端末ペアリング方式
○大芝 崇, 中島一彰, 子林秀明 (NEC)
- 3 ELDY: リッチメディアドキュメント記録・配信システムの提案
○大村賢悟, 安藤和久, 永峯猛志, 新中庸介, 住谷和彦 (富士ゼロックス)
- 4 大学内研究室向け SNS の設計と開発
○土井 渉, 森山 智, 鈴木健二 (電通大)
- 5 共同創作のための発想支援システムと知識共有モデルの提案:
MochiFlash plus ○小宮香織, 関口佳恵, 稲村博史 (日本野望の会)
- 6 映像アニメーションを獲得・管理する講義コンテンツ共有システム
○山本大介, 増田智樹, 大平茂輝, 長尾 確 (名大)
- 7 Blog Owner Detection: User Reference Matrix
○Roland Hui, 宮田章裕, 川島晴美, 奥田英範 (NTT)

一般セッション [6F会場] (3月15日(土) 14:30～17:00)

オフィス・教育支援 座長 高橋 伸 (筑波大)

- 1 オフィスワーカーの業務種別と情報探索行動の関係に関する調査実験
○本橋洋介, 坂上秀和, 坂口基彦, 飛田伸一 (NEC)
- 2 多重ワークの研究 - 支援空間の試作 -
○松永義文, 服部宏行, 小村晃雅 (富士ゼロックス)
- 3 多重ワークの研究 -TSS(Time Slicing System)の個人ワークへの適用 -
○小村晃雅, 松永義文 (富士ゼロックス)
- 4 オフィス環境における「忙しさ」と複数タスクによる時間的切迫感との関係
○宮柱知愛, 倉本 到, 渋谷 雄, 辻野嘉宏 (京都工繊大)
- 5 Presentation Organazer - 関係図を用いたプレゼンテーション作成支援システムの提案
○村山幹朗, 小野哲雄 (はこだて未来大)
- 6 記述式試験採点支援システムにおける紙メディアに対する入力ミス訂正方式の一提案
○宮原隆行 (上工大)
- 7 板書の使い回しを支援する電子板書システム
○酒井慎司, 三末和男, 田中二郎 (筑波大)

学生セッション [6ZB会場] (3月15日(土) 14:30～17:00)

視線・顔検出・脳計測 座長 湯浅 将英 (電機大)

- 1 顔の輪郭画像を用いた会話システムにおける視覚特性
○吉田 亨 (芝浦工大), 米村俊一 (NTT), 徳永幸生, 杉山 精 (芝浦工大), 大谷 淳 (早大)
- 2 文章の読み方および論理構造に関する判りやすさの計測
○鈴木麻衣子, 中山伸一, 真栄城哲也 (筑波大)
- 3 視線停留時間と脈波波高に基づくWebページの興味箇所と興味度合の特定
○深澤 綾, 小俣昌樹, 今宮淳美 (山梨大)
- 4 脳波データを用いたマウスカーソルの移動検証実験
○壺口英雅, 林 広人, 大木幹雄 (日本工大)
- 5 BMIを用いた制御システムの構築
○日永早弥, 河辺 徹 (筑波大), 田中謙次 (リコー)

6 報酬と精度要求に伴う脳活動計測

○伊藤彰信, 細川豊治, 風井浩志, 片寄晴弘 (関西学院大)

7 顔認識結果に基づくテレビの電力消費調整手法の提案

○有泉 亮, 金田重郎 (同志社大)

学生セッション [1ZC 会場] (3月13日(木) 13:00 ~ 15:00)

VR空間とAR 座長 米山 暁夫 (KDDI 研)

1 仮想視点移動が可能な広範囲でのシースルービジョン

○山崎真也, 北原 格, 亀田能成, 大田友一 (筑波大)

2 投影面の反射特性を考慮した映像投影手法の検討

○神宮司有加, 橋本直己 (東工大), 千本万紀子,

佐藤美恵, 春日正男 (宇都宮大), 佐藤 誠 (東工大)

3 既存のテレビとプロジェクタを組み合わせた大視野映像提示システムの検討

○石渡祐貴, 辻 勇旗, 橋本直己, 佐藤 誠 (東工大)

4 Mass data reconstruction on parallel system

○宮崎大輝, 高丸尚教, 大石智彦 (中部大)

5 複数枚の全方位画像を用いた仮想ウォークスルー空間構築のための

画像補間法に関する検討 ○星 勇次, 加藤誠巳 (上智大)

6 魚眼レンズにより撮影された画像に基づく仮想空間構築法に関する検討

○鈴木伸彦, 加藤誠巳 (上智大)

7 ARによるメモ帳機能の実現 ○黛 雅宏, 太田高志 (東京工大)

8 テーブルトップインターフェイスによるARオブジェクトの動的な制御

○出島大樹, 太田高志 (東京工大)

学生セッション [2ZC 会場] (3月13日(木) 16:30 ~ 18:30)

インタラクティブデザイン 座長 大内 一成 (東芝)

1 焦電センサによる指示区画検知装置

○野田誠人, 今井倫太, 大澤博隆 (慶大)

2 可視光ビームインターフェイスを用いた生活空間の提案

○坂井智子, 橋本周司 (早大)

3 Haptic Deviceを用いた仮想白杖訓練システム

○堀 高範, 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)

4 仮想環境上での身体性人工知能へのアプローチ

○鈴木孝洋, 岸 義樹 (茨城大)

5 手を用いたNaturalStorage上のデータ閲覧と操作手法

○大谷裕昭, 高橋 伸, 田中二郎 (筑波大)

6 インタラクティブな掃除機による情報提示

○山木妙子, 小笠原遼子 (お茶の水女子大), 塚田浩二 (産総研),

渡邊恵太 (慶大), 椎尾一郎 (お茶の水女子大)

7 読書体験の向上に向けた紙ベース書籍のマルチメディア化の試み

○稲川暢浩, 藤波香織 (農工大)

8 視覚的な錯覚に着目した鏡世界とのインタラクティブ手法の提案:

Heaven's Mirror

○禹 承賢, 青木孝文, 三武裕玄, 橋本直己, 佐藤 誠 (東工大)

学生セッション [3ZC 会場] (3月14日(金) 9:30 ~ 12:00)

グループ意志決定支援 座長 葛岡 英明 (筑波大)

1 大学におけるプロジェクト情報共有蓄積環境の構築

○倉俣恵祐, 田中 充, 佐々木淳, 山田敬三, 船生 豊 (岩手県大)

2 ソフトウェア開発演習における問題解決手法の提案

○島田和幸, 小林祐介, 樋山淳雄 (東京学芸大)

3 協調フィルタリングを用いた共同研究支援システム

○岸本義晴, 阿部淳也, 堀 幸雄, 今井慈郎 (香川大)

4 グループによるソフトウェア開発演習におけるマインドマップを応用した

知識共有支援システム

○林 赤団, 平井佑樹, 樋山淳雄 (東京学芸大)

5 web探索行動に着目したブックマーク収集・共有支援システム

○清水俊行, 酒井三四郎 (静岡大)

6 問題共有および解決を目的としたコミュニケーション支援システムの開発

○前川和也, 南野謙一, 渡邊慶和 (岩手県大)

7 情報爆発時代における電子メール管理のための電子メールコミュニケーション

視覚化 ○齊藤浩太, 後藤文太郎 (北見工大)

8 ビジネスプロセスモデリングとワークフローを連携させた情報システム

開発の検討 ○小林由佳 (電機大), 大川 勉 (三菱),

平林秀一, 小泉寿男 (電機大)

学生セッション [4ZC 会場] (3月14日(金) 15:30 ~ 17:30)

コンテンツ & Web 座長 中村 聡史 (京大)

1 バーチャルスタディマップにおけるCGの開発

○嶋田 建, 酒井美佳, 助川真弘, 杉浦真由美, 吉田真澄 (筑波学院大)

2 バーチャルスタディマップにおけるシステムの開発

○宮嶋崇史, 馬上 毅, 石川達也, 前島智美, 岩田隆一 (筑波学院大)

3 動画ブリクラ・レターの試作

○小林社一, 林 貴宏, 尾内理紀夫 (電通大)

4 リアルタイム映像パフォーマンス向け映像合成システム

○小林敦友, 志築文太郎, 田中二郎 (筑波大)

5 画像を直接入力可能な拡張型日本語変換システム

○小林孝典, 市村 哲 (東京工大)

6 キーストローク情報を考慮した"間"を表現するblogシステムの開発

○広木大地, 李 頴 (筑波大)

7 blogra: テキストと図によるブログコミュニケーションシステム

○高橋和之, 小野哲雄 (はこだて未来大)

8 フォトモザイクアートをを用いたネットワークコミュニケーション

○榎間祐太, 岩倉大輔, 岩田和也, 河合 繁, 和多田康宏,

遠藤 守, 嶋田 晋, 秦野やす世, 藤原孝幸, 濱川 礼 (中京大)

学生セッション [5ZC 会場] (3月15日(土) 9:30 ~ 12:00)

モバイル 座長 三浦 元喜 (北陸先端大)

1 円周分割入力方式における精度向上のための拡大調整機能の検討

○中山誠也, 佐々木心雅, 伊藤久祥,

Prima Oky Dicky A, 伊藤憲三 (岩手県大)

2 円周分割入力方式におけるサウンドフィードバックの効果の検証

○深堀紘史, 佐々木心雅, 伊藤久祥,

Prima Oky Dicky A., 伊藤憲三 (岩手県大)

3 円周分割入力方式における誤入力を許容する候補語選択に関する研究

○玉手貴恵, 佐々木心雅, 伊藤久祥,

Prima Oky Dicky A., 伊藤憲三 (岩手県大)

4 (講演取消)

5 運指情報を利用した推測による日本語入力手法"FtoKey"の提案と評価

○青木亮磨, 赤池英夫, 角田博保 (電通大)

6 ソフトウェアキーボードの動的キー分割

○鶴見玲欧, 渡辺亮太, 松浦吉祐, 郷健太郎 (山梨大)

7 PDAにおける日本語入力方式の検討 ○山田太一, 平川 豊 (芝浦工大)

8 携帯電話上でのメタデータを含むニュース記事入力環境について

○伊藤正都, 近藤圭佑, 森重賢二, 児玉政幸,

大園忠親, 新谷虎松 (名工大), 青崎保好 (共同通信社)

9 立体音響処理のARMプロセッサ上での実時間実装

○武智翔吾, 辻野孝輔 (京大), 尾上孝雄 (阪大),

越智裕之 (京大), 中村行宏 (立命館大)

学生セッション [6ZC 会場] (3月15日(土) 14:30 ~ 17:00)

コミュニケーション 座長 小松 孝徳 (信州大)

1 インフォーマルコミュニケーションのきっかけに関する質問紙調査

○西岡 大, 藤原康宏, 村山優子 (岩手県大)

2 被写体を想起させる映像の時間的低下度に関する検討

○佐々木心雅, 伊藤久祥, Prima Oky Dicky A., 伊藤憲三 (岩手県大)

3 "●"プロンプタを用いるコミュニケーションシステムの会話特性

○飯田真也, 徳永幸生, 杉山 精 (芝浦工大),

米村俊一 (NTT), 大谷 淳 (早大)

4 絵文字チャットによる異文化コミュニケーションの円滑化に関する研究

○ケイ 杭, 中村健二, 田中成典,

細島啓史, 吉村智史, 北野光一 (関西大)

5 ComeCamにおける3Dマスクオブジェクトを用いた情報提示手法

○樋口 潤, 高橋 伸, 田中二郎 (筑波大)

6 共存在感を創出するオンラインショッピング支援システムの提案

○濱浦 実, 大久保雅史 (同志社大)

7 加速度センサを用いた着座状態推定法の提案

○藤村安耶, 大久保雅史 (同志社大)

8 ICタグを利用した図書業務支援システムの提案

○引野智華, 大久保雅史 (同志社大)

9 アクセス制御機能を備えた戸下通信システムの開発

○山田 翔, 藤原康宏, 齊藤義仰, 村山優子 (岩手県大)

学生セッション [1ZD 会場] (3月13日(木) 13:00 ~ 15:00)

触れる 座長 長谷川晶一 (電通大)

- 1 タッチパッドマウスを用いたカーソル操作手法の提案と評価
○夏目一樹, 角田博保, 赤池英夫 (電通大)
- 2 接触面積を用いたタッチパッドのためのカーソル移動手法
○花井幸太郎, 赤池英夫, 角田博保 (電通大)
- 3 多点感圧デバイスをを用いたポインティング手法 Preshalor
○織田恵太, 赤池英夫, 角田博保 (電通大)
- 4 円筒型マルチタッチインタフェースによるインタラクション
○内藤真樹, 志築文太郎, 田中二郎 (筑波大)
- 5 Hybrid Haptic Interface for Gaming Applications - SPIDAR-P
○BING KEI ERIC LOK, 赤羽克仁, 佐藤 誠 (東工大)
- 6 情報の存在をアフォードする天気予報ボトル ○森岡恭司 (芝浦工大),
飯塚重善 (NTT), 徳永幸生, 杉山 精 (芝浦工大)
- 7 ディスプレイのベゼルに貼られた付箋紙認識によるタスク管理
インタフェース ○水戸祐介, 高井昌彰 (北大)

学生セッション [2ZD 会場] (3月13日(木) 16:30 ~ 18:30)

動作認識・大画面 座長 櫻田 武嗣 (農工大)

- 1 2次元動作型触覚提示装置における振動パターンの認識分解能の分析
○沖野将司, 寺田 努, 塚本昌彦 (神戸大), 義久智樹 (京大)
- 2 筆記の様子を記録した連続静止画像からのインク生成手法
○浜口拓輝, 山崎謙介, 加藤直樹 (東京学芸大)
- 3 ハンドジェスチャによる範囲選択手法を使った撮影システム
○淵 一馬, 高橋 伸, 田中二郎 (筑波大)
- 4 ドップラーセンサを用いたジェスチャー認識手法の提案
○黒川智仁, 糸 秀行, 芳賀博英, 金田重郎 (同志社大)
- 5 統計的音声区間検出法を用いた加速度センサによる人間の動作検出
○伊藤真也, 浅野 翔, 田村哲嗣, 速水 悟 (岐阜大)
- 6 プロジェクションフォン向けの画像認識を用いたインタラクション手法
○徐 世旺, 志築文太郎, 田中二郎 (筑波大)
- 7 測域センサを用いた大画面操作インタラクション
○田 雨, 高橋 伸, 田中二郎 (筑波大)
- 8 レーザポインタストロークを利用する大画面向けインタラクション手法
○張 進, 志築文太郎, 田中二郎 (筑波大)
- 9 大型タッチディスプレイにおける貼り紙の効果
○石原達郎, 松浦吉祐, 郷健太郎 (山梨大)

学生セッション [3ZD 会場] (3月14日(金) 9:30 ~ 12:00)

日常と感性 座長 栗原 一貴 (産総研)

- 1 発言者の感情を取得しグラフィカルに表現するチャットソフト
○山田達也, 曾我幸雅, 中村岳史, 濱川 礼 (中京大)
- 2 イメージマップを用いた感性を反映するフォント生成システム
○森 哲哉 (芝浦工大), 飯塚重善 (NTT),
杉山 精, 徳永幸生 (芝浦工大)
- 3 自分作風による似顔絵生成のための支援システム
○大欠俊介, 斎藤優也, 松田浩一 (岩手県大)
- 4 生活音オルゴール ○沖 真帆 (お茶の水女子大),
塚田浩二, 栗原一貴 (産総研), 権尾一郎 (お茶の水女子大)
- 5 タグタンス: 服データベース作成を支援する家具
○杉田奈緒子 (お茶の水女子大), 塚田浩二 (産総研),
杉野 碧, 権尾一郎 (お茶の水女子大)
- 6 いろどりん: 食卓の彩りを良くする拡張現実システム
○森 麻紀 (お茶の水女子大),
栗原一貴, 塚田浩二 (産総研), 権尾一郎 (お茶の水女子大)
- 7 電脳化粧鏡 ○岩淵絵里子, 権尾一郎 (お茶の水女子大)
- 8 ユビキタス時代における人と鏡とのインタラクション
○長尾 聡, 高橋 伸, 田中二郎 (筑波大)
- 9 RF タグリーダ付き冷蔵庫を用いた食品管理
○田中紀行, 江原正規, 井上亮文, 星 徹 (東京工科大)

学生セッション [4ZD 会場] (3月14日(金) 15:30 ~ 17:30)

視覚化と UI 設計 座長 細部 博史 (国立情報学研)

- 1 アプリケーションによる過剰なメモリ消費を防ぐための可視化による
ユーザ支援 ○赤坂俊哉, 櫻井彰人, 岡田有策 (慶大)

2 コミュニティ情報空間管理のための複数視点ブラウザの開発

○佐藤弘樹, 三森祐一郎, 森崎厚行 (筑波大),
田島敬史 (京大), 望月祥司 (筑波大)

- 3 「巻貝ビュー」を用いた時系列データ可視化手法の提案
○品田良太, 井上亮文, 星 徹 (東京工科大)
- 4 奥行き手がかりを考慮にいたれた奥行き情報圧縮
○小林 潤, 吉田謙一, 高橋成雄 (東大)
- 5 非透視投影を用いた都市部カーナビ画面の生成
○甲斐大雅, 吉田謙一, 高橋成雄 (東大)
- 6 図法幾何学演習問題の解法アニメーション生成システム
○舟口 聡, 矢吹太朗, 佐久田博司 (青学大)
- 7 (講演取消)
- 8 携帯電話上でコンテキスト依存プログラムを記述するためのビジュアル
プログラミング環境 ○西本裕貴, 志築文太郎, 田中二郎 (筑波大)

学生セッション [5ZD 会場] (3月15日(土) 9:30 ~ 12:00)

障害者補助・福祉 座長 森 大毅 (宇都宮大)

- 1 (講演取消)
- 2 用例読み上げ機能を持つ多言語医療受付対話支援システム M3
○宮部真衣 (和歌山大), 吉野 孝 (和歌山大/NICT)
- 3 マイクロ波ドップラーセンサを用いた咀嚼の検出手法
○谷川紗恵子, 金田重郎, 西原秀明 (同志社大)
- 4 遠隔眼科診療システムの学習容易性
○中澤由布, 柏木賢治, 郷健太郎 (山梨大)
- 5 運転中の無自覚視覚障害者への情報提示法
○露崎友理, 郷健太郎, 柏木賢治, 小谷信司 (山梨大)
- 6 聴覚障がい者向け情報保障のための講師発話からの指示語抽出手法の検討
○伊藤綾鹿, 大西 昇, 竹内義則, 齊藤 健 (名大),
飯塚重善 (NTT), 中嶋信弥 (国土館大)
- 7 音源定位結果と音声認識結果を HMD に統合表示する聴覚障害者向け
音環境理解支援システム
○徳田浩一, 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 8 歩行リハビリ支援システムの制作
○奥田伸二, 久原政彦, 伊藤 誠 (中京大),
古川 進 (山梨大), 佐藤 久 (山梨県障害者相談所)

学生セッション [6ZD 会場] (3月15日(土) 14:30 ~ 17:00)

アバター・エージェント・ロボット 座長 青木 恒 (東芝)

- 1 キャラクタを用いた首振り動作伝達システム
○森田大介, 吉野 孝 (和歌山大)
- 2 パーチャルヒューマンを用いたアバターシステムの構築
○見尾昇亮, 加藤清敬, 西陽一郎,
保坂悠太, 野崎智彦, 正木裕士 (東理大)
- 3 自動会話システムにおけるキャラクタの可変表示効果
○野原雄紀 (芝浦工大), 米村俊一 (NTT),
徳永幸生, 杉山 精 (芝浦工大), 大谷 淳 (早大)
- 4 共感に基づくヒューマンエージェントインタラクションの実現
○板垣祐作 (はこだて未来大)
- 5 人間の模倣動作を取り入れたエージェントモーションの開発
○鈴木道雄, 小野哲雄 (はこだて未来大)
- 6 スムーズに人間と擦れ違うためのロボットインタラクション
○鮫島 萌, 今井倫太, 石井健太郎 (慶大)
- 7 コミュニケーションロボット用インタフェースのための脳活動計測に
関する検討 ○鳩 康彦, 今井倫太 (慶大),
開 一夫 (東大), 大澤博隆 (慶大)
- 8 "意味" を伝達するセンサネットワークの提案
○高田 諭, 橋本周司 (早大)

学生セッション [1ZE 会場] (3月13日(木) 13:00 ~ 15:00)

CG: モデリング, 探索 座長 川原田 寛 (理研)

- 1 Igel ~ ヒートカッターを模した3次元形状モデリング~
○今泉仁美, 伊藤貴之 (お茶の水女子大)
- 2 3D点群データの2D投影を用いた簡易的な立体形状抽出方法
○石田翔平, 天野直紀 (東京工科大)
- 3 平面鏡による単一画像を用いた3次元再構築
○氏家正登, 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)

- 4 制約充足に基づく図面理解システムの GUI 開発
○千喜良祐一, 水野一徳 (拓大), 西原清一 (筑波大)
- 5 視覚の誘導場を用いた 2 次元図形の類似検索
○浅尾崇志, 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)
- 6 クレジットカード不正履歴テストデータの特徴発見のための可視化と GUI の一手法
○迫田千華, 伊藤貴之 (お茶の水女子大),
伊勢昌幸, 宮下光輔 (インテリジェントウェイブ)
- 7 PhotoLab: 大量画像の 3 次元空間一覽可視化インタフェースの開発
○堀辺宏美, 伊藤貴之 (お茶の水女子大)
- 8 大量画像一覽可視化手法 CAT を用いた絞込み画像探索のための GUI
○五味 愛, 伊藤貴之, 宮崎麗子 (お茶の水女子大)

学生セッション [2ZE 会場] (3月13日 (木) 16:30 ~ 18:30)

CG: 可視化 座長 竹島由里子 (東北大)

- 1 二部グラフの球状三次元アンカーマップ描画とインタラクティブな
閲覧手法の開発 ○伊藤隆朗, 三末和男, 田中二郎 (筑波大)
- 2 大規模時系列データの詳細制御を利用した可視化
○内田悠美子, 伊藤貴之 (お茶の水女子大)
- 3 Hybrid Images を用いた文書情報提示手法 ○樋渡昇一郎, 瀬川大勝,
宮村 (中村) 浩子, 古谷雅理, 斎藤隆文 (農工大)
- 4 相関性を考慮した大規模階層型データの可視化
- クレジットカード不正履歴テストデータの可視化への応用 -
○長崎あずさ, 伊藤貴之 (お茶の水女子大),
伊勢昌幸, 宮下光輔 (インテリジェントウェイブ)
- 5 文献の参照関係の可視化
○北川晴香, 宮村 (中村) 浩子, 古谷雅理, 斎藤隆文 (農工大)
- 6 経路情報の要約可視化の一手法
○藪下浩子, 内田悠美子, 伊藤貴之 (お茶の水女子大)
- 7 監視カメラ画像閲覧のための集約画像提示手法
○城本佑香, 古谷雅理, 宮村 (中村) 浩子, 斎藤隆文 (農工大)
- 8 気象シミュレーション結果の三次元可視化の一手法
○古矢志帆, 伊藤貴之 (お茶の水女子大)

学生セッション [3ZE 会場] (3月14日 (金) 9:30 ~ 12:00)

CG: 変形, 流体 座長 金井 崇 (東大)

- 1 自己交差を回避する 3 次元モデルモーフィング手法の提案
○佐藤和弥 (東京工科大)
- 2 テクスチャの特徴箇所を考慮した 3DCG モーフィング
○飯田英輔 (東京工科大)
- 3 触覚ディスプレイを用いた 3 次元形状変形システムの構築
○田村博之 (東京工芸大), 伊藤 涉 (コナミネタテインメント),
徳山喜政 (東京工芸大), 今野晃市 (岩手大)
- 4 リアルタイム 3DCG における、弾性体特性を持つメッシュの接合・分裂
操作に関する研究 ○海上一徳 (東京工科大)
- 5 立体モデルの局所変形
○直江尚範, 伊藤 誠 (中京大), 古川 進 (山梨大)
- 6 スタイル変換を用いた効率的なアニメーション生成
○前田修治 (東大), 栗原恒弥 (東大/日立), 西田友是 (東大)
- 7 複雑な断裂を考慮した格子ベースの変形アニメーション
○太田 充, 西田友是 (東大)
- 8 粒子法を用いた流体と剛体との物性に基づく安定な相互作用シミュレーション
○黒瀬 翔, 高橋成雄 (東大)
- 9 (講演取消)

学生セッション [4ZE 会場] (3月14日 (金) 15:30 ~ 17:30)

CG: (N) PR 座長 高橋時市郎 (電機大)

- 1 ペンタブレットの特徴を利用した毛筆風ストロークの描画手法
○角田絵里, 渡辺賢悟, 宮岡伸一郎 (東京工科大)
- 2 スーラの描法を模した実写画像の点描画風変換
○佐野実乃里, 渡辺賢悟, 宮岡伸一郎 (東京工科大)
- 3 点描画生成における点の均等配置手法
○雀部倫三, 宮村 (中村) 浩子, 古谷雅理, 斎藤隆文 (農工大)
- 4 環境条件を変更可能なイメージベースのアニメ背景画像生成システム
○金崎良太, 柏崎礼生, 高井昌彰 (北大), 高井那美 (北海道情報大)
- 5 User-guided matching for animated cartoon coloring
○Pablo Garcia Trigo (東大),
Henry Johan (Nanyang Technological University), 今給黎隆, 西田友是 (東大)

- 6 GPU を用いた水中の光跡の高速レンダリング
○一木誠史, 岩崎 慶, 高木佐恵子, 吉本富士市 (和歌山大)
- 7 自己反射を考慮した鏡面反射物体の GPU レイトレーシング法
○中谷聡志, 岩崎 慶, 高木佐恵子, 吉本富士市 (和歌山大)
- 8 任意形状の光源による大気散乱光の高速レンダリング
○福井洋平, 岩崎 慶, 高木佐恵子, 吉本富士市 (和歌山大)

学生セッション [5ZE 会場] (3月15日 (土) 9:30 ~ 12:00)

会議支援 座長 井上 智雄 (筑波大)

- 1 過去の会議資料のテキスト情報を利用した会議支援システム
○成瀬和仁, 前田 亮 (立命館大)
- 2 パネルディスカッション支援システムの構築 ○山野孝幸,
吉野 孝 (和歌山大), 喜多千草 (関西大), 久保田秀和 (京大)
- 3 WEB を用いた参加型プレゼンテーションシステム
○黒河優介, 萩野達也, 服部隆志, 福本佳史, 藤枝崇史, 関戸亮介 (慶大)
- 4 ビデオアノテーションにより参加者間交流を促進する学会支援システム
○長島聡明, 伊藤禎宣 (農工大)
- 5 簡易書式と画像処理によるホワイトボードログ取得方式
○小林未宇, 井上亮文, 星 徹 (東京工科大)
- 6 創造的会議を活性化するカジュアルミーティング支援システム
○伊藤 周, 土田貴裕, 大平茂輝, 長尾 確 (名大)
- 7 Web カレンダーと予定調整サービスの統合: 柔軟な予定調整機能の
実現にむけて ○土持幸久, 高橋 伸, 田中二郎 (筑波大)
- 8 プレゼンス情報を利用したメール自動配信システム
○菅野有也, 井上亮文, 星 徹, 江原正規 (東京工科大)

学生セッション [6ZE 会場] (3月15日 (土) 14:30 ~ 17:00)

コミュニケーション技術と SNS 座長 市村 哲 (東京工科大)

- 1 複合現実感を用いた分散会議におけるアバター-ユーザ間の対人距離調節の
検討 ○徳光亜矢子, 和田 真, 野口康人, 井上智雄 (筑波大)
- 2 三次元仮想空間内における多言語チャットコミュニケーション支援
○池信克也, 吉野 孝 (和歌山大)
- 3 携帯電話のための多人数コミュニケーションを支援するメールサーバの
構築 ○阿部敏和, 藤本敬介, 楯岡孝道, 中山泰一 (電通大)
- 4 IRC における多人数でのファイル共有の手法の実現
○松田駿一, 藤本敬介, 中山泰一 (電通大)
- 5 TravoSNS: 外国人旅行者支援のための地域住民参加型多言語 SNS
○長野優一郎 (和歌山大), 吉野 孝 (和歌山大/NICT)
- 6 利用者の行動支援を考慮した地域 SNS 連携マップシステムの提案
○曾我和哉 (岩手県大), 深田秀実 (盛岡市総務課),
市川 尚, 阿部昭博 (岩手県大)
- 7 SNS におけるコミュニティの関係抽出に関する研究
○三善健太, 檜山武浩, 田中成典 (関西大)
- 8 ソーシャルネットワークに特化した Web カレンダーの開発
○鈴木政規 (拓大)

学生セッション [1ZF 会場] (3月13日 (木) 13:00 ~ 15:00)

CG: 面 座長 爰島 快行 (東芝)

- 1 メッシュ化のための点群データ補間手法
○大橋侑弥, 宮岡伸一郎 (東京工科大)
- 2 B-spline 曲面の制御点の削減と削減後の制御点を用いた曲面生成手法
○林本法也, 福井幸男, 三谷 純, 西原清一 (筑波大)
- 3 点群データからの三角形メッシュの生成
○辻森裕樹, 小堀研一, 西尾孝治 (阪工大)
- 4 グラフィックスボードを用いた Delaunay 四面体分割
○鈴木和愛, 西尾孝治, 小堀研一 (阪工大)
- 5 前計算放射輝度伝達法のための適応的メッシュ分割法
○西本陽太, 岩崎 慶, 高木佐恵子, 吉本富士市 (和歌山大)
- 6 GPU を用いたアダプティブな分割によるリアルタイムディスプレイスメント
マッピング ○Zoltan Szego, 金森由博, 西田友是 (東大)
- 7 細分割曲線・曲面の美しさの追究
○芦田浩介, 宮村 (中村) 浩子, 古谷雅理, 斎藤隆文 (農工大)

学生セッション [2ZM 会場] (3月13日 (木) 16:30 ~ 18:30)

協調作業支援 座長 酒井三四郎 (静岡大)

- 1 (講演取消)
- 2 共同作業領域と個人作業領域を同時に確保したテーブル型グループウェア
○渡辺亮太, 松浦吉祐, 郷健太郎 (山梨大)

- 3 ソフトウェアの同時・協調入力対応化システムの研究
○望月順一、天野直紀（東京工科大）
- 4 遠隔地間での利用を前提とした映像協調制作システムの試作
○清水大輔、沼澤潤二、青木輝勝、山田 洋（東北大）
- 5 複数ユーザ共有空間において情報を実世界オブジェクト上に提示するシステム
○藤村亮太、今井倫太、佐竹 聡（慶大）

学生セッション [4ZM 会場] (3月14日(金) 15:30～17:30)

教育サービス支援 座長 村山 隆彦 (NTT)

- 1 e-Learning における教え合い支援に関する研究
○鳥形由希（関西大）、物部寛太郎（宮城大）、田中成典（関西大）
- 2 文献講読履歴活用システムの提案
○鍵福雅世、江原正規、井上亮文、星 徹（東京工科大）
- 3 幼稚園における保護者間での情報共有を目的としたシステムの開発
○逸見隆志、岡本 東、堀川三好、菅原光政（岩手県大）
- 4 2DCG デザイン学習のための動画共有システム
○荒澤洋亮、市村 哲（東京工科大）
- 5 履歴再生・レイヤー管理機能を持つ CMS の実装
○岩田明典、高丸尚教（中部大）
- 6 日本人が聞き取りやすい音響特性を持つ英語音声補正システム
○水谷 淳、山田貴弘、市村 哲（東京工科大）

デモセッション [デモ会場]

デー 03 (3月14日(金))

- ELDY: リッチメディアドキュメント記録・配信システムの紹介
○大村賢悟、安藤和久、永峯猛志、新中庸介、住谷和彦（富士ゼロックス）

(コンピュータと人間社会)

一般セッション [1G 会場] (3月13日(木) 13:00～15:00)

組織・社会と情報 座長 木野 泰伸 (筑波大)

- 1 組織のリスク管理支援のための分散計算手法について
○高橋里司、松尾徳朗、Muhammad Dzulqarnain, 伊達 浩、波多野紀彦、齋藤義人、小澤 潤（山形大）
- 2 (講演取消)
- 3 情報化投資の管理手法の提案
○吉川 裕、谷 繁幸、中川忠輔、赤津雅晴（日立）
- 4 情報伝播における「扇形モデル」の有効性を巡る一考察
○山岡泰幸（日本 IBM）、大江ひろ子（横浜国大）
- 5 「産学官連携による社会人基礎力育成・評価事業」～宮城大学モデル～
-「人材の地産地消」地域で育てた人材を地域で活かす-
○富樫 敦、山田智子（宮城大）、庄子栄光（仙台ソフトウェアセンター）、
梶 功夫、宮西洋太郎、岡田貞明、茅原拓朗、宮原育子（宮城大）

一般セッション [2G 会場] (3月13日(木) 16:30～18:30)

地域情報システム 座長 阿部 昭博 (岩手県大)

- 1 地域医療情報システムの研究開発
○富樫 敦、高橋佳嗣、青木浩之、富井 建、上崎達也、
宮内一平、北野 優（宮城大）、柴田宗一、遠藤 完、
池田怜代（宮城県立循環器・呼吸器病センター）
- 2 中山間地を対象とした次世代ヘルスケアシステムを基盤とする地域振興に
関する研究
○富樫 敦、山田智子（宮城大）、板橋吾一（サイエンティア）
- 3 生活空間に遍在した意欲継続メディアに関する検討
○藤波香織（農工大）
- 4 Wiki を用いた地域密着総合サイト「久喜 Wiki」の構築
○駒込健嗣、瀬戸章宏、吉村健太、本田真望、大島邦夫（東理大）
- 5 観光客の空き時間を利用した観光経路作成手法の提案と支援システムの構築
○丸山加奈、大内 東、川村秀憲（北大）

一般セッション [3G 会場] (3月14日(金) 9:30～12:00)

情報教育 座長 兼宗 進 (一橋大)

- 1 パスワードに関する女子学生の意識調査 ○八城年伸（安田女子大）
- 2 リテラシー斉授業における他者意識と自信度が及ぼす影響
○栢木紀哉（鹿児島県短大）、
上田千恵（旭川荘厚生専門学院）、若林義啓（広島国際学院大）

- 3 大学生の情報活用能力にみる「情報」必修化の影響と考察
○堀並砂実（法大）

- 4 実践情報教育向け学習用フレームワークの開発
○一田陽平、井上喬祝、河野広和、石崎隆大、中島 潤（北海道情報大）
- 5 やさしいプログラミング言語「かいてみよう」とその実行環境「神平君」
—高校教科情報の補助教材の提案— ○野口健一郎（神奈川大）
- 6 情報処理技術者試験対策教育支援 CMS コンテンツの開発
○榎本守伸（別府大）
- 7 MediaWiki を用いた文書作成演習と学習者の抱える問題点
○鈴木治郎、松本成司（信州大）

一般セッション [4G 会場] (3月14日(金) 15:30～17:30)

e ラーニング (2) 座長 中村 純 (広島大)

- 1 学習者特性適応型 e ラーニングシステムの開発と評価
○稲葉竹俊、中村 峻、松永信介、田口 賢、三角泰広（東京工科大）
- 2 完全にコピー自由な教育用コンテンツ配信システムの構築に向けて
○桐山和彦（鳥羽商船高専）、白石啓一（詫間電波高専）、
原 元司（松江高専）、本間啓道（奈良高専）、白濱成希（北九州高専）、
岡田 正（津山高専）、山本喜一（OpenEdu プロジェクト）
- 3 e ラーニングによる内視鏡教育のためのバーチャル診断システムの試作
○小柏香穂理、浜本義彦、藤田悠介、室川和也、
杉井 学、西川 潤、寺井崇二、坂井田功（山口大）
- 4 (講演取消)
- 5 総合的な学習の時間を支援する e-learning 教材「光ワンダーランド」の
開発と評価
○山田萌香、石原恵子、松永信介、稲葉竹俊（東京工科大）、
千葉さち子（未来含みらい教育研究所）、小林田鶴子（名古屋女子大）
- 6 聴覚障害者向け e ラーニング教材の開発
○白鳥友己、石川真理子、栗山由佳、稲葉竹俊、
松永信介（東京工科大）、伊藤 守（東京都立葛飾ろう学校）

一般セッション [5G 会場] (3月15日(土) 9:30～12:00)

学習活動 座長 福原 美三 (慶大)

- 1 学生のライフスタイルを考慮した授業支援システムの検討
○中島玲子（法大）
- 2 看護学生に対する教室外の学びの場づくりを支援するシステムについて
○長谷川紀幸（横浜国大）、林 義樹（日本教育大）
- 3 共に学ぶための SNS の開発 ○吉崎弘一（園田学園女子大）
- 4 電子掲示板と SNS による大学講義フォーラムの形成
○前田 稔（東京学芸大）
- 5 SIEM を活用した教室空間内におけるモチベーション分布の可視化
○土肥紳一、宮川 治、今野紀子（電機大）
- 6 拡張オーバレイモデルに基づく CAI システム
～生成的コースウェアを可能にする教材データの構造の検討～
○大西 順、金子真也、橘 知宏、上之園和宏、古宮誠一（芝浦工大）
- 7 講義同士の関係構造分析のためのシラバス処理方法の一検討
○関谷貴之、山口和紀（東大）

一般セッション [6G 会場] (3月15日(土) 14:30～17:00)

教育支援 (3) 座長 角田 博保 (電通大)

- 1 教育支援ツールとしての環境モニタリングシステムの実装
○横山 純、三上喜貴（長岡技科大）、
永野昌博（里山科学館越後松之山「森の学校」キョロロ）、
中平勝子（長岡技科大）
- 2 レポートシステムのファイナルソリューション ○奥田麻衣、
石田三樹、越智泰樹（広島大）、長部謙治（アドビシステムズ）
- 3 法的論争ための教育支援システム ○角田篤泰（名大）
- 4 技術者倫理教育のための補助教材の作成
○石坂 徹、早坂成人、鈴木好夫（室蘭工大）
- 5 教育における ICT 活用と組織資本の関係性に関する一考察
○大江ひろ子（横浜国大）、新目真紀（SABA）
- 6 ブラウザを利用した初学者のための統計解析ソフトウェアの開発の提案
○矢原弘樹、湯澤泰生（筑波大）、青山和裕（鳴門教育大）
- 7 携帯画面を学生・教員間で共有する授業演習支援システムの開発
○藤井 論、青山博一、石本真一（松江高専）

一般セッション [1H 会場] (3月13日(木) 13:00～15:00)

画像・制御の情報システムへの応用 座長 金田 重郎 (同志社大)

- 1 全画素ステレオマッチングによる航空写真からのDSM・オルソ画像作成システム ○小泉博一, 柳生弘之, 橋爪一晃, 宮崎 徹, 岩田真琴, 國枝和雄, 島津秀雄 (NECシステムテクノロジー)
- 2 在宅高齢者の滞在場所に着目した生活異変の検知 ○塚本吉俊, 高松周一 (富山県工業技術センター), 池谷 薫 (立山システム研究所), 森 武俊 (東大)
- 3 Self-Organizing Mapによる外観検査システムの開発 ○池田桂子, 安永守利, 山口佳樹 (筑波大)
- 4 仮想マシン Xenの制御システムへの適用 ○伊藤孝之, 飯塚 剛, 金木佑介, 有本雅昭, 藤田淳文 (三菱)
- 5 携帯通信網による機器遠隔制御方式 ○安田晃久, 釜坂 等, 木藤浩之 (三菱)
- 6 ESB サービス移動監視方式 ○吉村礼子, 馬場昭宏, 山足光義, 砂田英之, 塚本良太 (三菱)

一般セッション [2H 会場] (3月13日(木) 16:30～18:30)

ライブラリモデル, 資料読解支援

座長 相田 満 (国文学研究資料館)

- 1 "情報プッシュ型メディア"としてのライブラリモデル ○松尾徳朗 (山形大), 藤本貴之 (園田学園女子大)
- 2 情報デザインの理論的枠組のライブラリモデルへの適用 ○藤本貴之 (園田学園女子大), 松尾徳朗 (山形大)
- 3 「古事記」学術支援データベースの構築 - システムの概要 - ○生田敦司, 柴田みゆき, 齋藤 晋 (大谷大), 杉山正治 (立命館大), 宮下晴輝 (大谷大)
- 4 「古事記」学術支援データベースの構築 - 神名検索システムのための内部構造について - ○齋藤 晋, 柴田みゆき, 生田敦司 (大谷大), 杉山正治 (立命館大), 宮下晴輝 (大谷大)
- 5 「古事記」学術支援データベースの構築 - 系図表示システムの実装と課題 - ○杉山正治 (立命館大), 柴田みゆき, 生田敦司, 齋藤 晋, 宮下晴輝 (大谷大)
- 6 「古事記」学術支援データベースの構築 - 情報提示手法の一提案 - ○柴田みゆき (大谷大), 杉山正治 (立命館大), 齋藤 晋, 生田敦司, 宮下晴輝 (大谷大)

一般セッション [3H 会場] (3月14日(金) 9:30～12:00)

情報システムとアーキテクチャ 座長 富澤 眞樹 (前橋工科大)

- 1 マルチテナントシステムにおけるリソース管理方式の提案 ○楓 仁志, 森川修一, 竹田義聡, 菅野幹人 (三菱)
- 2 DynamicSVDによるサーバ負荷予測手法について ○平田飛仙, 菅野幹人, 鹿島理華 (三菱)
- 3 ディザスタリカバリシステムにおけるストレージリモートコピー構成評価モデルの提案 ○丸山直子, 田口雄一, 山本政行 (日立)
- 4 (講演取消)
- 5 スクリーンラッピングによる既存 Web システムのサービス化 ○塚本良太, 吉村礼子 (三菱)
- 6 スクリーンラッピングによる Web サービスを利用した SOA システム構築 ○土屋 隆, 吉村礼子, 塚本良太 (三菱)
- 7 サービス指向に基づくアンバンドル型アーキテクチャ設計技法の提案 ○熊谷貴禎, 小野俊之 (日立)

一般セッション [4H 会場] (3月14日(金) 15:30～17:30)

情報・データの管理 座長 神沼 靖子 (IPSJ フェロー)

- 1 ケーススタディ: ユーザー主導によるユーザー・専門家間のニーズ共有現実の住まいづくりにおけるコミュニケーションを題材として ○竹岡篤永, 福吉聡子, 鯉島祥子 (九大)
- 2 業務システムログを用いた業務イベント抽出方式の提案 ○米田貴雄, 小川康志, 細川武彦 (三菱)
- 3 鉄道保守関連業務文書の提供システム ○宮下美貴, 野末道子 (鉄道総研)
- 4 運用管理レポートへの ITIL 導入の検討 ○山田将史, 佐藤雅之, 三浦健次郎, 北上真二 (三菱)
- 5 部品表の統合に関する一考察 ○児玉公信 (エクサ/静岡大)

一般セッション [5H 会場] (3月15日(土) 9:30～12:00)

危機管理情報システム 座長 畑山 満則 (京大)

- 1 世帯のネット金融利用意向と不安に関する分析 - ネット金融利用経験の差異に着目して - ○小原 宏 (日本郵政), 大江宏子 (横浜国大)
- 2 RFID アクティブラグを利用した登下校検知に関する実証実験 ○今野貴洋, 森脇康介, 古川嘉識, 廣田剛久 (NTT コムウェア)
- 3 緊急地震速報の表示における一提案 ○河野彩光代, 皆月昭則 (釧路工大)
- 4 風評被害の抑制・防止に向けた地震災害情報の分析 ○長尾光悦, 須藤一弘 (北海道情報大), 大内 東 (北大)
- 5 危機管理・非常時情報通信に関する研究 ○多田浩之, 能瀬与志雄 (みずほ情報総研), 猪俣敦夫 (JST), 熊平美香 (クマヒラセキュリティ財団), 大野浩之 (金沢大)
- 6 匿名性保証のための質問票構造の動的変更 ○岩井 淳 (群馬大)
- 7 AJAX を用いた RSS リーダの OpenPNE への組み込み ○山守一徳, 佐藤麻里子 (三重大)

学生セッション [2ZF 会場] (3月13日(木) 16:30～18:30)

健康・ケア情報システム 座長 山口 高平 (慶大)

- 1 健康増進支援システム～自己効力感向上を支援する健康サポート機能の提案～ ○北川愛優美, 堀米 諭, 佐々木淳, 山田敬三, 田中 充, 船生 豊 (岩手県大)
- 2 健康増進支援システム～ユーザ参加型健康サポートシステムの提案～ ○川崎真理, 堀米 諭, 佐々木淳, 山田敬三, 田中 充, 船生 豊 (岩手県大)
- 3 健康増進支援システムの研究～運動習慣化支援機能の開発～ ○堀米 諭, 北川愛優美, 川崎真理, 佐々木淳, 田中 充, 山田敬三, 船生 豊 (岩手県大)
- 4 ノウハウ情報共有システムにおける気づき文書の検索方法に関する一考察 ○毛内俊輔, 江藤 香, 椋田 實, 樺澤康夫 (日本工大)
- 5 (講演取消)
- 6 ケアプランにおけるアセスメント支援ツールの開発 ○小嶋隆太, 小飼 敬, 村田和英 (茨城高専)
- 7 携帯情報端末を用いた特別養護老人ホームの利用者データの電子化とその有効性の検証 ○川崎直輝, 大枝真一 (木更津高専)
- 8 在宅介護における効果的な能力別介護者割当メカニズム ○伊達 浩, 松尾徳朗 (山形大)

学生セッション [3ZF 会場] (3月14日(金) 9:30～12:00)

情報システムとアーキテクチャ 座長 大場みち子 (日立)

- 1 (講演取消)
- 2 TOC と CDM を併用した業務分析手法の提案 ○星 翔太, 吉澤憲治, 吉田和正, 金田重郎 (同志社大)
- 3 概念データモデリングによる抽象クラス設計手法の検討 ○上田紳一郎, 吉田和正, 吉澤憲治, 金田重郎 (同志社大)
- 4 モデル駆動開発と Web サービスの連携による情報システム開発 ○里木智彦, 平林秀一 (電機大), 大川 勉 (三菱), 小泉寿男 (電機大)
- 5 Web アプリケーションの部品化による Web サービス生成手法 ○大塚宗一郎, 鈴木 亮, 小泉寿男 (電機大)
- 6 Web サービスを用いた鉄道情報共有システムの提案 ○今井康裕, 中尾和夫 (阪工大)
- 7 P to P 通信における医療情報共有モデルの検討 ○有野真史, 野地 保 (東海大)
- 8 利用者の要請に即応した組込みシステムのリコンフィギュラブル方式の検討 ○篠原大輔, 宮本健太 (電機大), 清尾克彦 (ゼネテック), 三井浩康, 小泉寿男 (電機大), 神戸英利 (三菱)

学生セッション [4ZF 会場] (3月14日(金) 15:30～17:30)

情報システムとインタラクション 座長 刀川 真 (室蘭工大)

- 1 OS 学習支援環境「港」の学習教材におけるユーザインタフェースに関する検討 ○坂本祐紀, 早川栄一 (拓大), 西野洋介 (府中工業高校), 青山誠一, 川口貴弘 (拓大)
- 2 講義におけるデジタルノートテイキングに適した入力方法の研究 - 手書き入力とキーボード入力の差をめぐって - ○大山典子, 中村太戯留 (東京工科大), 田丸恵理子 (富士ゼロックス), 上林憲行 (東京工科大)

- 3 ノートテイキングにおける手書きとワープロの差異の研究
- キーワードに注目した比較実験の視点から -
○上野賢太郎, 中村太戯留 (東京工科大),
田丸恵理子 (富士ゼロックス), 上林憲行 (東京工科大)
- 4 UD に配慮した観光地口コミ情報システムの提案
○大平恵理, 市川 尚, 阿部昭博 (岩手県大)
- 5 色彩的印象のコンテキストとしての取得手法の開発
○鈴木茂徳, 高橋 伸, 田中二郎 (筑波大)
- 6 他者から指摘されたファッションコーディネートの問題点を分析する
システムの提案 ○米澤友里 (立命館大)
- 7 カーテンセレクションを可能としたインテリアシミュレーションシステム
○張 希, 市村 哲 (東京工科大)
- 8 個々の感情に適した癒しネイルカラー抽出システム
○高 穎, 篠原沙織, 有野真史, 野地 保 (東海大)
- 学生セッション [5ZF 会場] (3月15日 (土) 9:30 ~ 12:00)**
産業システムと IT スキル 座長 駒谷 昇一 (筑波大)
- 1 クレーム情報を活用したトレーサビリティシステムの開発
○松脇正典, 植竹俊文, 菅原光政 (岩手県大)
- 2 農産物産地直売所における履歴情報を用いた入荷管理システムの構築
○葛西翔太, 竹野健夫, 堀川三好, 菅原光政 (岩手県大)
- 3 MZPlatform を利用した生産工程管理システムの開発 - 検索機能とその
可視化 - ○清水邦宏, 蔵野晋也, 越田高志 (松江高専)
- 4 MZPlatform を利用した生産工程管理システムの開発 - バルコードによる
リアルタイム進捗管理の実現 -
○蔵野晋也, 清水邦宏, 越田高志 (松江高専)
- 5 ITSS 診断システムの DB 設計
○櫻井一欽, 前田陽平, 串松慎太郎 (湘南工科大), 山田伸和,
安藤晴仁 (国際テクノロジーセンター), 大谷 真 (湘南工科大)
- 6 ITSS 診断システムの開発
○前田陽平, 櫻井一欽, 串松慎太郎 (湘南工科大), 安藤晴仁,
古石雄揮 (国際テクノロジーセンター), 大谷 真 (湘南工科大)
- 7 Ruby on Rails による ITSS 診断システムの実装
○串松慎太郎, 前田陽平, 櫻井一欽, 大谷 真 (湘南工科大)
- 学生セッション [6ZF 会場] (3月15日 (土) 14:30 ~ 17:00)**
テキストマイニングの応用 座長 辻 秀一 (東海大)
- 1 テキストマイニングを応用した観光言説分析の提案
○守屋 豊 (近畿大), 井出 明 (首都大)
- 2 道路管理情報にもとづくデータマイニングの可能性について
○藤澤裕樹, 古畑貴志, 吉田和正,
吉澤憲治 (同志社大), 寺田守正 (京都府土木建築部),
中西正樹 (京都府中丹広域振興局), 金田重郎 (同志社大)
- 3 Web チャット上でのユーザと店員の会話を利用した衣服推薦システムの提案
○見並史彬 (名工大), 小林幹門 (北陸先端大), 伊藤孝行 (名工大)
- 4 概念辞書を用いたユーザの状況を想定した目的指向衣服推薦システムの実装
○小林幹門 (北陸先端大),
見並史彬, 伊藤孝行 (名工大), 東条 敏 (北陸先端大)
- 5 ソーシャルネットワークの情報伝達とリンク特性
○穂積惇一, 矢吹太朗, 佐久田博司 (青学大)
- 6 類似レポート検出のための採点支援システム
○嶋村章子, 矢吹太朗, 佐久田博司 (青学大)
- 7 素材再利用のための効果的なメタデータ付加方法に関する研究
○千葉華子, 藤澤公也 (東京工科大)
- 8 多言語医療受付支援システム M3 の医療機関への導入
○宮部真衣 (和歌山大), 吉野 孝 (和歌山大/NICT),
重野亜久里 (多文化共生センターきょうと), 小見佳恵,
白井 諭, 小原 永 (NTT-AT), 村上陽平 (NICT)
- 学生セッション [1ZG 会場] (3月13日 (木) 13:00 ~ 15:00)**
教育支援 (1) 座長 渡辺 健次 (佐賀大)
- 1 多属性評価を用いた GVA ベース教授環境割当手法
○小澤 潤, 松尾徳朗 (山形大),
藤本貴之 (園田学園女子大), 高橋里司, 齋藤義人 (山形大)
- 2 確率的推論を基礎とする学習者マップを利用した対面教育適応化法
○福島潤一郎, 藤原祥隆, 前田康成 (北見工大)
- 3 シラバス解析と活性伝播モデルを用いた履修支援システムの開発と評価
○高橋和麻, 今井慈郎, 堀 幸雄 (香川大)
- 4 ユーザ適応型ヘルプデスク用音声入力インターフェースの設計
○根符寛之, 藤原祥隆, 前田康成, 池田直哉 (北見工大)
- 5 対面教育支援システム用演習課題提出インターフェースの設計
○根符寛之, 藤原祥隆, 前田康成 (北見工大)
- 6 イーサフォンによる授業支援システムの実現
○飛田春樹, 小倉久和, 小高知宏, 黒岩丈介, 白井治彦 (福井大)
- 7 Wiki を用いた研究室内ゼミ支援システムの提案
○大久保温美 (岩手県大)
- 8 子どもの発達傾向を参照可能な発達相談ブログシステムの構築
○宮村幸祐 (同志社大),
新谷公朗, 糠野亜紀 (常磐短大), 芳賀博英 (同志社大)
- 学生セッション [2ZG 会場] (3月13日 (木) 16:30 ~ 18:30)**
教育支援 (2) 座長 小尻 智子 (名大)
- 1 大教室講義における効果的なフィードバックを支援するサービスの構築
○太田 稔, 佐々木祐介, 佐野勇介, 上林憲行, 中村亮太, 山下亮輔,
市村 哲 (東京工科大), 三浦 均, 田丸恵理子 (富士ゼロックス)
- 2 学習内容理解の促進に注目した作問学習支援システムの提案
○平井佑樹, 富田高史, 樋山淳雄 (東京学芸大)
- 3 Moodle 上の学習履歴管理ならびに相互評価モジュールの開発
○杉浦雄祐, 宮崎佳典 (静岡大)
- 4 学生による継続的な達成度点検を支援するシステムの開発
○小笠原規浩, 稲垣 宏 (豊田高専)
- 5 授業資料作成支援システムの構築: 資料再構成支援機能の実装
○羽根昭裕, 藤澤公也 (東京工科大)
- 6 対面教育支援システム用コンテンツの開発
○鈴木正利, 藤原祥隆, 前田康成 (北見工大)
- 7 ポッドキャスト用モバイル学習システム - コンテンツの自動生成 -
○提箸浩志, 梶山拓哉, 福井登志也, 市村 哲 (東京工科大)
- 8 ポッドキャスト用モバイル学習システム - PSP(R) 用プレイヤーの開発 -
○梶山拓哉, 提箸浩志, 福井登志也, 市村 哲 (東京工科大)
- 学生セッション [3ZG 会場] (3月14日 (金) 9:30 ~ 12:00)**
e ラーニング (1) 座長 高岡 詠子 (千歳科技大)
- 1 教育用資料を対象とした検索・表示方法の提案
○柴田ちひろ, 藤澤公也 (東京工科大)
- 2 タイ語における E ラーニング提供システムの提案
○ジュタマス パンウィライ, 野地 保,
ジャルワン プティカルコット, 有野真史 (東海大)
- 3 学生が作成した問題の類似性に基づいた自動分類方式の提案
○高木輝彦, 高木正則, 勅使河原可海 (創価大)
- 4 e ラーニング環境における新しい協調学習と学習ポートフォリオに関する
検討 - 学習成果の真正な評価法の開発に向けて -
○何 嵩昊, 齋藤健司, 前田 隆 (北海道情報大)
- 5 教材作成による協調学習方式 ○阿部 悠, 小泉寿男 (電機大)
- 6 素材共有型 e-Learning System でのコースウェアの実現に関する研究
○山川耕平 (千歳科技大)
- 7 ベイジアンネットワークを利用した e-Learning システムの試作と検証
○矢吹 守, 大木幹雄 (日本工大)
- 8 ブログコミュニケーションによる相互学習型 e ラーニングシステムの構築
~ 株式投資を題材とした事例研究 ~
○野村義典, 中本大仁, 松永信介 (東京工科大)
- 9 3D を用いた民具学習支援 e ラーニング教材の開発と評価
○林 直孝, 斎野 令, 松永信介 (東京工科大)
- 学生セッション [4ZG 会場] (3月14日 (金) 15:30 ~ 17:30)**
教科学習 座長 大坐 皐 智 (農工大)
- 1 高校教科「情報」の自主学習支援システムの検討
○大町有香, 榎木 浩 (兵庫大)
- 2 リモートセンシングデータによる画像処理で養う科学的思考力・判断力
「情報の科学 (普通教科「情報」)」の題材として
○秋 裕基 (宮崎大),
永井 誠 (宮崎県清武町立加納中学校), 新地辰朗 (宮崎大)
- 3 国際会議における英語発表原稿作成支援ツールの開発
○井上陽介, 安田孝美, 横井茂樹 (名大)

- 4 音声合成と画像情報を組合わせた英会話学習支援システム
○日下大輔, 堀 幸雄, 今井慈郎 (香川大)
- 5 Google Map と古地図を用いた地域学習支援システムの試作
○工藤 彰 (岩手県大), 齊藤 巖 (岩手県立金ヶ崎高等学校),
市川 尚, 阿部昭博 (岩手県大)
- 6 日本地図を題材としたタンジブルユーザインタフェース教材の開発
○佐伯徳秀, 片山茂友 (日本工大)
- 7 数理分野を対象とした問題解決支援システム“MathGUIDe”の数学教育への
応用 ○杉山貴俊, 岸本貞弥, 櫻井鉄也, 北川高嗣 (筑波大)
- 8 初等幾何学教育用ソフトウェア HiZy の開発と今後のあり方について
○新井浩史郎 (早大)

学生セッション [5ZG 会場] (3月15日(土) 9:30 ~ 12:00)

幼児教育 座長 大即 洋子 (清和大)

- 1 確率的インデックスによる事例ベース検索
○阿部仁紀, 藤原祥隆, 前田康成, 吉田秀樹 (北見工大)
- 2 活動量のクラスタリングに基づく子どもの交友関係の自動抽出 (その2)
○勝木琢也 (同志社大), 新谷公朗, 糖野亜紀 (常磐会短大),
芳賀博英, 金田重郎, 柴田征宏 (同志社大)
- 3 学童保育情報サイトにおけるテキストマイニング技術の活用
○鈴木康祐, 岡本 東, 堀川三好, 菅原光政 (岩手県大)
- 4 保育実習教育におけるビデオの教育効果の評価
○田中陽子, 高見健作, 太田聡史 (同志社大),
新谷公朗, 平野真紀 (常磐会短大), 芳賀博英 (同志社大)
- 5 保育所における効率的な写真管理システムの構築
○平野貴義, 佐々木淳, 山田敬三,
田中 充, 井上孝之, 船生 豊 (岩手県大)
- 6 主成分分析を用いた保育活動特性の抽出
○仁木賢治 (同志社大), 新谷公朗, 糖野亜紀 (常磐会短大),
金田重郎, 芳賀博英 (同志社大)

学生セッション [6ZG 会場] (3月15日(土) 14:30 ~ 17:00)

学習支援システム 座長 小山 博史 (ガリレオ)

- 1 事例ベース簡易オーサリングツールの HI の開発
○鈴木昭則, 藤原祥隆, 前田康成 (北見工大)
- 2 Nintendo DS を使った協調学習システム ○武田和也 (広島大)
- 3 読点の打ち方と語の並べ方の競合回避による日本語文章の推敲支援手法
○須藤崇志, 丸山 広, 鈴木健之, 中村太一 (東京工科大)
- 4 学習支援環境「港」における Nachos を用いた OS 可視化ツールの開発
○本橋大樹, 早川栄一 (拓大), 西野洋介 (府中工業高校)
- 5 採点者の意図を加味した自由記述採点支援システム
○朝日信成, 藤森 誠, 松田基弘, 伊藤一成, Martin J. Duerst (青学大)
- 6 タブレット PC を用いた他の生徒のノートを覗けるノートシステムの開発
○角方寛介, 加藤直樹, 山崎謙介 (東京学芸大)
- 7 ノートテイキングにおける手書きとワープロの質的な差に関する検討(3):
コーネル式ノートテイキング法の有用性をめぐって ○藤井多聞,
長谷川正幸, 小山恭平, 両角佑太, 中村太戯瑠 (東京工科大),
田丸恵理子 (富士ゼロックス), 上林憲行 (東京工科大)
- 8 ノートテイキングにおける手書きとワープロの質的な差に関する検討(4):
講義内容の記憶と視覚に関する考察 ○小川美沙都, 秋山 翔,
渡辺早苗, 友近威志, 中村太戯留 (東京工科大),
田丸恵理子 (富士ゼロックス), 上林憲行 (東京工科大)

学生セッション [1ZH 会場] (3月13日(木) 13:00 ~ 15:00)

スキルサイエンスとエデュテイメント 座長 倉本 到 (京都工織大)

- 1 ストリートダンスの動作特徴抽出と上達のための着目点提示
○柿澤春佳, 松田浩一, 郡 未来 (岩手県大)
- 2 初心者向け対話的デッサン学習支援システムのための基礎的検討
○藤原達朗, 亀田昌志 (岩手県大)
- 3 バレーボールにおける練習の流れを考慮したスパイク動作簡易確認システム
○菅野里美, 松田浩一, 高橋智也 (岩手県大)
- 4 モーションキャプチャ支援によるギター運指練習法について
○河村辰也, 塩澤隆允 (サレジオ高専),
綾井 環 (アドオンシステム), 市村 洋, 吉野純一 (サレジオ高専)
- 5 日本舞踊「振り帳」の狂言「小舞」適応に関する一考察
○塩澤隆允, 新保瑛規, 廣中亜弓, 神山健太, 原 直人 (サレジオ高専),
山崎誠也 (東海大), 吉野純一, 市村 洋 (サレジオ高専)

- 6 映画の映像撮影技法の分析とシミュレーション
○有馬朋和, 小方 孝 (岩手県大)
- 7 漫才番組における観客と漫才師の音声判別
○中村誠宏, 阿部孝司 (近畿大)

学生セッション [2ZH 会場] (3月13日(木) 16:30 ~ 18:30)

プログラム教育 座長 石田 厚子 (日立コンサルティング)

- 1 実行履歴差分を用いたプログラム学習ツールの提案
○内村隆聖, 瀬川典久, 杉野栄二, 澤本 潤 (岩手県大)
- 2 (講演取消)
- 3 仮想 Linux 環境を用いたネットワーク教育システムにおける通信の
可視化機能の実装 ○上田拓実, 井口信和 (近畿大),
島村 博 (イーラボ・エクスペリエンス)
- 4 Java アプレットのプログラミング初学者のためのトレース能力の修得を
目的とした学習支援システムの設計
○山本雅也, 下川 亮, 福原 幸, 高橋陽介, 高橋和也,
石崎由也, 三好健一, 中村駿介, 水谷晃三, 荒井正之 (帝京大)
- 5 ゲーム環境を用いた図形学習支援システムの開発
○新井智也, 伊藤 誠 (中京大)
- 6 情報系独立大学院における課題達成型プログラミング教育の分析
○岡本雅子 (京大), 小野 功, 木賀大介, 寺野隆雄,
山田隆志, 小山友介 (東工大), 喜多 一 (京大)
- 7 コンピュータアーキテクチャ学習のための CPU シミュレータの開発と評価
○嶋田佑希, 猪股俊光, 新井義和, 曾我正和 (岩手県大)
- 8 RPG を活用した情報処理教育 ○村上雅俊, 千代谷典広,
中川敬介, 上小路進一, 皆月昭則 (釧路工大)

学生セッション [3ZH 会場] (3月14日(金) 9:30 ~ 12:00)

医療分野への応用 座長 三宅 仁 (長岡技科大)

- 1 MIP 表示を用いた MRI・MRA 画像の自動レジストレーション法
○高橋裕次郎, 松田浩一 (岩手県大)
- 2 家庭用小型 MRI の実現に向けた超低磁場 MR 画像からの脳疾患検出
○大内優子 (岩手県大),
藤原俊朗, 上野育子 (岩手医大), 亀田昌志 (岩手県大)
- 3 頭部 MRI/MRA 画像における共通特徴点に基づいた位置合わせ手法
○中村慶太 (岩手県大),
藤原俊朗, 上野育子 (岩手医大), 亀田昌志 (岩手県大)
- 4 脳機能画像の解析用フレームワークの作成
○寺井はるな, 瀬々 潤 (お茶の水女子大)
- 5 静脈注射リスク因子予知分析システム ○山田智子, 鈴木智充,
西城英之 (宮城大), 秦 直紀 (シルフィード),
大川禎子 (宮城大/仙台医療センター), 富樫 敦 (宮城大)
- 6 転倒予防のための歩行バランスに着目した歩行解析
○松原淳一, 郡 未来, 高橋智也, 松田浩一 (岩手県大)
- 7 患者ベッドサイドにおける医療行為自動認識システムの構築
○太田沙紀子, 大橋久美子 (東京医歯大), 津田喜人 (ユニアデックス),
上松正史 (日立), 田中 博 (東京医歯大)
- 8 在宅診療現場における同期・非同期対応型情報共有システムの開発と
その評価 ○榎本紗耶香, 吉野 孝 (和歌山大),
紀平為子, 入江真行 (和歌山県医大)
- 9 センサを用いた VDT 症候群予防システム
○堀 竜慈, 原田直己, 藤井 慶 (熊本電波高専)

学生セッション [4ZH 会場] (3月14日(金) 15:30 ~ 17:30)

ゲーム AI 座長 片寄 晴弘 (関西学院大)

- 1 美しい迷路を作成するプログラム
○牧野弘明, 藤本敬介, 中山泰一 (電通大)
- 2 石取りゲームを事例としたゲームデザイン性に関する研究
○宮田 渉 (サレジオ高等専門学校),
蛭田雄一 (農工大), 市村 洋 (サレジオ高専)
- 3 オブジェクト指向を用いたゲームプログラミングの検討
○小林和輝, 小泉寿男 (電機大)
- 4 数独の問題作成支援システムの設計と開発
○前田一貴, 奥乃 博 (京大)
- 5 ニューラルネットワークの出力再検討による格闘ゲーム AI の行動多様性
向上手法
○中川明紀, Ruck Thawonmas, 逢坂翔太, 柴崎智哉 (立命館大)

6 物語生成システムにおける簡易な単文・複文生成方式

○佐藤秀樹, 小林厚太, 安田孝道, 小方 孝 (岩手県大)

7 自然言語テキストからのストーリー抽出と事象概念構造化システムの構築

○大石顕祐, 小方 孝 (岩手県大)

学生セッション [5ZH 会場] (3月15日(土) 9:30~12:00)

物語の分析と生成 座長 星野 准一 (筑波大)

1 映像作品の物語構造分析における分析手法の自動化に関する一研究

○重久礼美, 高田明典 (フェリス女学院大)

2 商品パッケージ画像の訴求構造分析

— 娯楽制作物の訴求構造分析の一事例として —

○竹野真帆, 高倉 舞, 高田明典 (フェリス女学院大)

3 娯楽制作物におけるポストモダン要素の検討

○金子沙織, 高田明典 (フェリス女学院大)

4 ストーリー広告におけるブランド出現レトリックの分析と生成

○志村和彦, 小方 孝 (岩手県大)

5 物語生成における事象どうしのつながりについて

○秋元泰介, 小方 孝 (岩手県大)

6 物語内容における構造の考察とシステム化

○中嶋美由紀, 小方 孝 (岩手県大)

学生セッション [6ZH 会場] (3月15日(土) 14:30~17:00)

エンタテインメントコンピューティング一般 座長 常盤 拓司 (東大)

1 物語概念表現からの映像構成支援システム

○草島雄太郎, 小方 孝 (岩手県大)

2 物語生成システムにおける効果音自動添付システムの構築

○平松雅也, 小方 孝 (岩手県大)

3 リアルタイム観戦サポートシステムの一例

○下野哲郎, 松下宗一郎 (東洋大)

4 MIDIに同期した動画コンテンツ生成システム

○田丸竜也, 市村 哲 (東京工科大)

5 描画する出来事の重みに応じて縦横幅を決定する自動コマ割り手法

○首田大仁, Ruck Thawonmas (立命館大)

6 顔画像を用いたデフォルメ化に関する研究

○安彦智史, 西田智史, 田中成典, 杉町敏之, 馬石直登 (関西大)

7 眼球画像処理を用いたドライバ向け事故防止システムに関する検討

○篠田貴之, 加藤誠巳 (上智大)

学生セッション [1ZJ 会場] (3月13日(木) 13:00~15:00)

行動・資料の分析, 提案 座長 立田 ルミ (獨協大)

1 Web-GISによる投票行動モデル分析サービスの試み

○木村真理子, 辻 光宏 (関西大)

2 科学技術予測調査文書の視覚的分析

富樫 敦 (宮城大), 藤井章博 (文部科学省科学技術政策研究所)

3 古典史料テキストの時代横断型検索手法の提案

○小牟礼雅之, 前田 亮 (立命館大)

4 文章表現における男女の特徴の差

○斉藤敦美, 中山伸一, 真栄城哲也 (筑波大)

5 スマート・アウトレットを用いた消費生活用製品のリコール支援システム

○大野裕将, 井上雅裕 (芝浦工大)

6 An Analysis and Decision Support System for Museum Management Based on Visitor's Action

○周 齊, 曹 キ峰, 蔡 大維 (岩手県大)

7 微環境ネットワーク ~ 微気候データと花粉飛散量データの統合収集システム ~

○大井聡史, 天野真家 (湘南工科大)

8 QRコードの多色化による2次元コードの大容量化について

○助川修司, 伊藤正都, 近藤圭佑, 大園忠親, 新谷虎松 (名工大)

学生セッション [2ZJ 会場] (3月13日(木) 16:30~18:30)

人間行動, 障害等支援 座長 村上 晴美 (大阪市大)

1 赤外線配信を用いる展示品閲覧システムの提案

○馬 安寧 (岩手県大)

2 歴史画像閲覧システムの解説表示に関する利用者特性の評価

○早野浩章, 徳永幸生 (芝浦工大),

安達文夫, 鈴木卓治 (国立歴史民俗博物館)

3 HMDによる車椅子利用者向け観光支援システムの検討

○米田信之, 市川 尚, 阿部昭博 (岩手県大)

4 実世界自由散策支援ナビゲーションシステムの提案

○伊藤花乃子, 石塚宏紀, 澤 義和 (電機大),

児玉哲彦 (慶大), 戸辺義人 (電機大)

5 モーションキャプチャを使用してエクササイズを支援するシステム

○坂寄 寛, 市村 哲, 福井登志也 (東京工科大)

6 動画視聴時の注目点を考慮した動画推薦方法の提案

○夏目大伍, 入部百合絵, 桂田浩一, 新田恒雄 (豊橋技科大)

7 肌質変化を考慮した3Dメイクアップシミュレーションの提案と実装

○河野 碧 (東理大),

平石広典 (ウィズダムテック), 溝口文雄 (東理大)

8 サーモカメラによるVDT障害を自動検知するシステム

○深田幸四郎, 市村 哲 (東京工科大)

学生セッション [3ZJ 会場] (3月14日(金) 9:30~12:00)

災害情報システム 座長 野田五十樹 (産総研)

1 個人の生活スタイルをベースとした災害意識啓発と防災教育のためのシステム

○山本知彦, 仲谷善雄 (立命館大)

2 自己組織化マップによる台風の被害予測

○長谷川亮, 小原和博 (千葉工大)

3 時空間データを考慮した大規模分散型災害情報提供システム

○西尾義則 (岩手県大)

4 (講演取消)

5 津波警報にもとづく避難可能性エリア導出に関する支援システムの研究

○佐々木悠人, 皆月昭則 (釧路工大)

6 閉所空間における避難誘導システムの提案—エージェントシステムによる人と災害状況の管理—

○国本洋平, 仲谷善雄 (立命館大)

7 屋内外における住民位置情報を利用した安否システム

○成田俊輔 (岩手県大)

8 信頼性・柔軟性に優れた独居高齢者見守りシステムの提案

○菅野俊介, 佐々木淳, 山田敬三, 田中 充, 船生 豊 (岩手県大)

9 携帯電話を用いた災害時聴覚障害者支援システムの開発

○鈴木慶太, 林原めぐみ, 藤井雅弘, 渡辺 裕 (宇都宮大)

学生セッション [5ZJ 会場] (3月15日(土) 9:30~12:00)

バイオ情報学 座長 渋谷 哲朗 (東大)

1 大きく変異したマルチドメインタンパク質に対するMDHMMERの改良

○平田裕和, 松井藤五郎, 大和田勇人 (東理大)

2 (講演取消)

3 ILPを用いたBCL2ファミリータンパク質の一次構造からのフォールド予測

○河村真平, 松井藤五郎, 賀屋秀隆,

大和田勇人, 朽津和幸 (東理大)

4 判別分析を用いた形質への影響たんぱく質を発見するデータマイニング手法

○横山恵樹, 井上悦子, 吉廣卓哉, 中川 優 (和歌山大)

5 線虫の初期発生における遺伝子発現のクラスタリング解析

○鈴木義実, 中山伸一 (筑波大),

伊藤将弘 (立命館大), 真栄城哲也 (筑波大)

6 順位情報を用いた遺伝子発現量情報のクラスタリング

○甲藤恭子, 瀬々 潤 (お茶の水女子大)

7 大規模なクラスタリング結果に対する探検型可視化システムの構築

○多飯田祐己, 井上悦子, 吉廣卓哉, 中川 優 (和歌山大)

学生セッション [6ZL 会場] (3月15日(土) 14:30~17:00)

情報システムの事例 座長 市川 照久 (静岡大)

1 インターネット上での情報交換を用いたサービスマッチング方式の提案

○多田優也, 柿崎淑郎, 辻 秀一 (東海大)

2 調理師の視点に基づく地域食料情報提供システムの構築

○櫻庭秀司, 佐々木淳, 山田敬三, 田中 充, 吉岡美子,

長坂慶子, 松本絵美, 河野紗代, 船生 豊 (岩手県大)

3 プリペイド型簡易商店システムの実装と評価

○佐藤義祐, 齊藤義仰, 藤原康宏, 村山優子 (岩手県大)

4 大学キャンパスにおける個人適応型情報通知システム

○相笠直子, 山口治男 (東京工科大)

5 Webコンテンツ同期配信技術を用いたニュース記事メニュー配信システムの試作

○児玉政幸, 伊藤正都, 大園忠親,

新谷虎松 (名工大), 青崎保好 (共同通信社)

6 ブログの話題と地域情報の動的連携による付加価値情報配信システムの開発

○所 昂志, 久保純一, 南野謙一, 渡邊慶和 (岩手県大)

7 ブログの話題と地域情報の動的連携によるモバイル付加価値情報配信システムの開発

○村田陽平, 所 昂志, 南野謙一, 渡邊慶和 (岩手県大)

8 コージェネレーション温室栽培施設自動管理システムの開発

○野口貴大, 三上雅之 (電機大),
井藤俊行 (京葉プラントエンジニアリング),
松本二郎 (京葉ガス), 紫合 治 (電機大)

学生セッション [5ZM 会場] (3月15日 (土) 9:30 ~ 12:00)

企業と情報システム 座長 宮川 裕之 (文教大)

1 自己組織化マップによる商品の分類と可視化

○土井添淳一, 小原和博 (千葉工大)

2 印刷機製造会社における生産工程 / 製造原価管理システムの開発

○荒木孝行, 柳楽佑太, 越田高志 (松江高専)

3 食品加工業を対象とした生産管理システムの開発

○十文字豊, 堀川三好, 竹野健夫, 菅原光政 (岩手県大)

4 マルチエージェントによるマーケティングモデルのシミュレーション

○寺内義人, 小原和博 (千葉工大)

5 財務分析ルールのXML化とそれを用いた投資支援ツールの試作

○高橋直人 (東京工科大)

6 合意形成型グループ決定法を利用した最適協調性の定量評価

○村上雅俊, 柿崎達哉, 松元初美, 皆月昭則 (釧路公大)

7 ランキングベクトルを適用した産業構造格付け手法

○吉村健太, 本田真望, 大島邦夫 (東理大)

8 特許引用関係を用いた企業の特許力評価

○鈴木 優, 中平勝子, 三上喜貴 (長岡技科大)

デモセッション [デモ会場]

デー 06 (3月14日 (金))

プログラミングの知識を要求されない視覚的・対話的な教材開発環境

○戸練 樹, 中野和貴, 志田晃一郎,
吉田国子, 横山孝典, 兪 明連 (武蔵工大)

デー 07 (3月13日 (木), 3月14日 (金), 3月15日 (土))

完全にコピー自由な教育用コンテンツ配信システムの構築に向けて

○桐山和彦 (鳥羽商船高専), 白石啓一 (詫間電波高専),
原 元司 (松江高専), 本間啓道 (奈良高専), 白濱成希 (北九州高専),
岡田 正 (津山高専), 山本喜一 (OpenEdu プロジェクト)

第5分冊

「情報爆発」時代に向けた新しいIT基盤技術

一般セッション [1J会場] (3月13日(木) 13:00～15:00)

情報爆発時代における情報提示・センサネット・P2P

座長 川島 英之 (筑波大)

- 1 情報爆発社会におけるユーザ状況を考慮した情報提示装置選択機構
○田中宏平 (阪大), 寺田 努 (神戸大), 西尾章治郎 (阪大)
- 2 情報爆発社会のための装着型ディスプレイの注視状況に基づく情報提示手法
○沖野将司, 寺田 努, 塚本昌彦 (神戸大), 義久智樹 (京大)
- 3 Webとユビキタス実環境の横断的情報サービス開発プラットフォーム
○赤星祐平, 大島裕明 (京大), 木俣 豊 (NICT), 田中克己 (京大)
- 4 センサネットワークの設計開発を支援するシミュレーション融合型テストベットの検討
○池田和史, 大田雄也, 森 駿介, 梅津高朗, 山口弘純 (阪大), 東野輝夫 (阪大/JST)
- 5 非構造型P2Pネットワークにおける情報爆発を考慮した更新伝播に関する一考察
○渡辺俊貴, 神崎映光, 原 隆浩, 西尾章治郎 (阪大)
- 6 Economic Incentives for improving user participation in Mobile-P2P networks
○Anirban Mondal (東大), Sanjay Madria (University of Missouri-Rolla), 喜連川優 (東大)

一般セッション [2J会場] (3月13日(木) 16:30～18:30)

情報爆発時代におけるマルチメディアデータと交通情報システム

座長 小林 隆志 (名大)

- 1 マルチメディアデータを対象とした情報モニタリングのためのアクティブルール記述・管理手法
○倉林修一, 清水 康 (慶大)
- 2 印象推移による楽曲検索のための感性メタデータ生成方式
○浦木 (伊地智) 麻子, 清水 康 (慶大)
- 3 確率モデルに基づく木の類似度のパラメータ学習について
○深川大路, 高須淳宏 (国立情報学研), 阿久津達也 (京大)
- 4 Efficient General Dominant Relationship Analysis based on Partial Order Models
○楊 征路, 李 琳, 喜連川優 (東大)
- 5 時空間MRFモデルを用いた交差点事故回避支援技術
○木間俊宏, 藤村嘉一, 上條俊介 (東大)
- 6 高速道路における安全運転支援システムの開発
○木間俊宏, 藤村嘉一, 上條俊介 (東大)

一般セッション [3J会場] (3月14日(金) 9:30～12:00)

情報爆発時代における構造化文書とストレージ技術

座長 石川 佳治 (名大)

- 1 An Algorithm for XML Cube Computation in XML-OLAP
○Kit Chantola, 天笠俊之, 北川博之 (筑波大)
- 2 情報爆発時代における文書構造を考慮した検索システムのユーザインターフェース
○伊藤智博, 宮崎 純, 中島伸介 (奈良先端大), 植村俊亮 (奈良産業大), 加藤博一 (奈良先端大)
- 3 SPARQLを利用したCDL(Concept Description Language)データの検索
○高山智史, 石塚 満 (東大), 横井俊夫 (東京工科大)
- 4 SSJoinを用いた曖昧な駅名記述の高速クリーニング手法
○相良 毅, 喜連川優 (東大)
- 5 膨大な天体データを効率的に検索する方法の考察と実装
○田中昌宏, 白崎裕治, 大石雅寿, 水本好彦 (国立天文台), 石原康秀, 堤 純平, 町田吉弘 (富士通), 中本啓之, 小林佑介, 坂本道人 (セック)
- 6 iSCSIを用いる遠隔ミラーの動作解析
○小山芳樹, 山口実靖, 淺谷耕一 (工学院大)
- 7 Multimedia object placement in transcoding-enabled wide-area storage systems
○ウエンユウ クー, 喜連川優 (東大)

一般セッション [4J会場] (3月14日(金) 15:30～17:30)

情報爆発時代におけるデータマイニング

座長 小口 正人 (お茶の水女子大)

- 1 情報爆発時代の広告研究
○矢田勝俊 (関西大), 鷺尾 隆 (阪大)
- 2 アイテム間の相関性を利用したトランザクションデータに対する外れ値検出手法
○成田和世, 北川博之 (筑波大)
- 3 経験マイニングのための事実性解析
○原 一夫, 東山昌彦, 乾健太郎, 松本裕治 (奈良先端大)

4 UT-Kiwi: 検索支援としてのテキストマイニングシステム

○吉田 稔, 中川裕志 (東大)

5 構造的類似性に着目した多変量時系列医療データのクラスタ分析

○平野章二, 津本周作 (島根大)

一般セッション [5J会場] (3月15日(土) 9:30～12:00)

情報爆発時代におけるWebおよびblogマイニング

座長 中島 伸介 (奈良先端大)

- 1 Name Disambiguation Using Topics Extracted from Web Directories in Information-explosion Era
○Quang Minh Vu (東大), 高須淳宏, 安達 淳 (国立情報学研)
- 2 Wikipediaの階層構造を知識源とする上位下位関係の自動獲得
○隅田飛鳥 (北陸先端大), 吉永直樹 (日本学術振興会), 鳥澤健太郎 (北陸先端大)
- 3 特定トピックのブログサイト検索: Wikipedia エントリとブログサイトの対応付けに向けて
○川場真理子, 宇津呂武仁 (筑波大), 福原知宏 (東大)
- 4 Wikipediaを用いた多言語ブログ検索のための訳語抽出
○新井嘉章 (電機大), 福原知宏 (東大), 増田英孝 (電機大), 中川裕志 (東大)
- 5 トピック依存型意見検索モデルの開発とブログに対する評価
○新井勇輝, 江口浩二 (神戸大)
- 6 キーワードのバースト特性を利用したスパムブログデータセットの作成と分析
○佐藤有記, 宇津呂武仁 (筑波大), 福原知宏 (東大), 河田容英, 村上嘉陽 (ナビックス), 中川裕志 (東大), 神門典子 (国立情報学研)
- 7 スパムブログに関する定量的調査支援ツールの開発
○芳中隆幸 (電機大), 福原知宏 (東大), 増田英孝 (電機大), 中川裕志 (東大)

一般セッション [6J会場] (3月15日(土) 14:30～17:00)

情報爆発時代における情報検索・推薦技術およびWebコミュニティ分析
座長 山名 早人 (早大)

- 1 Thematic and temporal analysis of Thai Web communities
○KULWADEE SOMBOONVIWAT, 喜連川優, 鈴木慎司 (東大)
- 2 ウェブ空間におけるユーザ行動の理解支援に関する一考察
○大塚真吾, 喜連川優 (東大)
- 3 User-Assisted Similarity Estimation for Searching Related Web Pages
○Lin Li, 喜連川優 (東大)
- 4 情報爆発時代のための制約付クラスタリングを用いた適合性フィードバック手法の提案
○辻下卓見 (東大), 安達 淳, 相澤彰子, 高須淳宏 (国立情報学研)
- 5 情報爆発時代に向けたコンテキストウェア情報推薦方式のための特徴パラメータ最適化手法
○奥 健太, 中島伸介, 宮崎 純 (奈良先端大), 植村俊亮 (奈良産業大), 加藤博一 (奈良先端大)
- 6 並列検索のための編集操作に基づく同期的再ランキング
○中村聡史, 山本岳洋, 田中克己 (京大)

一般セッション [1K会場] (3月13日(木) 13:00～15:00)

情報爆発時代における情報ガバナンス 座長 須藤 修 (東大)

- 1 企業の立地地域が情報セキュリティ対策に及ぼす影響に関する研究
○田中秀幸 (東大)
- 2 地域情報化施策とネットワーク形成に関する研究
○岡本健志, 田中秀幸 (東大)
- 3 情報爆発時代の国民経済計算のアーキテクチャデザイン
○出口 弘 (東工大), 榎 俊吾 (東京工科大), 小山友介 (東工大)
- 4 メッセージング・ネットワークを用いた情報基盤
○林 隆史 (会津大), 福原英之 (ネットワンシステムズ), 齋藤本和, 森田敬一 (エフコム), 川内見作 (会津大), 古瀬田勇, 杉本康則, 藤田龍太郎 (ネットワンシステムズ), 宮崎敏明, 齊藤祐朗 (会津大)
- 5 人工市場サービスを用いた市場行動の評価
○和泉 潔 (産総研), 鳥海不二夫 (名大), 松井宏樹 (シーエムディーラボ)
- 6 情報爆発時代の小額決済手段に関する一考察
○相馬 翔, 伊藤 仁, Vili Lehdonvirta, 木村浩章, 中島達夫 (早大)

一般セッション [2K会場] (3月13日(木) 16:30～18:30)

情報爆発時代における実世界情報解析とロボット

座長 久野 義徳 (埼玉大)

- 1 画像・単語列間の確率的な概念獲得による高速かつ高精度な汎用的画像認識・検索手法
○原田達也, 中山英樹, 國吉康夫 (東大), 大津展之 (産総研)
- 2 サイバーゴグル: 画像情報からリアルタイムに実世界記述・検索を行うシステム
○中山英樹, 原田達也, 國吉康夫 (東大)
- 3 ジャーナリストロボットシステム: 実世界からの自律的ニュース探索と事象の記述
○松本理恵, 原田達也, 中山英樹, 國吉康夫 (東大)
- 4 単眼画像からの形状特徴を用いた日常動作認識
○佐藤 真, 下坂正倫, 森 武俊, 佐藤知正 (東大)
- 5 実世界インタラクション理解のためのマルチモーダルデータ分析環境の構築
○來嶋宏幸, 坊農真弓, 角 康之, 西田豊明 (京大)

一般セッション [3K会場] (3月14日(金) 9:30～12:00)

情報爆発時代における相互コミュニケーション技術

座長 角 康之 (京大)

- 1 音声対話システムにおける誤り原因の階層的分類とその推定に基づく発話誘導
○駒谷和範, 福林雄一郎, 池田智志, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 2 教師と生徒の InterActor を一人二役で演じるエデュテインメントシステムの開発
○山本倫也, 渡辺富夫 (岡山県大)
- 3 高齢者介護施設における依頼行為の相互行為分析
○秋谷直矩, 山崎敬一, 三橋弘次, 久野義徳 (埼玉大)
- 4 介護ロボットの見まわし行動
○丹羽仁史, 石川直人, 久野義徳, 山崎敬一 (埼玉大)

一般セッション [4K会場] (3月14日(金) 15:30～17:30)

情報爆発時代における分散処理とセキュリティ

座長 遠藤 敏夫 (東工大)

- 1 配列の縮退表現による大規模並列タスクネットワークの実装効率化
○大野和彦, 張 鉄群, 佐々木敬泰, 近藤利夫 (三重大), 中島 浩 (京大)
- 2 分散検証環境 DiVinE を用いた分散 LTL モデル検査アルゴリズムの性能評価
○渋谷健介, 上田和紀 (早大)
- 3 アスペクト指向的振舞インターフェース記述言語 Moxa によるスケーラブルな仕様記述
○渡部卓雄, 橋本康範 (東工大), 山田 聖 (産総研)
- 4 情報漏洩防止のための暗黙的インフォメーションフロー追跡
○横田侑樹, 塩谷亮太 (東大), 入江英嗣 (科学技術振興機構), 五島正裕, 坂井修一 (東大)
- 5 異常パケットトレースのアドレス局所性に関する解析
○福田健介 (国立情報学研), 廣津登志夫 (豊橋技科大), 明石 修 (NTT), 栗原 聡 (阪大), 菅原俊治 (早大)

一般セッション [5K会場] (3月15日(土) 9:30～12:00)

情報爆発時代における分散システム技術 座長 田浦健次郎 (東大)

- 1 番組表に基づく Peer-to-Peer 映像・音声配信機構
○根山 亮, 村岡洋一 (早大)
- 2 実世界情報並列計算基盤の開発
○大武美保子, 田浦健次郎 (東大)
- 3 情報爆発時代におけるモデルベース資源選択による高速な仮想クラスタ構築
○山崎翔平, 丸山直也, 松岡 聡 (東工大)
- 4 情報爆発時代のグリッドファイルシステム上での大規模データ管理
○佐藤 仁 (東工大), 松岡 聡 (東工大/国立情報学研), 遠藤敏夫 (東工大)
- 5 情報爆発時代のローカルノードモニタリングアーキテクチャ
○追川修一, 伊藤 愛 (筑波大)
- 6 多地点断片ダークネットのための統合データ解析ツールの開発
○廣津登志夫, 塩野祐輔 (豊橋技科大), 福田健介 (国立情報学研), 菅原俊治 (早大)
- 7 情報爆発に対応するスケーラブルかつ自律的な障害解析
○丸山直也, 松岡 聡 (東工大)

一般セッション [6K会場] (3月15日(土) 14:30～17:00)

情報爆発時代におけるスーパーコンピューティング

座長 佐藤 三久 (筑波大)

- 1 情報爆発時代のスーパーコンピュータ運用経験: TSUBAME Grid Cluster にて
○西川武志, 松岡 聡 (東工大)

- 2 情報爆発時代へ向けた不均一アーキテクチャにおけるスーパーコンピューティング
○遠藤敏夫, 松岡 聡 (東工大)
- 3 情報爆発に対応する耐故障性 MPI フレームワークの提案
○實本英之, 遠藤敏夫 (東工大), 松岡 聡 (東工大/国立情報学研)
- 4 情報爆発時代のグリッド環境に対応した MPI 集団通信アルゴリズムの最適化
○千葉立寛, 遠藤敏夫, 松岡 聡 (東工大)
- 5 情報爆発時代の光インターコネクト上での MPI 通信アルゴリズム
○滝澤真一郎, 遠藤敏夫 (東工大), 松岡 聡 (東工大/国立情報学研)

学生セッション [6ZJ会場] (3月15日(土) 14:30～17:00)

情報爆発時代における並列分散処理技術 座長 追川 修一 (筑波大)

- 1 並列分散環境における異常原因特定のためのログ解析法の提案と実装、評価
○佐伯勇樹, 田浦健次郎, 近山 隆 (東大)
- 2 分散クラスタ環境におけるユーザ間資源分配の公平性評価支援システム
○太田健介 (東工大), 合田憲人 (国立情報学研/東工大)
- 3 DHT における負荷分散を目的とした複製配置手法の特性改善
○高木邦孝, 蘇 洲, 伊藤二郎 (早大)
- 4 リソースネームスペース管理サービスの実装
○中村昌弘, 建部修見 (筑波大)
- 5 情報爆発時代の分散アプリケーションの性能解析に関する検討
○大野有輝, 菅谷みどり, 権 奇徳, 中島達夫 (早大)
- 6 情報爆発時代の耐障害性 OS 支援の一考察
○島田裕正, 中島達夫, 石川広男 (早大)
- 7 並列 SAT ソルバにおける lemma 共有およびブール制約伝播高速化
○大村 圭, 上田和紀 (早大)
- 8 軽量な LMNtal 実行時処理系 SLIM の設計と実装
○石川 力, 堀 泰祐, 村山 敬, 岡部 亮, 上田和紀 (早大)
- 9 階層グラフ書換え言語 LMNtal によるモデル検査
○岡部 亮, 上田和紀 (早大)

学生セッション [2ZK会場] (3月13日(木) 16:30～18:30)

情報爆発時代におけるコンテンツ格納手段 座長 原 隆浩 (阪大)

- 1 マルチコア・仮想マシン環境における IP-SAN アクセス性能評価
○付 思宇, 神坂紀久子, 小口正人 (お茶の水女子大)
- 2 iSCSI 遠隔ストレージアクセス時の TCP の振舞に関する一検討
○比嘉玲華, 神坂紀久子 (お茶の水女子大), 山口実靖 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 3 VPN 複数経路接続時における並列ストレージアクセスの動作解析
○千島 望 (お茶の水女子大), 山口実靖 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 4 並列データマイニング実行時の IP-SAN 統合型 PC クラスタの動作解析
○原明日香, 神坂紀久子, 小口正人 (お茶の水女子大)
- 5 PC クラスタを利用したパイオインフォデータマイニングに関する一考察
○島本真衣, 小口正人 (お茶の水女子大)
- 6 MANET におけるモバイル DB データ高度処理のためのフレームワークの提案およびミドルウェア実装
○松井愛子, 神坂紀久子 (お茶の水女子大), 山口実靖 (工学院大), 小口正人 (お茶の水女子大)
- 7 KVM を用いた仮想マシンサーバの性能に関する考察
○越智俊介, 山口実靖, 浅谷耕一 (工学院大)
- 8 ディスク空き領域を用いるレプリケーション手法における複製数の増加による性能向上
○窪田将希, 山口実靖, 浅谷耕一 (工学院大)
- 9 Web アプリケーションサーバの動作履歴を用いた性能解析
○奈良田徹, 山口実靖, 浅谷耕一 (工学院大)

学生セッション [3ZK会場] (3月14日(金) 9:30～12:00)

情報爆発時代における Web 技術および Web 情報抽出

座長 瀬本 明代 (NICT)

- 1 Web から抽出した企業間ネットワークに基づく企業価値の予測
○金 英子, 松尾 豊, 石塚 満 (東大)
- 2 汎用的な Web 推薦アルゴリズムの提案
○古川忠延, 松尾 豊 (東大), 内山幸樹 (ホットリンク), 石塚 満 (東大)
- 3 Web を用いた人物の別名抽出
○本間大輝, Danushka Bollegala, 松尾 豊, 石塚 満 (東大)
- 4 Web 情報の多面的集約に基づく不確かなファクト知識の信憑性判断支援
○山本祐輔, 手塚太郎, Jatowt Adam, 田中克己 (京大)

- 5 ソーシャルブックマーク情報を用いた Web 検索結果の再ランキング手法とその評価 ○山家雄介, 中村聡史, Adam Jatowt, 田中克己 (京大)
- 6 ソーシャルブックマークにおけるユーザのタグ付与行動分析に基づくコンテンツ分類 ○大石剛司, 亀田克宙 (東大), 深見嘉明 (慶大), 大向一輝, 武田英明 (国立情報学研)
- 7 A Study On the Structure and Behavior of Web Spam by Link Hijacking ○Young-joo Chung, Masashi Toyoda, Masaru Kitsuregawa (東大)
- 8 Web コンテンツ一貫性管理のための支援ツールの開発 ○高橋公海, 澤菜津美, 森嶋厚行, 杉本重雄, 北川博之 (筑波大)
- 9 WebCrawler 型 DRM 情報半自動付加機能のための制御に要する情報についての検討 ○瀬高昌弘, 天野直紀 (東京工科大), 嶋津恵子 (慶大)
- 10 Web ページ間最短経路探索システムの構築 ○松永 拓, 平手勇宇, 山名早人 (早大)

学生セッション [42K 会場] (3月14日(金) 15:30 ~ 17:30)

情報爆発時代におけるテキストデータ処理

座長 渡辺知恵美 (お茶の水女子大)

- 1 時事問題に対する賛否両意見の自動収集手法 ○井上結衣, 藤井 敦 (筑波大)
- 2 良質なレビューの特性とそれを考慮した評判情報の抽出 ○小倉達矢, 宮野晋平, 永井慎介, 山口実靖, 浅谷耕一 (工学院大)
- 3 評価情報における嗜好性と評価表現の関連性に関する考察 ○百瀬和徳, 山口実靖, 浅谷耕一 (工学院大)
- 4 Web 検索結果のキーワードマップにおける滑らかな重み付け操作による再ランキング ○吉田大我, 中村聡史, 田中克己 (京大)
- 5 Web 質問応答における複数検索エンジンの組合せによる精度向上 ○金井 明, 佐藤 充, 石下円香, 森 辰則 (横浜国大)
- 6 Web 文書を情報源とする non-factoid 型質問応答 ○佐藤 充, 石下円香, 森 辰則 (横浜国大)
- 7 ブラウジング支援のための一覧性の高いキーワードリストの抽出 ○上村卓史, 喜田拓也, 有村博紀 (北大)
- 8 ハイパーリンク活用のためのアンカーテキストの役割分析と分類の研究 ○大塚博紀, 吉岡真治 (北大)
- 9 図書館と Web の分類体系を統合的に活用したテーマグラフ可視化インタフェース ○坂井 哲 (電機大), 清田陽司 (東大), 増田英孝 (電機大), 中川裕志 (東大)
- 10 検索結果クラスタリングのためのページタイプの自動識別 ○姜ナウン, 新里圭司, 黒橋禎夫 (京大)

学生セッション [52K 会場] (3月15日(土) 9:30 ~ 12:00)

情報爆発時代におけるマルチメディアデータと位置依存情報処理

座長 相良 毅 (東大)

- 1 特徴空間の適応的分割を用いた映像中の繰り返し区間検出の高速化 ○鈴木秋吾, 高橋友和, 井手一郎, 村瀬 洋 (名大)
- 2 大規模ニュース映像アーカイブにおける繰り返し映像区間の出現傾向分析 ○社本裕司, 高橋友和, 井手一郎, 村瀬 洋 (名大)
- 3 講義講演ビデオの重要シーン自動抽出によるダイジェスト作成 ○Le Hieu Hanh (東工大), Thitiporn Lertrusdachakul (リコー), 横田治夫 (東工大)
- 4 映像の同一性に着目した同一ニュースイベントの言語横断検索 ○小川 晃, 村瀬 洋, 井手一郎, 高橋友和 (名大)
- 5 曖昧な位置に基づく空間問合せ処理手法の実現 ○飯島裕一, 石川佳治 (名大)
- 6 時間軸と空間軸を利用した情報提示インタフェースの構築 ○山口真弘, 青木貴司, 谷川智洋, 廣瀬通孝 (東大)
- 7 位置と画像を利用したリアルタイムライフログシステム ○仲野潤一, 西村邦裕, 谷川智洋, 廣瀬通孝 (東大)
- 8 トレーサビリティ機構を有する P2P レコード交換システムの開発 ○飯田卓也, 李 峰栄, 石川佳治 (名大)
- 9 キーワード非含有ファイルを検索可能とするファイル間関連速度を用いた検索手法 ○渡部徹太郎 (東工大), 小林隆志 (名大), 横田治夫 (東工大)
- 10 大規模な創薬関連データベースからの化合物探索手法 ○河村 元, 瀬尾茂人, 竹中要一, 松田秀雄 (阪大)

学生セッション [62K 会場] (3月15日(土) 14:30 ~ 17:00)

情報爆発時代におけるストリームデータと実世界情報処理

座長 片山 紀生 (国立情報学研)

- 1 分散ストリーム処理管理システム ORINOCO の評価 ○稲守孝之 (筑波大), 渡辺陽介 (JST), 北川博之, 天笠俊之, 川島英之 (筑波大)
- 2 センサネットワークにおける通信傍受と空間的補間を用いた通信量削減について ○飯間悠樹, 神崎映光, 原 隆浩, 西尾章治郎 (阪大)
- 3 大規模次元観測時系列のダイナミクスモデルに関する研究 ○VietPhuong Nguyen, 鷺尾 隆 (阪大)
- 4 情報爆発時代における P2P 情報検索向きデータ配置手法 ○倉沢 央 (東大), 高須淳宏, 安達 淳 (国立情報学研)
- 5 従業員の職歴を用いた企業間ネットワークの定量分析 ○本多 元, 亀田克宙 (東大), 大向一輝, 武田英明 (国立情報学研)
- 6 QR コードを用いた実世界からの関係情報の抽出と分析 ○木村諒史, 福原知宏 (東大), 大向一輝, 武田英明 (国立情報学研)
- 7 情報爆発社会における状況依存システムのためのコンテキスト定義ツールの開発 ○山下雅史 (阪大), 寺田 努 (神戸大), 西尾章治郎 (阪大)
- 8 個々人の環境問題に関する理解の促進のための情報提示手法に関する一考察 ○大西洋平, 野崎一徳, 秋山豊和, 下條真司 (阪大)
- 9 2次形式最小化に基づく動的順序付けを用いた形式概念探索 ○李 愛香, 原口 誠 (北大)
- 10 二分決定グラフを用いた数独パズルの解探索と列挙 ○立石 匡, 湊 真一 (北大)

学生セッション [12L 会場] (3月13日(木) 13:00 ~ 15:00)

情報爆発時代における視覚情報処理

座長 山根 克 (東大)

- 1 自然画像を対象とする図方向決定アルゴリズム - 視覚皮質の文脈依存性を用いた情報爆発への対応 ○渡辺哲次, 西村 悠, 酒井 宏 (筑波大)
- 2 無意識の意味 - 図方向決定における視覚的注意 ○清水亮平, 我妻伸彦, 酒井 宏 (筑波大)
- 3 色相変化による陰影からの奥行き知覚促進 ○成島和樹, 酒井 宏 (筑波大)
- 4 大域統合による局所運動の無視 ○谷 浩司, 酒井 宏 (筑波大)
- 5 A Semi-Automatic Realtime Calibration Technique for a Handheld Projector ○ヴィンニン ダオ, 杉本雅則 (東大)

学生セッション [22L 会場] (3月13日(木) 16:30 ~ 18:30)

情報爆発時代におけるコミュニケーション手法

座長 水口 充 (NICT)

- 1 情報爆発時代におけるヒューマンコミュニケーション - 聞き上手な対話システムの実現に向けて - ○小島 敬, 川嶋宏彰, 松山隆司 (京大)
- 2 ユーザの注視行動に基づく会話参加態度の推定 - 会話エージェントにおける適応的会話制御に向けて - ○石井 亮, 中野有紀子 (農工大)
- 3 アンドロイドの自然な待機動作のための視線制御 ○力石武信, 中村 泰, 松本吉央, 石黒 浩 (阪大)
- 4 アンドロイドの陪席によるコミュニケーションへの心理的影響 ○高野枝里, 中村 泰, 松本吉央, 石黒 浩, 木村 正, 菅本一臣 (阪大)
- 5 顔の動作に追従した GUI インタフェースを持つ音環境可視化システム ○久保田祐史 (京大), 吉田雅敏 (NTT-AT), 駒谷和範, 尾形哲也, 奥乃 博 (京大)
- 6 大規模英語学習者を対象とした音声の構造的表象に基づく発音分類とその応用 ○鎌田 圭, 高澤真章, 竹内京子, 朝川 智, 峯松信明 (東大), 牧野武彦 (中大), 広瀬啓吉 (東大)

学生セッション [32L 会場] (3月14日(金) 9:30 ~ 12:00)

情報爆発時代における安全, 安心ネットワーク技術

座長 千葉 滋 (東工大)

- 1 自動取得したネットワーク構成情報に基づく MPI 集合通信アルゴリズムの改良 ○吉富翔太, 斎藤秀雄, 田浦健次郎, 近山 隆 (東大)
- 2 ネットワークトポロジを考慮したバンド幅推定の高速度手法 ○長沼 翔, 近山 隆, 田浦健次郎, 高橋 慧 (東大)
- 3 Symmetric NAT に対応する TCP/UDP NAT 越えの新技法 ○魏 元, 後藤滋樹, 山田大輔, 吉田 傑 (早大)
- 4 仮想 IP アドレスを用いたプライベートネットワーク内のノードへの透過的アクセス ○山本剛之, 建部修見 (筑波大)

- 5 Dark IP と Snort によるネットワーク上の攻撃の検知法
○田中祐樹, 後藤滋樹 (早大)
- 6 断片ダークネット・アドレス宛パケット収集ブリッジの開発と評価
○今間俊介 (早大), 福田健介 (国立情報学研), 廣津登志夫 (豊橋技科大), 菅原俊治 (早大)
- 7 軽量ネットワーク IDS 向け検知ルール圧縮法の提案
○西 孝王, 前田敦司, 山口喜教 (筑波大)
- 8 通信端点における侵入検知システムのカーネルモジュールを用いた実装手法
○松井 卓, 前田敦司, 山口喜教 (筑波大)
- 9 通信端点における TCP レベル侵入検知モジュールの実装
○渡辺祐介, 前田敦司, 山口喜教 (筑波大)

学生セッション [4ZL 会場] (3月14日(金) 15:30 ~ 17:30)

情報爆発時代におけるセンサネットワーク技術

座長 合田 憲人 (国立情報学研)

- 1 情報爆発時代のセンサにより日常の行動を反映する情報表現システム その1
○和気千陽, 日下照英, 鈴木英恵, 木村浩章, 中島達夫 (早大)
- 2 情報爆発時代のセンサにより日常の行動を反映する情報表現システム その2
○鷺尾泰之, 白石 幸, 高山千尋, Vili Lehdonvirta, 木村浩章, 中島達夫 (早大)
- 3 LTTng を使った情報爆発時代の性能解析の検討
○権 奇徳, 菅谷みどり, 大野有輝, 中島達夫 (早大)
- 4 情報爆発時代の Hit and Reboot!
○野崎政樹, 木村浩章, 杵淵雄樹, 中島達夫 (早大)
- 5 無線センサーネットワークを使用した Passive な混雑推定システム
○中塚正之, 岩谷 周, 甲藤二郎 (早大)
- 6 センサネットワークにおける SLAM を用いた位置推定実験
○山田寿夫, 甲藤二郎, 中塚正之 (早大)
- 7 情報爆発時代におけるセンシングデータ運用管理基盤の実装と提案
○山内正人, 洞井晋一, 松浦知史, 藤川和利, 砂原秀樹 (奈良先端大)
- 8 情報爆発時代のセンサネットワーク通信基盤技術 6LoWPAN の実装と評価
○佐藤貴彦, 佐藤貴彦, 島田秀輝, 藤川和利, 砂原秀樹 (奈良先端大)
- 9 自動シグネチャ生成システムにおけるトラフィック情報収集方式に関する検討
○東島 慶, 中村 豊, 池永全志 (九工大), 飯田勝吉 (東工大)
- 10 センサからの情報に基づいたシグネチャ自動生成システムのモデル化と基礎検討
○小林武史, 飯田勝吉 (東工大), 中村 豊, 池永全志 (九工大)

(リーディングプロジェクト e-society)

一般セッション [1L 会場] (3月13日(木) 13:00 ~ 15:00)

リーディングプロジェクト e-society: 高信頼性組み込みソフトウェア (1)

座長 中島 達夫 (早大)

- 1 モデル検査技術による UML 設計検証に関する考察
○岸 知二 (北陸先端大), 野田夏子 (NEC)
- 2 モデル検査によるリアルタイムオペレーティングシステムの検証実験
○青木利晃 (北陸先端大)
- 3 UML 設計に対するモデル検査のための検証パターン
○金井勇人, 岸 知二 (北陸先端大)
- 4 高信頼組み込みソフトウェア構築技術の統合
○細合晋太郎 (北陸先端大), 菅谷みどり (早大), 鶴川始陽 (京大)
- 5 SMP アカウンティングシステムの設計及び実装
○菅谷みどり, 中島達夫 (早大)

一般セッション [2L 会場] (3月13日(木) 16:30 ~ 18:30)

リーディングプロジェクト e-society: 高信頼性組み込みソフトウェア (2)

座長 青木 利晃 (北陸先端大)

- 1 マルチ OS 環境におけるアカウンティングシステムの実装
○巻島一雄, 杵淵雄樹, 菅谷みどり, 中島達夫 (早大)
- 2 セキュア OS における動的アクセス制御の実装
○香取知浩, 杵淵雄樹, 神田 渉, 湯村 悠, 中島達夫 (早大)

- 3 SPUMONE: 軽量な CPU 仮想化手法
○湯村 悠, 神田 渉, 香取知浩, 杵淵雄樹, 中島達夫 (早大)
- 4 仮想化環境における CPU 資源管理
○追川修一 (筑波大)
- 5 スタックスキャンを中断させるリターンバリアごみ集め
○鶴川始陽, 湯浅太一 (京大)

一般セッション [3L 会場] (3月14日(金) 9:30 ~ 12:00)

リーディングプロジェクト e-society: 自然な音声対話処理技術 (1)

座長 猿渡 洋 (奈良先端大)

- 1 音声情報案内システム「たけまるくん」の運用
○鹿野清宏, Tobias Cincarek, 竹内翔大, 川波弘道 (奈良先端大), 李 晃伸 (名工大), 西村竜一 (和歌山大), 猿渡 洋 (奈良先端大)
- 2 音声情報案内システム「キタロボ」と「キタちゃん」の運用
○川波弘道, Tobias Cincarek, 竹内翔大, 猿渡 洋, 鹿野清宏 (奈良先端大)
- 3 大規模文書を知識ベースとする音声対話システム
○翠 輝久, 河原達也 (京大)
- 4 多様な利用環境における楽曲検索音声対話システムのフィールドテストと評価
○原 直, 宮島千代美 (名大), 伊藤克亘 (法大), 北岡教英, 武田一哉 (名大)
- 5 音声入力 Web システムによる音声認識アプリケーションの構築技術
○西村竜一 (和歌山大), 三宅純平 (奈良先端大), 河原英紀, 入野俊夫 (和歌山大)
- 6 大語彙連続音声認識エンジン Julius バージョン 4.0 の構成と機能
○李 晃伸 (名工大)
- 7 大語彙連続音声認識ソフトウェア Julius のマイコンへの実装
○小窪浩明 (日立), 李 晃伸 (名工大), 河原達也 (京大), 鹿野清宏 (奈良先端大)

一般セッション [4L 会場] (3月14日(金) 15:30 ~ 17:30)

リーディングプロジェクト e-society: 自然な音声対話処理技術 (2)

座長 河原 達也 (京大)

- 1 話者方位推定に基づくリアルタイム発話区間検出システムの開発
○西浦敬信, 傳田遊亀 (立命館大), 猿渡 洋, 鹿野清宏 (奈良先端大)
- 2 空間的サブトラクションアレーに基づくハンズフリー音声認識システムの開発
○猿渡 洋 (奈良先端大), 庄境 誠, 長濱克昌, 山田真士 (旭化成), 西浦敬信, 傳田遊亀 (立命館大), 高橋 祐, 鹿野清宏 (奈良先端大)
- 3 ハンズフリーロボット対話実験システムの構築
○猿渡 洋, 高橋 祐, Tobias Cincarek, 酒井啓行, 竹内翔大, 大迫慶一, 宮部滋樹, 森 康充, 川波弘道 (奈良先端大), 李 晃伸 (名工大), 鹿野清宏 (奈良先端大)
- 4 微弱振動子と NAM マイクを用いた発話障害者補助
○中村圭吾, 戸田智基, 中島淑貴, 猿渡 洋, 鹿野清宏 (奈良先端大)
- 5 STRAIGHT に基づく柔軟な音声合成技術の開発
○河原英紀, 大西壮登, 森勢将雅, 高橋 徹, 西村竜一 (和歌山大), 坂野秀樹 (名城大), 入野俊夫 (和歌山大)
- 6 隠れマルコフモデルに基づく音声合成システム
○全 炳河, 徳田恵一 (名工大)

一般セッション [5L 会場] (3月15日(土) 9:30 ~ 12:00)

リーディングプロジェクト e-society: Web アーカイブと Web データ

解析技術 座長 豊田 正史 (東大)

- 1 全世界の Web ページの TLD・言語分布解析
○平手勇宇, 山名早人 (早大)
- 2 アンカーテキストを用いたタイトルタグからの新語抽出法の提案
○下山剛司, 秋岡明香, 村岡洋一 (早大)
- 3 日本語 Web ページを対象としたタイトルタグの傾向と分析
○秋岡明香, 下山剛司, 村岡洋一 (早大)
- 4 単語の半教師ありクラスタリング
○鍛冶伸裕, 喜連川優 (東大)
- 5 大規模 Web アーカイブにおけるコンテンツ解析支援機構
○田村孝之 (三菱), 喜連川優 (東大)
- 6 ウェブからの分析対象文書抽出手法の検討
○高山泰博, 今村 誠 (三菱), 鍛冶伸裕, 豊田正史, 喜連川優 (東大)

一般セッション [6L 会場] (3月15日(土) 14:30～17:00)

リーディングプロジェクト e-society : Storage Fusion

座長 中野美由紀 (東大)

- Storage Fusion: データベース処理を意識したディスクストレージ省電力化の一考察
○合田和生, 喜連川優 (東大)
- Storage Fusion: データベース処理を意識したディスクアレイ省電力化のための電力消費モデルの構築
○平井 遥, 星野 喬, 合田和生, 喜連川優 (東大)
- Storage Fusion: 自己再編成ストレージシステムの高度化に関する一考察
○星野 喬, 合田和生, 喜連川優 (東大)
- Storage Fusion: ログ同期デザスタリカバリ方式の性能評価
○鈴木芳生, 藤原真二, 水野和彦, 渡辺 聡 (日立)
- Storage Fusion: 同期・非同期切り替えデザスタリカバリ方式の提案と評価
○水野和彦, 藤原真二, 鈴木芳生, 渡辺 聡 (日立)
- Storage Fusion: クエリプラン利用先読み技術における先読み絞り込み機能の開発
○出射英臣, 西川記史, 茂木和彦 (日立)
- Storage Fusion: DBMS における排他待ち問題解決支援機能の開発
○西川記史, 茂木和彦, 河村信男, 根本直一 (日立)

一般セッション [3M 会場] (3月14日(金) 9:30～12:00)

リーディングプロジェクト e-society : 高信頼プログラミング言語と構造化文書変換技術

座長 鯨坂 恒夫 (和歌山大)

- プログラミング言語 SML#
○大堀 淳 (東北大)
- VITC: 情報流解析による高安全 C コンパイラ
○古瀬 淳 (東大)
- 双方向変換に基づくウェブパブリッシング支援システム Vu-X
○中野圭介, 劉 東喜, 林 康史, 胡 振江, 武市正人 (東大)
- 依存関係記述スキーマによる双方向 XML アプリケーションの開発
○林 康史, 劉 東喜, 中野圭介, 胡 振江, 武市正人 (東大)
- Developing Bidirectional XML Applications with Bi-X
○Dongxi Liu, 林 康史, 中野圭介, 胡 振江, 武市正人 (東大)

一般セッション [4M 会場] (3月14日(金) 15:30～17:30)

リーディングプロジェクト e-society : 高信頼ソフトウェア・WebWare 開発支援システム

座長 松下 誠 (阪大)

- 相関ルールを用いたシステム障害対応データの傾向分析
○十九川博幸 (日立システムアンドサービス), 森崎修司, 松村知子, 門田暁人, 松本健一 (奈良先端大)
- バースマークを用いたソフトウェア拡張開発での流用度合いの測定
○玉田春昭, 森崎修司, 門田暁人, 松本健一 (奈良先端大)
- 規模当たりの要員数を考慮したソフトウェア開発工数見積モデル
○角田雅照, 門田暁人, 松本健一 (奈良先端大)
- 細粒度マークアップに基づくカスタマイズ可能なコーディング規約検査器
○金子伸幸, 今井敬吾 (名大), 山本晋一郎 (愛知県大), 阿草清滋 (名大)
- 細粒度マークアップに基づく JSP コーディング検査器の適用実験
○森川和明, 吉田勝人, 並河英二, 中元秀明 (野村総研)
- Web ブラウザの CSS レンダリング妥当性検査手法の提案
○近藤裕佑, 大久保弘崇, 粕谷英人, 山本晋一郎 (愛知県大)
- ルールセットの類似性を用いた CSS リファクタリング手法の提案
○山本優三, 福安直樹, 満田成紀, 吉田 敦, 松延拓生, 鯨坂恒夫 (和歌山大)

学生セッション [12K 会場] (3月13日(木) 13:00～15:00)

リーディングプロジェクト e-society : コードクローン検出によるソフトウェア開発技術

座長 吉田 敦 (和歌山大)

- レガシーソフトウェア保守プロセスにおける開発者によるコードクローン認識についての観察
○山科隆伸, 上野秀剛, 伏田享平, 亀井靖高, 名倉正剛, 川口真司, 飯田 元 (奈良先端大)
- ソフトウェア開発プロセスにおける定量的管理計画の立案・共有支援システム
○高田 純, 伏田享平, 名倉正剛, 川口真司, 飯田 元 (奈良先端大)
- コードクローンのメトリクス値と開発者の相関の調査
○東 誠, 肥後芳樹, 早瀬康裕, 松下 誠, 井上克郎 (阪大)
- コードクローン検出に基づくデザインパターン適用支援手法の提案と実現
○吉田昌友, 吉田則裕, 井上克郎 (阪大)
- 複数のコードクローン検出ツールによって検出されるコードクローンの差異を用いた不具合検出手法
○澤 健一, 肥後芳樹, 楠本真二 (阪大)

第70回全国大会委員名簿

第70回全国大会組織委員会

委員長 中島 秀之(はこだて未来大)
副委員長 村山 優子(岩手県大)
委員 今井 浩(東大), 岡本 栄司(筑波大), 勝山光太郎(JST), 喜連川 優(東大), 坂井 修一(東大),
玉置 政一(NTTデータ), 中島 浩(京大), 長谷川 亨(KDDI研), 松井くにお(米国富士通研),
安信千津子(日立コンサルティング)

第70回全国大会プログラム委員会

委員長 喜連川 優(東大)
副委員長 安達 淳(国立情報学研), 北川 博之(筑波大), 関口 智嗣(産総研)
委員 秋山 康智(三菱), 天笠 俊之(筑波大), 池田 誠(東大), 片山 紀生(国立情報学研), 上岡 英史(芝浦工大),
川崎 洋(埼玉大), 北原 格(筑波大), 熊谷 誠治(電通国際情報サービス開発技術センター), 小池 淳(KDDI研),
小林 克志(産総研), 田中 二郎(筑波大), 中島 伸介(奈良先端大), 中野美由紀(東大), 野村 佳秀(富士通),
長谷川 亨(KDDI研), 羽生田栄一(豆蔵), 村山 優子(岩手県大), 森 彰(産総研), 吉野 孝(和歌山大)

第70回全国大会現地実行委員会

委員長 田中 二郎(筑波大)
委員 岡本 栄司(筑波大), 川島 英之(筑波大), 北川 博之(筑波大), 志築文太郎(筑波大), 高橋 伸(筑波大),
満保 雅浩(筑波大), 三末 和男(筑波大)

第70回全国大会プログラム編成WG

委員長 喜連川 優(東大)
委員 天笠 俊之(筑波大), 綾塚 祐二(ソニー-CSL), 石山 政浩(東芝), 今泉 貴史(千葉大), 上田 浩(群馬大),
上原 貴夫(東京工科大), 梅谷 俊治(電通大), 大場みち子(日立), 川島 英之(筑波大), 神原 弘之(京都高度技研),
木下 俊之(東京工科大), 久保田浩司(NTT-AT), 倉橋 節也(筑波大), 小池 賢一(三菱), 五島 正裕(東大),
齋藤 豪(東工大), 酒井 哲也(ニューズウォッチ), 清水 郁子(農工大), 新城 靖(筑波大), 関 亜紀子(NTT),
高木 真一(早大), 高汐 一紀(慶大), 滝本 宗宏(東理大), 建部 修兒(筑波大), 地引 昌弘(NEC), 常盤 拓司(東大),
栃窪 孝也(日大), 富井 尚志(横浜国大), 中島 伸介(奈良先端大), 中野美由紀(東大), 中平 勝子(長岡技科大),
中村 祐一(NEC), 野田 夏子(NEC), 林原 尚浩(電機大), 松島 俊明(東邦大), 松永 賢次(専修大), 松原 茂樹(名大),
宮崎 邦彦(日立), 森 辰則(横浜国大)

第70回全国大会 イベント企画

特別セッション(1):ピタッとわかる ICカードが生み出す未来社会
吉野 孝(和歌山大)

特別セッション(2):ソフトウェア公開...その前に
小林 克志(産総研)

特別セッション(3):超ハイエンドコンピューティングへの挑戦
天笠 俊之(筑波大), 朴 泰祐(筑波大)

特別セッション(4):地球にやさしい情報システム -持続可能なIT社会を目指して-
片山 紀生(国立情報学研)

特別セッション(5):2015年へのセンサネットワーク
長谷川 亨(KDDI研)

特別セッション(6):仮想化技術が変えるITの未来
鈴木 貢(電通大), 野村 佳秀(富士通)

シンポジウム(1):超臨場感コミュニケーションの動向と将来展望
甲藤 二郎(早大), 小池 淳(KDDI研), 高木 真一(早大), 橋本 真幸(KDDI研), 坂東 幸浩(NTT),
オーディオビジュアル複合情報処理研究会

シンポジウム(2):私の詩と真実
発田 弘(沖電気), 和田 英一(IJ技研), 歴史特別委員会

シンポジウム(3):優秀情報処理教育紹介
角田 博保(電通大), 情報処理教育委員会

シンポジウム(4):情報専門学科におけるカリキュラム標準「J07」最終報告
佐渡 一広(群馬大), 情報処理教育委員会

今大会では、筑波大学様より会場のご提供を頂き誠にありがとうございました。
ここに厚くお礼申し上げます。

社団法人 情報処理学会